

飯舘村民の
避難生活に関する実態調査
報告書（最終報告）

平成23年12月

飯 舘 村
株式会社 社会安全研究所

目次

1	調査の概要	1
(1)	調査目的	1
(2)	調査対象及び調査方法	1
(3)	配布数及び回収結果	1
(4)	本調査結果報告書の留意点	1
2	調査結果	2
2. 1	回答者と回答者の家族に関する調査結果	2
Q 1	性別	2
Q 2	年齢	3
Q 3	避難前の職業	4
Q 3-1	避難前の職業業種	6
Q 4	避難後の職業	8
Q 5	避難前にお住まいだった地区	12
Q 6	避難後のお住まいの場所	14
Q 7	避難後にお住まいの住宅の種類	17
Q 8	避難後にお住まいの住宅の選定理由	20
Q 9	避難前の家族構成	23
Q 10	避難に伴う家族構成の変化	25
Q 11	避難前に同居していた子どもの有無	27
Q 11-1	避難前に同居していた子どもの現在の状況	30
2. 2	避難先の生活に関する調査結果	32
Q 12	避難前と比べた今の収入（世帯の合計）の状況	32
Q 13	避難前と比べた家計の支出状況	36
Q 13-1	家計の支出が増えた主な費目	39
Q 14	現在の収入における世帯の暮らし向き	43
Q 15	経済面を考えたとき、今の状態をどのくらい続けられるか	47
Q 16	当面の仕事確保・生活維持に関する考え	51
Q 17	避難生活が続く中で家族の生活や体調の変化	56
Q 18	家族の健康状態	61
Q 19	家族が病院・診療所にかかっているか	65
Q 19-1	必要な治療を受けていない理由	70
Q 20	避難前に同居していた家族の中に介護が必要な方がいたか	75
Q 21	現在同居していた家族で、介護が必要な方はいるか	78

Q 2 1 - 1	現在介護サービスを受けて在宅介護を受けていない理由	83
Q 2 2	放射線の健康影響や除染などについて主に知りたいこと	87
Q 2 3	子どもの教育についてお困りのこと	91
Q 2 4	子どもの保育についてお困りのこと	98
Q 2 5	現在の住宅でお困りのこと	102
Q 2 6	現在お住まいの場所・周辺環境でお困りのこと	108
Q 2 7	これまでの近所付き合いなど、友人・知人の付き合い、地域コミュニティの面でお困りのこと	113
Q 2 8	避難で留守をしている間の自宅の被害状況	117
Q 2 9	村内の自宅に関連してお困りのこと	122
Q 3 0	村からお知らせする情報の提供手段	127
Q 3 1	今後の暮らしについて知りたい情報	131
Q 3 2	現在の避難生活についての自由記述	137

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、東日本大震災ならびに東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故により避難生活を余儀なくされている村民の現状や災害による生活面のさまざまな影響を把握するとともに、村としての避難生活支援や復興に向けた取り組みを検討するにあたり、村民の要望を把握することを目的に実施した。

(2) 調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	飯舘村役場に連絡先を登録している村民 (できる限り世帯主又は主たる生計維持者による回答を要請)
調査方法	郵送による配布、回収
調査時期	平成23年10月

(3) 配布数及び回収結果

配布数	2,708
有効回収数	1,743
有効回収率	64.4%

(4) 本調査結果報告書の留意点

本報告書を理解する上で、次の点に留意する必要がある。

- 比率は百分率(%)で表し、小数点以下2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100%を上下する場合もある。
- 質問の終わりに「複数回答可」とある問は、1人の回答者が複数の回答を出してもよい問のため、各回答の合計比率は100%を超える場合がある。
- 質問の終わりに「ひとつに○印」とある問で、複数の選択肢に○をつけている回答は原則いちばん若い番号の回答選択肢を採用して集計した。
- 文中、グラフ中の選択肢の文言は一部簡略化している。
- 問の中には「～に○をつけた方にうかがいます。」などいろいろな制限があり、また、属性別での職業別など回答者数が少なく、有意性の低いものも含まれる。

2 調査結果

2. 1 回答者と回答者の家族に関する調査結果

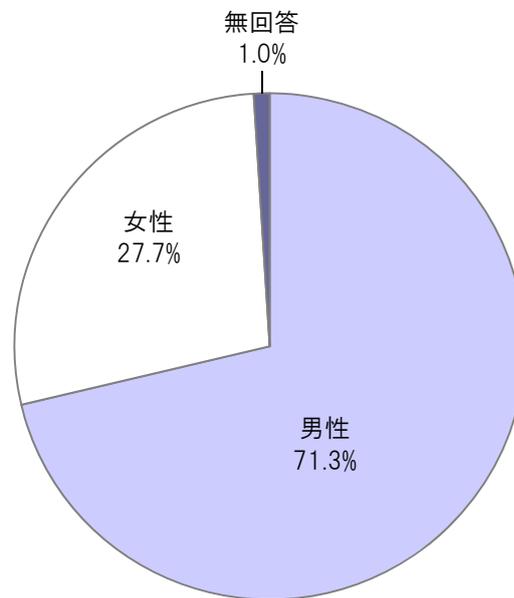
【設問】

Q1. あなたの性別（1つに○印）

■ 結果の概要

- ・ 回答者の性別は、7割強が男性となっている。本調査の調査票が村役場に登録された連絡先へ送付され、「世帯主又は主たる生計維持者」に回答を求めていることの反映であると考えられる。

◆ 単純集計結果



◆ 集計表

回答選択肢	回答数	割合 (%)
男性	1,243	71.3
女性	483	27.7
無回答	17	1.0
合計	1,743	100.0

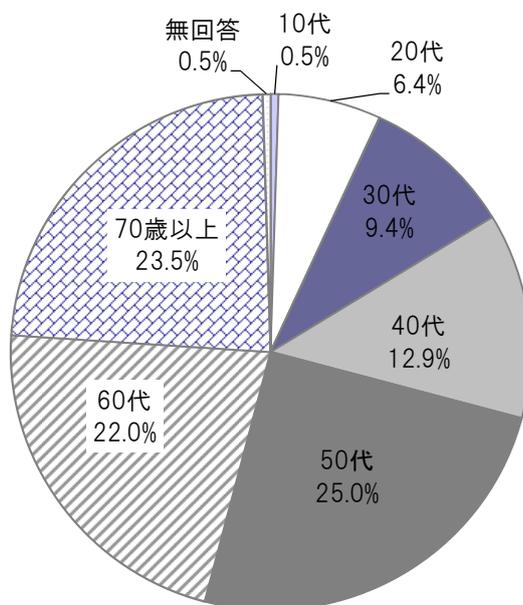
【設問】

Q2. あなたの年齢（1つに○印）

■ 結果の概要

- ・ 回答者の年齢は、50代(25.0%)、60代(22.0%)、70歳以上(23.5%)が多い。

◆ 単純集計結果



◆ 集計表

	回答数	割合 (%)
10代	8	0.5
20代	111	6.4
30代	164	9.4
40代	224	12.9
50代	435	25.0
60代	383	22.0
70歳以上	409	23.5
無回答	9	0.5
合計	1,743	100.0

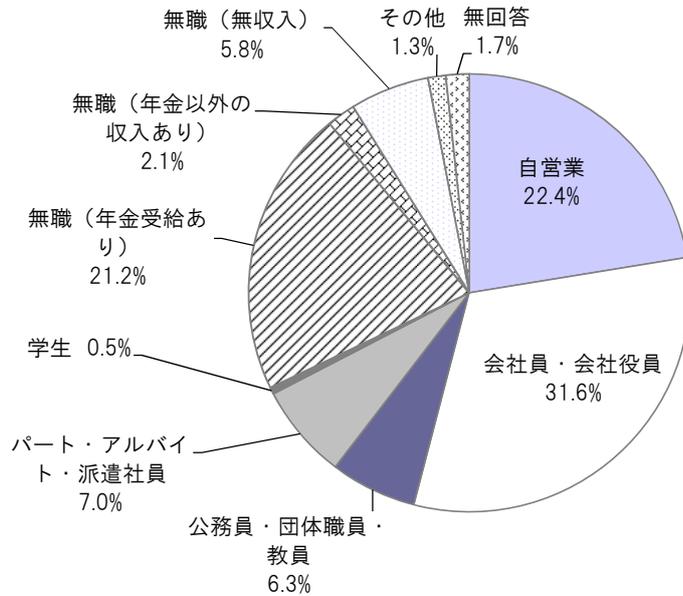
【設問】

Q3. 避難前のあなたの職業についてお答えください。(1つに○印)

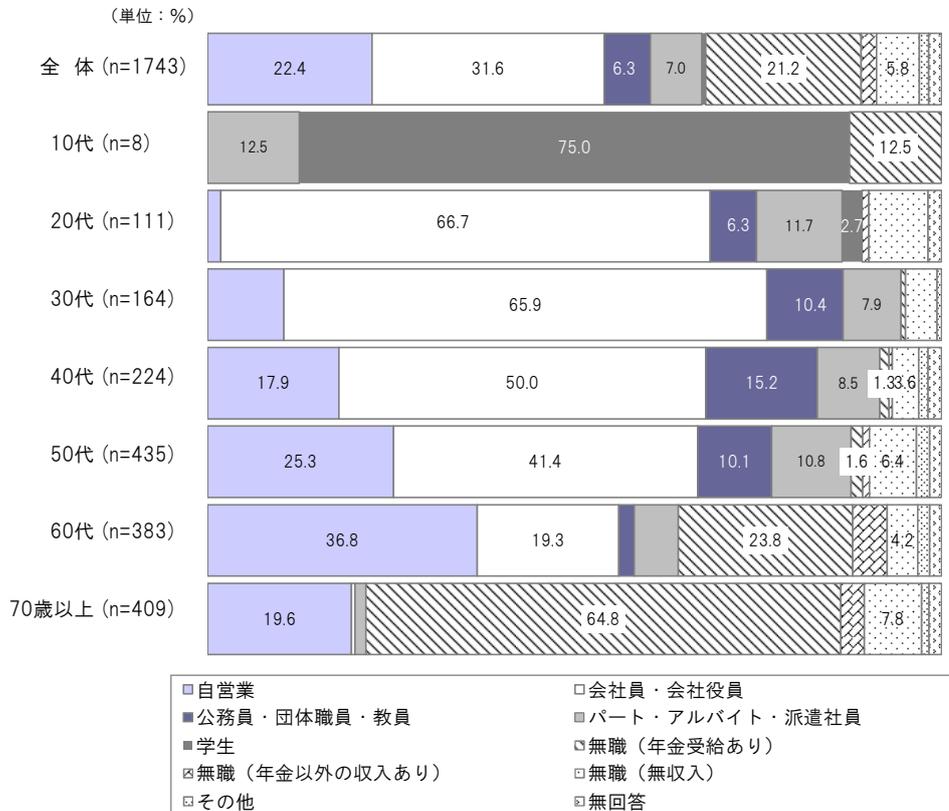
■ 結果の概要

- ・ 避難前の職業としては、「会社員・会社役員」が約3割、「無職(年金受給あり)」と「自営業」がそれぞれ約2割強となっている。
- ・ 年齢別に見ると、20代、30代をはじめ比較的若い世代ほど「会社員・会社役員」が多くなっている。一方60代では36.8%が「自営業」を営んでおり、若い世代に比べて多かったことがわかる。

◆ 単純集計結果



◆ 回答世代別集計結果



◆ 集計表

	全 体	自 営 業	会 社 員 ・ 会 社 役 員	公 務 員 ・ 団 体 職 員 ・ 教 員	社 員 ・ パ ー ト ・ ア ル バ イ ト ・ 派 遣	学 生	無 職 (年 金 受 給 あ り)	無 職 (年 金 以 外 の 収 入 あ り)	無 職 (無 収 入)	そ の 他	無 回 答
全 体	1743 100.0	391 22.4	551 31.6	110 6.3	122 7.0	9 0.5	370 21.2	37 2.1	101 5.8	22 1.3	30 1.7
10代	8 100.0	- -	- -	- -	1 12.5	6 75.0	1 12.5	- -	- -	- -	- -
20代	111 100.0	2 1.8	74 66.7	7 6.3	13 11.7	3 2.7	- -	1 0.9	9 8.1	- -	2 1.8
30代	164 100.0	17 10.4	108 65.9	17 10.4	13 7.9	- -	1 0.6	- -	7 4.3	1 0.6	- -
40代	224 100.0	40 17.9	112 50.0	34 15.2	19 8.5	- -	3 1.3	1 0.4	8 3.6	3 1.3	4 1.8
50代	435 100.0	110 25.3	180 41.4	44 10.1	47 10.8	- -	7 1.6	4 0.9	28 6.4	8 1.8	7 1.6
60代	383 100.0	141 36.8	74 19.3	8 2.1	23 6.0	- -	91 23.8	18 4.7	16 4.2	6 1.6	6 1.6
70歳以上	409 100.0	80 19.6	2 0.5	- -	6 1.5	- -	265 64.8	13 3.2	32 7.8	4 1.0	7 1.7

◆ 「その他」における自由記述

<ul style="list-style-type: none"> ・兼業農家(3件) ・運転手(2件) ・神社神職 ・娘ムコ経営のプロイラー手伝い ・木工 ・年金と生活保護 ・生活保護 ・母親の介護 ・失業中で特に働いていなかった(農業の手伝をやったりした) ・相馬シルバー人材センターに加入 ・雇用対策(有害鳥獣) ・年金と職業有り ・精神的な病気で静養し、仕事を探している ・入院患者
--

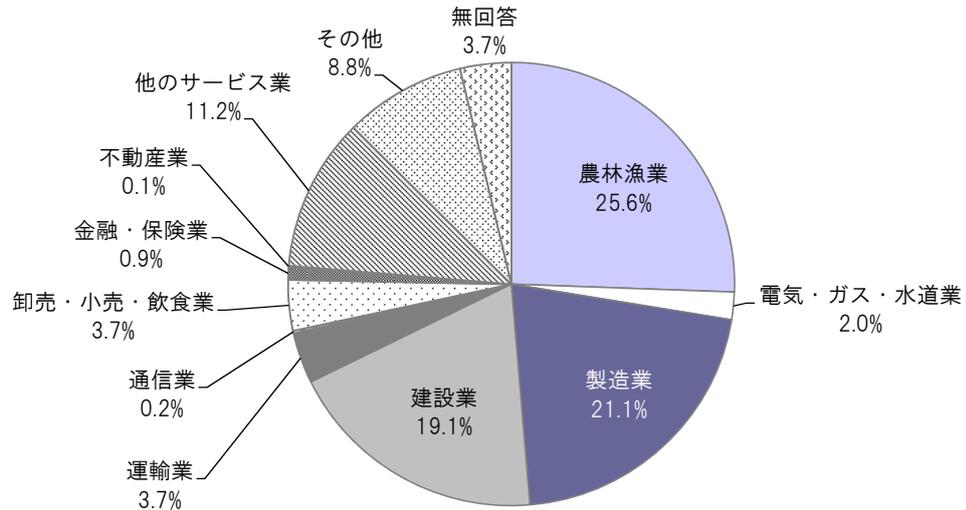
【設問】

Q3-1.〔上記で1～4と回答された方に伺います〕 避難前の業種についてお答えください。(1つに○印)

■ 結果の概要

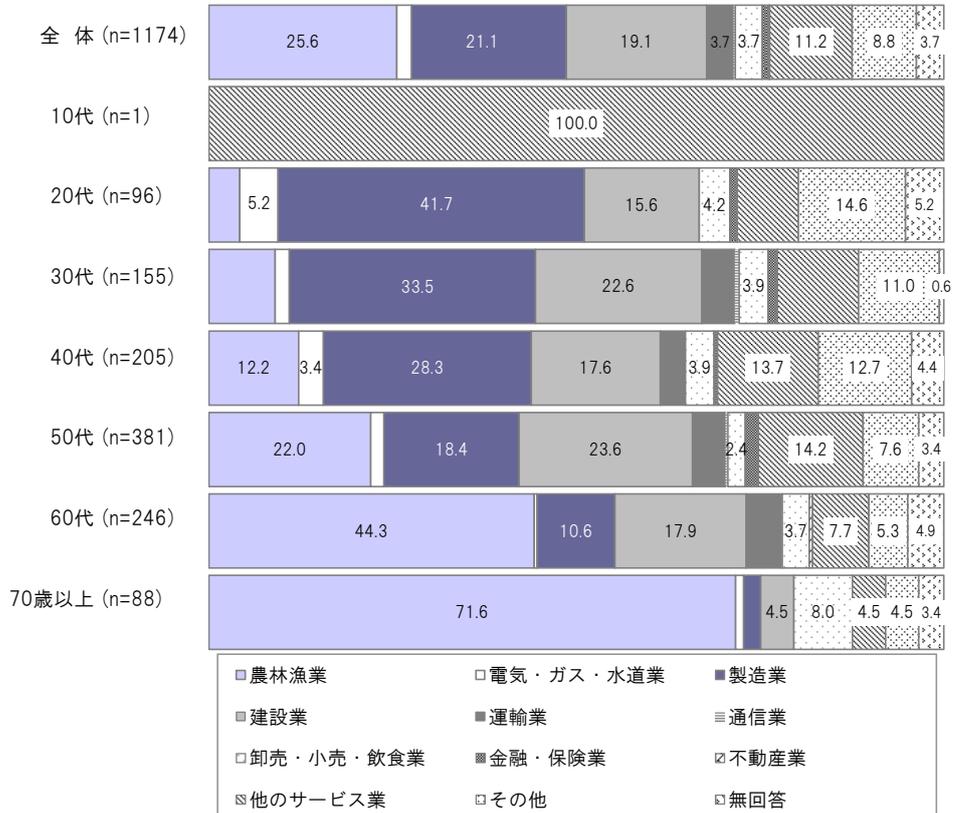
- ・ Q3で何らかの職に就いていたと回答した方にその業種を尋ねたところ、最も多かったのは「農林漁業」(25.6%)、次いで「製造業」(21.2%)、「建設業」(19.1%)であった。
- ・ 年齢別に見ると、20代～50代で「製造業」や「建設業」が多く、逆に「農林漁業」は60代(44.3%)、70歳以上(71.6%)に多いという結果となった。

◆ 単純集計結果



◆ 回答世代別集計結果

(単位：%)



◆ 集計表

	全 体	農 林 漁 業	電 気 ・ ガ ス ・ 水 道 業	製 造 業	建 設 業	運 輸 業	通 信 業	卸 売 ・ 小 売 ・ 飲 食 業	金 融 ・ 保 險 業	不 動 産 業	他 の サ ー ビ ス 業	そ の 他	無 回 答
全 体	1174 100.0	300 25.6	24 2.0	248 21.1	224 19.1	43 3.7	2 0.2	43 3.7	11 0.9	1 0.1	132 11.2	103 8.8	43 3.7
10代	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-
20代	96 100.0	4 4.2	5 5.2	40 41.7	15 15.6	-	-	4 4.2	1 1.0	-	8 8.3	14 14.6	5 5.2
30代	155 100.0	14 9.0	3 1.9	52 33.5	35 22.6	7 4.5	1 0.6	6 3.9	2 1.3	-	17 11.0	17 11.0	1 0.6
40代	205 100.0	25 12.2	7 3.4	58 28.3	36 17.6	7 3.4	-	8 3.9	1 0.5	-	28 13.7	26 12.7	9 4.4
50代	381 100.0	84 22.0	7 1.8	70 18.4	90 23.6	17 4.5	1 0.3	9 2.4	7 1.8	-	54 14.2	29 7.6	13 3.4
60代	246 100.0	109 44.3	1 0.4	26 10.6	44 17.9	12 4.9	-	9 3.7	-	1 0.4	19 7.7	13 5.3	12 4.9
70歳以上	88 100.0	63 71.6	1 1.1	2 2.3	4 4.5	-	-	7 8.0	-	-	4 4.5	4 4.5	3 3.4

◆ 「その他」における自由記述

- ・公務員(22件)
- ・介護福祉関係(14件)
- ・教育関係(9件)
- ・医療関係(6件)
- ・事務職(6件)
- ・村臨時職員(3件)
- ・畜産業関係(2件)
- ・寺住職(2件)
- ・家政婦(2件)
- ・設備関係
- ・ヤマハ音楽教室講師
- ・ALT
- ・管理業務
- ・組合(事業所)
- ・警備員
- ・港湾作業
- ・獣医師
- ・シルバー人材センター
- ・清掃業
- ・測量会社
- ・ソフトウェア作成
- ・団体職員
- ・放射線管理
- ・縫製
- ・用務員
- ・リサイクルセンター
- ・警備業
- ・測量会社
- ・美容業
- ・夜間警備
- ・郵便事業株式会社
- ・理学療法士

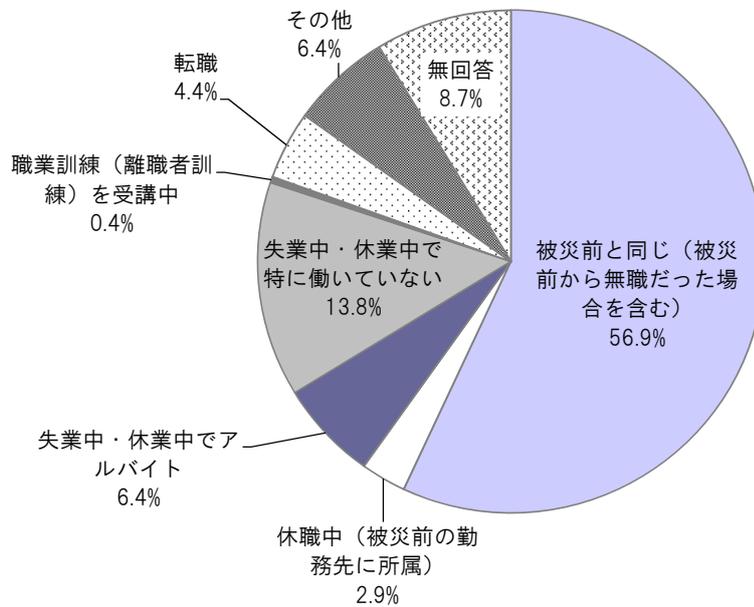
【設問】

Q4. 避難後（現在）のあなたの職業についてお答えください。（1つに○印）

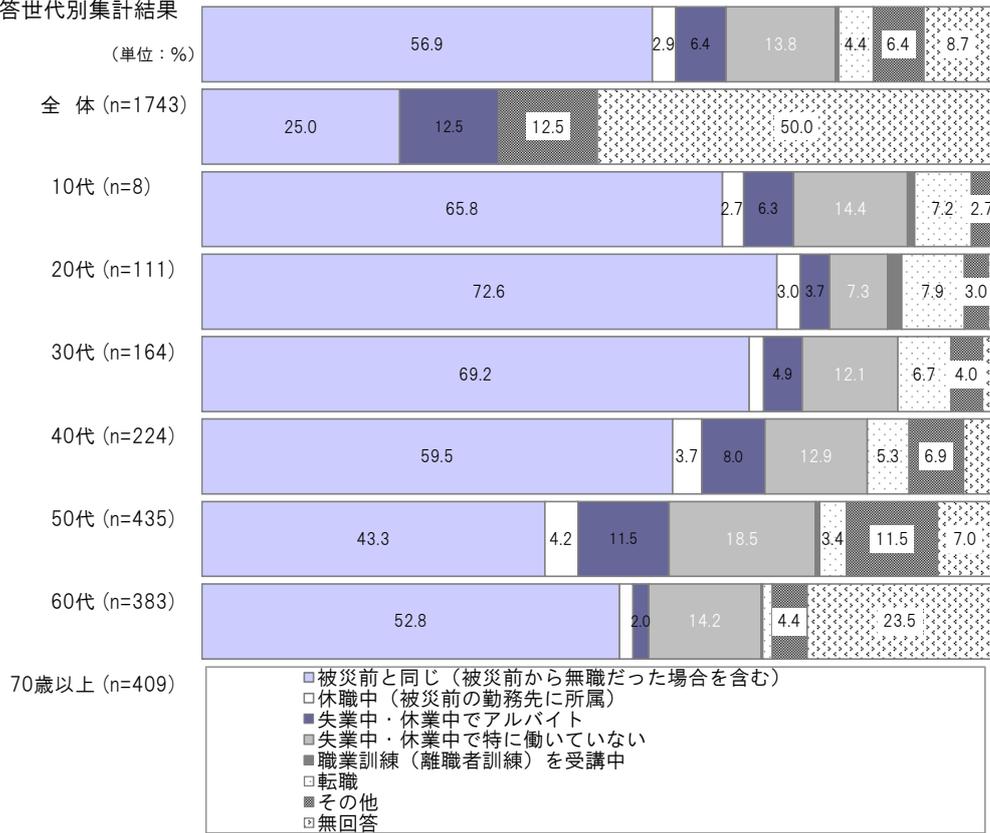
■ 結果の概要

- ・ 避難後も「被災前と同じ職業（被災前から無職だった場合を含む）」という回答は56.9%に留まり、「失業中・休業中で特に働いていない」(13.8%)、「失業中・休業中でアルバイト」(6.4%)、「転職」(4.4%)、「休職中」(2.9%)と、災害による就業状況への影響が大きいことが伺える。
- ・ これを避難前の職業別に見ると、「自営業」や、「パート・アルバイト・派遣社員」において、「失業中・休業中で特に働いていない」という回答が約3割近くに上っていることが目立つ。またこれらの職業では、「失業中・休業中でアルバイト」という回答も10%以上を占めている。一方で、「会社員・会社役員」、「公務員・団体職員・教員」においては、被災前と同じという回答が75%を超えている。
- ・ 避難前の業種別に見ると、「農林漁業」、「卸売・小売・飲食業」、「他のサービス業」で、それぞれ「失業中・休業中で特に働いていない」との回答が25%を超えている。また「農林漁業」では、「失業中・休業中でアルバイト」との回答も15%に上る。
- ・ 「その他」における自由記述を見ると、「いいたて全村見守り隊」(79件(4.5%))などに従事しているという回答があり、村の実施している緊急雇用対策事業の活用が一定の効果を上げていることが伺える。

◆ 単純集計結果



◆ 回答世代別集計結果



◆ 集計表

	全 体	含 む 被 災 前 と 同 じ 場 合 を 前	休 職 中 (被 災 前 の 勤 務 先 に 所 属)	バ イ ト 失 業 中 ・ 休 業 中 で ア ル	働 い て い な い 失 業 中 ・ 休 業 中 で 特 に	職 業 訓 練 (離 職 者 訓 練 を 受 講 中)	転 職	そ の 他	無 回 答
全 体	1743 100.0	991 56.9	51 2.9	112 6.4	241 13.8	7 0.4	77 4.4	112 6.4	152 8.7
10代	8 100.0	2 25.0	-	1 12.5	-	-	-	1 12.5	4 50.0
20代	111 100.0	73 65.8	3 2.7	7 6.3	16 14.4	1 0.9	8 7.2	3 2.7	-
30代	164 100.0	119 72.6	5 3.0	6 3.7	12 7.3	3 1.8	13 7.9	5 3.0	1 0.6
40代	224 100.0	155 69.2	4 1.8	11 4.9	27 12.1	-	15 6.7	9 4.0	3 1.3
50代	435 100.0	259 59.5	16 3.7	35 8.0	56 12.9	-	23 5.3	30 6.9	16 3.7
60代	383 100.0	166 43.3	16 4.2	44 11.5	71 18.5	2 0.5	13 3.4	44 11.5	27 7.0
70歳以上	409 100.0	216 52.8	7 1.7	8 2.0	58 14.2	1 0.2	5 1.2	18 4.4	96 23.5

クロス集計(職業【避難後】×職業【避難前】)

	全 体	含 む)	被災 前と 同じ 場合 を前	休 職中 (被災 前の 勤務 先に 所属)	失 業中 ・休 業中 でア ル バ イ ト	失 業中 ・休 業中 で特 に 働 いて いな い	職 業訓 練 (離 職者 訓 練) を受 講中	転 職	そ の 他	無 回 答
全 体	1743 100.0	991 56.9	51 2.9	112 6.4	241 13.8	7 0.4	77 4.4	112 6.4	152 8.7	
自営業	391 100.0	110 28.1	13 3.3	52 13.3	116 29.7	3 0.8	24 6.1	48 12.3	25 6.4	
会社員・会社役員	551 100.0	421 76.4	21 3.8	17 3.1	40 7.3	2 0.4	29 5.3	11 2.0	10 1.8	
公務員・団体職員・教員	110 100.0	83 75.5	6 5.5	2 1.8	8 7.3	-	6 5.5	5 4.5	-	
パート・アルバイト・派遣社員	122 100.0	45 36.9	5 4.1	21 17.2	34 27.9	1 0.8	9 7.4	5 4.1	2 1.6	
学生	9 100.0	3 33.3	-	1 11.1	-	-	-	2 22.2	3 33.3	
無職(年金受給あり)	370 100.0	244 65.9	1 0.3	11 3.0	17 4.6	1 0.3	4 1.1	20 5.4	72 19.5	
無職(年金以外の収入あり)	37 100.0	19 51.4	1 2.7	1 2.7	6 16.2	-	1 2.7	3 8.1	6 16.2	
無職(無収入)	101 100.0	53 52.5	3 3.0	3 3.0	13 12.9	-	1 1.0	8 7.9	20 19.8	
その他	22 100.0	4 18.2	-	3 13.6	3 13.6	-	3 13.6	8 36.4	1 4.5	

クロス集計(職業【避難後】×業種【避難前】)

	全 体	含 む)	被災 前と 同じ 場合 を前	休 職中 (被災 前の 勤務 先に 所属)	失 業中 ・休 業中 でア ル バ イ ト	失 業中 ・休 業中 で特 に 働 いて いな い	職 業訓 練 (離 職者 訓 練) を受 講中	転 職	そ の 他	無 回 答
全 体	1174 100.0	659 56.1	45 3.8	92 7.8	198 16.9	6 0.5	68 5.8	69 5.9	37 3.2	
農林漁業	300 100.0	60 20.0	15 5.0	45 15.0	90 30.0	2 0.7	29 9.7	38 12.7	21 7.0	
電気・ガス・水道業	24 100.0	19 79.2	-	-	1 4.2	-	3 12.5	1 4.2	-	
製造業	248 100.0	192 77.4	7 2.8	10 4.0	28 11.3	-	7 2.8	3 1.2	1 0.4	
建設業	224 100.0	167 74.6	7 3.1	11 4.9	17 7.6	-	9 4.0	11 4.9	2 0.9	
運輸業	43 100.0	35 81.4	3 7.0	2 4.7	-	-	1 2.3	-	2 4.7	
通信業	2 100.0	-	-	2 100.0	-	-	-	-	-	
卸売・小売・飲食業	43 100.0	19 44.2	4 9.3	5 11.6	12 27.9	-	-	3 7.0	-	
金融・保険業	11 100.0	8 72.7	1 9.1	-	-	1 9.1	1 9.1	-	-	
不動産業	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	
他のサービス業	132 100.0	66 50.0	3 2.3	12 9.1	34 25.8	2 1.5	10 7.6	2 1.5	3 2.3	
その他	103 100.0	71 68.9	3 2.9	2 1.9	11 10.7	1 1.0	6 5.8	8 7.8	1 1.0	

◆ 「その他」における自由記述

- ・いいたて全村見守り隊(79件)
- ・建設業(16件)
- ・介護職(6件)
- ・病院入院中(5件)
- ・契約社員(4件)
- ・シルバーで時々仕事(2件)
- ・村の緊急雇用(2件)
- ・役場臨時職員(2件)
- ・飯館高宿舍管理人
- ・飯館森林→相馬地方森林
- ・飯館村役場健康相談
- ・運送業の夜間点呼者
- ・会社員
- ・会社の事務所を移動して仕事をしています
- ・仮設資材の塗装、入出庫、整備
- ・県外にも卸売しています
- ・現在の避難地域周辺で就職
- ・県農業総合センター畜産研究所にて家畜の世話
- ・小売業
- ・コメリパワー安達店
- ・産廃業
- ・施設に入所
- ・食品製造(アイス製造)
- ・人事異動
- ・水族館関係
- ・水道業
- ・生活保護打ち切れ、糖尿病が重いため働けず
- ・製造業
- ・相馬火力発電所
- ・知的障がい者入所施設利用者
- ・出稼ぎ
- ・東京での仕事をやめて福島市内に仕事を見つけて出ている(母に認知症が出て来たため)
- ・薦職
- ・派遣会社
- ・派遣で工場勤務
- ・避難先で就職。被災前の会社は退職。
- ・避難生活
- ・牧場勤務
- ・ボランティア(ほけないように)
- ・マッサージ
- ・村のスクールバス助手
- ・養鶏ですが会社員
- ・以前勤務していた食品メーカー
- ・運送
- ・会社を変えた
- ・会社員(ルートセールス)
- ・解体工
- ・管理人(いつまであるかわからない)
- ・造園の仕事したいと思っています
- ・測量
- ・孫もり
- ・内職
- ・農業(野菜作り)
- ・派遣社員
- ・板金工

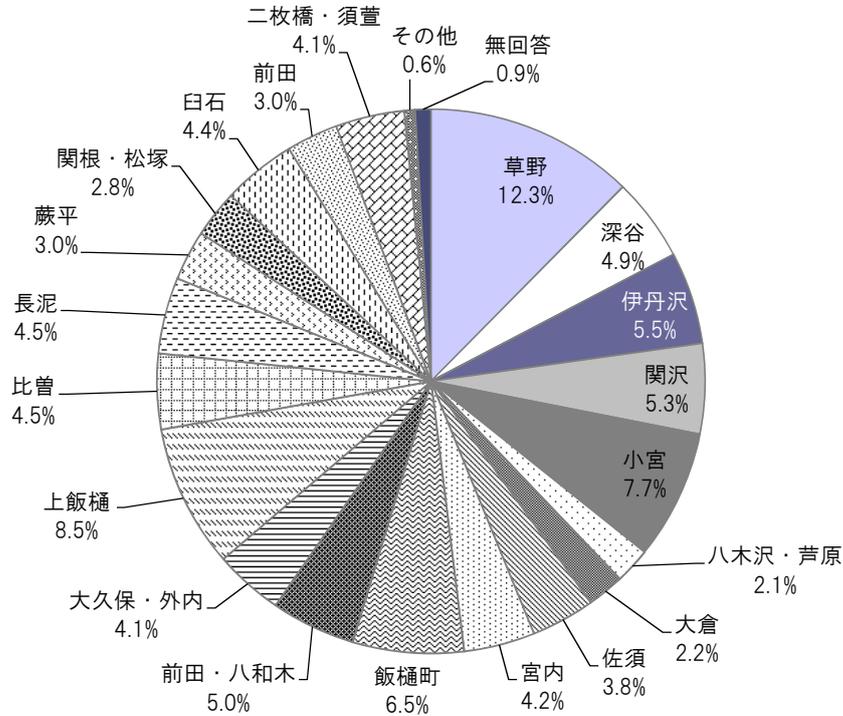
【設問】

Q5. 避難前にお住まいだった地区をお答えください。(1つに○印)

■ 結果の概要

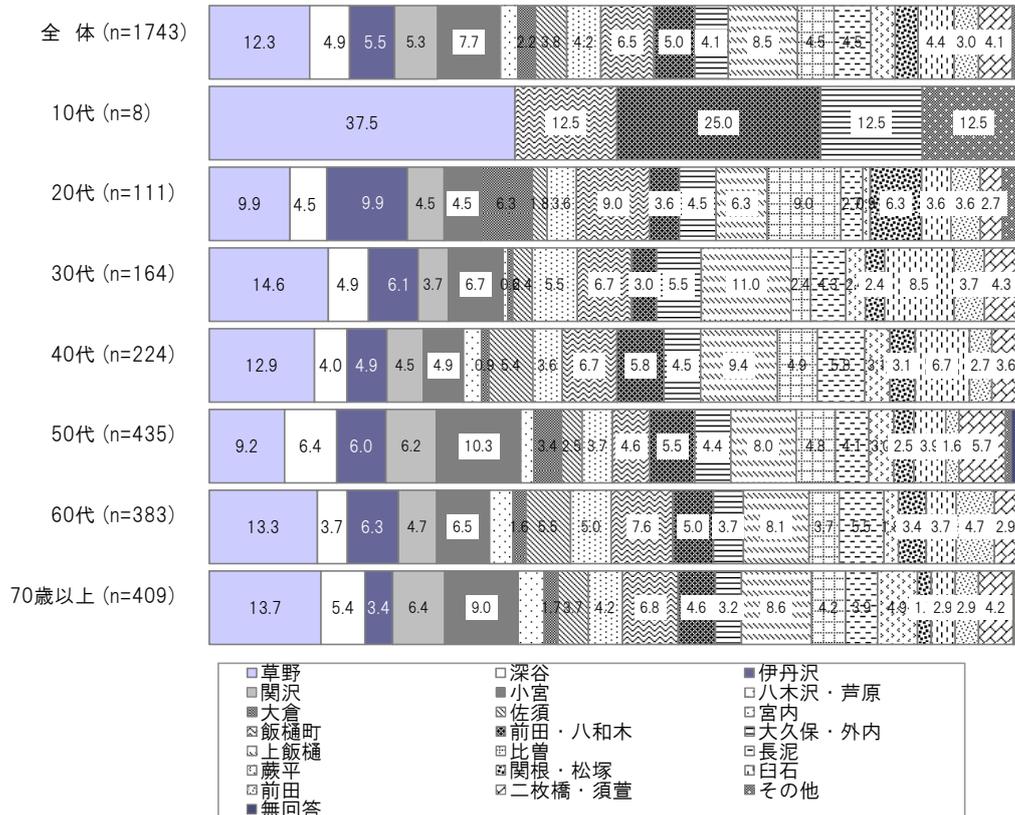
・避難前に居住していた地区別の回答者の状況は、下記のとおりである。

◆ 単純集計結果



◆ 回答世代別集計結果

(単位: %)



◆ 集計表

	全 体	草 野	深 谷	伊 丹 沢	関 沢	小 宮	八 木 沢 ・ 芦 原	大 倉	佐 須	宮 内	飯 樋 町	前 田 ・ 八 和 木
全 体	1743 100.0	215 12.3	86 4.9	96 5.5	93 5.3	134 7.7	37 2.1	38 2.2	66 3.8	73 4.2	114 6.5	87 5.0
10代	8 100.0	3 37.5	-	-	-	-	-	-	-	-	1 12.5	2 25.0
20代	111 100.0	11 9.9	5 4.5	11 9.9	5 4.5	5 4.5	-	7 6.3	2 1.8	4 3.6	10 9.0	4 3.6
30代	164 100.0	24 14.6	8 4.9	10 6.1	6 3.7	11 6.7	1 0.6	1 0.6	4 2.4	9 5.5	11 6.7	5 3.0
40代	224 100.0	29 12.9	9 4.0	11 4.9	10 4.5	11 4.9	5 2.2	2 0.9	12 5.4	8 3.6	15 6.7	13 5.8
50代	435 100.0	40 9.2	28 6.4	26 6.0	27 6.2	45 10.3	7 1.6	15 3.4	11 2.5	16 3.7	20 4.6	24 5.5
60代	383 100.0	51 13.3	14 3.7	24 6.3	18 4.7	25 6.5	11 2.9	6 1.6	21 5.5	19 5.0	29 7.6	19 5.0
70歳以上	409 100.0	56 13.7	22 5.4	14 3.4	26 6.4	37 9.0	13 3.2	7 1.7	15 3.7	17 4.2	28 6.8	19 4.6

	大 久 保 ・ 外 内	上 飯 樋	比 叢	長 泥	藤 平	関 根 ・ 松 塚	白 石	前 田	二 枚 橋 ・ 須 萱	そ の 他	無 回 答
全 体	71 4.1	148 8.5	78 4.5	79 4.5	52 3.0	49 2.8	76 4.4	53 3.0	71 4.1	11 0.6	16 0.9
10代	1 12.5	-	-	-	-	-	-	-	-	1 12.5	-
20代	5 4.5	7 6.3	10 9.0	3 2.7	1 0.9	7 6.3	4 3.6	4 3.6	3 2.7	3 2.7	-
30代	9 5.5	18 11.0	4 2.4	7 4.3	4 2.4	4 2.4	14 8.5	6 3.7	7 4.3	1 0.6	-
40代	10 4.5	21 9.4	11 4.9	13 5.8	7 3.1	7 3.1	15 6.7	6 2.7	8 3.6	1 0.4	-
50代	19 4.4	35 8.0	21 4.8	18 4.1	13 3.0	11 2.5	17 3.9	7 1.6	25 5.7	3 0.7	7 1.6
60代	14 3.7	31 8.1	14 3.7	21 5.5	7 1.8	13 3.4	14 3.7	18 4.7	11 2.9	1 0.3	2 0.5
70歳以上	13 3.2	35 8.6	17 4.2	16 3.9	20 4.9	7 1.7	12 2.9	12 2.9	17 4.2	1 0.2	5 1.2

【設問】

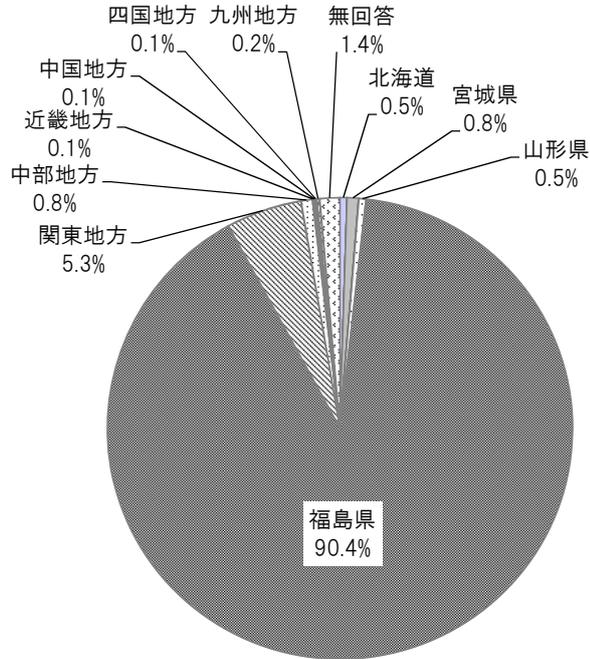
Q6. 避難後(現在)お住まいの場所を、都道府県・市町村名までお答えください。

■ 結果の概要

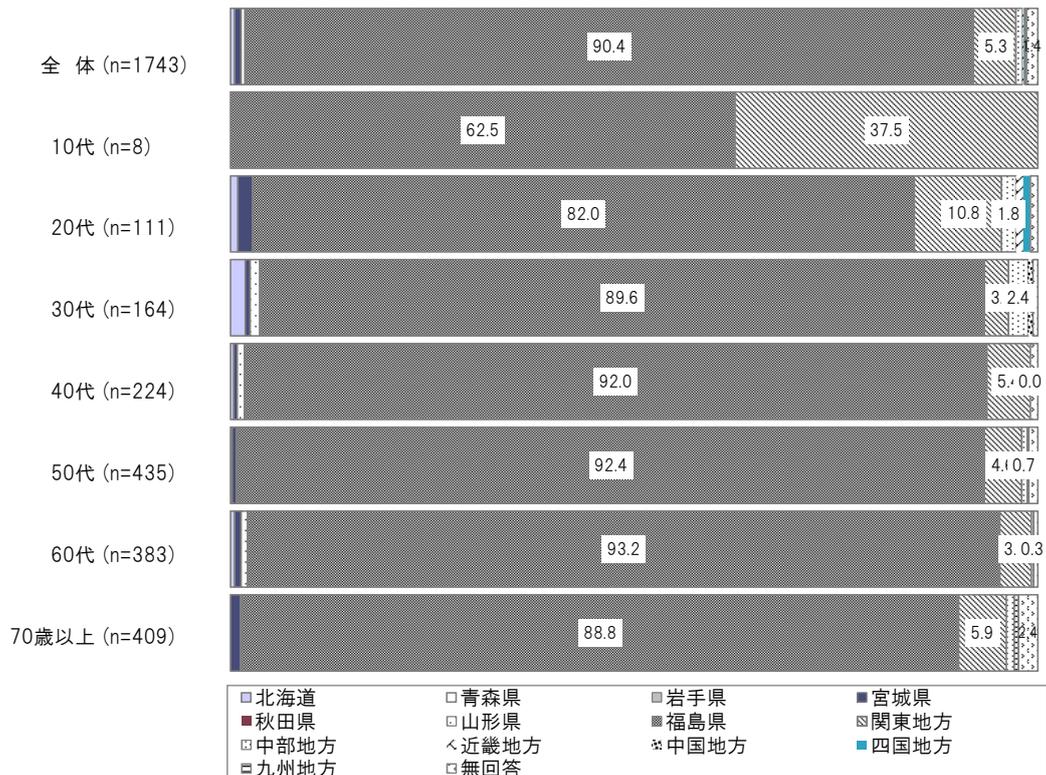
- ・現在の住まいは、全体の90.4%が福島県内となっている。福島県内でも、福島市(全体の54.6%)が最も多く、次いで伊達市(同10.2%)、川俣町(6.4%)、相馬市(6.0%)である。一方で、関東地方へ避難している割合も5.3%おり、遠方への避難も少なくなることがわかる。

(i) 地方別

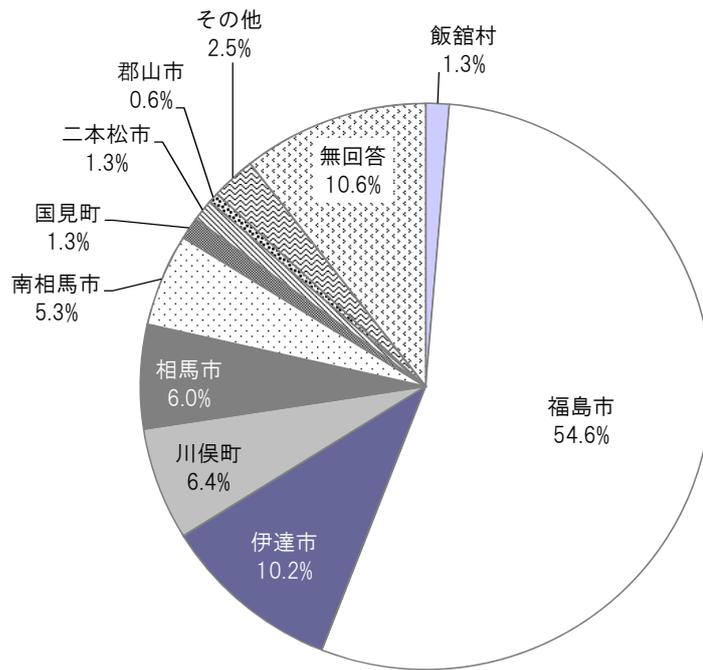
◆ 単純集計結果



◆ 回答世代別集計結果

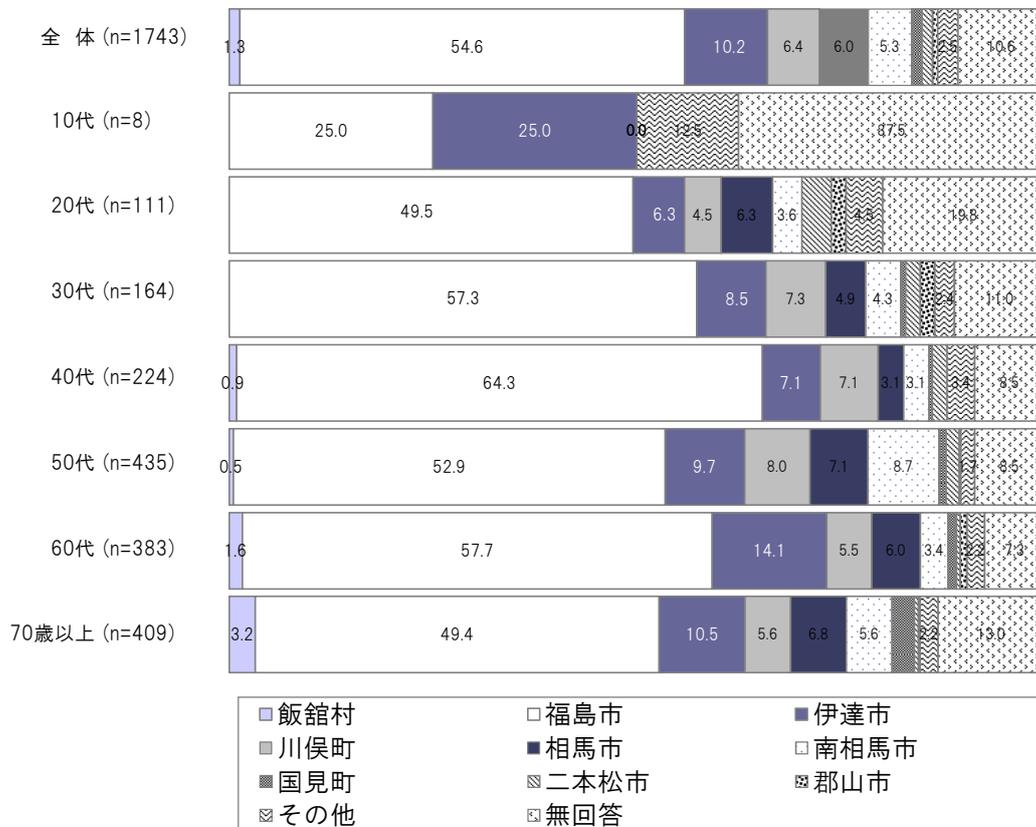


(ii) 福島県内市町村別
◆ 単純集計結果



◆ 回答世代別集計結果

(単位: %)



◆ 集計表

	全 体	北 海 道	青 森 県	岩 手 県	宮 城 県	秋 田 県	山 形 県	福 島 県	関 東 地 方	中 部 地 方	近 畿 地 方	中 国 地 方	四 国 地 方	九 州 地 方	無 回 答
全 体	1743 100.0	8 0.5	- -	- -	14 0.8	- -	9 0.5	1576 90.4	92 5.3	14 0.8	1 0.1	1 0.1	1 0.1	3 0.2	24 1.4
10代	8 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	5 62.5	3 37.5	- -	- -	- -	- -	- -	- -
20代	111 100.0	1 0.9	- -	- -	2 1.8	- -	- -	91 82.0	12 10.8	2 1.8	1 0.9	- -	1 0.9	- -	1 0.9
30代	164 100.0	3 1.8	- -	- -	1 0.6	- -	2 1.2	147 89.6	5 3.0	4 2.4	- -	1 0.6	- -	- -	1 0.6
40代	224 100.0	1 0.4	- -	- -	1 0.4	- -	2 0.9	206 92.0	12 5.4	- -	- -	- -	- -	- -	2 0.9
50代	435 100.0	1 0.2	- -	- -	2 0.5	- -	1 0.2	402 92.4	20 4.6	3 0.7	- -	- -	- -	1 0.2	5 1.1
60代	383 100.0	2 0.5	- -	- -	3 0.8	- -	3 0.8	357 93.2	15 3.9	1 0.3	- -	- -	- -	- -	2 0.5
70歳以上	409 100.0	- -	- -	- -	5 1.2	- -	1 0.2	363 88.8	24 5.9	4 1.0	- -	- -	- -	2 0.5	10 2.4

	全 体	飯 館 村	福 島 市	伊 達 市	川 俣 町	相 馬 市	南 相 馬 市	国 見 町	二 本 松 市	郡 山 市	そ の 他	無 回 答
全 体	1743 100.0	23 1.3	952 54.6	178 10.2	112 6.4	104 6.0	92 5.3	22 1.3	22 1.3	10 0.6	44 2.5	184 10.6
10代	8 100.0	- -	2 25.0	2 25.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	1 12.5	3 37.5
20代	111 100.0	- -	55 49.5	7 6.3	5 4.5	7 6.3	4 3.6	- -	4 3.6	2 1.8	5 4.5	22 19.8
30代	164 100.0	- -	94 57.3	14 8.5	12 7.3	8 4.9	7 4.3	1 0.6	3 1.8	3 1.8	4 2.4	18 11.0
40代	224 100.0	2 0.9	144 64.3	16 7.1	16 7.1	7 3.1	7 3.1	1 0.4	4 1.8	- -	8 3.4	19 8.5
50代	435 100.0	2 0.5	230 52.9	42 9.7	35 8.0	31 7.1	38 8.7	4 0.9	7 1.6	1 0.2	8 1.7	37 8.5
60代	383 100.0	6 1.6	221 57.7	54 14.1	21 5.5	23 6.0	13 3.4	4 1.0	2 0.5	3 0.8	8 2.2	28 7.3
70歳以上	409 100.0	13 3.2	202 49.4	43 10.5	23 5.6	28 6.8	23 5.6	11 2.7	2 0.5	1 0.2	10 2.2	53 13.0

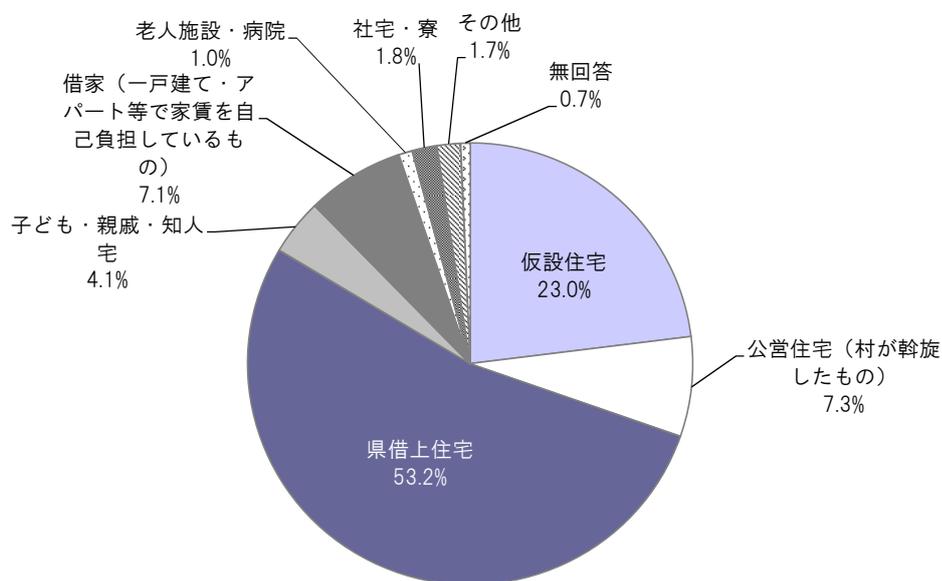
【設問】

Q7.避難後(現在)のお住まいは、どのような住居ですか。住宅の種類をお答えください。(1つに○印)

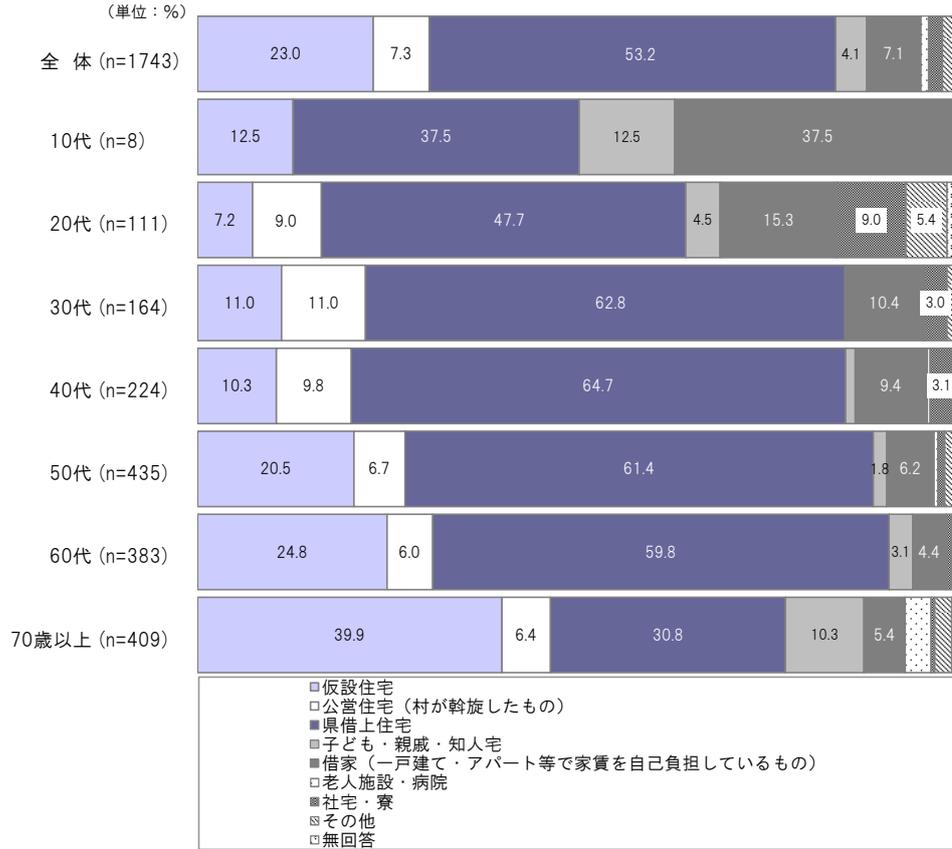
■ 結果の概要

- ・ 避難先の住居は、「県借上住宅」(53.2%)が最も多く、次いで「仮設住宅」(23.0%)となっている。
- ・ これを年代別に見ると、20代、30代、40代においては、仮設住宅の占める割合が低く、一方で、「借家(一戸建て・アパート等で家賃を自己負担)」の割合がやや高くなっている。また、70歳以上では、約4割が「仮設住宅」と回答している。
- ・ 避難先の住居の種類を、福島県内・県外で比較してみると、県外において「子ども・親戚・知人宅」(22.4%)、「借家(一戸建て・アパート等で家賃を自己負担)」(19.6%)の占める割合が多い。前者については、子どもや親戚・知人を頼ったために県外居住となったものと考えられる。一方、後者については、放射線に対する不安など何らかの理由で県外への避難を選択し、住居費用を自己負担せざるを得ない状況になっているものと推察される。

◆ 単純集計結果



◆ 回答世代別集計結果



◆ 集計表

	全体	仮設住宅	公営住宅 (村が斡旋したもの)	県借上住宅	子ども・親戚・知人宅	借家 (一戸建て・アパート等で家賃を自己負担しているもの)	老人施設・病院	社宅・寮	その他	無回答
全体	1743	401	128	928	72	124	17	31	30	12
	100.0	23.0	7.3	53.2	4.1	7.1	1.0	1.8	1.7	0.7
10代	8	1	-	3	1	3	-	-	-	-
	100.0	12.5	-	37.5	12.5	37.5	-	-	-	-
20代	111	8	10	53	5	17	-	10	6	2
	100.0	7.2	9.0	47.7	4.5	15.3	-	9.0	5.4	1.8
30代	164	18	18	103	-	17	-	5	3	-
	100.0	11.0	11.0	62.8	-	10.4	-	3.0	1.8	-
40代	224	23	22	145	3	21	1	7	2	-
	100.0	10.3	9.8	64.7	1.3	9.4	0.4	3.1	0.9	-
50代	435	89	29	267	8	27	2	4	7	2
	100.0	20.5	6.7	61.4	1.8	6.2	0.5	0.9	1.6	0.5
60代	383	95	23	229	12	17	-	3	3	1
	100.0	24.8	6.0	59.8	3.1	4.4	-	0.8	0.8	0.3
70歳以上	409	163	26	126	42	22	14	2	9	5
	100.0	39.9	6.4	30.8	10.3	5.4	3.4	0.5	2.2	1.2

クロス集計(【住居種別(避難先)】×【現在の住まい(県内・県外)】)

	全 体	仮 設 住 宅	公 営 住 宅 (村 が 幹 旋 し た も の)	県 借 上 住 宅	子 ど も ・ 親 戚 ・ 知 人 宅	借 家 (一 戸 建 て ・ ア パ ー ト 等 で 家 賃 を 自 己 負 担 し て い る も の)	老 人 施 設 ・ 病 院	社 宅 ・ 寮	そ の 他	無 回 答
全 体	1743 100.0	401 23.0	128 7.3	928 53.2	72 4.1	124 7.1	17 1.0	31 1.8	30 1.7	12 0.7
福島県内居住者	1576 100.0	390 24.7	111 7.0	894 56.7	40 2.5	95 6.0	8 0.5	14 0.9	19 1.2	5 0.3
福島県外居住者	143 100.0	1 0.7	17 11.9	26 18.2	32 22.4	28 19.6	8 5.6	17 11.9	11 7.7	3 2.1
不明	24 100.0	10 41.7	-	8 33.3	-	1 4.2	1 4.2	-	-	4 16.7

◆ 「その他」における自由記述

- ・自宅(9件)
- ・実家(2件)
- ・自費にて旅館に宿泊(2件)
- ・会社の事務所(寝泊まり可)
- ・鴨川青年の家(東洋育成園)
- ・社長宅の一部屋
- ・なるべく放射能数値が低い所を求めて
- ・西川病院
- ・病院
- ・ビル
- ・娘のアパート
- ・仮設住宅と子供の家に半々
- ・下宿
- ・店に寝ている。仮設も住宅アパート無し

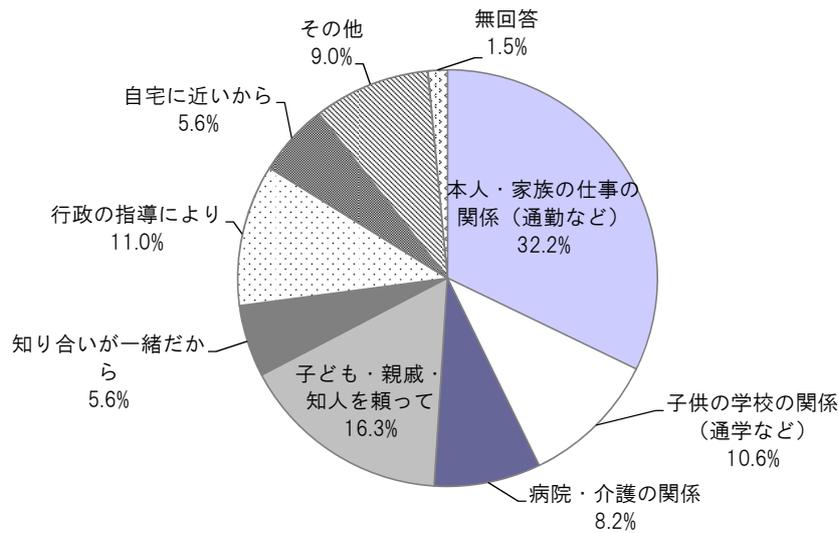
【設問】

Q8.その住まいは、どのように選ばれましたか。最も重要視した理由についてお答えください。(1つに○印)

■ 結果の概要

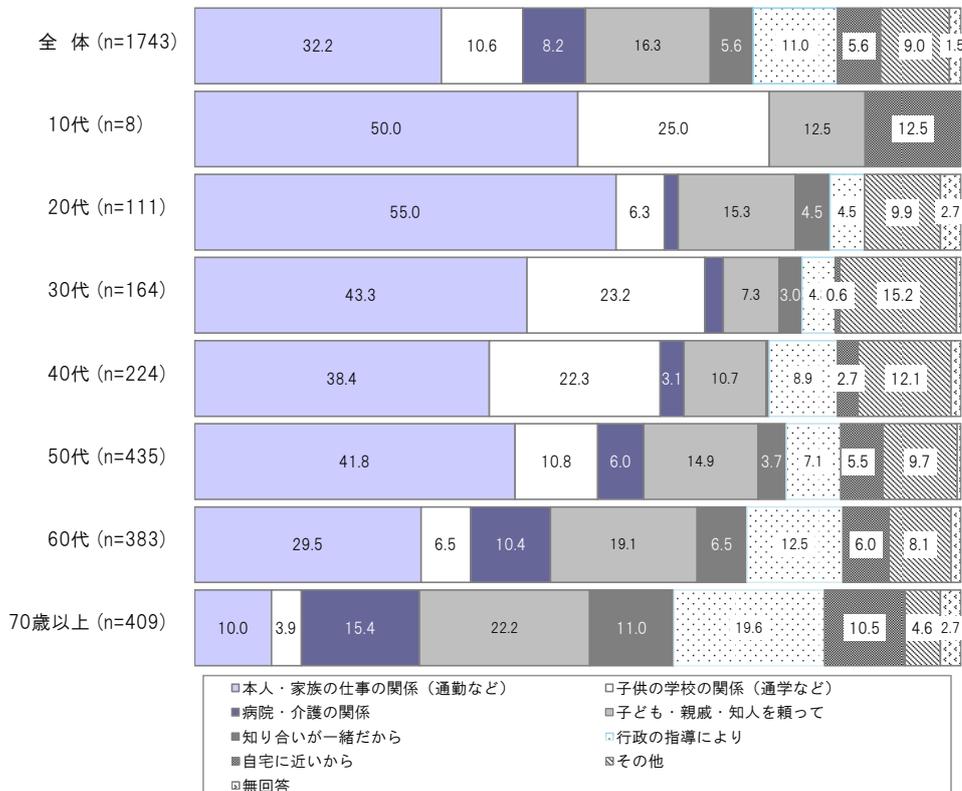
- ・避難先の住居の選定理由については、「本人・家族などの仕事の関係」という回答が32.3%と最も多く、次いで「子ども・親戚・知人を頼って」(16.3%)、「行政の指導により」(11.0%)、「子どもの学校の関係」(10.6%)となっている。
- ・これを年齢別に見ると、「本人・家族などの仕事の関係」という回答は、20代(55.5%)、30代(44.1%)、40代(38.4%)、50代(41.7%)と、就労世代において非常に多くなっている。また30代、40代では「子どもの学校の関係」という回答がそれぞれ約23%と他世代に比較して多くなっている。
- ・避難先の場所別(福島県内・県外)で見ると、福島県外の回答者は、「子ども・親戚・知人を頼って」との回答が41.1%と多くなっており、このことから、県外への避難が子ども等を頼ったものであることがわかる。

◆ 単純集計結果



◆ 回答世代別集計結果

(単位: %)



◆ 集計表

	全 体	本人・ 家族の 仕事の 関係（ 通勤 など）	子 供の 学 校 の 関 係 （ 通 学 な ど）	病 院 ・ 介 護 の 関 係	子 ど も ・ 親 戚 ・ 知 人 を 頼 っ て	知 り 合 い が 一 緒 だ か ら	行 政 の 指 導 に よ り	自 宅 に 近 い か ら	そ の 他	無 回 答
全 体	1743 100.0	562 32.2	185 10.6	143 8.2	284 16.3	97 5.6	191 11.0	98 5.6	156 9.0	27 1.5
10代	8 100.0	4 50.0	2 25.0	-	1 12.5	-	-	1 12.5	-	-
20代	111 100.0	61 55.0	7 6.3	2 1.8	17 15.3	5 4.5	5 4.5	-	11 9.9	3 2.7
30代	164 100.0	71 43.3	38 23.2	4 2.4	12 7.3	5 3.0	7 4.3	1 0.6	25 15.2	1 0.6
40代	224 100.0	86 38.4	50 22.3	7 3.1	24 10.7	1 0.4	20 8.9	6 2.7	27 12.1	3 1.3
50代	435 100.0	182 41.8	47 10.8	26 6.0	65 14.9	16 3.7	31 7.1	24 5.5	42 9.7	2 0.5
60代	383 100.0	113 29.5	25 6.5	40 10.4	73 19.1	25 6.5	48 12.5	23 6.0	31 8.1	5 1.3
70歳以上	409 100.0	41 10.0	16 3.9	63 15.4	91 22.2	45 11.0	80 19.6	43 10.5	19 4.6	11 2.7

クロス集計(【避難先の選定理由】×【現在の住まい(県内・県外)】)

	全 体	本人・ 家族の 仕事の 関係（ 通勤 など）	子 供の 学 校 の 関 係 （ 通 学 な ど）	病 院 ・ 介 護 の 関 係	子 ど も ・ 親 戚 ・ 知 人 を 頼 っ て	知 り 合 い が 一 緒 だ か ら	行 政 の 指 導 に よ り	自 宅 に 近 い か ら	そ の 他	無 回 答
全 体	1743 100.0	562 32.2	185 10.6	143 8.2	284 16.3	97 5.6	191 11.0	98 5.6	156 9.0	27 1.5
福島県内居住者	1576 100.0	528 33.5	174 11.0	129 8.2	223 14.1	88 5.6	185 11.7	97 6.2	133 8.4	19 1.2
福島県外居住者	143 100.0	28 19.6	9 6.3	13 9.1	58 40.6	4 2.8	6 4.2	-	21 14.7	4 2.8
不明	24 100.0	6 25.0	2 8.3	1 4.2	3 12.5	5 20.8	-	1 4.2	2 8.3	4 16.7

◆ 「その他」における自由記述

<ul style="list-style-type: none"> ・ペットと一緒に住みかかったから(18件) ・家族の近くにいたから(15件) ・空気がなかったから(15件) ・放射線の影響が少ないから(12件) ・自分で探した(8件) ・行政の斡旋住宅に入れなかったから(5件) ・交通や買い物の利便性(4件) ・急いでいたから(4件) ・自宅だから(3件) ・不動産の紹介(3件) ・放射線の影響が少ないから(3件) ・間取りの広さ(3件) ・行くところが無かったから(2件) ・借上げ住宅が、不便だから(2件) ・費用が安く済みそうだったから(2件) ・子どもの健康を考えて(2件) ・(役場では線量の高い方から避難させますと言うことお信じていましたが役場よりTELは6月3日でした。相馬に入ると言うTELでした。)※線量が高いのに役場で行き先を見つけてくれないので自分でさがし、速くて便が悪いけど自分で見つけました。当時、家の前で11.8μSv、家の中で6.8μSvでした。(行く場所がないため。) ・1人で生活したいから ・以前から利用していたから ・色んな事を考えて ・インターネットで空いていたから ・各部屋がプライバシーが守れ、ストレスがなるべく少ない広さを重視(2年も暮す為) ・柏市で入居者募集していた(被災者限定) ・鴨川青年の家(東洋育成園) ・子供が産まれるため ・埼玉県借上住宅の抽選ではずれたが、キャンセルがあり、狭山市から声をかけていただき入居可能になりました ・地震前に引っ越し場所だった所

- ・自分のため
- ・少しでも安全な所へ
- ・ただ住居が必要だった
- ・駐車場がアパート敷地内に2コあること
- ・年老いた母のためと思って探しましたが満足するような所はありませんでした。
- ・長泥より出ると言われて、したがつたため。(6月までにはなれとのこと)自分達でさがした。
- ・なかなか探しに行けなくおそくなりインターネットで決めた
- ・永年利用していたから
- ・農地確保し、その場所に近い
- ・広島に呼んで頂いた財団法人の斡旋
- ・部落が1つになれるところ
- ・ボランティアの人の住宅賃貸の申し出より
- ・南相馬市の大町病院から震災後搬送
- ・無職で中々入居できなかった。無職でいいですよといわれたら入居しました。
- ・村の斡旋を待っていてもいつになるか分からないことを予測していたため、宮城県、栃木県内も含めて住宅を探しているところ、現在の都営アパートが避難者への入居を提供していることを自分で捜し当てて、当選した。やはり村の災害本部等を待っていても予測していたとおりであった
- ・村の人の多い所
- ・役場に何度も何度も足を運んだ
- ・引越が一度で済むから
- ・仕事が忙しくてアパートとかさがせなかつたので仮設を申しこんでいた。
- ・私は重度障害者であるため
- ・子供(孫)の面倒を見るため(出来るだけ家族は近くに)
- ・介護の母がいて家族が多いため
- ・家族の職業訓練のため
- ・なるべく役場から近く、県内で土上の線量が低く(0.5以下8月で)震災後に立ったアパートだったため、ある程度は土の埋め立てがされて、子供にも影響が少ないと思ったから。
- ・縁があり、自然環境を考えてきめた

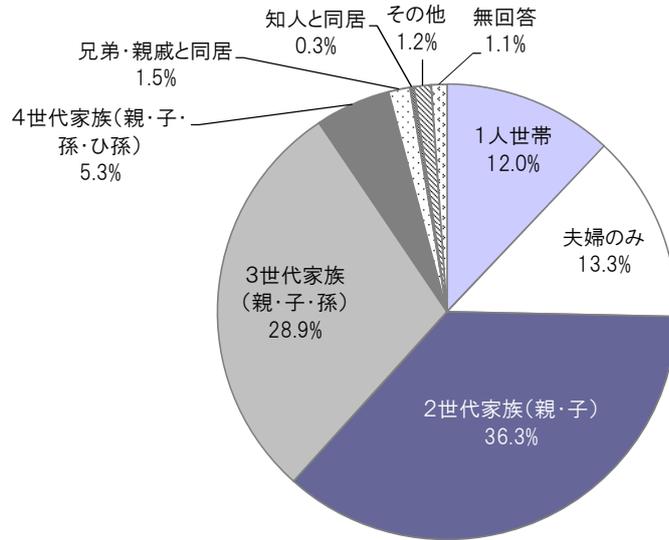
【設問】

Q9.避難前に同居されていたご家族の家族構成についてお答えください。(1つに○印)

■ 結果の概要

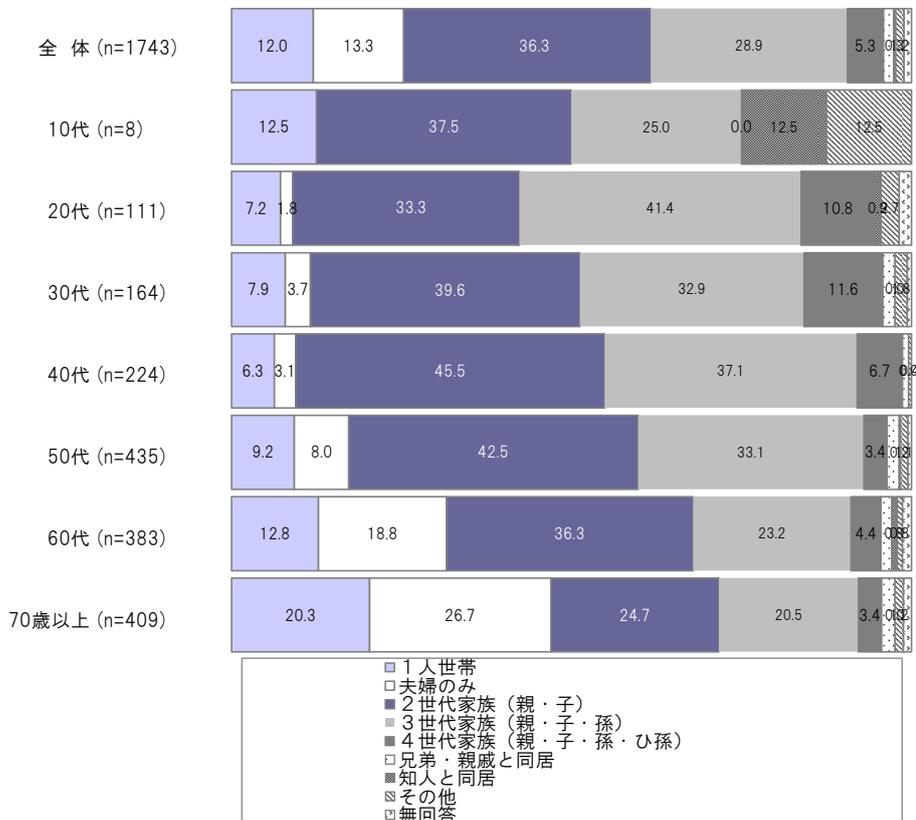
- ・ 避難前の家族構成は、「2世代家族」が36.3%と最も多く、次いで、「3世代家族」(28.9%)、「夫婦のみ」(13.3%)、「1人世帯」(12.0%)の順となっている。
- ・ これを年齢別に見ると、60代、70歳以上では、「1人世帯」「夫婦のみ」世帯が多くなる傾向にあるものの、2～4世代家族であったとの回答も合計すると半数近くを超えている。

◆ 単純集計結果



◆ 回答世代別集計結果

(単位: %)



◆ 集計表

	全 体	1 人 世 帯	夫 婦 の み	子 2 世 代 家 族 （ 親 ・ 子 ）	子 3 世 代 家 族 （ 親 ・ 子 ・ 孫 ）	子 4 世 代 家 族 （ 親 ・ 子 ・ 孫 ・ ひ 孫 ）	兄 弟 ・ 親 戚 と 同 居	知 人 と 同 居	そ の 他	無 回 答
全 体	1743 100.0	210 12.0	231 13.3	632 36.3	504 28.9	93 5.3	27 1.5	6 0.3	21 1.2	19 1.1
10代	8 100.0	1 12.5	-	3 37.5	2 25.0	-	-	1 12.5	1 12.5	-
20代	111 100.0	8 7.2	2 1.8	37 33.3	46 41.4	12 10.8	-	1 0.9	3 2.7	2 1.8
30代	164 100.0	13 7.9	6 3.7	65 39.6	54 32.9	19 11.6	3 1.8	-	3 1.8	1 0.6
40代	224 100.0	14 6.3	7 3.1	102 45.5	83 37.1	15 6.7	2 0.9	-	1 0.4	-
50代	435 100.0	40 9.2	35 8.0	185 42.5	144 33.1	15 3.4	8 1.8	1 0.2	5 1.1	2 0.5
60代	383 100.0	49 12.8	72 18.8	139 36.3	89 23.2	17 4.4	6 1.6	3 0.8	3 0.8	5 1.3
70歳以上	409 100.0	83 20.3	109 26.7	101 24.7	84 20.5	14 3.4	8 2.0	-	5 1.2	5 1.2

◆ 「その他」における自由記述

<ul style="list-style-type: none"> ・3世代家族と父の妹2人 ・親、兄弟夫婦と同居 ・世代ごとに生活 ・2世代家族(親と子孫といとこ) ・夫婦と孫二人 ・本人と孫の2人世帯 ・本人、孫、ひ孫 ・2人 ・祖父母、弟 ・家族と母の弟 ・祖父母、姉家族、自分 ・夫婦と夫の叔母 ・入院前は孫夫婦と住む ・妻の祖父、妻の両親、妻の兄家族と同居 ・親、子、孫、姉夫婦と子
--

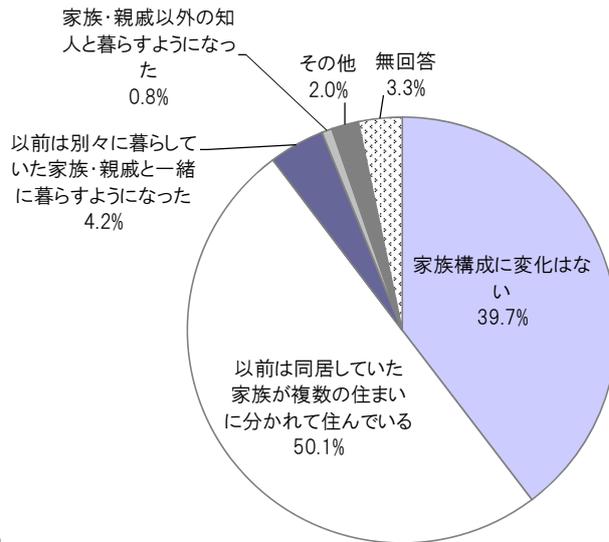
【設問】

Q10.避難によって、同居されているご家族の家族構成に変化はありましたか。避難前と避難後（現在）を比較してお答えください。（1つに○印）

■ 結果の概要

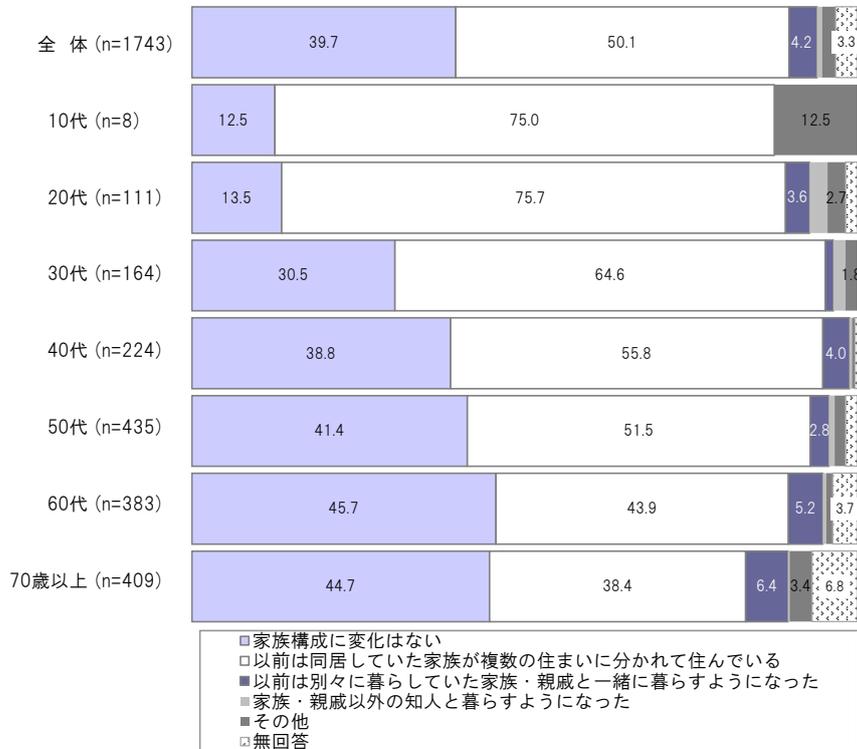
- ・避難後の家族構成については、50.1%と約半数が「以前は同居していた家族が複数の住まいに別れて住んでいる」と回答している。複数の分かれた家族のいずれもが本調査に回答している可能性があるため、この数値そのものが複数の住まいに分かれた家族の数を表しているわけではないが、災害による避難の影響で、複数の住居に別れて住まう家族がかなり多いことが伺える。
- ・避難前の家族構成別に見ると、「以前は同居していた家族が複数の住まいに別れて住んでいる」という回答は、「3世代家族」(79.4%)、「4世代家族」(84.9%)に非常に多くなっている。この災害による避難を通じて、飯館村の特徴でもあった多世代同居が減少したことがわかる。

◆ 単純集計結果



◆ 回答世代別集計結果

(単位：%)



◆ 集計表

	全 体	家 族 構 成 に 変 化 は な い	以 前 は 同 居 し て い た が 分 か れ て 住 ま な か つ た	以 前 は 同 居 し て い た が 分 か れ て 住 ま な か つ た	以 前 は 同 居 し て い た が 分 か れ て 住 ま な か つ た	以 前 は 同 居 し て い た が 分 か れ て 住 ま な か つ た	以 前 は 同 居 し て い た が 分 か れ て 住 ま な か つ た	無 回 答
全 体	1743 100.0	692 39.7	873 50.1	73 4.2	14 0.8	34 2.0	57 3.3	
10代	8 100.0	1 12.5	6 75.0	-	-	1 12.5	-	
20代	111 100.0	15 13.5	84 75.7	4 3.6	3 2.7	3 2.7	2 1.8	
30代	164 100.0	50 30.5	106 64.6	2 1.2	3 1.8	3 1.8	-	
40代	224 100.0	87 38.8	125 55.8	9 4.0	1 0.4	1 0.4	1 0.4	
50代	435 100.0	180 41.4	224 51.5	12 2.8	4 0.9	7 1.6	8 1.8	
60代	383 100.0	175 45.7	168 43.9	20 5.2	2 0.5	4 1.0	14 3.7	
70歳以上	409 100.0	183 44.7	157 38.4	26 6.4	1 0.2	14 3.4	28 6.8	

クロス集計(家族構成【避難後】×家族構成【避難前】)

		家族構成【避難後】							
		全 体	家 族 構 成 に 変 化 は な い	以 前 は 同 居 し て い た が 分 か れ て 住 ま な か つ た	以 前 は 同 居 し て い た が 分 か れ て 住 ま な か つ た	以 前 は 同 居 し て い た が 分 か れ て 住 ま な か つ た	以 前 は 同 居 し て い た が 分 か れ て 住 ま な か つ た	以 前 は 同 居 し て い た が 分 か れ て 住 ま な か つ た	無 回 答
家 族 構 成 【 避 難 前 】	全 体	1743 100.0	692 39.7	873 50.1	73 4.2	14 0.8	34 2.0	57 3.3	
	1人世帯	210 100.0	119 56.7	27 12.9	28 13.3	4 1.9	5 2.4	27 12.9	
	夫婦のみ	231 100.0	171 74.0	31 13.4	18 7.8	1 0.4	4 1.7	6 2.6	
	2世代家族 (親・子)	632 100.0	284 44.9	310 49.1	21 3.3	2 0.3	9 1.4	6 0.9	
	3世代家族 (親・子・孫)	504 100.0	91 18.1	400 79.4	2 0.4	4 0.8	6 1.2	1 0.2	
	4世代家族 (親・子・孫・ ひ孫)	93 100.0	10 10.8	79 84.9	-	1 1.1	2 2.2	1 1.1	
	兄弟・親戚と 同居	27 100.0	10 37.0	11 40.7	-	1 3.7	3 11.1	2 7.4	
	知人と同居	6 100.0	2 33.3	2 33.3	1 16.7	1 16.7	-	-	
	その他	21 100.0	4 19.0	10 47.6	2 9.5	-	5 23.8	-	

◆ 「その他」における自由記述

・家族が死亡(9件)
 ・結婚した(4件)
 ・1人暮らしになった
 ・93才母が、特養にショートであづかってもらってる
 ・介護老人ホームへ入った。
 ・仮設住宅がいやになった。
 ・祖母が3/7に入院、5/末に施設に入った
 ・祖母を老人ホームにあずけた
 ・大学に通学するため一人暮らし
 ・避難先で同居がむずかしくなった
 ・息子と暮らしていたが、別々になり須賀川の娘と暮らす事になった
 ・娘がぐあいわるくなり鳥松の村上病院に入院した
 ・娘の所に世話になって幸せに暮らしているが最近転んでばかりいて背中が痛くて困っている。骨粗鬆と言われた
 ・同じ所に居るが部屋が違ったので居、食、住が別になった。でも普通の日は、孫を見ている

【設問】

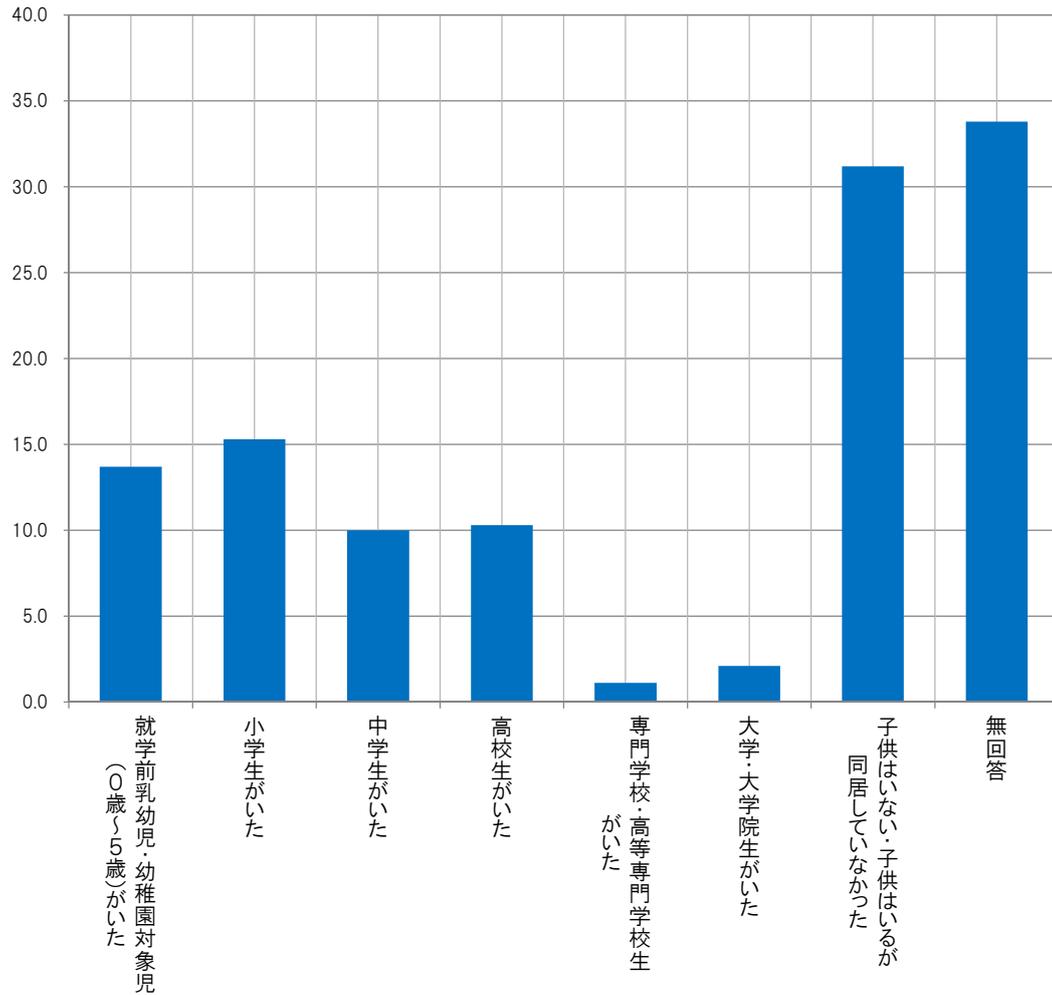
Q11.避難前に、同居されていたお子さん(修学前の乳幼児や、修学している児童・生徒・学生など)はいましたか。(あてはまるものすべてに○印)

■ 結果の概要

- ・ 避難前に子どもと同居していたという回答は、「未就学児」(13.7%)、「小学生」(15.3%)、「中学生」(10.0%)、「高校生」(10.3%)などとなっている。
- ・ 現在の住まい(福島県内・県外)別に見ると、福島県外に避難している回答者に「未就学児」(21.0%)、「小学生」(18.9%)と同居していたという割合が高い。

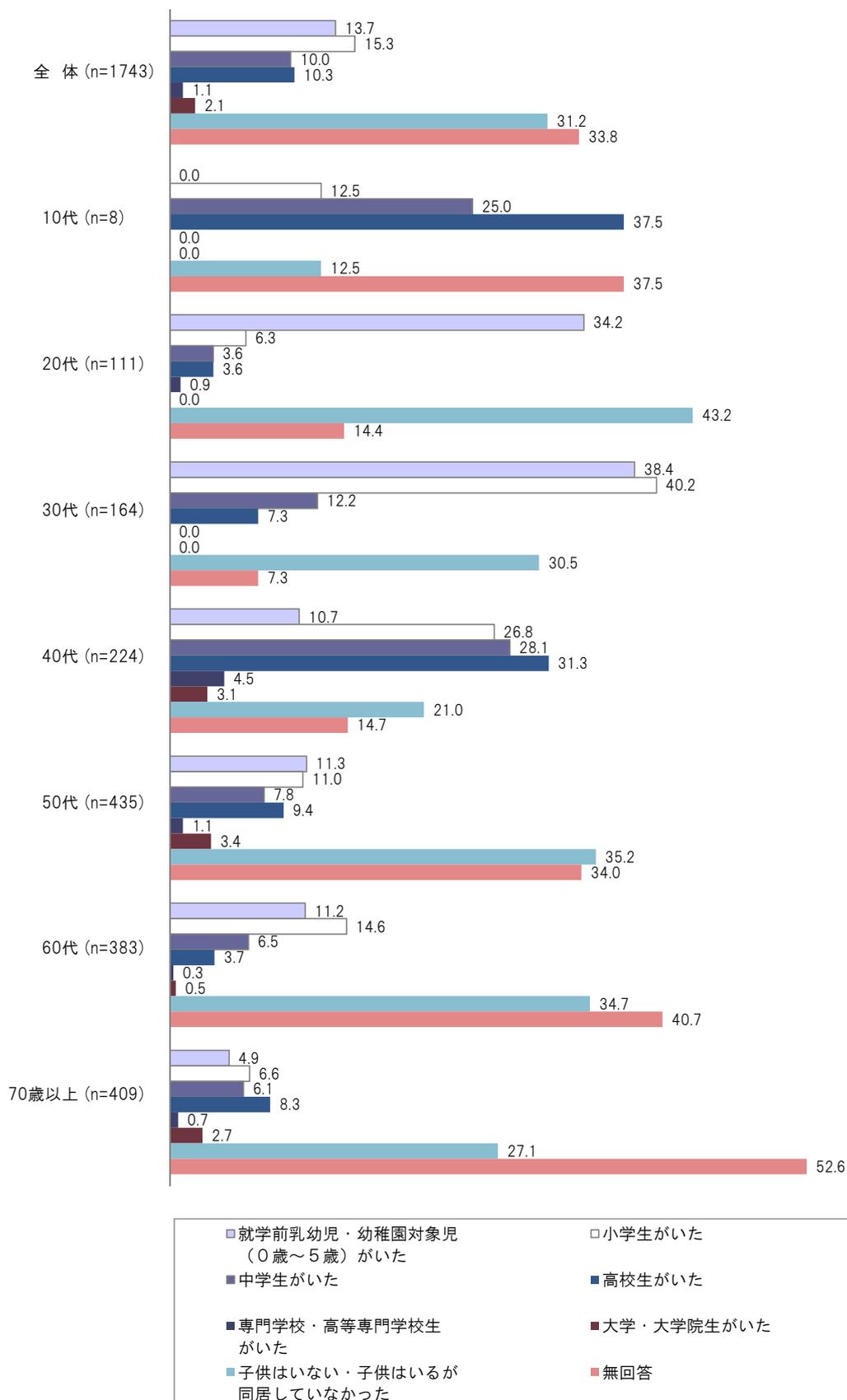
◆ 単純集計結果

(単位:%)



◆ 回答世代別集計結果

(単位:%)



◆ 集計表

	全 体	(0歳 前乳 幼児)・幼 稚園 対象 児	小 学 生 が い た	中 学 生 が い た	高 校 生 が い た	が 専 門 学 校 ・ 高 等 専 門 学 校 生 が い た	大 学 ・ 大 学 院 生 が い た	同 居 し て い な い ・ 子 供 は い る が	無 回 答
全 体	1743 100.0	238 13.7	266 15.3	174 10.0	179 10.3	20 1.1	36 2.1	544 31.2	589 33.8
10代	8 100.0	-	1 12.5	2 25.0	3 37.5	-	-	1 12.5	3 37.5
20代	111 100.0	38 34.2	7 6.3	4 3.6	4 3.6	1 0.9	-	48 43.2	16 14.4
30代	164 100.0	63 38.4	66 40.2	20 12.2	12 7.3	-	-	50 30.5	12 7.3
40代	224 100.0	24 10.7	60 26.8	63 28.1	70 31.3	10 4.5	7 3.1	47 21.0	33 14.7
50代	435 100.0	49 11.3	48 11.0	34 7.8	41 9.4	5 1.1	15 3.4	153 35.2	148 34.0
60代	383 100.0	43 11.2	56 14.6	25 6.5	14 3.7	1 0.3	2 0.5	133 34.7	156 40.7
70歳以上	409 100.0	20 4.9	27 6.6	25 6.1	34 8.3	3 0.7	11 2.7	111 27.1	215 52.6

クロス集計(【避難先の選定理由】×【現在の住まい(県内・県外)】)

	全 体	(0歳 前乳 幼児)・幼 稚園 対象 児	小 学 生 が い た	中 学 生 が い た	高 校 生 が い た	が 専 門 学 校 ・ 高 等 専 門 学 校 生 が い た	大 学 ・ 大 学 院 生 が い た	同 居 し て い な い ・ 子 供 は い る が	無 回 答
全 体	1743 100.0	238 13.7	266 15.3	174 10.0	179 10.3	20 1.1	36 2.1	544 31.2	589 33.8
福島県内居住者	1576 100.0	206 13.1	238 15.1	165 10.5	167 10.6	20 1.3	33 2.1	490 31.1	529 33.6
福島県外居住者	143 100.0	30 21.0	27 18.9	8 5.6	11 7.7	-	3 2.1	51 35.7	43 30.1
不明	24 100.0	2 8.3	1 4.2	1 4.2	1 4.2	-	-	3 12.5	17 70.8

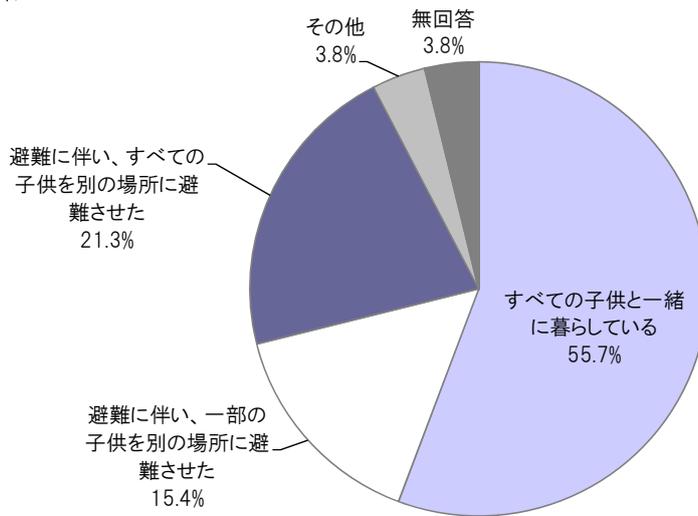
【設問】

Q11.1 [上記で1～6にひとつでも○をつけた方に伺います] 避難前に同居されていたお子さんは、現在はどうされていますか。(1つに○印)

■ 結果の概要

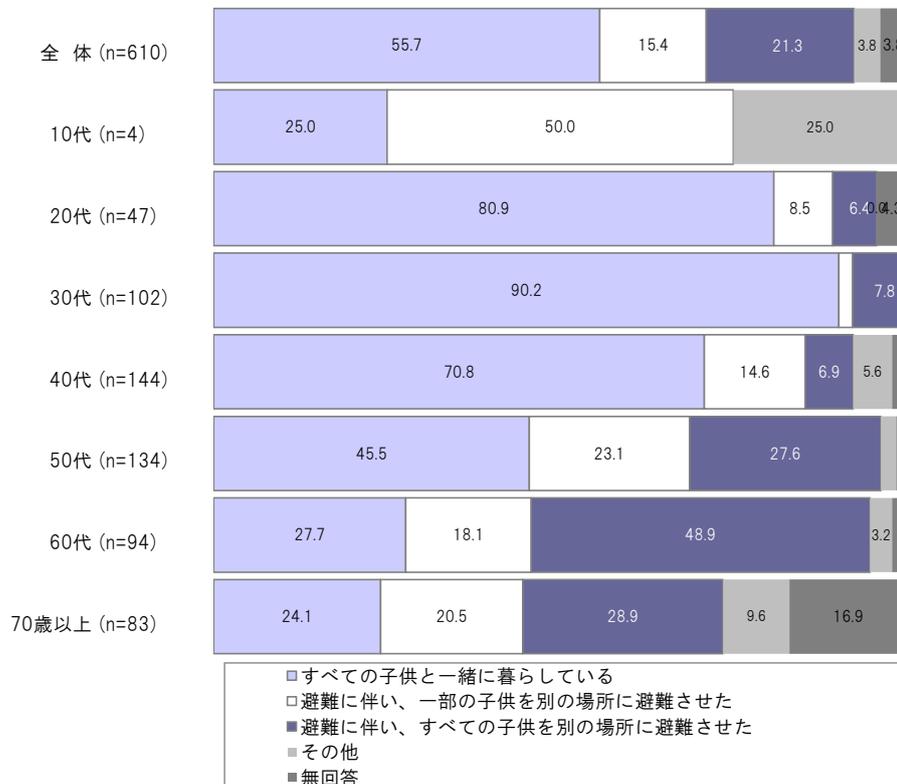
- ・ 避難前に同居していた子どもがいる方に、避難後の子どもとの同居状況を尋ねたところ、「すべての子どもと一緒に暮らしている」との回答は全体の55.7%に留まり、「一部の子どもを別の場所に避難させた」(15.4%)、「すべての子どもを別の場所に避難させた」(21.3%)と、子どもを別に避難させたという回答が合わせて36%を超える結果となった。
- ・ これを避難前に同居していた子どもの年代別に見ると、高校生と同居していた回答者において、「すべての子どもと一緒に暮らしている」という回答がやや少なく、「一部の子どもを別の場所に避難させた」という回答がやや多くなっている。高校生の場合には、子どものみを別の場所に避難させた場合があることが推察される。

◆ 単純集計結果



◆ 回答世代別集計結果

(単位：%)



◆ 集計表

	全 体	て す べ て の 子 供 と 一 緒 に 暮 ら し て い る	の 避 難 所 に 伴 い 、 一 部 の 子 供 を 別 避 難 所 に 避 難 さ せ た	別 避 難 所 に 伴 い 、 す べ て の 子 供 を 別 避 難 所 に 避 難 さ せ た	そ の 他	無 回 答
全 体	610 100.0	340 55.7	94 15.4	130 21.3	23 3.8	23 3.8
10代	4 100.0	1 25.0	2 50.0	-	1 25.0	-
20代	47 100.0	38 80.9	4 8.5	3 6.4	-	2 4.3
30代	102 100.0	92 90.2	2 2.0	8 7.8	-	-
40代	144 100.0	102 70.8	21 14.6	10 6.9	8 5.6	3 2.1
50代	134 100.0	61 45.5	31 23.1	37 27.6	3 2.2	2 1.5
60代	94 100.0	26 27.7	17 18.1	46 48.9	3 3.2	2 2.1
70歳以上	83 100.0	20 24.1	17 20.5	24 28.9	8 9.6	14 16.9

クロス集計(子どもの同居【避難後】×子どもの同居【避難前】)

	全 体	て す べ て の 子 供 と 一 緒 に 暮 ら し て い る	の 避 難 所 に 伴 い 、 一 部 の 子 供 を 別 避 難 所 に 避 難 さ せ た	別 避 難 所 に 伴 い 、 す べ て の 子 供 を 別 避 難 所 に 避 難 さ せ た	そ の 他	無 回 答
全 体	610 100.0	340 55.7	94 15.4	130 21.3	23 3.8	23 3.8
就学前乳幼児・幼稚園対象児(0歳~5歳)がいた	238 100.0	144 60.5	28 11.8	58 24.4	2 0.8	6 2.5
小学生がいた	265 100.0	153 57.7	34 12.8	68 25.7	4 1.5	6 2.3
中学生がいた	174 100.0	97 55.7	32 18.4	30 17.2	6 3.4	9 5.2
高校生がいた	177 100.0	86 48.6	45 25.4	27 15.3	11 6.2	8 4.5
専門学校・高等専門学校がいた	20 100.0	8 40.0	3 15.0	7 35.0	2 10.0	-
大学・大学院がいた	36 100.0	4 11.1	14 38.9	10 27.8	5 13.9	3 8.3
子供はいない・子供はいるが同居していなかった	- -	- -	- -	- -	- -	- -

◆ 「その他」における自由記述

<ul style="list-style-type: none"> ・大学・短大通学中のため別居(7件) ・いずみ養護学校に入学中 ・弟(中学生)は親と暮らしています ・神奈川県就職 ・成人に他所に居住 ・大学生は他県へ進学、高校生は同居 ・中退させた ・平日は寮生活。休日は自宅 ・本人が施設入所した ・孫と同居 ・学校通学の為に近くの借上アパートに妻と一緒に住んでいる ・休日だけ一緒に暮らしてる ・避難前は小学生1人と同居であったが、今は高校生が転校し一緒に同居している ・子供夫婦と孫が別居 ・別々の賃貸住宅に暮している
--

2. 2 避難先の生活に関する調査結果

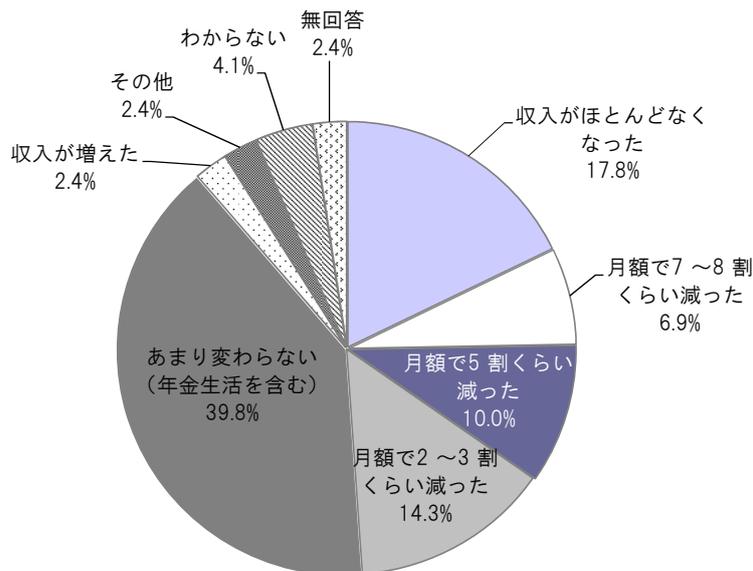
【設問】

Q12.避難前と比べて、現在の収入(世帯の合計)はどうなりましたか。(1つに○印)

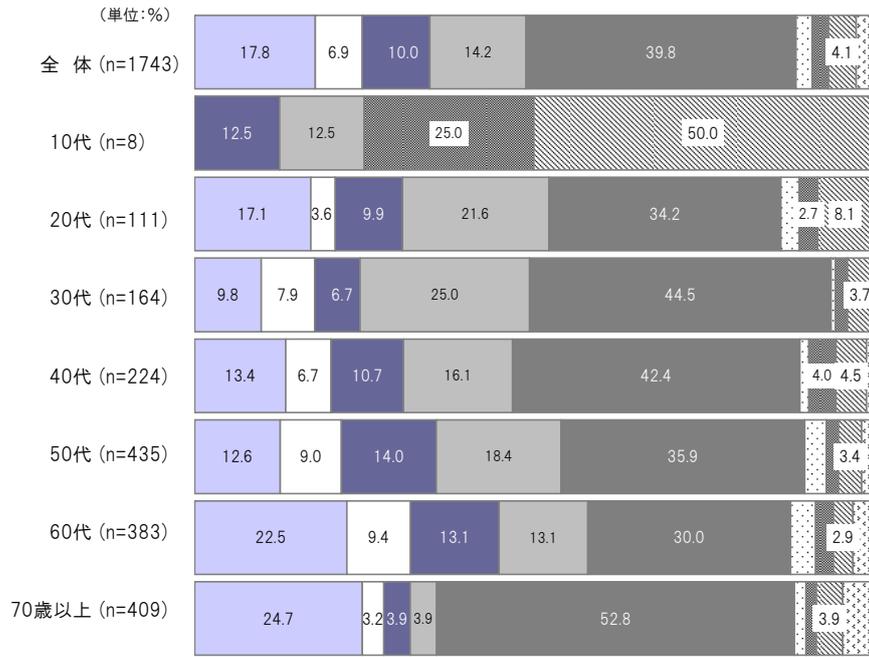
■ 結果の概要

- ・世帯収入が避難前と比べて「あまり変わらない(年金生活を含む)」とした回答は全体で4割に留まり、全体の半数近く(48.9%)が程度の差こそあれ月額での収入が減ったと回答している。中でも、「収入がほとんどなくなった」という回答は17.8%に及んだ。
- ・避難前の職業別に見ると、「収入がほとんどなくなった」という回答は、「自営業」(31.5%)、「パート・アルバイト・派遣社員」(22.1%)に目立つ。月額での減少割合はさまざまではあるが、「自営業」においては計70.9%、「パート・アルバイト・派遣社員」においては計62.2%が、収入減に直面している。また、「あまり変わらない」という回答が43.6%を占める「会社員・会社役員」においても、約半数(50.1%)が何らかの割合で月額収入が減ったと回答しており、減収割合こそ高くはないものの、広く影響を受けていることがわかる。
- ・業種別に見ると、特に「農林漁業」において「収入がほとんどなくなった」という回答が34.0%となっており、これを含めて何らかの収入減少があった割合は計74.6%に上っている。
- ・「その他」における自由記述を見ると、「農業収入が減った」という回答が30代、40代、60代、70代以上の回答者にあり、専業・兼業ともに農業に従事する村民が影響を受けていることがわかる。

◆ 単純集計結果



◆ 回答世代別集計結果



- 収入がほとんどなくなった
- 月額で5割くらい減った
- あまり変わらない (年金生活を含む)
- その他
- 無回答
- 月額で7~8割くらい減った
- 月額で2~3割くらい減った
- 収入が増えた
- わからない

◆ 集計表

	全体	収入がほとんどなくなった	月額で7割くらい減った	月額で5割くらい減った	月額で2割くらい減った	(あまり変わらない (年金生活を含む))	収入が増えた	その他	わからない	無回答
全体	1743	311	120	174	248	694	42	41	71	42
	100.0	17.8	6.9	10.0	14.2	39.8	2.4	2.4	4.1	2.4
10代	8	-	-	1	1	-	-	2	4	-
	100.0	-	-	12.5	12.5	-	-	25.0	50.0	-
20代	111	19	4	11	24	38	3	3	9	-
	100.0	17.1	3.6	9.9	21.6	34.2	2.7	2.7	8.1	-
30代	164	16	13	11	41	73	1	3	6	-
	100.0	9.8	7.9	6.7	25.0	44.5	0.6	1.8	3.7	-
40代	224	30	15	24	36	95	3	9	10	2
	100.0	13.4	6.7	10.7	16.1	42.4	1.3	4.0	4.5	0.9
50代	435	55	39	61	80	156	14	8	15	7
	100.0	12.6	9.0	14.0	18.4	35.9	3.2	1.8	3.4	1.6
60代	383	86	36	50	50	115	14	10	11	11
	100.0	22.5	9.4	13.1	13.1	30.0	3.7	2.6	2.9	2.9
70歳以上	409	101	13	16	16	216	7	6	16	18
	100.0	24.7	3.2	3.9	3.9	52.8	1.7	1.5	3.9	4.4

クロス集計(【避難前と今の収入の増減】×【現在の住まい(県内・県外)】)

	全体	収入がほとんどなくなった	月額で7割くらい減った	月額で5割くらい減った	月額で2割くらい減った	(あまり変わらない (年金生活を含む))	収入が増えた	その他	わからない	無回答
全体	1743	311	120	174	248	694	42	41	71	42
	100.0	17.8	6.9	10.0	14.2	39.8	2.4	2.4	4.1	2.4
福島県内居住者	1576	278	111	158	234	629	38	32	61	35
	100.0	17.6	7.0	10.0	14.8	39.9	2.4	2.0	3.9	2.2
福島県外居住者	143	26	8	15	14	55	4	9	8	4
	100.0	18.2	5.6	10.5	9.8	38.5	2.8	6.3	5.6	2.8
不明	24	7	1	1	-	10	-	-	2	3
	100.0	29.2	4.2	4.2	-	41.7	-	-	8.3	12.5

クロス集計(【避難前と今の収入の増減】×【職業(避難前)】)

	全 体	な 収 入 が ほ と ん ど な く	ら い 減 つ た く 8 割 く	減 月 つ 額 で 5 割 く ら い	ら い 減 つ た く 3 割 く	(あ ま り 変 わ ら な い 年 金 生 活 を 含 む)	収 入 が 増 え た	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
全 体	1743 100.0	311 17.8	120 6.9	174 10.0	248 14.2	694 39.8	42 2.4	41 2.4	71 4.1	42 2.4
自営業	391 100.0	123 31.5	52 13.3	56 14.3	46 11.8	72 18.4	12 3.1	7 1.8	15 3.8	8 2.0
会社員・会社役員	551 100.0	43 7.8	39 7.1	63 11.4	131 23.8	240 43.6	9 1.6	9 1.6	15 2.7	2 0.4
公務員・団体職員・教員	110 100.0	6 5.5	3 2.7	9 8.2	11 10.0	68 61.8	3 2.7	7 6.4	3 2.7	-
パート・アルバイト・派遣社員	122 100.0	27 22.1	7 5.7	17 13.9	25 20.5	36 29.5	2 1.6	6 4.9	2 1.6	-
学生	9 100.0	-	-	1 11.1	-	1 11.1	-	3 33.3	4 44.4	-
無職(年金受給あり)	370 100.0	60 16.2	5 1.4	10 2.7	15 4.1	229 61.9	10 2.7	5 1.4	18 4.9	18 4.9
無職(年金以外の収入あり)	37 100.0	7 18.9	4 10.8	7 18.9	6 16.2	10 27.0	2 5.4	-	-	1 2.7
無職(無収入)	101 100.0	32 31.7	5 5.0	6 5.9	10 9.9	22 21.8	4 4.0	3 3.0	12 11.9	7 6.9
その他	22 100.0	6 27.3	1 4.5	2 9.1	3 13.6	7 31.8	-	1 4.5	1 4.5	1 4.5

クロス集計(【避難前と今の収入の増減】×【職業業種(避難前)】)

	全 体	な 収 入 が ほ と ん ど な く	ら い 減 つ た く 8 割 く	減 月 つ 額 で 5 割 く ら い	ら い 減 つ た く 3 割 く	(あ ま り 変 わ ら な い 年 金 生 活 を 含 む)	収 入 が 増 え た	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
全 体	1174 100.0	199 17.0	101 8.6	145 12.4	213 18.1	416 35.4	26 2.2	29 2.5	35 3.0	10 0.9
農林漁業	300 100.0	102 34.0	39 13.0	46 15.3	37 12.3	46 15.3	9 3.0	8 2.7	7 2.3	6 2.0
電気・ガス・水道業	24 100.0	1 4.2	3 12.5	1 4.2	4 16.7	14 58.3	-	-	1 4.2	-
製造業	248 100.0	18 7.3	13 5.2	28 11.3	51 20.6	121 48.8	3 1.2	4 1.6	9 3.6	1 0.4
建設業	224 100.0	20 8.9	15 6.7	28 12.5	59 26.3	85 37.9	6 2.7	1 0.4	8 3.6	2 0.9
運輸業	43 100.0	2 4.7	1 2.3	7 16.3	11 25.6	20 46.5	-	1 2.3	1 2.3	-
通信業	2 100.0	-	-	1 50.0	-	1 50.0	-	-	-	-
卸売・小売・飲食業	43 100.0	10 23.3	7 16.3	5 11.6	7 16.3	10 23.3	1 2.3	2 4.7	1 2.3	-
金融・保険業	11 100.0	1 9.1	-	1 9.1	1 9.1	8 72.7	-	-	-	-
不動産業	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-	-
他のサービス業	132 100.0	28 21.2	11 8.3	20 15.2	24 18.2	39 29.5	2 1.5	6 4.5	2 1.5	-
その他	103 100.0	11 10.7	5 4.9	6 5.8	13 12.6	55 53.4	3 2.9	6 5.8	4 3.9	-

◆ 「その他」における自由記述

<p>【10代の回答者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生なので ・震災後に就職した
<p>【20代の回答者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1割くらい減った ・月額が変わらないがボーナスがなくなった ・避難後から働いたので収入が比べられない
<p>【30代の回答者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業収入が減った ・仕事も始めて一ヶ月なのでまだ判断出来ない
<p>【40代の回答者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業収入が減った(3件) ・収入は減った。 ・生活保護を受けている。 ・月額は変わらないがボーナスがなくなった ・パート収入だけが減った ・分散しているので収入は減っている
<p>【50代の回答者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・失業保険を受けている(2件) ・アルバイトだから少ない ・退職のため、予定通り。 ・農業収入はなし、息子が福島より仕送り ・まだ始めたばかりでわからない ・収入は全くない
<p>【60代の回答者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業収入が減った(2件) ・営業損害賠償(50%)支払われたものや22年の(30%)未だ、支払われてないものがあります ・米、たばこ、牛、年間収入なのでまだわからない。 ・出費がふえた ・退職、再就職により収入減→避難とは関係がない ・東電補償金などで生活 ・年金を含む、見守り隊日当だけ ・支出が増えた(9万円/月程度) ・収入が全くなくなった
<p>【70代以上の回答者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業収入が減った(2件) ・1年過ぎないとわからない ・生活費がなく大変こまっています。 ・年金のみになった ・避難を4回もしたので生活が苦しい ・1ヶ月おきの国民年金と死亡した夫の軍人恩給の一部

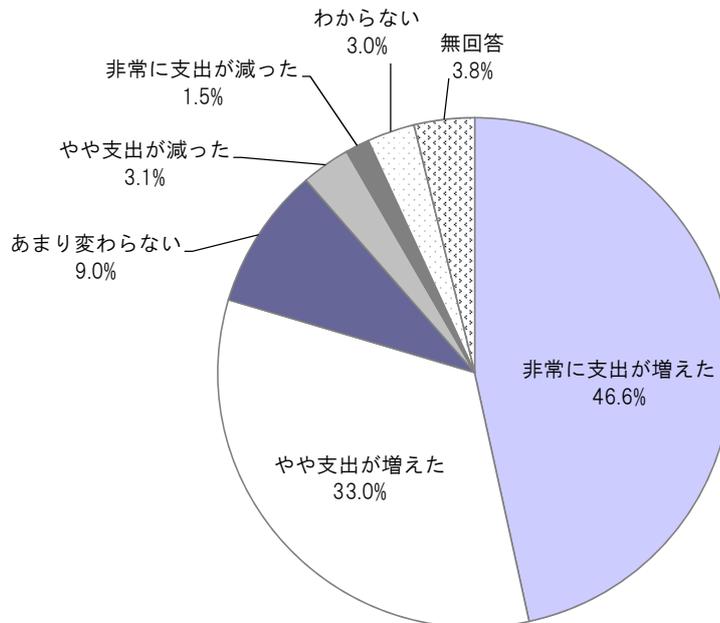
【設問】

Q13.避難前と比べて、家計の支出はどうなりましたか。(1つに○印)

■ 結果の概要

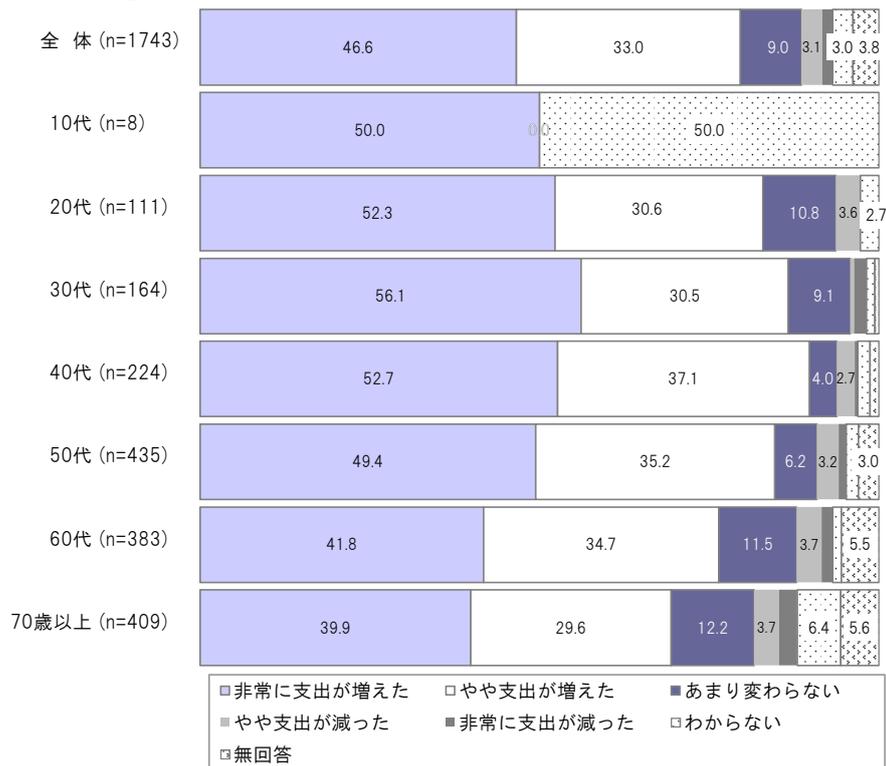
- ・ 全体として、家計支出が「非常に増えた」(46.6%)、「やや増えた」(33.0%)と、支出が増えたという回答は計8割近くに上っている。
- ・ これを年齢別に見ると、20代～40代において「非常に増えた」という回答が約半数に上っているのに対し、60代、70歳以上においては約4割に留まっている。
- ・ また避難先(福島県内・県外)別に見ると、福島県外に避難している回答者の方が、「非常に増えた」という回答の占める割合が低く39.2%に留まっている。「家族構成に変化はない」という回答者と、「以前は同居していた家族が複数の住まいに別れて住んでいる」という回答者を比較してみても、後者に「非常に増えた」という回答がやや多いものの、「非常に増えた」「やや増えた」の合計ではほとんど差は見られない。これらのことから、支出増の原因は、避難先が遠方であることや、避難先が複数に分かれていることとは別の要因であることが伺える。
- ・ 現在の住まい別に見てみると、支出が「非常に増えた」という回答は、「公営住宅」(57.0%)、「借家(自己負担)」(54.0%)に居住する回答者に多い。また「非常に増えた」「やや増えた」という回答の合計は、「県借上住宅」(86.9%)、「公営住宅」(86.7%)、「借家(自己負担)」(81.4%)となっており、「仮設住宅」(70.4%)と比べると10ポイント以上高くなっている。仮設住宅と比較して、これら住宅に避難している被災者への支援が手薄になっていることが、これに関与している可能性が考えられる。

◆ 単純集計結果



◆ 回答世代別集計結果

(単位:%)



◆ 集計表

	全 体	非 常 に 支 出 が 増 え た	や や 支 出 が 増 え た	あ ま り 変 わ ら な い	や や 支 出 が 減 っ た	非 常 に 支 出 が 減 っ た	わ か ら な い	無 回 答
全 体	1743	813	575	157	54	26	52	66
	100.0	46.6	33.0	9.0	3.1	1.5	3.0	3.8
10代	8	4	-	-	-	-	4	-
	100.0	50.0	-	-	-	-	50.0	-
20代	111	58	34	12	4	-	3	-
	100.0	52.3	30.6	10.8	3.6	-	2.7	-
30代	164	92	50	15	1	3	2	1
	100.0	56.1	30.5	9.1	0.6	1.8	1.2	0.6
40代	224	118	83	9	6	1	4	3
	100.0	52.7	37.1	4.0	2.7	0.4	1.8	1.3
50代	435	215	153	27	14	5	8	13
	100.0	49.4	35.2	6.2	3.2	1.1	1.8	3.0
60代	383	160	133	44	14	6	5	21
	100.0	41.8	34.7	11.5	3.7	1.6	1.3	5.5
70歳以上	409	163	121	50	15	11	26	23
	100.0	39.9	29.6	12.2	3.7	2.7	6.4	5.6

クロス集計(【家計の支出の状況】×【現在の住まい(県内・県外)】)

	全 体	非 常 に 支 出 が 増 え た	や や 支 出 が 増 え た	あ ま り 変 わ ら な い	や や 支 出 が 減 っ た	非 常 に 支 出 が 減 っ た	わ か ら な い	無 回 答
全 体	1743 100.0	813 46.6	575 33.0	157 9.0	54 3.1	26 1.5	52 3.0	66 3.8
福島県内居住者	1576 100.0	752 47.7	525 33.3	139 8.8	46 2.9	22 1.4	39 2.5	53 3.4
福島県外居住者	143 100.0	56 39.2	42 29.4	15 10.5	7 4.9	3 2.1	11 7.7	9 6.3
不明	24 100.0	5 20.8	8 33.3	3 12.5	1 4.2	1 4.2	2 8.3	4 16.7

クロス集計(【家計の支出の状況】×【住居種別(避難先)】)

	全 体	非 常 に 支 出 が 増 え た	や や 支 出 が 増 え た	あ ま り 変 わ ら な い	や や 支 出 が 減 っ た	非 常 に 支 出 が 減 っ た	わ か ら な い	無 回 答
全 体	1743 100.0	813 46.6	575 33.0	157 9.0	54 3.1	26 1.5	52 3.0	66 3.8
仮設住宅	401 100.0	145 36.2	137 34.2	52 13.0	12 3.0	9 2.2	18 4.5	28 7.0
公営住宅(村が斡旋したもの)	128 100.0	73 57.0	38 29.7	7 5.5	1 0.8	1 0.8	2 1.6	6 4.7
県借上住宅	928 100.0	482 51.9	325 35.0	59 6.4	28 3.0	9 1.0	8 0.9	17 1.8
子ども・親戚・知人宅	72 100.0	15 20.8	24 33.3	15 20.8	6 8.3	2 2.8	6 8.3	4 5.6
借家(一戸建て・アパート等で家賃を自己負担しているもの)	124 100.0	67 54.0	34 27.4	8 6.5	3 2.4	3 2.4	7 5.6	2 1.6
老人施設・病院	17 100.0	3 17.6	-	7 41.2	2 11.8	1 5.9	2 11.8	2 11.8
社宅・寮	31 100.0	16 51.6	10 32.3	3 9.7	-	-	2 6.5	-
その他	30 100.0	11 36.7	5 16.7	3 10.0	2 6.7	1 3.3	5 16.7	3 10.0

【設問】

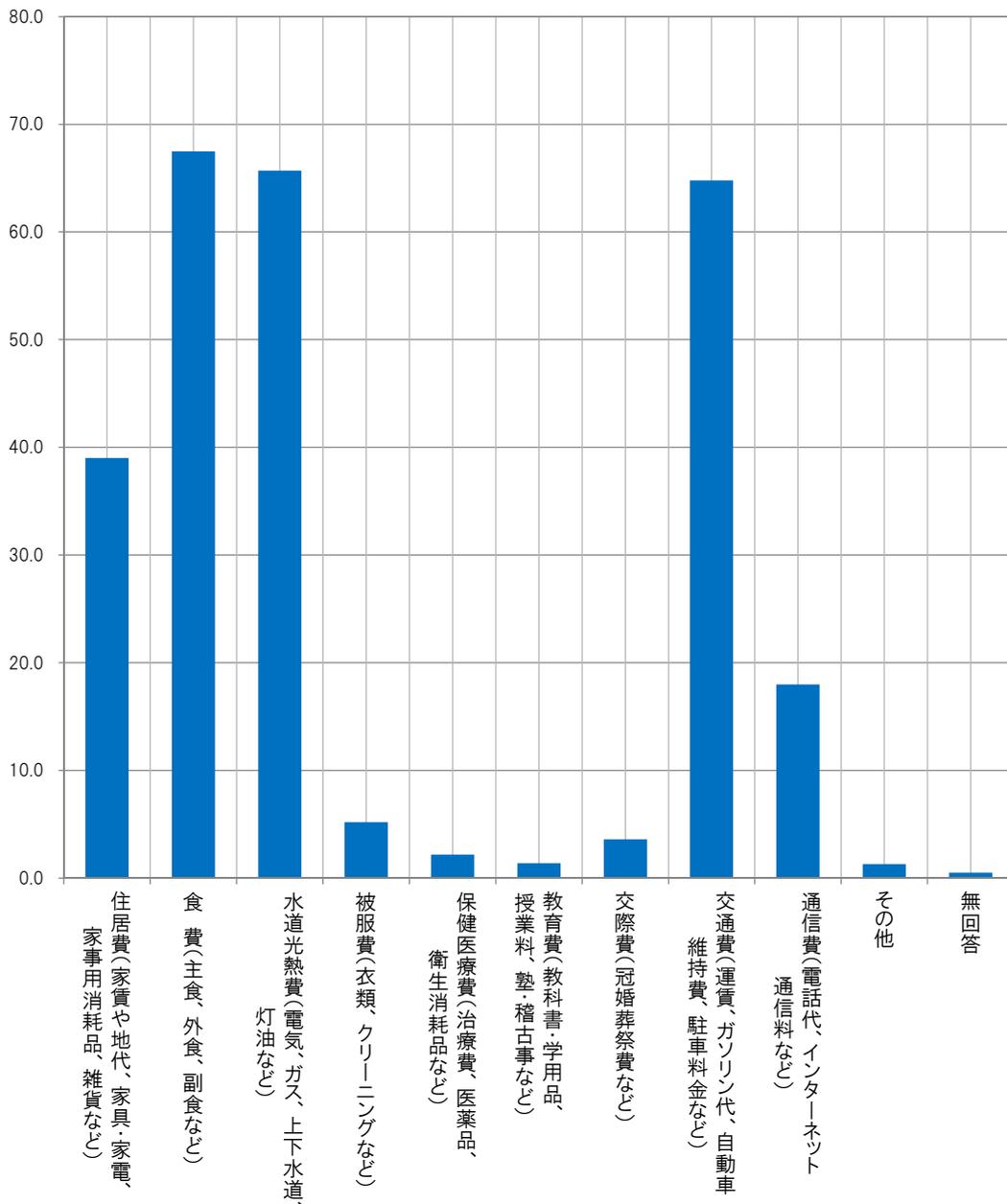
Q13-1. [上記で1～2に○をつけた方に伺います] 特に支出が増えたのはどの費目ですか。主なものを3つまでお答えください。(○は最大3つ)

■ 結果の概要

- ・ 特に支出が増えた費目としては、「食費」(67.5%)、「水道光熱費」(65.7%)、「交通費」(64.8%)という回答が多い。飯舘村内での暮らしでは比較的にかかることの少なかった経費が、避難生活で重くのしかかっていることが伺える。
- ・ 避難後の家族構成変化別に見ると、「以前は同居していた家族が複数の住まいに別れて住んでいる」という回答者においては、「食費」(70.3%)、「水道光熱費」(71.3%)の支出増がやや目立つ結果となっている。
- ・ 現在の住居別に見ると、「住居費」が増えたとの回答は、「借家(自己負担)」(55.4%)で多くなっている。また、「水道光熱費」が増えたという回答は、特に「県借上住宅」に住む回答者に多い(70.5%)。

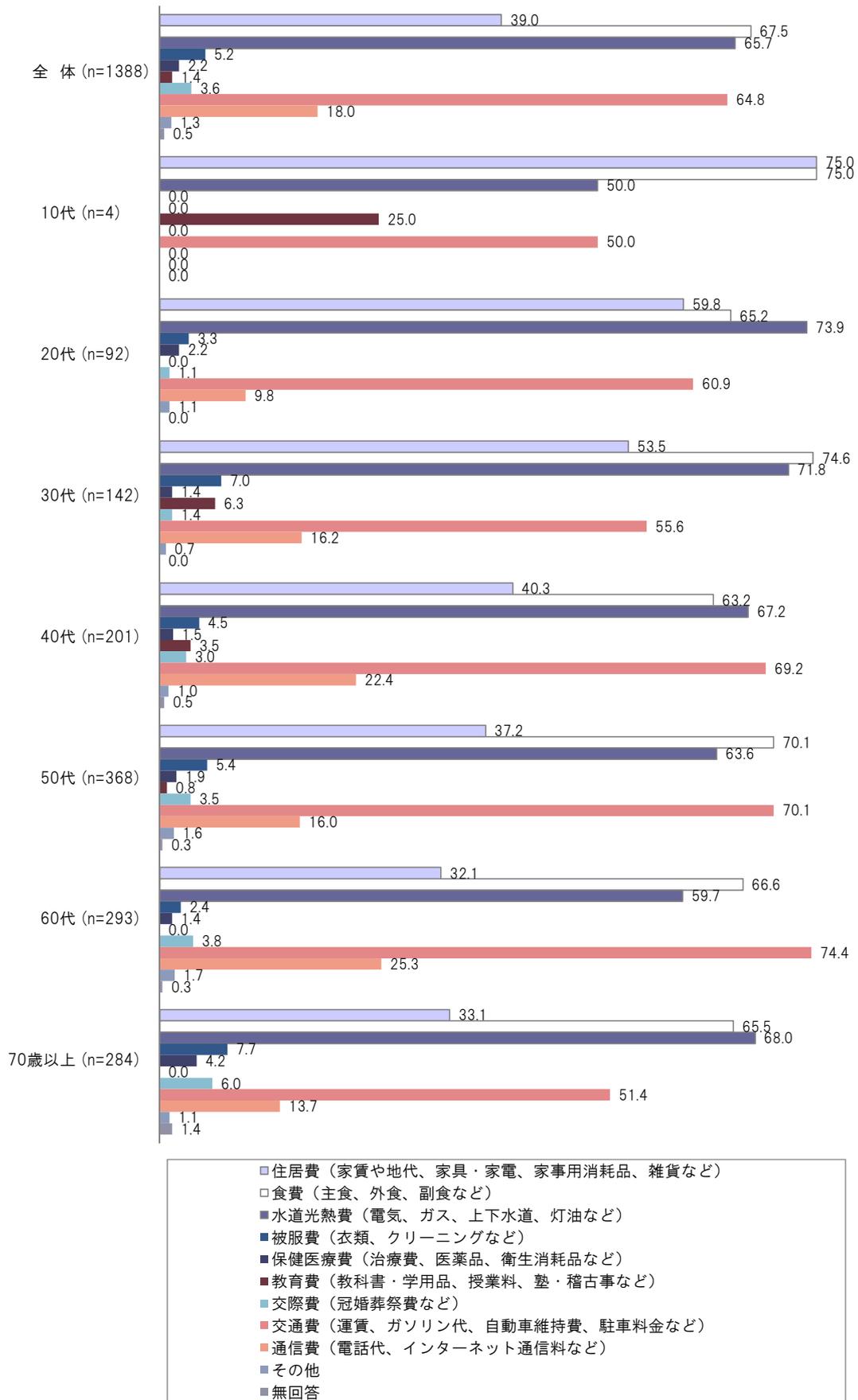
◆ 単純集計結果

(単位:%)



◆ 回答世代別集計結果

(単位:%)



◆ 集計表

	全 体	住居費（家賃や地代、家具・家電、家事用消耗品、雑貨など）	食費（主食、外食、副食など）	水道光熱費（電気、ガス、上下水道、灯油など）	被服費（衣類、クリーニングなど）	保健医療費（治療費、医薬品、衛生消耗品など）	教育費（教科書・学用品、授業料、塾・稽古事など）	交際費（冠婚葬祭費など）	代、自動車維持費、ガソリン料など	交通費（運賃、ガソリン料など）	通信費（電話代、インターネット通信料など）	その他	無回答
全体	1388 100.0	541 39.0	937 67.5	912 65.7	72 5.2	30 2.2	20 1.4	50 3.6	900 64.8	250 18.0	18 1.3	7 0.5	
10代	4 100.0	3 75.0	3 75.0	2 50.0	-	-	1 25.0	-	2 50.0	-	-	-	
20代	92 100.0	55 59.8	60 65.2	68 73.9	3 3.3	2 2.2	-	1 1.1	56 60.9	9 9.8	1 1.1	-	
30代	142 100.0	76 53.5	106 74.6	102 71.8	10 7.0	2 1.4	9 6.3	2 1.4	79 55.6	23 16.2	1 0.7	-	
40代	201 100.0	81 40.3	127 63.2	135 67.2	9 4.5	3 1.5	7 3.5	6 3.0	139 69.2	45 22.4	2 1.0	1 0.5	
50代	368 100.0	137 37.2	258 70.1	234 63.6	20 5.4	7 1.9	3 0.8	13 3.5	258 70.1	59 16.0	6 1.6	1 0.3	
60代	293 100.0	94 32.1	195 66.6	175 59.7	7 2.4	4 1.4	-	11 3.8	218 74.4	74 25.3	5 1.7	1 0.3	
70歳以上	284 100.0	94 33.1	186 65.5	193 68.0	22 7.7	12 4.2	-	17 6.0	146 51.4	39 13.7	3 1.1	4 1.4	

クロス集計（【家計の支出の状況】×【現在の住まい（県内・県外）】）

	全 体	住居費（家賃や地代、家具・家電、家事用消耗品、雑貨など）	食費（主食、外食、副食など）	水道光熱費（電気、ガス、上下水道、灯油など）	被服費（衣類、クリーニングなど）	保健医療費（治療費、医薬品、衛生消耗品など）	教育費（教科書・学用品、授業料、塾・稽古事など）	交際費（冠婚葬祭費など）	代、自動車維持費、ガソリン料など	交通費（運賃、ガソリン料など）	通信費（電話代、インターネット通信料など）	その他	無回答
全体	1388 100.0	541 39.0	937 67.5	912 65.7	72 5.2	30 2.2	20 1.4	50 3.6	900 64.8	250 18.0	18 1.3	7 0.5	
福島県内居住者	1277 100.0	483 37.8	858 67.2	855 67.0	63 4.9	25 2.0	15 1.2	48 3.8	845 66.2	228 17.9	14 1.1	7 0.5	
福島県外居住者	98 100.0	54 55.1	72 73.5	48 49.0	9 9.2	5 5.1	5 5.1	2 2.0	48 49.0	19 19.4	4 4.1	-	
不明	13 100.0	4 30.8	7 53.8	9 69.2	-	-	-	-	7 53.8	3 23.1	-	-	

クロス集計（【家計の支出の状況】×【家族構成（避難後）】）

	全 体	住居費（家賃や地代、家具・家電、家事用消耗品、雑貨など）	食費（主食、外食、副食など）	水道光熱費（電気、ガス、上下水道、灯油など）	被服費（衣類、クリーニングなど）	保健医療費（治療費、医薬品、衛生消耗品など）	教育費（教科書・学用品、授業料、塾・稽古事など）	交際費（冠婚葬祭費など）	代、自動車維持費、ガソリン料など	交通費（運賃、ガソリン料など）	通信費（電話代、インターネット通信料など）	その他	無回答
全体	1388 100.0	541 39.0	937 67.5	912 65.7	72 5.2	30 2.2	20 1.4	50 3.6	900 64.8	250 18.0	18 1.3	7 0.5	
家族構成に変化はない	556 100.0	184 33.1	361 64.9	338 60.8	32 5.8	10 1.8	6 1.1	20 3.6	387 69.6	114 20.5	5 0.9	5 0.9	
以前は同居していた家族が複数の住まいに分かれて住んでいる	727 100.0	311 42.8	511 70.3	518 71.3	29 4.0	16 2.2	14 1.9	27 3.7	451 62.0	125 17.2	9 1.2	2 0.3	
以前は別々に暮らしていた家族・親戚と一緒に暮らすようになった	49 100.0	28 57.1	32 65.3	21 42.9	6 12.2	2 4.1	-	-	31 63.3	6 12.2	3 6.1	-	
家族・親戚以外の知人と暮らすようになった	9 100.0	3 33.3	7 77.8	6 66.7	1 11.1	1 11.1	-	1 11.1	4 44.4	-	-	-	
その他	19 100.0	7 36.8	12 63.2	10 52.6	3 15.8	1 5.3	-	1 5.3	13 68.4	2 10.5	1 5.3	-	

クロス集計(【家計の支出の状況】×【住居種別(避難先)】)

	全 体	品 具・ 雑 貨 等 (家 電 ・ 家 事 用 消 耗 品 等)	住 居 費 (家 賃 ・ 地 代 ・ 家 賃 ・ 家 賃 等)	食 費 (主 食 ・ 外 食 ・ 副 食 等)	ス ト ・ 水 道 光 熱 費 (電 気 ・ ガ ス ・ 灯 油 等)	被 服 費 (衣 類 ・ ク リ ー ニ ン グ 等)	保 健 ・ 医 療 費 (治 療 費 ・ 医 薬 品 ・ 衛 生 消 耗 品 等)	教 育 費 (教 科 書 ・ 学 用 事 品 ・ 授 業 料 ・ 塾 ・ 稽 古 事 等)	交 際 費 (冠 婚 葬 祭 費 な ど)	代 金 等 (ガ ソ リ ン ・ ガ ソ リ ン 車 ・ ガ ソ リ ン 車 維 持 費 ・ ガ ソ リ ン 車 代 金 等)	交 通 費 (運 賃 ・ ガ ソ リ ン 代 金 等)	通 信 費 (電 話 代 ・ イ ン タ ー ネ ッ ト 通 信 料 等)	そ の 他	無 回 答
全 体	1388	541	937	912	72	30	20	50	900	250	18	7		
	100.0	39.0	67.5	65.7	5.2	2.2	1.4	3.6	64.8	18.0	1.3	0.5		
仮設住宅	282	93	179	177	20	9	-	15	166	45	4	3		
	100.0	33.0	63.5	62.8	7.1	3.2	-	5.3	58.9	16.0	1.4	1.1		
公営住宅(村が斡旋したもの)	111	37	77	73	7	4	-	4	75	25	2	-		
	100.0	33.3	69.4	65.8	6.3	3.6	-	3.6	67.6	22.5	1.8	-		
県借上住宅	807	314	557	569	30	11	15	23	560	147	6	2		
	100.0	38.9	69.0	70.5	3.7	1.4	1.9	2.9	69.4	18.2	0.7	0.2		
子ども・親戚・知人宅	39	21	24	6	10	1	-	2	19	8	1	1		
	100.0	53.8	61.5	15.4	25.6	2.6	-	5.1	48.7	20.5	2.6	2.6		
借家(一戸建て・アパート等で家賃を自己負担しているもの)	101	56	65	57	2	3	4	5	58	15	4	1		
	100.0	55.4	64.4	56.4	2.0	3.0	4.0	5.0	57.4	14.9	4.0	1.0		
老人施設・病院	3	1	2	-	-	1	-	-	1	1	1	-		
	100.0	33.3	66.7	-	-	33.3	-	-	33.3	33.3	33.3	-		
社宅・寮	26	13	20	19	2	1	1	-	11	3	-	-		
	100.0	50.0	76.9	73.1	7.7	3.8	3.8	-	42.3	11.5	-	-		
その他	16	6	10	10	1	-	-	1	8	5	-	-		
	100.0	37.5	62.5	62.5	6.3	-	-	6.3	50.0	31.3	-	-		

◆ 「その他」における自由記述

【10代の回答者】 (なし)
【20代の回答者】 ・長期間車放置による故障の為、車買い換え費用 ・状況が急に変わる可能性がある
【30代の回答者】 ・子供を遊ばせるため遠出。(放射線が低い場所へ) ・家の中で過ごす時間が多いので子供の為に光TVへ加入など
【40代の回答者】 ・避難先の子供達の生活・教育費等 ・水、食材 ・二重生活なので全て倍になった
【50代の回答者】 ・1の住居費と同じであるが家賃は現在免除されているが、家庭用消耗品、雑貨、家具を購入しなければならない。(飯館の自宅から運び出しても、現在の避難先では使用できない。) ・回答選択肢が3つでは足りない。 ・カーテン、あみ戸、風呂のホース ・家族が2つになったため ・通勤の為車を買った(今までいちゃんので通勤していたが離ればなれになってしまった)
【60代の回答者】 ・医者に行く時間がなく、薬代が大変 ・犬の預り管理費 ・介護用品 ・村内在住の時は、犬のしつけ訓練費はなかったが、市居住条件に去勢・訓練費が必要となった。個別に見ると総合的に切り詰めているため ・トイレ汲み取り代 ・娘と孫が山形に避難しているの ・仕事の都合上旅館に泊っている為(月～木)
【70代以上の回答者】 ・家具、雑貨、衣類 ・ガソリン代などかかる ・宿泊費代(東電から一時金で) ・半自給自足から、全部買うはめになりました。 ・老人施設入居費 ・全て生活が変化して精神的にも金銭的にも重圧が掛り、疲れております ・介護費用

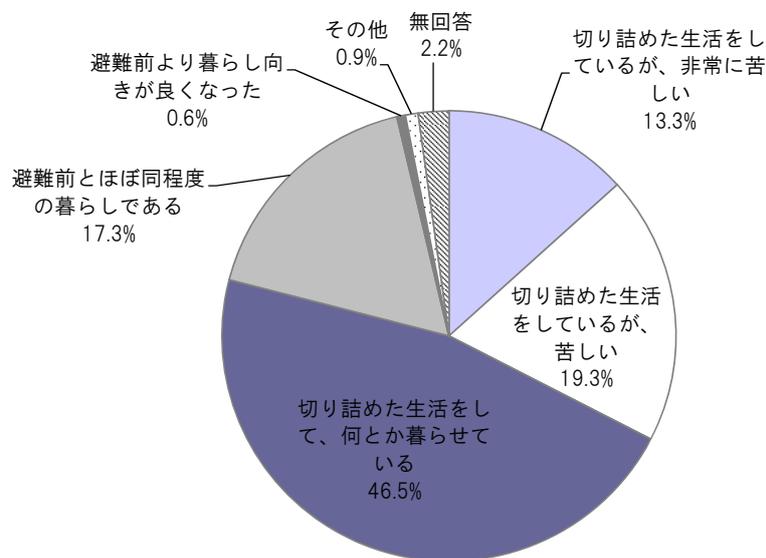
【設問】

Q14.現在の収入で、あなたの世帯の暮らしむきはどのような状態ですか。(1つに○印)

■ 結果の概要

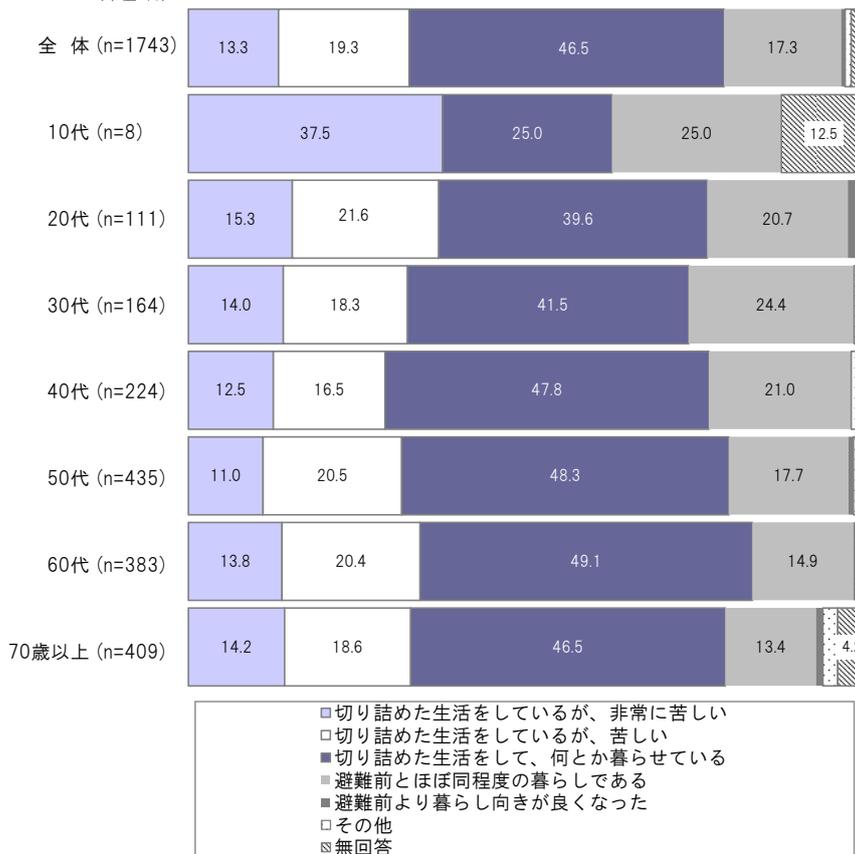
- ・全体として、「切り詰めた生活をして何とか暮らしている」が46.5%と最も多く、「切り詰めた生活をしているが非常に苦しい」「苦しい」という回答が、合わせて32.6%に上っている。「避難前とほぼ同程度」という回答は17.3%に過ぎず、避難生活で暮らし向きが非常に厳しくなっている状況がわかる。
- ・特に、現在の住居が「借家(自己負担)」という回答者においては、「非常に苦しい」(19.4%)、「苦しい」(22.6%)という回答が比較的多くなっており、苦しい中で自己負担により住宅を確保していることが伺える。
- ・また、現在の職業を「失業中・休業中で特に働いていない」とした回答者は、「非常に苦しい」(22.0%)、「苦しい」(27.4%)と、暮らし向きの苦しさを訴える声が約半数近くに上った。

◆ 単純集計結果



◆ 回答世代別集計結果

(単位:%)



◆ 集計表

	全 体	い ち り が 詰 め た 生 活 を し て い る が 、 非 常 に 苦 し い	い ち り が 詰 め た 生 活 を し て い る が 、 苦 し い	ど の 切 り 詰 め た 生 活 を し て い る か 、 何 と か 暮 ら せ て い る	避 難 前 と ほ ぼ 同 程 度 の 暮 ら し 向 き が あ る	避 難 前 よ り 暮 ら し 向 き が よ う な っ た	そ の 他	無 回 答
全体	1743 100.0	231 13.3	336 19.3	811 46.5	302 17.3	10 0.6	15 0.9	38 2.2
10代	8 100.0	3 37.5	-	2 25.0	2 25.0	-	-	1 12.5
20代	111 100.0	17 15.3	24 21.6	44 39.6	23 20.7	2 1.8	1 0.9	-
30代	164 100.0	23 14.0	30 18.3	68 41.5	40 24.4	-	1 0.6	2 1.2
40代	224 100.0	28 12.5	37 16.5	107 47.8	47 21.0	-	2 0.9	3 1.3
50代	435 100.0	48 11.0	89 20.5	210 48.3	77 17.7	3 0.7	2 0.5	6 1.4
60代	383 100.0	53 13.8	78 20.4	188 49.1	57 14.9	1 0.3	-	6 1.6
70歳以上	409 100.0	58 14.2	76 18.6	190 46.5	55 13.4	4 1.0	9 2.2	17 4.2

クロス集計(【家計の支出の状況】×【現在の住まい(県内・県外)】)

	全 体	が切 り、 非 常 に 苦 しい 生 活 を し て い る	が切 り 詰 め た 生 活 を し て い る	と切 り 詰 め た 生 活 を し て、 何	し避 難 前 と ほ ぼ 同 程 度 の 暮 ら	く避 難 前 よ り 暮 ら し 向 き が 良 な っ た	そ の 他	無 回 答
全 体	1743 100.0	231 13.3	336 19.3	811 46.5	302 17.3	10 0.6	15 0.9	38 2.2
福島県内居住者	1576 100.0	212 13.5	297 18.8	754 47.8	270 17.1	8 0.5	10 0.6	25 1.6
福島県外居住者	143 100.0	17 11.9	32 22.4	47 32.9	32 22.4	2 1.4	5 3.5	8 5.6
不明	24 100.0	2 8.3	7 29.2	10 41.7	-	-	-	5 20.8

クロス集計(【現在の収入における暮らし向き】×【家族構成(避難後)】)

	全 体	い切 り が 詰 め た 生 活 を し て い る	い切 り が 詰 め た 生 活 を し て い る	るて切 り 詰 め た 生 活 を し て い る	暮避 難 前 と ほ ぼ 同 程 度 の 暮 ら し 向 き	が避 難 前 よ り 暮 ら し 向 き が 良 な っ た	そ の 他	無 回 答
全 体	1743 100.0	231 13.3	336 19.3	811 46.5	302 17.3	10 0.6	15 0.9	38 2.2
家族構成に変化はない	692 100.0	79 11.4	131 18.9	336 48.6	130 18.8	5 0.7	2 0.3	9 1.3
以前は同居していた家族が複数の 住まいに分かれて住んでいる	873 100.0	128 14.7	170 19.5	415 47.5	136 15.6	3 0.3	10 1.1	11 1.3
以前は別々に暮らしていた家族・ 親戚と一緒に暮らすようになった	73 100.0	10 13.7	13 17.8	23 31.5	20 27.4	1 1.4	2 2.7	4 5.5
家族・親戚以外の知人と暮らす ようになった	14 100.0	3 21.4	6 42.9	4 28.6	1 7.1	-	-	-
その他	34 100.0	5 14.7	6 17.6	12 35.3	8 23.5	1 2.9	1 2.9	1 2.9

クロス集計(【現在の収入における暮らし向き】×【住居種別(避難先)】)

	全 体	い切 り が 詰 め た 生 活 を し て い る	い切 り が 詰 め た 生 活 を し て い る	るて切 り 詰 め た 生 活 を し て い る	暮避 難 前 と ほ ぼ 同 程 度 の 暮 ら し 向 き	が避 難 前 よ り 暮 ら し 向 き が 良 な っ た	そ の 他	無 回 答
全 体	1743 100.0	231 13.3	336 19.3	811 46.5	302 17.3	10 0.6	15 0.9	38 2.2
仮設住宅	401 100.0	59 14.7	72 18.0	203 50.6	50 12.5	1 0.2	3 0.7	13 3.2
公営住宅(村が斡旋したもの)	128 100.0	22 17.2	26 20.3	52 40.6	25 19.5	1 0.8	-	2 1.6
県借上住宅	928 100.0	114 12.3	188 20.3	445 48.0	165 17.8	3 0.3	5 0.5	8 0.9
子ども・親戚・知人宅	72 100.0	4 5.6	11 15.3	23 31.9	21 29.2	5 6.9	4 5.6	4 5.6
借家(一戸建て・アパート等で家 賃を自己負担しているもの)	124 100.0	24 19.4	28 22.6	48 38.7	21 16.9	-	-	3 2.4
老人施設・病院	17 100.0	-	2 11.8	4 23.5	8 47.1	-	2 11.8	1 5.9
社宅・寮	31 100.0	5 16.1	4 12.9	15 48.4	6 19.4	-	-	1 3.2
その他	30 100.0	3 10.0	4 13.3	13 43.3	5 16.7	-	1 3.3	4 13.3

クロス集計(【現在の収入における暮らし向き】×【職業(避難後)】)

	全 体	い 切 り が 詰 め た 非 常 に 苦 し い	い 切 り が 詰 め た 生 活 を し て	ど か か 暮 ら せ て い															
全 体	1743 100.0	231 13.3	336 19.3	811 46.5	302 17.3	10 0.6	15 0.9	38 2.2											
被災前と同じ(被災前から無職 だった場合を含む)	991 100.0	112 11.3	157 15.8	462 46.6	225 22.7	8 0.8	8 0.8	19 1.9											
休職中(被災前の勤務先に所 属)	51 100.0	8 15.7	8 15.7	24 47.1	9 17.6	-	1 2.0	1 2.0											
失業中・休業中でアルバイト	112 100.0	14 12.5	28 25.0	63 56.3	6 5.4	-	-	1 0.9											
失業中・休業中で特に働いてい ない	241 100.0	53 22.0	66 27.4	93 38.6	20 8.3	-	4 1.7	5 2.1											
職業訓練(離職者訓練)を受講中	7 100.0	2 28.6	3 42.9	2 28.6	-	-	-	-											
転職	77 100.0	5 6.5	21 27.3	38 49.4	10 13.0	2 2.6	-	1 1.3											
その他	112 100.0	14 12.5	20 17.9	60 53.6	14 12.5	-	2 1.8	2 1.8											

◆ 「その他」における自由記述

【10代の回答者】 (なし)
【20代の回答者】 ・今は何とか暮らせるが、補償がなくなったらわからない。仕事柄がなかなか合わない、正社員にもなれない。もう農業ができないと思ってしまうが、これが天職だったと思う。
【30代の回答者】 ・家計を全て管理している訳ではないので分かりかねる
【40代の回答者】 ・義援金、東電の補償金がなければ生活が苦しい
【50代の回答者】 ・変わらない ・娘の家で世話になって面倒を見てもらっている(孫と二人で世話になっていて月5万円しか出していないので何とかやっています)学校は給食費、学級費が補助され無料なので助かっています ・原発からの補償金でなんとかやっている
【60代の回答者】 (なし)
【70代以上の回答者】 ・よくわからない(3件) ・現在娘と一緒に暮らしているので娘の方が大変ではないかと思っている。 ・子供の世話になっている。 ・収入とは別に夫婦別々の施設の為、精神的苦痛が大きい。 ・老人施設 ・東電の補償金がなければ年金が少ないので食費、光熱費など支出を出すのは無理。1人で生活する83才はとてつらい

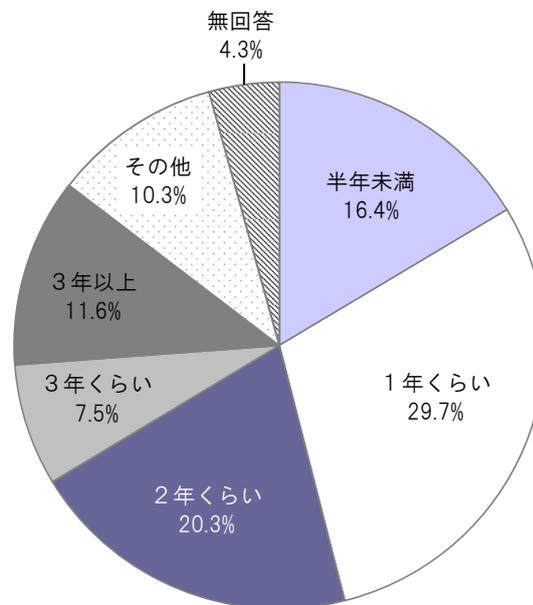
【設問】

Q15.経済面で考えたとき、今のような状態をあとどれくらい続けられると思いますか。(1つに○印)

■ 結果の概要

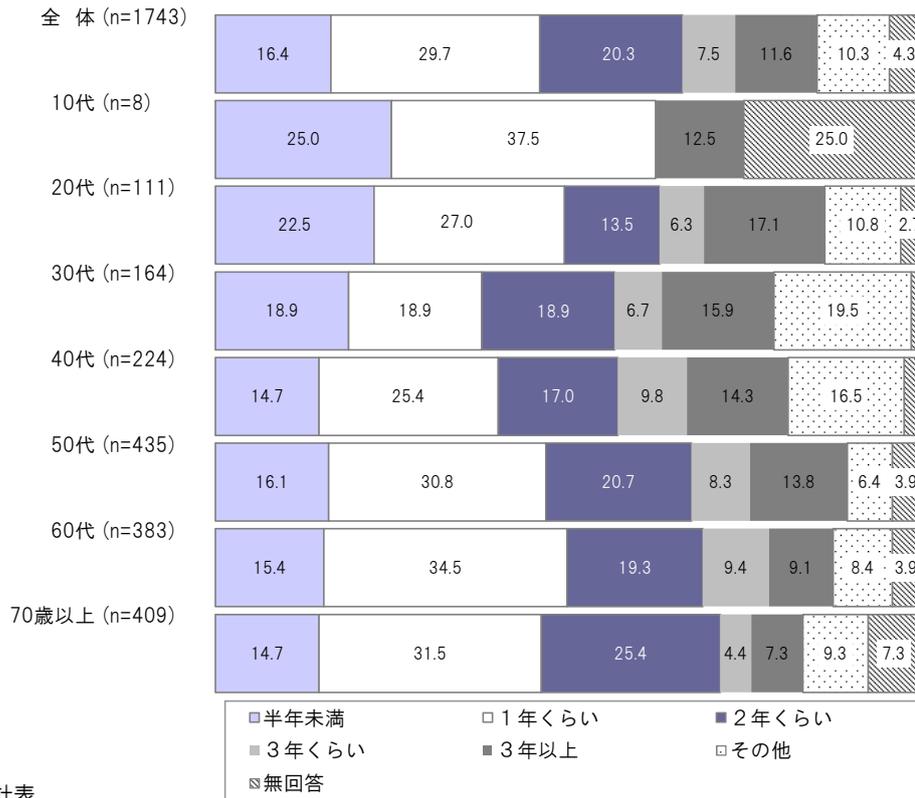
- ・現在の状態が続けられる期間は、「1年くらい」(29.7%)、「2年くらい」(20.3%)、「半年未満」(16.4%)の順となっており、これらの合計(2年以内が限界とする回答者の合計)は66%を超えている。
- ・これを現在の住居別に見ると、2年以内が限界とする回答者の合計は、「公営住宅」(77.3%)、「仮設住宅」(71.1%)、「県借上住宅」(66.8%)の順で多くなっている。ただしこれらについては、災害救助法に定める応急住宅の提供期間が原則として2年間で定められていることが影響している可能性がある。
- ・現在の仕事の状況別に見ると、2年以内が限界とする回答者の合計は、「失業中・休業中で特に働いていない」(78.0%)、「失業中・休業中でアルバイト」(75.9%)で高い。また、現在の収入について「ほとんどなくなった」とする回答者においては、現在の状態が続けられるのは「半年未満」(30.2%)、「1年くらい」(34.7%)となっている。これらのことから、仕事を失い、収入を絶たれた被災者ほど、現在の状況が続けることが困難な状態であることがわかる。
- ・「その他」における自由記述を見ると、「わからない」という回答が各世代の合計で80件(4.6%)見られる。経済面に関して、先の見通しを立てることのできない村民もいることがわかる。

◆ 単純集計結果



◆ 回答世代別集計結果

(単位:%)



◆ 集計表

	全 体	半 年 未 満	1 年 く ら い	2 年 く ら い	3 年 く ら い	3 年 以 上	そ の 他	無 回 答
全 体	1743	285	518	353	130	203	179	75
	100.0	16.4	29.7	20.3	7.5	11.6	10.3	4.3
10代	8	2	3	-	-	1	-	2
	100.0	25.0	37.5	-	-	12.5	-	25.0
20代	111	25	30	15	7	19	12	3
	100.0	22.5	27.0	13.5	6.3	17.1	10.8	2.7
30代	164	31	31	31	11	26	32	2
	100.0	18.9	18.9	18.9	6.7	15.9	19.5	1.2
40代	224	33	57	38	22	32	37	5
	100.0	14.7	25.4	17.0	9.8	14.3	16.5	2.2
50代	435	70	134	90	36	60	28	17
	100.0	16.1	30.8	20.7	8.3	13.8	6.4	3.9
60代	383	59	132	74	36	35	32	15
	100.0	15.4	34.5	19.3	9.4	9.1	8.4	3.9
70歳以上	409	60	129	104	18	30	38	30
	100.0	14.7	31.5	25.4	4.4	7.3	9.3	7.3

クロス集計(【家計の支出の状況】×【現在の住まい(県内・県外)】)

	全 体	半 年 未 満	1 年 く ら い	2 年 く ら い	3 年 く ら い	3 年 以 上	そ の 他	無 回 答
全 体	1743	285	518	353	130	203	179	75
	100.0	16.4	29.7	20.3	7.5	11.6	10.3	4.3
福島県内居住者	1576	252	481	338	119	174	146	66
	100.0	16.0	30.5	21.4	7.6	11.0	9.3	4.2
福島県外居住者	143	26	29	14	9	27	32	6
	100.0	18.2	20.3	9.8	6.3	18.9	22.4	4.2
不明	24	7	8	1	2	2	1	3
	100.0	29.2	33.3	4.2	8.3	8.3	4.2	12.5

クロス集計(【今の生活をどのくらい続けられるか】×【住居種別(避難先)】)

	全 体	半 年 未 満	1 年 く ら い	2 年 く ら い	3 年 く ら い	3 年 以 上	そ の 他	無 回 答
全 体	1743 100.0	285 16.4	518 29.7	353 20.3	130 7.5	203 11.6	179 10.3	75 4.3
仮設住宅	401 100.0	64 16.0	137 34.2	84 20.9	29 7.2	31 7.7	31 7.7	25 6.2
公営住宅(村が斡旋したもの)	128 100.0	28 21.9	41 32.0	30 23.4	8 6.3	7 5.5	11 8.6	3 2.3
県借上住宅	928 100.0	142 15.3	277 29.8	200 21.6	78 8.4	112 12.1	92 9.9	27 2.9
子ども・親戚・知人宅	72 100.0	11 15.3	11 15.3	12 16.7	1 1.4	16 22.2	14 19.4	7 9.7
借家(一戸建て・アパート等で家賃を自己負担しているもの)	124 100.0	24 19.4	34 27.4	15 12.1	11 8.9	23 18.5	11 8.9	6 4.8
老人施設・病院	17 100.0	1 5.9	2 11.8	1 5.9	-	3 17.6	10 58.8	-
社宅・寮	31 100.0	6 19.4	8 25.8	4 12.9	2 6.5	7 22.6	2 6.5	2 6.5
その他	30 100.0	8 26.7	4 13.3	4 13.3	1 3.3	3 10.0	7 23.3	3 10.0

クロス集計(【今の生活をどのくらい続けられるか】×【職業(避難後)】)

	全 体	半 年 未 満	1 年 く ら い	2 年 く ら い	3 年 く ら い	3 年 以 上	そ の 他	無 回 答
全 体	1743 100.0	285 16.4	518 29.7	353 20.3	130 7.5	203 11.6	179 10.3	75 4.3
被災前と同じ(被災前から無職だった場合を含む)	991 100.0	138 13.9	266 26.8	213 21.5	80 8.1	146 14.7	111 11.2	37 3.7
休職中(被災前の勤務先に所属)	51 100.0	12 23.5	19 37.3	7 13.7	5 9.8	3 5.9	2 3.9	3 5.9
失業中・休業中でアルバイト	112 100.0	14 12.5	42 37.5	29 25.9	7 6.3	7 6.3	9 8.0	4 3.6
失業中・休業中で特に働いていない	241 100.0	61 25.3	86 35.7	41 17.0	15 6.2	7 2.9	21 8.7	10 4.1
職業訓練(離職者訓練)を受講中	7 100.0	2 28.6	3 42.9	1 14.3	-	1 14.3	-	-
転職	77 100.0	9 11.7	18 23.4	13 16.9	7 9.1	18 23.4	11 14.3	1 1.3
その他	112 100.0	16 14.3	36 32.1	22 19.6	13 11.6	7 6.3	15 13.4	3 2.7

クロス集計(【今の生活をどのくらい続けられるか】×【現在の収入】)

	全 体	半 年 未 満	1 年 く ら い	2 年 く ら い	3 年 く ら い	3 年 以 上	そ の 他	無 回 答
全 体	1743 100.0	285 16.4	518 29.7	353 20.3	130 7.5	203 11.6	179 10.3	75 4.3
収入がほとんどなくなった	311 100.0	94 30.2	108 34.7	42 13.5	15 4.8	16 5.1	25 8.0	11 3.5
月額で7~8割くらい減った	120 100.0	25 20.8	44 36.7	27 22.5	7 5.8	10 8.3	7 5.8	-
月額で5割くらい減った	174 100.0	36 20.7	52 29.9	37 21.3	17 9.8	9 5.2	18 10.3	5 2.9
月額で2~3割くらい減った	248 100.0	32 12.9	79 31.9	49 19.8	25 10.1	31 12.5	25 10.1	7 2.8
あまり変わらない(年金生活を含む)	694 100.0	71 10.2	180 25.9	167 24.1	61 8.8	110 15.9	75 10.8	30 4.3
収入が増えた	42 100.0	5 11.9	10 23.8	5 11.9	2 4.8	14 33.3	5 11.9	1 2.4
その他	41 100.0	7 17.1	11 26.8	8 19.5	1 2.4	4 9.8	9 22.0	1 2.4
わからない	71 100.0	7 9.9	25 35.2	11 15.5	1 1.4	6 8.5	15 21.1	6 8.5

◆ 「その他」における自由記述

【10代の回答者】 (なし)

【20代の回答者】

- ・わからない(8件)
- ・今は家賃負担してもらっているが、自分で払うとなると厳しい
- ・定職に就かなければ安心出来ない。
- ・できるかぎり
- ・東電、国の補償次第

【30代の回答者】

- ・わからない(14件)
- ・東電、国の保障次第(5件)
- ・今は家賃負担してもらっているが、自分で払うとなると厳しい(2件)
- ・続けるつもりはない
- ・何年、何日とわかっていけば苦労しない
- ・現実的に原発問題がゼロに解消されてない
- ・体調を崩さないうち
- ・貯金をおろしていくしかない

【40代の回答者】

- ・わからない(17件)
- ・東電、国の保障次第(3件)
- ・今は家賃負担してもらっているが、自分で払うとなると厳しい(3件)
- ・今の状態が変わらないかぎり続けるしかないと思っている。
- ・医療費無料がなくなれば、生活は出来ても子供の将来的な預金を使うしなくなるのですぐにも厳しいなる
- ・いわきで仕事が再開すれば、帰村出来なくても大丈夫です。
- ・会社があるまで
- ・子供達の健康、先の事を考えるとすぐにはもどれない
- ・仕事さえあれば何年でも
- ・自分一人の収入ではムリになる
- ・生活保護費が休止となり、半年もたない。
- ・続けるつもりはない
- ・質問の意図が分からない。今が苦しい

【50代の回答者】

- ・わからない(9件)
- ・続けるつもりはない(4件)
- ・東電、国の補償次第(4件)
- ・精神的につらい、いやだ
- ・飯館村に住める環境になるまで
- ・15年
- ・今先の事は考えられない。1日でも早く元の生活にもどりたい
- ・今の仕事があれば続くと思う
- ・何才まで今の会社に使ってもらえるか？
- ・今は家賃負担してもらっているが、自分で払うとなると厳しい
- ・子供が高校を卒業するまで
- ・孫が小学5年生なので、小学生はここで終えたいと思っている。
- ・愚問である!!続けなければしょうがない
- ・設問が不適當、あとどれくらいかなど分かるのか？ 少しばかりの貯えと義援金で生活しているのでそれが底をつけば終り
- ・放射能問題解決するまで何年でも経済面はその次でしょう。この質問変ですよ。
- ・具体的に書いて、何かかわるの？
- ・昨年退職
- ・避難が解除されたりして村に戻れといわれた時、住めない村にどうして生きていくか

【60代の回答者】

- ・わからない(12件)
- ・今は家賃負担してもらっているが、自分で払うとなると厳しい(3件)
- ・今すぐ以前にもどること(2件)
- ・帰村して生活が可能なら1年
- ・30年
- ・飯館村にかえられるまで
- ・飯館に帰りたくない。金があれば
- ・村にもどれません線量高いので
- ・原発事故終息の問題があるので見当が付きません
- ・先が見えない生活もうたくさんです
- ・食糧もなく、金もない幼少の頃生き延びた事を思うとまだまだ日本人は恵まれていると思う。10年でも20年でもOK
- ・ずっと続けるより他ない。
- ・精神的にたえられない
- ・通勤大変な事。親が1人で寂しがり仕事をやめるのでわからない。
- ・続けられぬと言ったら元の生活にして来れるのか
- ・東電、国の補償次第
- ・村にもどれません線量高いので

【70代以上の回答者】

- ・わからない(20件)
- ・今は家賃負担してもらっているが、自分で払うとなると厳しい(3件)
- ・東電、国の補償次第(3件)
- ・あと何年ここにいるのでしょうか？
- ・生きているうちは続けられると思う
- ・大病気にならなければ
- ・健康なうちは
- ・国民年金だけでは不足なので預金のある期間だけ
- ・高年令と障害者であるため、永くは続けたくない。
- ・入院中の為不明
- ・年金収入が固定支給されているので、ありがたいです。
- ・帰っても田や畑が出来ないと思う
- ・高齢のため健康に不安
- ・年金だけの収入で他は子供に面倒を見てもらっている

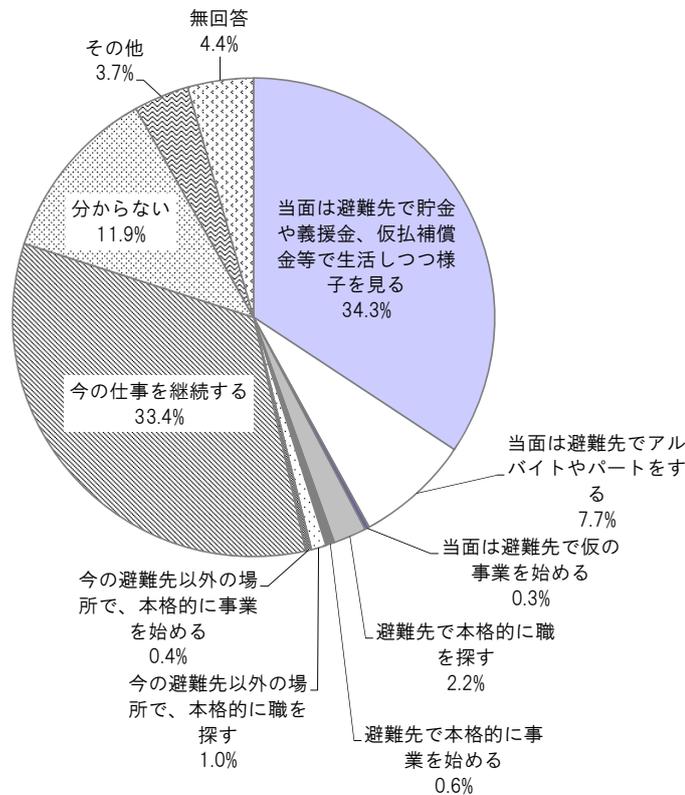
【設問】

Q16.当面の仕事確保・生計維持については、どのようにお考えですか。(1つに○印)

■ 結果の概要

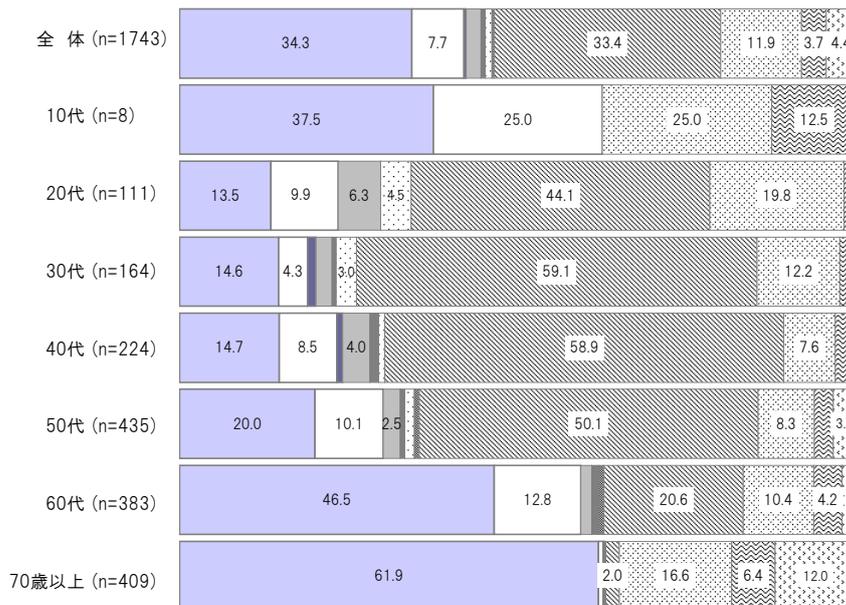
- ・「当面は避難先で貯金や義援金、仮払補償金等で生活」という回答が34.3%と最も多く、次いで「今の仕事を継続する」(33.4%)となっている。一方で「わからない」との回答も1割以上あり、また避難先もしくは避難先以外の別の場所で新規事業の立ち上げや就職を考えているという選択肢への回答は極めて少ない。これらのことから、当面の仕事や生計維持に見通しを持ってない村民が少なくないことが伺える。
- ・年齢別に見ると、20～50代では「今の仕事を継続する」との回答が最も多く、約半数から約6割となっている。これに対し、60代では46.5%、70歳以上では61.9%が「当面は避難先で貯金や義援金、仮払補償金等で生活」と答えており、年齢が高いほど当面の生活を預貯金等で乗り切ろうと考えている人の多いことがわかる。
- ・避難前の職業で見ると、「自営業」において「当面は避難先で貯金や義援金、仮払補償金等で生活」(41.7%)という回答が多いことが目立つ。また、業種別でも「農林漁業」に同様の回答が多い(46.7%)。同じ回答は、現在の仕事の状況別に見ても、「失業中・休業中で特に働いていない」(63.5%)、「失業中・休業中でアルバイト」(27.7%)で多くなっており、さらに現在の収入状況別に見ても「収入がほとんどなくなった」とする回答者の62.7%が同様に回答している。これらのことから、避難生活により従来の仕事を継続することができず、収入が大きく減少した被災者が、預貯金・義援金・仮払補償金等で生活せざるを得ない状況が伺える。

◆ 単純集計結果



◆ 回答世代別集計結果

(単位:%)



- 当面は避難先で貯金や義援金、仮払補償金等で生活しつつ様子を見る
- 当面は避難先でアルバイトやパートをする
- 当面は避難先で仮の事業を始める
- ▨ 避難先で本格的に職を探す
- ▩ 避難先で本格的に事業を始める
- ▤ 今の避難先以外の場所で、本格的に職を探す
- ▥ 今の避難先以外の場所で、本格的に事業を始める
- ▦ 今の仕事を継続する
- ▧ 分からない
- ▨ その他
- ▩ 無回答

◆ 集計表

	全 体	当面は避難先で貯金や義援金、仮払補償金等で生活しつつ様子を見る	当面は避難先でアルバイトやパートをする	当面は避難先で仮の事業を始める	避難先で本格的に職を探す	避難先で本格的に事業を始める	今の避難先以外の場所で、本格的に職を探す	今の避難先以外の場所で、本格的に事業を始める	今の仕事を継続する	分からない	その他	無 回 答
全体	1743	597	135	5	38	11	18	7	583	208	65	76
	100.0	34.3	7.7	0.3	2.2	0.6	1.0	0.4	33.4	11.9	3.7	4.4
10代	8	3	2	-	-	-	-	-	-	2	1	-
	100.0	37.5	25.0	-	-	-	-	-	-	25.0	12.5	-
20代	111	15	11	-	7	-	5	-	49	22	2	-
	100.0	13.5	9.9	-	6.3	-	4.5	-	44.1	19.8	1.8	-
30代	164	24	7	2	4	1	5	-	97	20	4	-
	100.0	14.6	4.3	1.2	2.4	0.6	3.0	-	59.1	12.2	2.4	-
40代	224	33	19	2	9	3	2	-	132	17	4	3
	100.0	14.7	8.5	0.9	4.0	1.3	0.9	-	58.9	7.6	1.8	1.3
50代	435	87	44	-	11	3	6	3	218	36	12	15
	100.0	20.0	10.1	-	2.5	0.7	1.4	0.7	50.1	8.3	2.8	3.4
60代	383	178	49	-	6	4	-	3	79	40	16	8
	100.0	46.5	12.8	-	1.6	1.0	-	0.8	20.6	10.4	4.2	2.1
70歳以上	409	253	3	1	-	-	-	1	8	68	26	49
	100.0	61.9	0.7	0.2	-	-	-	0.2	2.0	16.6	6.4	12.0

クロス集計(【当面の生活確保・生計維持】×【現在の住まい(県内・県外)】)

	全 体	を 見 る 当 面 は 仮 払 補 償 金 等 で 生 活 し つ つ 様 子 を 保 持 し て 生 計 を 維 持 す る	当 面 は 避 難 先 で 貯 金 や 義 援 金 、 パ ー ト を す る	当 面 は 避 難 先 で 仮 の 事 業 を 始 め る	避 難 先 で 本 格 的 に 職 を 探 す	避 難 先 で 本 格 的 に 事 業 を 始 め る	今 の 避 難 先 以 外 の 場 所 で 、 本 格 的 に 職 を 探 す	今 の 避 難 先 以 外 の 場 所 で 、 本 格 的 に 事 業 を 始 め る	今 の 事 業 を 維 持 す る	分 か ら な い	そ の 他	無 回 答
全 体	1743 100.0	597 34.3	135 7.7	5 0.3	38 2.2	11 0.6	18 1.0	7 0.4	583 33.4	208 11.9	65 3.7	76 4.4
福島県内居住者	1576 100.0	539 34.2	121 7.7	5 0.3	30 1.9	10 0.6	13 0.8	4 0.3	557 35.3	186 11.8	49 3.1	62 3.9
福島県外居住者	143 100.0	50 35.0	14 9.8	-	6 4.2	1 0.7	4 2.8	3 2.1	22 15.4	19 13.3	15 10.5	9 6.3
不明	24 100.0	8 33.3	-	-	2 8.3	-	1 4.2	-	4 16.7	3 12.5	1 4.2	5 20.8

クロス集計(【当面の生活確保・生計維持】×【住居種別(避難先)】)

	全 体	を 見 る 当 面 は 仮 払 補 償 金 等 で 生 活 し つ つ 様 子 を 保 持 し て 生 計 を 維 持 す る	当 面 は 避 難 先 で 貯 金 や 義 援 金 、 パ ー ト を す る	当 面 は 避 難 先 で 仮 の 事 業 を 始 め る	避 難 先 で 本 格 的 に 職 を 探 す	避 難 先 で 本 格 的 に 事 業 を 始 め る	今 の 避 難 先 以 外 の 場 所 で 、 本 格 的 に 職 を 探 す	今 の 避 難 先 以 外 の 場 所 で 、 本 格 的 に 事 業 を 始 め る	今 の 事 業 を 維 持 す る	分 か ら な い	そ の 他	無 回 答
全 体	1743 100.0	597 34.3	135 7.7	5 0.3	38 2.2	11 0.6	18 1.0	7 0.4	583 33.4	208 11.9	65 3.7	76 4.4
仮設住宅	401 100.0	182 45.4	27 6.7	-	1 0.2	-	4 1.0	1 0.2	89 22.2	58 14.5	8 2.0	31 7.7
公営住宅(村が斡旋したもの)	128 100.0	42 32.8	12 9.4	1 0.8	5 3.9	1 0.8	2 1.6	-	41 32.0	16 12.5	2 1.6	6 4.7
県借上住宅	928 100.0	291 31.4	77 8.3	3 0.3	25 2.7	8 0.9	7 0.8	4 0.4	387 41.7	74 8.0	31 3.3	21 2.3
子ども・親戚・知人宅	72 100.0	30 41.7	4 5.6	-	-	1 1.4	2 2.8	1 1.4	10 13.9	13 18.1	6 8.3	5 6.9
借家(一戸建て・アパート等で家賃を自己負担しているもの)	124 100.0	32 25.8	11 8.9	-	4 3.2	1 0.8	1 0.8	-	39 31.5	25 20.2	6 4.8	5 4.0
老人施設・病院	17 100.0	2 11.8	-	-	-	-	-	-	-	7 41.2	4 23.5	4 23.5
社宅・寮	31 100.0	9 29.0	3 9.7	-	3 9.7	-	1 3.2	-	9 29.0	4 12.9	2 6.5	-
その他	30 100.0	7 23.3	3 3.3	-	-	-	1 3.3	1 3.3	7 23.3	7 23.3	5 16.7	1 3.3

クロス集計(【当面の生活確保・生計維持】×【職業(避難前)】)

	全 体	つ つ 様 子 を 見 る 当 面 は 仮 払 補 償 金 等 で 生 活 し つ つ 様 子 を 保 持 し て 生 計 を 維 持 す る	当 面 は 避 難 先 で 貯 金 や 義 援 金 、 パ ー ト を す る	当 面 は 避 難 先 で 仮 の 事 業 を 始 め る	避 難 先 で 本 格 的 に 職 を 探 す	避 難 先 で 本 格 的 に 事 業 を 始 め る	今 の 避 難 先 以 外 の 場 所 で 、 本 格 的 に 職 を 探 す	今 の 避 難 先 以 外 の 場 所 で 、 本 格 的 に 事 業 を 始 め る	今 の 事 業 を 維 持 す る	分 か ら な い	そ の 他	無 回 答
全 体	1743 100.0	597 34.3	135 7.7	5 0.3	38 2.2	11 0.6	18 1.0	7 0.4	583 33.4	208 11.9	65 3.7	76 4.4
自営業	391 100.0	163 41.7	53 13.6	4 1.0	9 2.3	7 1.8	5 1.3	5 1.3	94 24.0	29 7.4	10 2.6	12 3.1
会社員・会社役員	551 100.0	70 12.7	26 4.7	1 0.2	17 3.1	4 0.7	9 1.6	-	358 65.0	50 9.1	10 1.8	6 1.1
公務員・団体職員・教員	110 100.0	13 11.8	2 1.8	-	4 3.6	-	1 0.9	-	76 69.1	8 7.3	4 3.6	2 1.8
パート・アルバイト・派遣社員	122 100.0	35 28.7	32 26.2	-	2 1.6	-	1 0.8	-	32 26.2	16 13.1	4 3.3	-
学生	9 100.0	2 22.2	1 11.1	-	-	-	-	-	1 11.1	4 44.4	1 11.1	-
無職(年金受給あり)	370 100.0	224 60.5	12 3.2	-	-	-	-	1 0.3	5 1.4	64 17.3	24 6.5	40 10.8
無職(年金以外の収入あり)	37 100.0	23 62.2	1 2.7	-	2 5.4	-	-	-	1 2.7	6 16.2	2 5.4	2 5.4
無職(無収入)	101 100.0	49 48.5	6 5.9	-	3 3.0	-	1 1.0	1 1.0	4 4.0	19 18.8	8 7.9	10 9.9
その他	22 100.0	9 40.9	2 9.1	-	1 4.5	-	-	-	4 18.2	3 13.6	2 9.1	1 4.5

クロス集計(【当面の生活確保・生計維持】×【業種(避難前)】)

	全 体	金 つ つ 金 当 面 は 避 難 先 で 貯 金 や 義 援 金 等 で 生 活 し て い る 様 子 を 見 る													
全 体	1174	281	113	5	32	11	16	5	560	103	28	20			
	100.0	23.9	9.6	0.4	2.7	0.9	1.4	0.4	47.7	8.8	2.4	1.7			
農林漁業	300	140	47	1	6	2	4	3	57	24	8	8			
	100.0	46.7	15.7	0.3	2.0	0.7	1.3	1.0	19.0	8.0	2.7	2.7			
電気・ガス・水道業	24	4	-	-	-	2	-	-	15	3	-	-			
	100.0	16.7	-	-	-	8.3	-	-	62.5	12.5	-	-			
製造業	248	27	13	1	9	1	2	1	155	26	8	5			
	100.0	10.9	5.2	0.4	3.6	0.4	0.8	0.4	62.5	10.5	3.2	2.0			
建設業	224	31	17	1	4	2	3	-	139	20	4	3			
	100.0	13.8	7.6	0.4	1.8	0.9	1.3	-	62.1	8.9	1.8	1.3			
運輸業	43	5	3	-	1	-	-	-	31	2	1	-			
	100.0	11.6	7.0	-	2.3	-	-	-	72.1	4.7	2.3	-			
通信業	2	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-			
	100.0	-	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-			
卸売・小売・飲食業	43	10	6	1	1	-	1	-	18	3	1	2			
	100.0	23.3	14.0	2.3	2.3	-	2.3	-	41.9	7.0	2.3	4.7			
金融・保険業	11	-	2	-	-	-	-	-	8	1	-	-			
	100.0	-	18.2	-	-	-	-	-	72.7	9.1	-	-			
不動産業	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-			
	100.0	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-			
他のサービス業	132	41	13	1	4	2	2	1	55	10	3	-			
	100.0	31.1	9.8	0.8	3.0	1.5	1.5	0.8	41.7	7.6	2.3	-			
その他	103	15	6	-	3	1	2	-	61	10	3	2			
	100.0	14.6	5.8	-	2.9	1.0	1.9	-	59.2	9.7	2.9	1.9			

クロス集計(【当面の生活確保・生計維持】×【職業(避難後)】)

	全 体	金 つ つ 金 当 面 は 避 難 先 で 貯 金 や 義 援 金 等 で 生 活 し て い る 様 子 を 見 る													
全 体	1743	597	135	5	38	11	18	7	583	208	65	76			
	100.0	34.3	7.7	0.3	2.2	0.6	1.0	0.4	33.4	11.9	3.7	4.4			
被災前と同じ(被災前から無職だった場合を含む)	991	270	24	3	9	8	8	5	490	107	34	33			
	100.0	27.2	2.4	0.3	0.9	0.8	0.8	0.5	49.4	10.8	3.4	3.3			
休職中(被災前の勤務先に所属)	51	22	5	-	1	-	-	-	10	9	3	1			
	100.0	43.1	9.8	-	2.0	-	-	-	19.6	17.6	5.9	2.0			
失業中・休業中でアルバイト	112	31	56	-	1	-	2	-	7	12	-	3			
	100.0	27.7	50.0	-	0.9	-	1.8	-	6.3	10.7	-	2.7			
失業中・休業中で特に働いていない	241	153	18	-	19	1	8	1	2	26	8	5			
	100.0	63.5	7.5	-	7.9	0.4	3.3	0.4	0.8	10.8	3.3	2.1			
職業訓練(離職者訓練)受講中	7	1	2	-	1	-	-	-	-	1	1	-			
	100.0	14.3	28.6	-	14.3	14.3	-	-	-	14.3	14.3	-			
転職	77	7	8	-	2	-	-	-	45	12	2	1			
	100.0	9.1	10.4	-	2.6	-	-	-	58.4	15.6	2.6	1.3			
その他	112	29	16	2	3	-	-	1	23	21	12	5			
	100.0	25.9	14.3	1.8	2.7	-	-	0.9	20.5	18.8	10.7	4.5			

クロス集計(【当面の生活確保・生計維持】×【現在の収入】)

	全 体	活 援 金 は あ ま り あ わ ら な い 様 子 を 見 る													
全 体	1743	597	135	5	38	11	18	7	583	208	65	76			
	100.0	34.3	7.7	0.3	2.2	0.6	1.0	0.4	33.4	11.9	3.7	4.4			
収入がほとんどなくなった	311	195	25	1	18	2	8	1	12	35	7	7			
	100.0	62.7	8.0	0.3	5.8	0.6	2.6	0.3	3.9	11.3	2.3	2.3			
月額で7～8割くらい減った	120	32	25	-	2	1	2	1	35	16	6	-			
	100.0	26.7	20.8	-	1.7	0.8	1.7	0.8	29.2	13.3	5.0	-			
月額で5割くらい減った	174	55	33	1	5	3	-	1	50	15	8	3			
	100.0	31.6	19.0	0.6	2.9	1.7	-	0.6	28.7	8.6	4.6	1.7			
月額で2～3割くらい減った	248	67	17	-	5	1	2	1	120	25	6	4			
	100.0	27.0	6.9	-	2.0	0.4	0.8	0.4	48.4	10.1	2.4	1.6			
あまり変わらない(年金生活を含む)	694	183	23	2	6	3	5	3	318	83	27	41			
	100.0	26.4	3.3	0.3	0.9	0.4	0.7	0.4	45.8	12.0	3.9	5.9			
収入が増えた	42	13	4	-	-	-	-	-	15	5	3	2			
	100.0	31.0	9.5	-	-	-	-	-	35.7	11.9	7.1	4.8			
その他	41	15	4	-	-	1	-	-	15	1	5	-			
	100.0	36.6	9.8	-	-	2.4	-	-	36.6	2.4	12.2	-			
わからない	71	17	4	1	1	-	1	-	17	23	2	5			
	100.0	23.9	5.6	1.4	1.4	-	1.4	-	23.9	32.4	2.8	7.0			

◆ 「その他」における自由記述

<p>【10代の回答者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 親の支送り
<p>【20代の回答者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後の仕事の状況によって考える 避難先で仕事を紹介され就業しているが、今年度末で契約が切れるので、その後が分からない
<p>【30代の回答者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資格を取得し、スキルアップして求職活動する 仕事をやめたい 出産・育児の合間をぬってアルバイト 今は飯館村に通勤しているが、冬は、困難な為、考えるだけで頭がイタイ
<p>【40代の回答者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 以前の職場で仕事をしている とりあえずは、今の仕事をやるしかない 通勤距離が遠すぎる
<p>【50代の回答者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕事も激減しているのでいつ解雇されるか不安(2件) 働きたいが年老いた母がいるので迷ってる(2件) 安心・安全な移住地で職を探す 東電と(村)経済省からの賠償で移住し、事業を再開する 体調くずして3年間仕事してためと医師に言われた。(現在通院したり入院したりしてる) 体の調子が悪く仕事が出来ない 精神科病院に入院中。就労は現在のところ不可 仕事を始めた
<p>【60代の回答者】</p> <ul style="list-style-type: none"> いいいて全村見守り隊、継続してほしい(4件) 年金生活を継続する(2件) 今の仕事が11月までなので、また職を探す 県外にて仕事を始める 仕事はしたいが60才を出ると仕事なし。どこかで働かせて下さい。ひまです 仕事はしたいが体調管理 妻の収入などがなくなった 避難先では夢も、希望もない。体の調子が悪い 今の仕事を継続するが事務所を探したい 東電・国はいつまで払うのか 重労働な仕事のため腰を痛めてしまい仕事をやめた
<p>【70代以上の回答者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年金生活を継続する(11件) 高齢のため仕事ができない(4件) 10年前に胃手術した体だけれど自分で炊事して暮しています 体が不自由だから何もできない 腎臓病なので透析している 手作りかご作りする 計画的な日常生活をして継続したい 健康ななぎりシルバー人材センターの仕事が続ける 気管支ぜんそくで体が弱く、薬飲まない生活が出来ない 高齢のため、人の世話になるばかり

【設問】

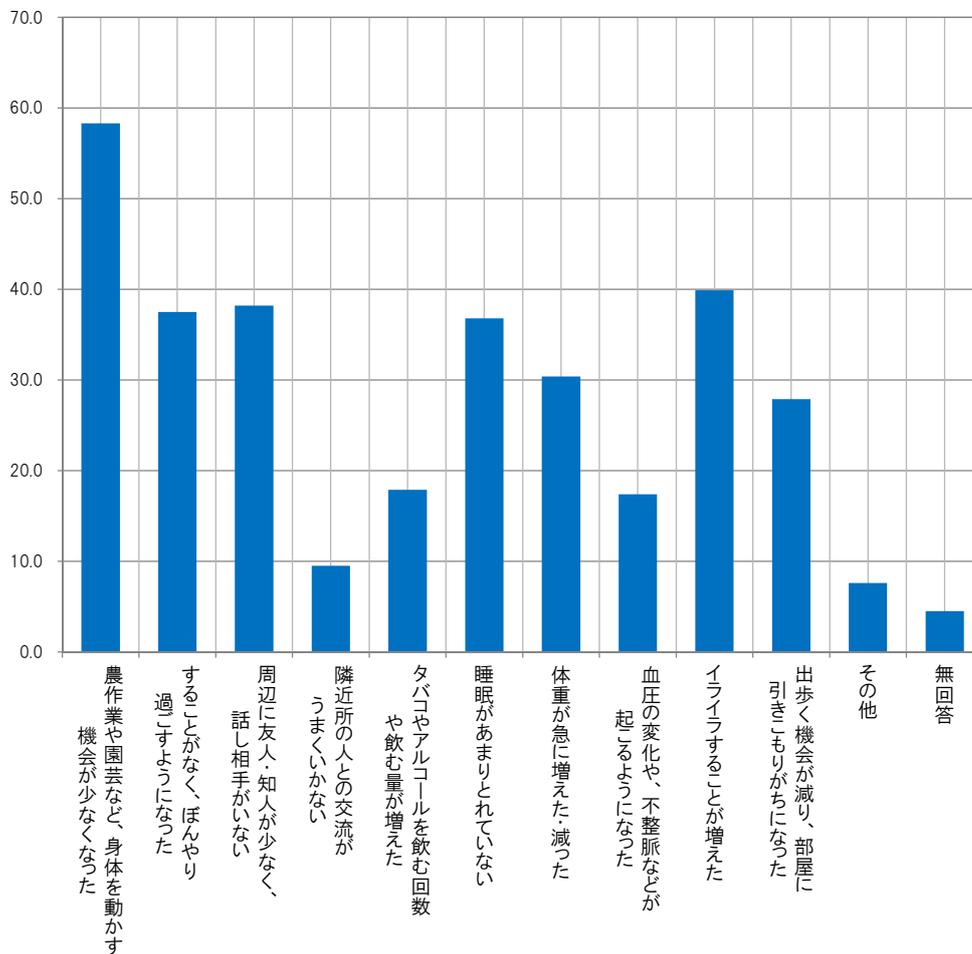
Q17.避難生活が続く中で、ご家族(ご自身を含む)の生活や体調などに変化はありますか。どなたか当てはまる変化があれば、お答えください。(〇はいくつでも)

■ 結果の概要

- ・ 「身体を動かす機会が少なくなった」という回答が58.3%と最も多く、次いで「イライラすることが増えた」(39.9%)、「話し相手がいない」(38.2%)、「ぼんやり過ごすようになった」(37.6%)、「睡眠があまりとれていない」(36.8%)の順になっている。また、体重の増減や散歩機会の減少を訴える声も約3割ほどあり、避難により生活や体調にさまざまな影響のあることがわかる。
- ・ 年齢別に見ると、20代～40代の比較的若い世代において「イライラすることが増えた」という回答が半数を超えていることが目立つ。一方、50代、60代においては「身体を動かす機会が少なくなった」という回答が約7割に上っていること、70歳以上では「ぼんやり過ごすようになった」(47.2%)、「引きこもりがちになった」(36.2%)という回答が他の世代より多いことが特徴的である。
- ・ 現在の住居別に見ると、「仮設住宅」に居住している回答者が「話し相手がいない」と回答している割合は19.0%となっており、公営住宅(37.5%)、「県借上住宅」(46.6%)、「子ども・親戚・知人宅」(54.2%)、「借家(自己負担)」(38.2%)と比べて非常に少ない。これは、仮設住宅において同じ境遇にある飯館村民がまとめて居住していることが功を奏しているものと考えられる。
- ・ 「その他」における自由記述を見ると、「ストレスから体を壊した」、「精神的に限界」や「無気力になった」など、精神的な苦痛に関するさまざまな声が見られた。

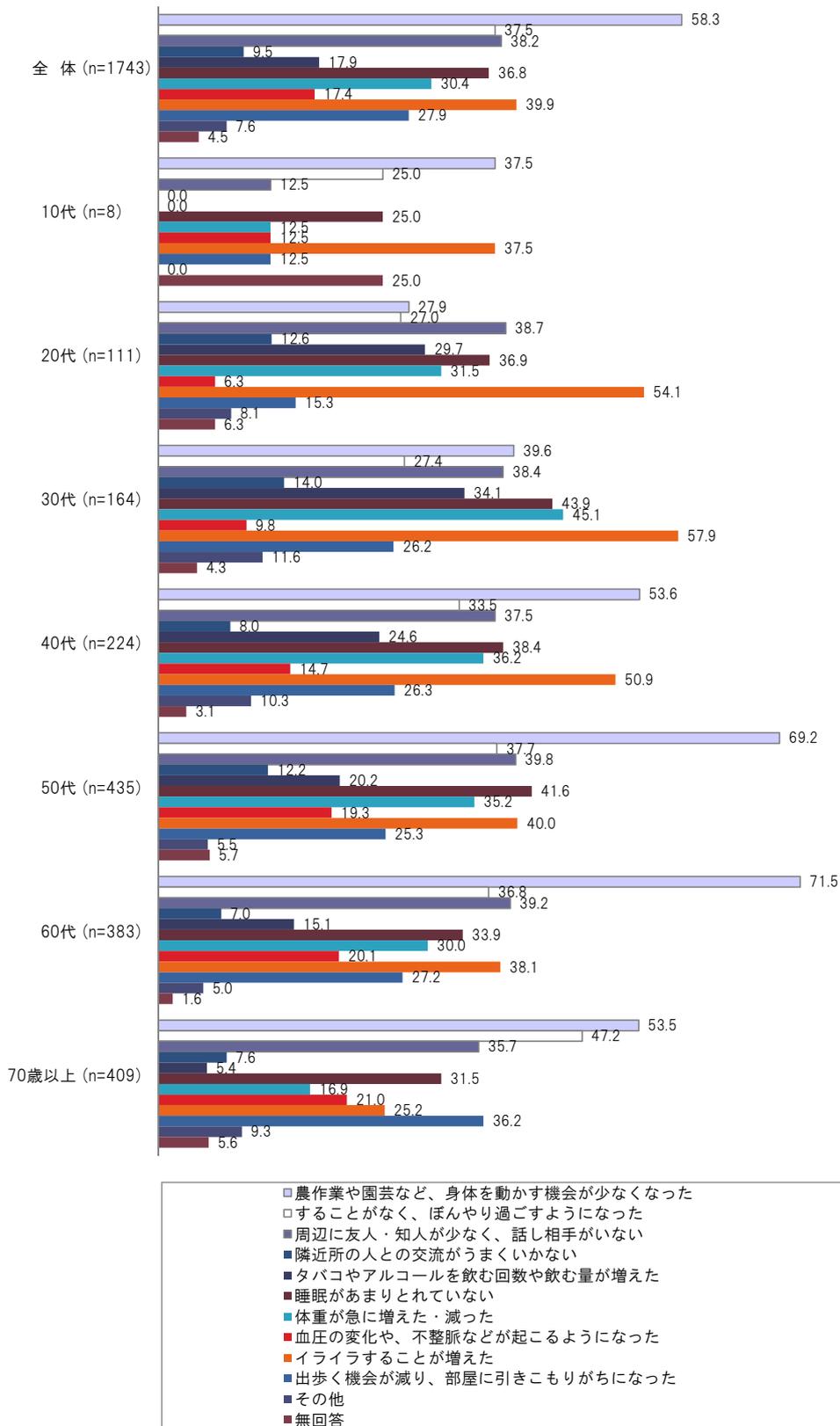
◆ 単純集計結果

(単位:%)



◆ 回答世代別集計結果

(単位:%)



◆ 集計表

	全 体	農 作 業 や 園 芸 な ど 、 身 体 を 動 か す 機 会 が 少 な く な っ た	過 す る こ と が な く 、 ぼ ん や り 過 ぎ す よ う に な っ た	く 周 辺 に 友 人 ・ 知 人 が 少 な い	ま く 隣 近 所 の 人 と の 交 流 が う ま く い か な い	回 数 や 飲 む 量 が 増 え た	タ バ コ や ア ル コ ー ル を 飲 む	睡 眠 が あ ま り と れ て い な い	体 重 が 急 に 増 え た ・ 減 っ た	血 圧 の 変 化 や 、 不 整 脈 な ど が 起 こ る よ う に な っ た	イ ラ イ ラ す る こ と が 増 え た	出 歩 く 機 会 が 減 り 、 部 屋 に 引 き こ も り が ち に な っ た	そ の 他	無 回 答
全 体	1743 100.0	1016 58.3	654 37.5	665 38.2	166 9.5	312 17.9	642 36.8	530 30.4	304 17.4	695 39.9	487 27.9	132 7.6	78 4.5	
10代	8 100.0	3 37.5	2 25.0	1 12.5	-	-	2 25.0	1 12.5	1 12.5	3 37.5	1 12.5	-	2 25.0	
20代	111 100.0	31 27.9	30 27.0	43 38.7	14 12.6	33 29.7	41 36.9	35 31.5	7 6.3	60 54.1	17 15.3	9 8.1	7 6.3	
30代	164 100.0	65 39.6	45 27.4	63 38.4	23 14.0	56 34.1	72 43.9	74 45.1	16 9.8	95 57.9	43 26.2	19 11.6	7 4.3	
40代	224 100.0	120 53.6	75 33.5	84 37.5	18 8.0	55 24.6	86 38.4	81 36.2	33 14.7	114 50.9	59 26.3	23 10.3	7 3.1	
50代	435 100.0	301 69.2	164 37.7	173 39.8	53 12.2	88 20.2	181 41.6	153 35.2	84 19.3	174 40.0	110 25.3	24 5.5	25 5.7	
60代	383 100.0	274 71.5	141 36.8	150 39.2	27 7.0	58 15.1	130 33.9	115 30.0	77 20.1	146 38.1	104 27.2	19 5.0	6 1.6	
70歳以上	409 100.0	219 53.5	193 47.2	146 35.7	31 7.6	22 5.4	129 31.5	69 16.9	86 21.0	103 25.2	148 36.2	38 9.3	23 5.6	

クロス集計【家族の生活や体調の変化】×【現在の住まい(県内・県外)】

	全 体	農 作 業 や 園 芸 な ど 、 身 体 を 動 か す 機 会 が 少 な く な っ た	過 す る こ と が な く 、 ぼ ん や り 過 ぎ す よ う に な っ た	く 周 辺 に 友 人 ・ 知 人 が 少 な い	ま く 隣 近 所 の 人 と の 交 流 が う ま く い か な い	回 数 や 飲 む 量 が 増 え た	タ バ コ や ア ル コ ー ル を 飲 む	睡 眠 が あ ま り と れ て い な い	体 重 が 急 に 増 え た ・ 減 っ た	血 圧 の 変 化 や 、 不 整 脈 な ど が 起 こ る よ う に な っ た	イ ラ イ ラ す る こ と が 増 え た	出 歩 く 機 会 が 減 り 、 部 屋 に 引 き こ も り が ち に な っ た	そ の 他	無 回 答
全 体	1743 100.0	1016 58.3	654 37.5	665 38.2	166 9.5	312 17.9	642 36.8	530 30.4	304 17.4	695 39.9	487 27.9	132 7.6	78 4.5	
福島県内居住者	1576 100.0	944 59.9	602 38.2	597 37.9	149 9.5	289 18.3	596 37.8	481 30.5	277 17.6	636 40.4	447 28.4	108 6.9	64 4.1	
福島県外居住者	143 100.0	60 42.0	42 29.4	61 42.7	14 9.8	22 15.4	43 30.1	41 28.7	25 17.5	51 35.7	32 22.4	24 16.8	11 7.7	
不明	24 100.0	12 50.0	10 41.7	7 29.2	3 12.5	1 4.2	3 12.5	8 33.3	2 8.3	8 33.3	8 33.3	-	3 12.5	

クロス集計【家族の生活や体調の変化】×【住居種別(避難先)】

	全 体	農 作 業 や 園 芸 な ど 、 身 体 を 動 か す 機 会 が 少 な く な っ た	過 す る こ と が な く 、 ぼ ん や り 過 ぎ す よ う に な っ た	く 周 辺 に 友 人 ・ 知 人 が 少 な い	ま く 隣 近 所 の 人 と の 交 流 が う ま く い か な い	回 数 や 飲 む 量 が 増 え た	タ バ コ や ア ル コ ー ル を 飲 む	睡 眠 が あ ま り と れ て い な い	体 重 が 急 に 増 え た ・ 減 っ た	血 圧 の 変 化 や 、 不 整 脈 な ど が 起 こ る よ う に な っ た	イ ラ イ ラ す る こ と が 増 え た	出 歩 く 機 会 が 減 り 、 部 屋 に 引 き こ も り が ち に な っ た	そ の 他	無 回 答
全 体	1743 100.0	1016 58.3	654 37.5	665 38.2	166 9.5	312 17.9	642 36.8	530 30.4	304 17.4	695 39.9	487 27.9	132 7.6	78 4.5	
仮設住宅	401 100.0	240 59.9	150 37.4	76 19.0	31 7.7	54 13.5	154 38.4	95 23.7	83 20.7	133 33.2	107 26.7	23 5.7	21 5.2	
公営住宅(村が斡旋したもの)	128 100.0	69 53.9	46 35.9	48 37.5	9 7.0	22 17.2	46 35.9	45 35.2	32 25.0	61 47.7	37 28.9	6 4.7	4 3.1	
県借上住宅	928 100.0	591 63.7	370 39.9	431 46.4	102 11.0	197 21.2	366 39.4	324 34.9	152 16.4	401 43.2	267 28.8	69 7.4	26 2.8	
子ども・親戚・知人宅	72 100.0	32 44.4	30 41.7	39 54.2	6 8.3	4 5.6	19 26.4	8 11.1	9 12.5	24 33.3	26 36.1	5 6.9	5 6.9	
借家(一戸建て・アパート等で家賃を自己負担しているもの)	124 100.0	56 45.2	37 29.8	48 38.7	11 8.9	20 16.1	39 31.5	39 31.5	19 15.3	52 41.9	29 23.4	11 8.9	8 6.5	
老人施設・病院	17 100.0	2 11.8	2 11.8	3 17.6	1 5.9	-	1 5.9	1 5.9	-	4 23.5	2 11.8	7 41.2	4 23.5	
社宅・寮	31 100.0	14 45.2	11 35.5	13 41.9	4 12.9	9 29.0	11 35.5	9 29.0	5 16.1	12 38.7	13 41.9	4 12.9	2 6.5	
その他	30 100.0	8 26.7	6 20.0	4 13.3	1 3.3	5 16.7	3 10.0	8 26.7	3 10.0	6 20.0	3 10.0	5 16.7	5 16.7	

クロス集計(【家族の生活や体調の変化】×【職業(避難後)】)

	全 体	動 農 作 業 や 園 芸 な ど 、 身 体 を 過 す る こ と が な く 、 ほ ん や り	過 す る こ と が な く 、 ほ ん や り	く 周 辺 に 友 人 ・ 知 人 が 少 な い	隣 近 所 の 人 と の 交 流 が う ま い か な い	回 数 や 飲 む 量 が 増 え た	タ バ コ や ア ル コ ー ル を 飲 む	睡 眠 が あ ま り と れ て い な い	体 重 が 急 に 増 え た ・ 減 っ た	血 圧 の 変 化 や 、 不 整 脈 な ど が 起 こ る よ う に な っ た	イ ラ イ ラ す る こ と が 増 え た	出 歩 く 機 会 が 減 り 、 部 屋 に 引 き こ も り が ち に な っ た	そ の 他	無 回 答
全 体	1743 100.0	1016 58.3	654 37.5	665 38.2	166 9.5	312 17.9	642 36.8	530 30.4	304 17.4	695 39.9	487 27.9	132 7.6	78 4.5	
被災前と同じ(被災前から無職だった場合を含む)	991 100.0	553 55.8	368 37.1	376 37.9	101 10.2	183 18.5	355 35.8	288 29.1	152 15.3	390 39.4	281 28.4	78 7.9	51 5.1	
休職中(被災前の勤務先に所属)	51 100.0	28 54.9	21 41.2	21 41.2	2 3.9	11 21.6	18 35.3	15 29.4	8 15.7	18 35.3	13 25.5	6 11.8	2 3.9	
失業中・休業中でアルバイト	112 100.0	76 67.9	36 32.1	42 37.5	14 12.5	21 18.8	47 42.0	45 40.2	23 20.5	50 44.6	33 29.5	3 2.7	3 2.7	
失業中・休業中で特に働いていない	241 100.0	153 63.5	108 44.8	107 44.4	23 9.5	41 17.0	89 36.9	69 28.6	48 19.9	111 46.1	80 33.2	14 5.8	6 2.5	
職業訓練(離職者訓練)を受講中	7 100.0	3 42.9	3 42.9	6 85.7	1 14.3	2 28.6	5 71.4	4 57.1	2 28.6	5 71.4	-	2 28.6	-	
転職	77 100.0	42 54.5	17 22.1	29 37.7	8 10.4	17 22.1	31 40.3	28 36.4	12 15.6	29 37.7	14 18.2	11 14.3	2 2.6	
その他	112 100.0	75 67.0	39 34.8	32 28.6	7 6.3	23 20.5	53 47.3	42 37.5	22 19.6	45 40.2	27 24.1	11 9.8	5 4.5	

◆ 「その他」における自由記述

【10代の回答者】 (なし)
【20代の回答者】 ・ストレスから体を壊した(4件) ・新しい環境で書くもの、出向くこと、やらなければいけないが増え非常に忙しくなった。落ちこむ ・妊娠中の妻の体調が非常に悪い ・母が体調を悪くし死亡した。 ・症状が悪化した ・風邪をひきやすくなった
【30代の回答者】 ・外を歩いたりしなくなった(2件) ・アパートなのでつねに気を遣うようになったので気が張りつめている ・生きることがつらくなった ・考えがまとまらない。やる気が起きない。食欲がない ・静かに生活する事へのストレス ・子供のストレス ・子供の夜泣きが多くなった ・精神不安定になり通院した ・通勤等移動時間が長つかれ気味 ・常にに考えている事が多くなり、精神的につらい ・何もする気がおきない ・休みの日はなるべく子供を遠くへ遊ばせに行っている ・やる気が減退し、落ち込む時間が多々ある ・避難中から首(ヘルニア?)の痛みがなおらない ・うつ状態が悪化した ・毎月1回(1週間くらい)急に飯館村のことを思うと悲しくて涙がとまらなくなり、途方に暮れ不安定になる。子供が突然涙を流し帰りたいと言う
【40代の回答者】 ・体の疲労が取れない(2件) ・認知症がすみ、施設に入所した為家族の負担が増えた ・通勤時間が増え生活リズムも乱れた ・アパートの近所の人と仲良くなれて楽しい ・車の音やまわりがうるさく、2階の音が気になる ・婚約が解消になった ・生活に変化があったが体調に変化無し。 ・体調不良により病院に通っている。仕事も休んでいる ・体力低下・筋力の低下による歩行困難 ・通勤時間が長く体に負担を感じる ・妻が体調不良で通院中 ・母親が寝たきりになる生活を続けているのが心配 ・不安がいっぱい ・小学校の子が精神的にまいっている ・学校でいじめられる ・息子が突然泣きだす事が、たびたびある(小学生) ・子供がアレルギーになった(ハウスダスト) ・時間が減った ・生活が一変。精神面でつらい ・家族が3ヶ所に別れて暮している
【50代の回答者】 ・相手に対しての気くばり、思いやりのなさに信頼できない ・人の言う事が信用できなくなった。 ・線量の高い飯館に2年で帰させられる恐怖 ・夫婦間の口論が多くなり、夫婦で体調を崩すことが多い ・仕事に通う、ストレス

- ・円形脱毛症になった。
- ・カゼがひきやすくなった
- ・避難後、体調をくずした
- ・入院生活を送ることになった
- ・車がないため、出られなくなった
- ・車の騒音で熟睡できなくなった。慢性寝不足
- ・慣れない土地で不安があり車の運転をしなくなった。
- ・子どもたちの仮設でのアレルギー
- ・疲れて入院生活、通院
- ・テレビを見る時間が増えた
- ・認知症の症状がでてきた
- ・母親の認知症が悪化
- ・プライベートの時間が少なくなった
- ・息子が郡山に初めての一人暮らしをして体調をくずしている。大変心配
- ・前とかわった事はないもともと一人でのいるのが好き
- ・買い物だけ
- ・精神的に体全体が重い感じ
- ・スポーツをする体育館もなければサークル活動も無くなった

【60代の回答者】

- ・ストレス性の歯や目、血圧等に悪影響だと医師から云われた
- ・精神的限界(ストレス)
- ・無気力になった
- ・介護の疲れがかなりひどい
- ・何をやっても手につかない
- ・過食症がみ、食べないとおちつかない
- ・こんな生活いやだ
- ・すべてに努力(いつまでもつか?)している。
- ・多忙につき体重減
- ・父がちほう症になり入院をよぎなくされた。
- ・母が入院するようになった
- ・母が認知症になってきたので妻が仕事にでることが出さない。
- ・病院のクスのりんです。
- ・毎日通勤で疲れる
- ・みんなとお茶飲む機会が少くTVを見てぼんやり
- ・体が3つぐらい欲しい

【70代以上の回答者】

- ・入院中(2件)
- ・1ヶ月に一度通院しているが血圧も安定して健康です
- ・2週間位体調悪く入院した。
- ・動けない、手頭がまがった
- ・運動不足で体の調子が悪くなる気がする
- ・夫が群馬の病院に入院してるので毎日通っている
- ・薬を1日1回のむようになった
- ・買物に行ったり散歩したり
- ・仮設が狭いせいか味覚を失って食量減った
- ・近所の方とうまくつき合っているので寂しくない
- ・グランドゴルフ、ゲートボールで身体を動かしてます
- ・主人入院ため毎日病院通う
- ・シルバー人材センターの仕事で、健康が保たれている
- ・心筋梗塞になり、入院した。胃ガンも見つかった。
- ・震災者の生活を取り戻すべく努力している
- ・新聞やテレビを見る様になった
- ・体重が増えた
- ・体調を崩す事が多くなった
- ・通院するのに乗り物に乗る(人たのみ)
- ・テレビを見て過ごすようになった
- ・日中自宅に帰る草刈、植木剪定、盆栽の手入などをしている
- ・避難した頃は何となく落ち付かず不安も有ったが、今はあきらめもあり不安は無いです
- ・避難等の環境の変化により痴呆の症状が進んだ。
- ・文書ばかりよこさないで下さい。日々が大変
- ・息子がノイローゼみたいになった。医者に見てもらってる
- ・以前居住していたため知人など多い
- ・廻りの人と出来るだけ接してる
- ・原発事故の収束時が見えず、無気力状態である。※(先が見えないときや人は人生設計の目的を失つと、唯思をしているだけである。)
- ・主人が脳出血で入院した
- ・適当に運動して居る
- ・病院の回数が少しになった
- ・娘の家が農家なので飯館の生活とあまり変わらない

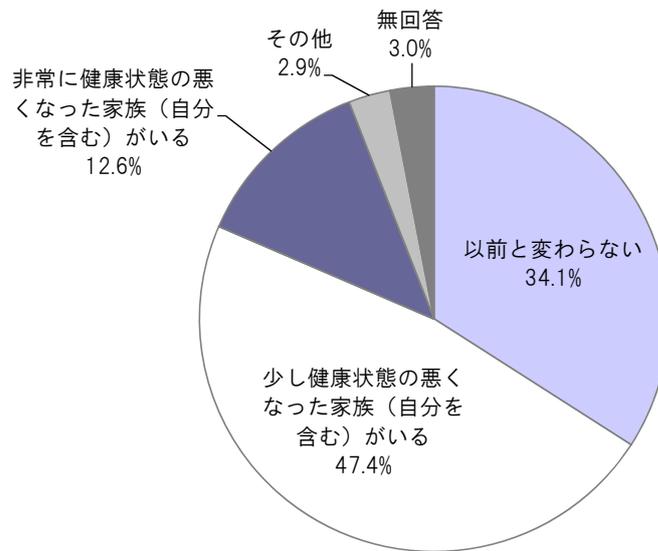
【設問】

Q18.ご家族(ご自身を含む)の健康状態(病気など)はいかがですか。(1つに○印)

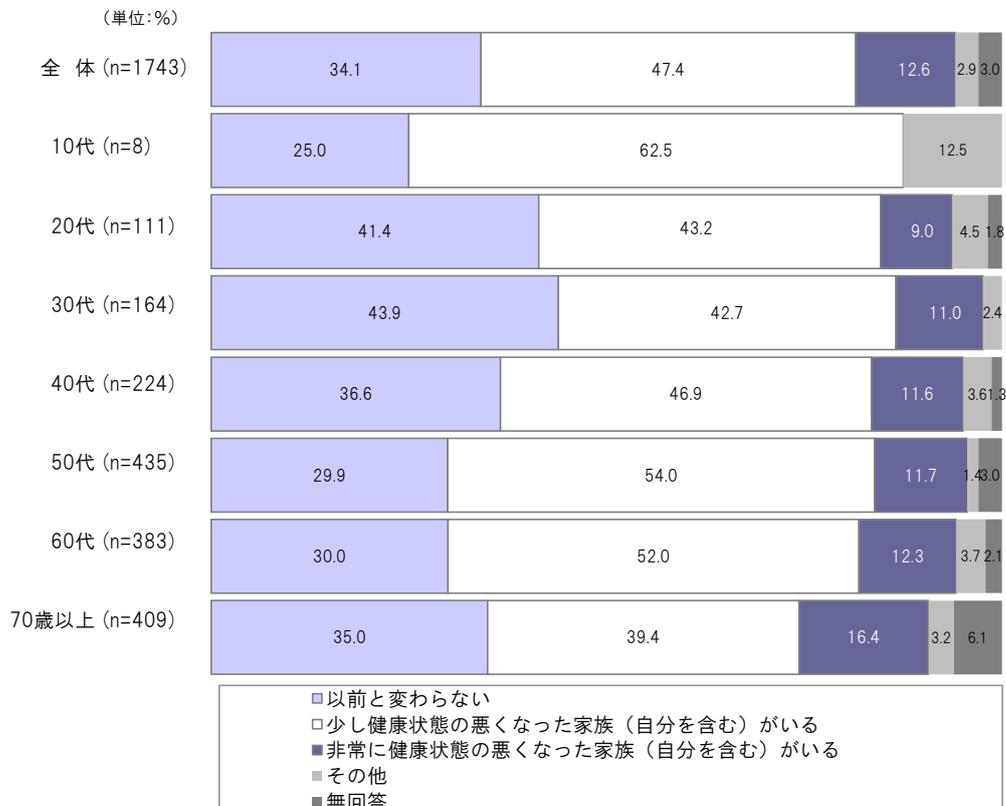
■ 結果の概要

- ・「以前と変わらない」という回答は34.1%にとどまり、「少し悪くなった家族がいる」(47.4%)、「非常に悪くなった家族がいる」(12.6%)と、健康状態が悪化した家族のいる割合は6割に上っている。
- ・これを年齢別に見ると、50代、60代では「少し悪くなった家族がいる」との回答がいずれも半数を超えており、「非常に悪くなった家族がいる」も含めると約65%が健康状態の悪化した家族がいると回答した。

◆ 単純集計結果



◆ 回答世代別集計結果



◆ 集計表

	全 体	以 前 と 変 わ ら な い	家 少 し 健 康 状 態 の 悪 く な っ た （ 自 分 を 含 む ） が い る	た 非 常 に 健 康 状 態 の 悪 く な っ た （ 自 分 を 含 む ） が い る	そ の 他	無 回 答
全 体	1743 100.0	594 34.1	827 47.4	219 12.6	51 2.9	52 3.0
10代	8 100.0	2 25.0	5 62.5	- -	1 12.5	- -
20代	111 100.0	46 41.4	48 43.2	10 9.0	5 4.5	2 1.8
30代	164 100.0	72 43.9	70 42.7	18 11.0	4 2.4	- -
40代	224 100.0	82 36.6	105 46.9	26 11.6	8 3.6	3 1.3
50代	435 100.0	130 29.9	235 54.0	51 11.7	6 1.4	13 3.0
60代	383 100.0	115 30.0	199 52.0	47 12.3	14 3.7	8 2.1
70歳以上	409 100.0	143 35.0	161 39.4	67 16.4	13 3.2	25 6.1

クロス集計(【避難生活が続く中での現在の体調】×【現在の住まい(県内・県外)】)

	全 体	以 前 と 変 わ ら な い	少 し 健 康 状 態 の 悪 く な っ た （ 自 分 を 含 む ） が い る	な 非 常 に 健 康 状 態 の 悪 く な っ た （ 自 分 を 含 む ） が い る	そ の 他	無 回 答
全 体	1743 100.0	594 34.1	827 47.4	219 12.6	51 2.9	52 3.0
福島県内居住者	1576 100.0	527 33.4	754 47.8	204 12.9	47 3.0	44 2.8
福島県外居住者	143 100.0	59 41.3	63 44.1	12 8.4	4 2.8	5 3.5
不明	24 100.0	8 33.3	10 41.7	3 12.5	- -	3 12.5

クロス集計(【避難生活が続く中での現在の体調】×【住居種別(避難先)】)

	全 体	以 前 と 変 わ ら な い	家 少 し 健 康 状 態 の 悪 く な っ た （ 自 分 を 含 む ） が い る	た 非 常 に 健 康 状 態 の 悪 く な っ た （ 自 分 を 含 む ） が い る	そ の 他	無 回 答
全 体	1743 100.0	594 34.1	827 47.4	219 12.6	51 2.9	52 3.0
仮設住宅	401 100.0	139 34.7	178 44.4	55 13.7	12 3.0	17 4.2
公営住宅(村が斡旋したもの)	128 100.0	38 29.7	68 53.1	13 10.2	4 3.1	5 3.9
県借上住宅	928 100.0	301 32.4	465 50.1	120 12.9	25 2.7	17 1.8
子ども・親戚・知人宅	72 100.0	38 52.8	25 34.7	7 9.7	1 1.4	1 1.4
借家(一戸建て・アパート等で家賃を自己負担しているもの)	124 100.0	45 36.3	55 44.4	13 10.5	4 3.2	7 5.6
老人施設・病院	17 100.0	6 35.3	5 29.4	5 29.4	1 5.9	- -
社宅・寮	31 100.0	11 35.5	14 45.2	3 9.7	2 6.5	1 3.2
その他	30 100.0	13 43.3	14 46.7	1 3.3	1 3.3	1 3.3

クロス集計(【避難生活が続く中での現在の体調】×【職業(避難後)】)

	全 体	以 前 と 変 わ ら な い	家 少 し 健 康 状 態 の 悪 く な っ た (自 分 を 含 む) が い る	む な 非 常 に 健 康 状 態 の 悪 く な っ た (自 分 を 含 む) が い る	そ の 他	無 回 答
全 体	1743 100.0	594 34.1	827 47.4	219 12.6	51 2.9	52 3.0
被災前と同じ被災前から無職だった場合を含む)	991 100.0	367 37.0	450 45.4	121 12.2	27 2.7	26 2.6
休職中(被災前の勤務先に所属)	51 100.0	16 31.4	23 45.1	9 17.6	2 3.9	1 2.0
失業中・休業中でアルバイト	112 100.0	35 31.3	57 50.9	15 13.4	1 0.9	4 3.6
失業中・休業中で特に働いていない	241 100.0	67 27.8	129 53.5	34 14.1	5 2.1	6 2.5
職業訓練(離職者訓練)を受講中	7 100.0	2 28.6	4 57.1	- -	1 14.3	- -
転職	77 100.0	33 42.9	35 45.5	6 7.8	3 3.9	- -
その他	112 100.0	33 29.5	55 49.1	14 12.5	8 7.1	2 1.8

クロス集計(【避難生活が続く中での現在の体調】×【家族の生活や体調の変化】)

	全 体	以 前 と 変 わ ら な い	む な 少 し 健 康 状 態 の 悪 く な っ た (自 分 を 含 む) が い る	む な 非 常 に 健 康 状 態 の 悪 く な っ た (自 分 を 含 む) が い る	そ の 他	無 回 答
全 体	1743 100.0	594 34.1	827 47.4	219 12.6	51 2.9	52 3.0
農作業や園芸など、身体を動かす機会が少なくなった	1016 100.0	318 31.3	525 51.7	129 12.7	27 2.7	17 1.7
することがなく、ぼんやり過ごすようになった	654 100.0	174 26.6	358 54.7	92 14.1	17 2.6	13 2.0
周辺に友人・知人が少なく、話し相手がいらない	665 100.0	189 28.4	367 55.2	85 12.8	15 2.3	9 1.4
隣近所の人との交流がうまくいかない	166 100.0	39 23.5	92 55.4	27 16.3	7 4.2	1 0.6
タバコやアルコールを飲む回数や飲む量が増えた	312 100.0	75 24.0	184 59.0	44 14.1	8 2.6	1 0.3
睡眠があまりとれていない	642 100.0	130 20.2	382 59.5	102 15.9	17 2.6	11 1.7
体重が急に増えた・減った	530 100.0	130 24.5	294 55.5	78 14.7	20 3.8	8 1.5
血圧の変化や、不整脈などが起こるようになった	304 100.0	27 8.9	191 62.8	68 22.4	12 3.9	6 2.0
イライラすることが増えた	695 100.0	153 22.0	397 57.1	116 16.7	20 2.9	9 1.3
出歩く機会が減り、部屋に引きこもりがちになった	487 100.0	116 23.8	273 56.1	79 16.2	12 2.5	7 1.4
その他	132 100.0	40 30.3	47 35.6	31 23.5	14 10.6	- -

◆ 「その他」における自由記述

<p>【10代の回答者】 (なし)</p>
<p>【20代の回答者】 <ul style="list-style-type: none"> ・円形脱毛症になっている ・ストレスがたまっている ・精神的に不安 ・妻の体調を含め、お腹の子供の発育にも影響が出ている。医大にて要注意指摘 ・嫁がうつ ・家族全員が風邪をひいている。 ・子ども達がアレルギー体質になった </p>
<p>【30代の回答者】 <ul style="list-style-type: none"> ・子供達が腹痛や頭痛を訴えることが増えた ・精神的に苦痛でしかたない </p>
<p>【40代の回答者】 <ul style="list-style-type: none"> ・動きが鈍い。筋力が低下している。 ・健康状態が悪化し、亡くなった ・転んで、骨折した(母) ・少し動いただけで疲れる ・ストレスがたまっている ・疲れやすくなった。 ・私自身、少し楽になった </p>
<p>【50代の回答者】 <ul style="list-style-type: none"> ・ストレスがたまっている(3件) ・体の調子はまあまあ、週1通院しているため ・体重が増えた ・胃の手術をする事になった家族がいる ・精神的苦痛で言い争いが絶えない ・孫も、おばちゃんの家において、自分の家でなくて、思う様にいかなくて、イライラしても“がまんして”としか言えなくてつらい時もある。孫は、今のところ健康状態は良い ・認知が進んだ ・老人は生きる力がなくなった </p>
<p>【60代の回答者】 <ul style="list-style-type: none"> ・家族が入院になった(3件) ・風邪をひきやすくなった ・ストレスがたまっている ・孫が運動不足で太って来ている。自分も含めて ・精神的につかれた ・通勤の往復で疲れがたまる ・母がとじこもりになった。9月仮設へ ・母が認知症になる ・病院に行く程ではなく、つかれがとれない ・家族が軽うつ状態になり通院 ・血圧高くなった </p>
<p>【70代以上の回答者】 <ul style="list-style-type: none"> ・疲れるようになった(2件) ・寝つきがわるくなった。睡眠熟睡ができない(2件) ・血圧の変化や不整脈症となる(2件) ・腰痛、膝関節がひどくなった(2件) ・1月に1回、診察に行っている ・夫が死亡した ・妻が徘徊するようになりホームへ入居した ・手が少しふるえるようになった ・息子がノイローゼ見たいになった。医者に見てもらってる ・体調崩れている ・たびたび転んで背中、胸等、痛い所ばかり </p>

【設問】

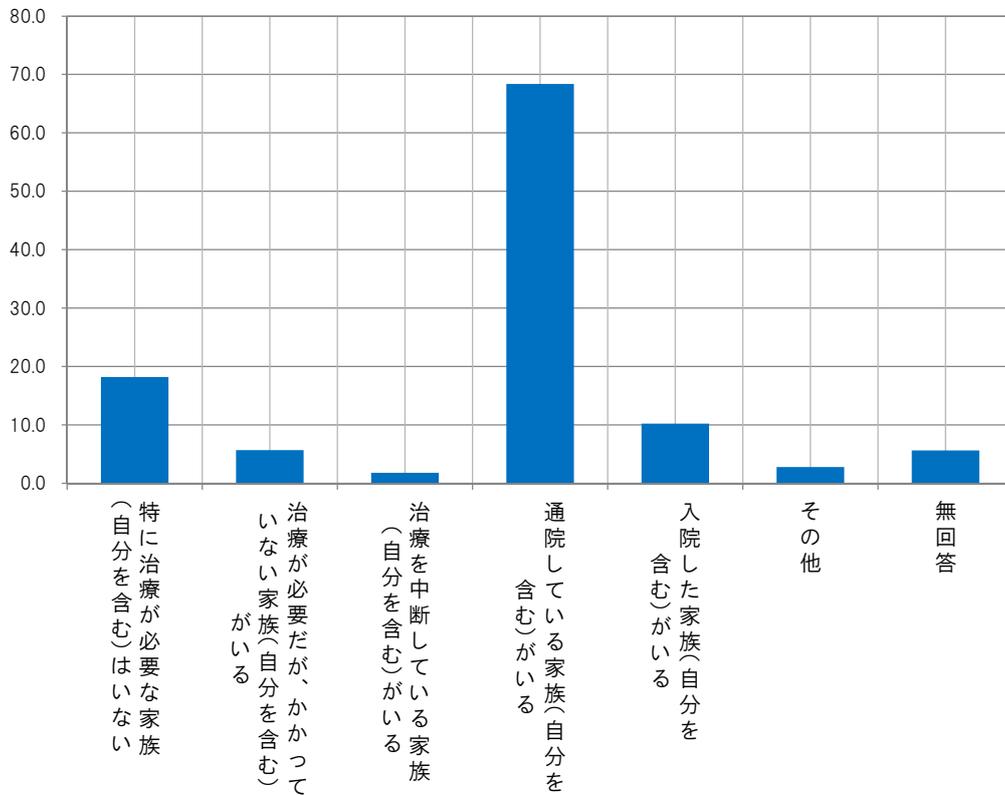
Q19.現在、病院・診療所にかかっていますか。(〇はいくつでも)

■ 結果の概要

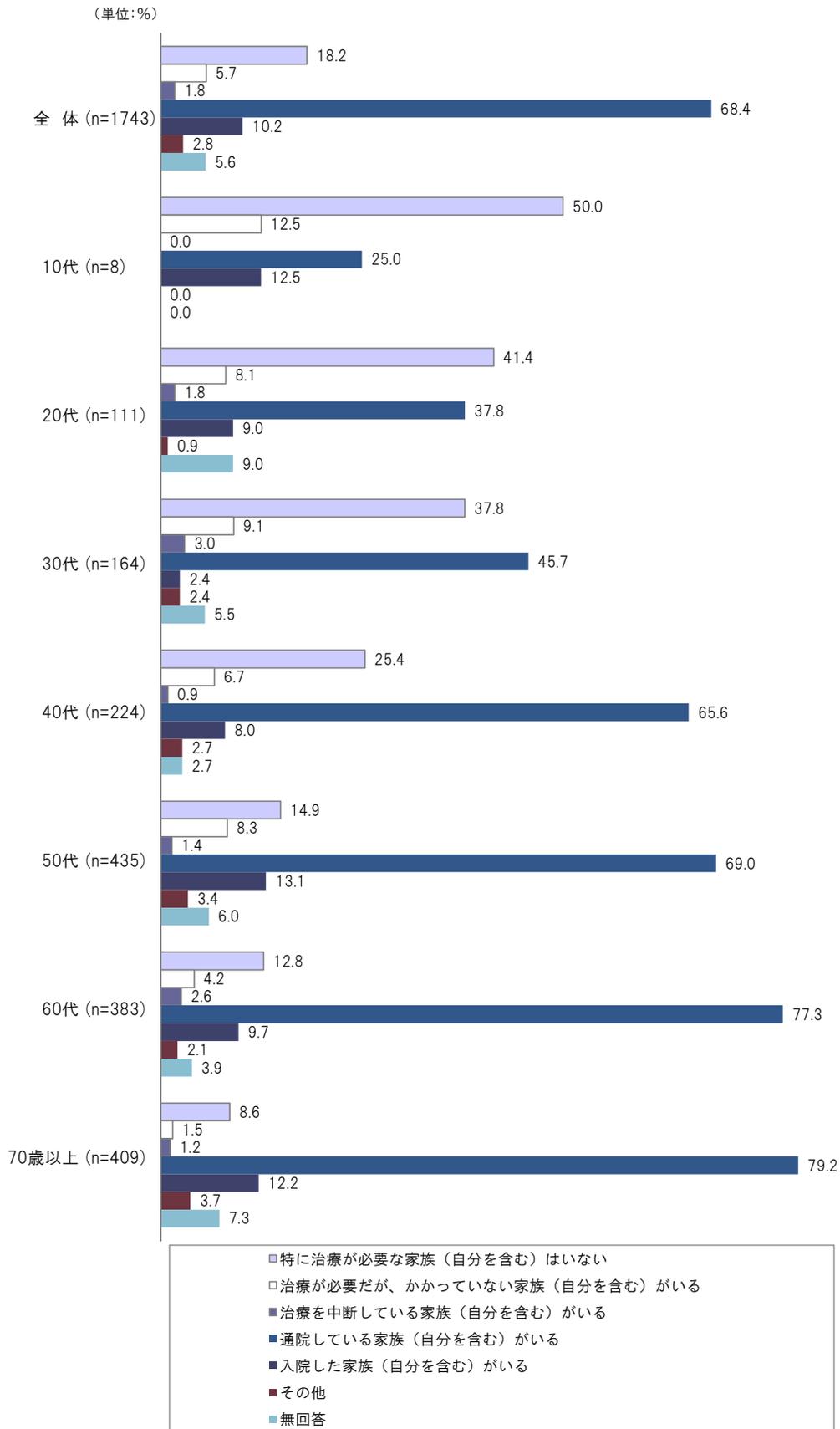
- ・「治療が必要な家族はいない」との回答は18.2%のみであり、「通院している家族がいる」(68.4%)が最も多い。また、「入院した家族がいる」との回答も1割を超えており、計8割が何らかの医療を受けていることがわかる。
- ・これを年齢別に見ると、「通院している家族がいる」という回答は年齢が高くなるとともに多くなり、70歳以上では約8割に上っている。一方、30代、50代においては、「治療が必要だがかかっていない家族がいる」という回答が他の世代と比べてやや多く8~9%程度となっている。
- ・家族の健康状態別に見ると、「少し悪くなった家族がいる」という回答者において、「治療が必要だが、かかっていない家族がいる」という回答が8.8%とやや多くなっていることが気がかりである。

◆ 単純集計結果

(単位:%)



◆ 回答世代別集計結果



◆ 集計表

	全 体	特に治療が必要ない家族（自分を含む）はいない	治療が必要だが、かかっていない家族（自分を含む）がいていい	治療を中断している家族（自分を含む）がいていい	通院している家族（自分を含む）がいていい	入院した家族（自分を含む）がいていい	その他	無回答
全体	1743 100.0	318 18.2	99 5.7	31 1.8	1192 68.4	177 10.2	49 2.8	97 5.6
10代	8 100.0	4 50.0	1 12.5	-	2 25.0	1 12.5	-	-
20代	111 100.0	46 41.4	9 8.1	2 1.8	42 37.8	10 9.0	1 0.9	10 9.0
30代	164 100.0	62 37.8	15 9.1	5 3.0	75 45.7	4 2.4	4 2.4	9 5.5
40代	224 100.0	57 25.4	15 6.7	2 0.9	147 65.6	18 8.0	6 2.7	6 2.7
50代	435 100.0	65 14.9	36 8.3	6 1.4	300 69.0	57 13.1	15 3.4	26 6.0
60代	383 100.0	49 12.8	16 4.2	10 2.6	296 77.3	37 9.7	8 2.1	15 3.9
70歳以上	409 100.0	35 8.6	6 1.5	5 1.2	324 79.2	50 12.2	15 3.7	30 7.3

クロス集計【【避難生活が続く中で現在の体調】×【現在の住まい(県内・県外)】】

	全 体	特に治療が必要ない家族（自分を含む）はいない	治療が必要だが、かかっていない家族（自分を含む）がいていい	治療を中断している家族（自分を含む）がいていい	通院している家族（自分を含む）がいていい	入院した家族（自分を含む）がいていい	その他	無回答
全体	1743 100.0	318 18.2	99 5.7	31 1.8	1192 68.4	177 10.2	49 2.8	97 5.6
福島県内居住者	1576 100.0	287 18.2	84 5.3	31 2.0	1092 69.3	161 10.2	40 2.5	83 5.3
福島県外居住者	143 100.0	30 21.0	13 9.1	-	86 60.1	15 10.5	7 4.9	8 5.6
不明	24 100.0	1 4.2	2 8.3	-	14 58.3	1 4.2	2 8.3	6 25.0

クロス集計【【医療機関へかかっているか】×【住居種別(避難先)】】

	全 体	特に治療が必要ない家族（自分を含む）はいない	治療が必要だが、かかっていない家族（自分を含む）がいていい	治療を中断している家族（自分を含む）がいていい	通院している家族（自分を含む）がいていい	入院した家族（自分を含む）がいていい	その他	無回答
全体	1743 100.0	318 18.2	99 5.7	31 1.8	1192 68.4	177 10.2	49 2.8	97 5.6
仮設住宅	401 100.0	54 13.5	19 4.7	9 2.2	292 72.8	40 10.0	7 1.7	30 7.5
公営住宅(村が斡旋したもの)	128 100.0	19 14.8	11 8.6	2 1.6	90 70.3	16 12.5	3 2.3	10 7.8
県借上住宅	928 100.0	184 19.8	52 5.6	18 1.9	646 69.6	89 9.6	23 2.5	31 3.3
子ども・親戚・知人宅	72 100.0	9 12.5	1 1.4	-	53 73.6	10 13.9	3 4.2	4 5.6
借家(一戸建て・アパート等で家賃を自己負担しているもの)	124 100.0	31 25.0	11 8.9	2 1.6	66 53.2	10 8.1	4 3.2	11 8.9
老人施設・病院	17 100.0	2 11.8	-	-	8 47.1	3 17.6	5 29.4	2 11.8
社宅・寮	31 100.0	11 35.5	2 6.5	-	16 51.6	2 6.5	-	2 6.5
その他	30 100.0	7 23.3	2 6.7	-	14 46.7	3 10.0	4 13.3	4 13.3

クロス集計【【医療機関へかかっているか】×【家族の生活や体調の変化】】

	全 体	特に 治療が 必要な 家族 (自分 を含む) はいな い	治療 が必要 だが、 かかっ てい ない 家族 (自分 を含む) はい	治療 を中 断し てい る 家族 (自分 を含む) はい	通 院し てい る 家族 (自分 を含む) はい	入 院し た 家 族 (自分 を含む) はい	そ の 他	無 回 答
全 体	1743 100.0	318 18.2	99 5.7	31 1.8	1192 68.4	177 10.2	49 2.8	97 5.6
農作業や園芸など、身体を動かす機会が少なくなった	1016 100.0	150 14.8	67 6.6	16 1.6	757 74.5	110 10.8	19 1.9	38 3.7
することがなく、ぼんやり過ごすようになった	654 100.0	88 13.5	39 6.0	10 1.5	499 76.3	75 11.5	16 2.4	29 4.4
周辺に友人・知人が少なく、話し相手がない	665 100.0	107 16.1	45 6.8	14 2.1	488 73.4	69 10.4	14 2.1	28 4.2
隣近所の人との交流がうまくいかない	166 100.0	34 20.5	15 9.0	3 1.8	113 68.1	21 12.7	3 1.8	7 4.2
タバコやアルコールを飲む回数や飲む量が増えた	312 100.0	62 19.9	34 10.9	11 3.5	203 65.1	33 10.6	6 1.9	14 4.5
睡眠があまりとれていない	642 100.0	99 15.4	54 8.4	19 3.0	470 73.2	69 10.7	18 2.8	25 3.9
体重が急に増えた・減った	530 100.0	100 18.9	49 9.2	12 2.3	371 70.0	58 10.9	11 2.1	12 2.3
血圧の変化や、不整脈などが起こるようになった	304 100.0	25 8.2	20 6.6	7 2.3	253 83.2	42 13.8	12 3.9	10 3.3
イライラすることが増えた	695 100.0	132 19.0	50 7.2	18 2.6	487 70.1	70 10.1	17 2.4	28 4.0
出歩く機会が減り、部屋に引きこもりがちになった	487 100.0	66 13.6	33 6.8	10 2.1	378 77.6	49 10.1	12 2.5	15 3.1
その他	132 100.0	19 14.4	10 7.6	4 3.0	87 65.9	22 16.7	11 8.3	4 3.0

クロス集計【【医療機関へかかっているか】×【家族の生活や体調の変化】】

	全 体	特に 治療が 必要な 家族 (自分 を含む) はいな い	治療 が必要 だが、 かかっ てい ない 家族 (自分 を含む) はい	治療 を中 断し てい る 家族 (自分 を含む) はい	通 院し てい る 家族 (自分 を含む) はい	入 院し た 家 族 (自分 を含む) はい	そ の 他	無 回 答
全 体	1743 100.0	318 18.2	99 5.7	31 1.8	1192 68.4	177 10.2	49 2.8	97 5.6
以前と変わらない	594 100.0	190 32.0	13 2.2	2 0.3	327 55.1	20 3.4	12 2.0	47 7.9
少し健康状態の悪くなった家族(自分を含む)がいる	827 100.0	108 13.1	73 8.8	18 2.2	636 76.9	63 7.6	16 1.9	24 2.9
非常に健康状態の悪くなった家族(自分を含む)がいる	219 100.0	10 4.6	11 5.0	7 3.2	173 79.0	78 35.6	11 5.0	4 1.8
その他	51 100.0	4 7.8	1 2.0	3 5.9	35 68.6	12 23.5	7 13.7	2 3.9

◆ 「その他」における自由記述

<p>【10代の回答者】</p> <p>(なし)</p>
<p>【20代の回答者】</p> <p>・時々体調が悪くなる</p>
<p>【30代の回答者】</p> <p>・3カ月に1回の検診に行かないといけませんが、行ってない状態</p> <p>・治療したいが通院時間がない</p>
<p>【40代の回答者】</p> <p>・家族が頭痛やかぜをひきやすくなった</p> <p>・精神的ストレスの家族がいる</p> <p>・病院に行ってみたくてこわくて行けない</p> <p>・老健施設に入所した家族がいる</p>
<p>【50代の回答者】</p> <p>・施設に預かってもらっている(2件)</p> <p>・自分自身が薬が増えた</p> <p>・死亡した家族がいる</p> <p>・治療が必要だが、住まいが二階のため、薬だけにしている</p> <p>・投薬を受けている</p> <p>・今まで病院を探していたのでこれから行く</p>
<p>【60代の回答者】</p> <p>・以前と変わりなく通院出来ている</p>
<p>【70代以上の回答者】</p> <p>・1ヶ月に1回薬をもらいにいく(3件)</p> <p>・薬を服用している。</p> <p>・現在自分も妻も異状ないが以前から妻が、高血圧症の為に二ヶ月に一度、川俣町内の病院に薬を頂きに仙台～飯舘～川俣町へ、一泊二日か、二泊三日の日程で自家用車にて帰省しています。</p> <p>・子供の保険税があるために、保険証がないために保険がききません。</p> <p>・定期的に薬は病院からもらって飲んでる</p> <p>・ひなんの翌日より村上病院へ。10/9～ハッピー愛ランドへ入居</p> <p>・時々医者について薬をもらって飲んで居る</p> <p>・これから検査入院する</p>

【設問】

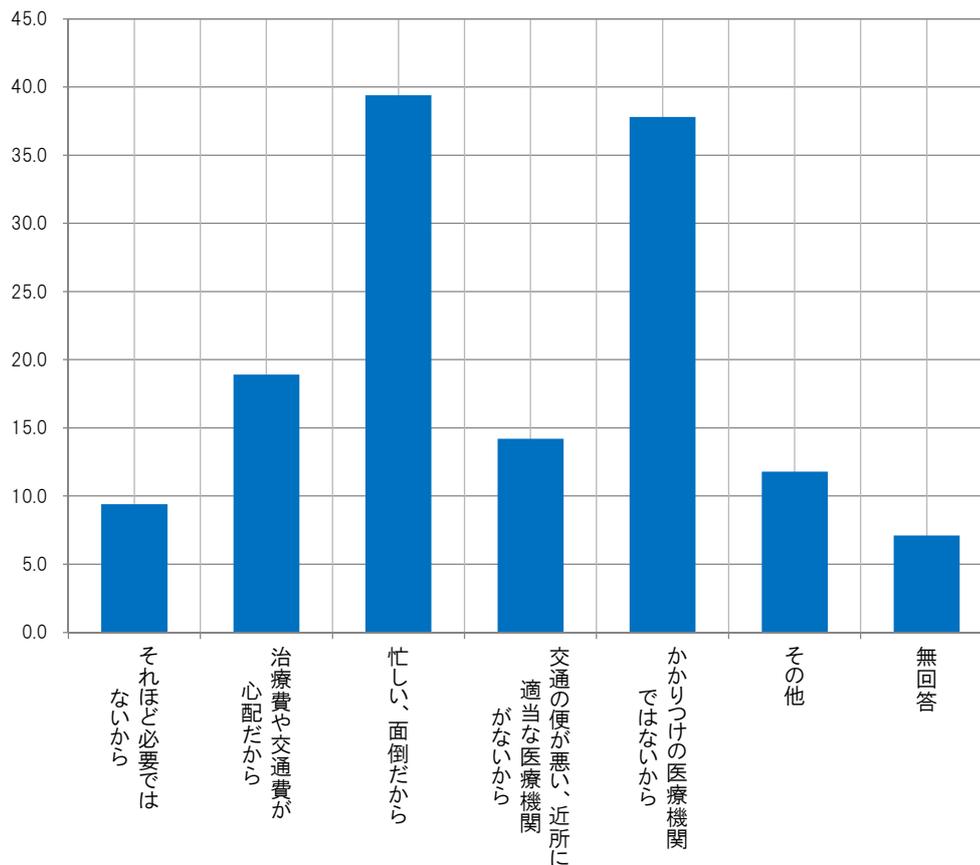
Q19-1. [上記で2～3に○をつけた方に伺います] 必要な治療を受けていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

■ 結果の概要

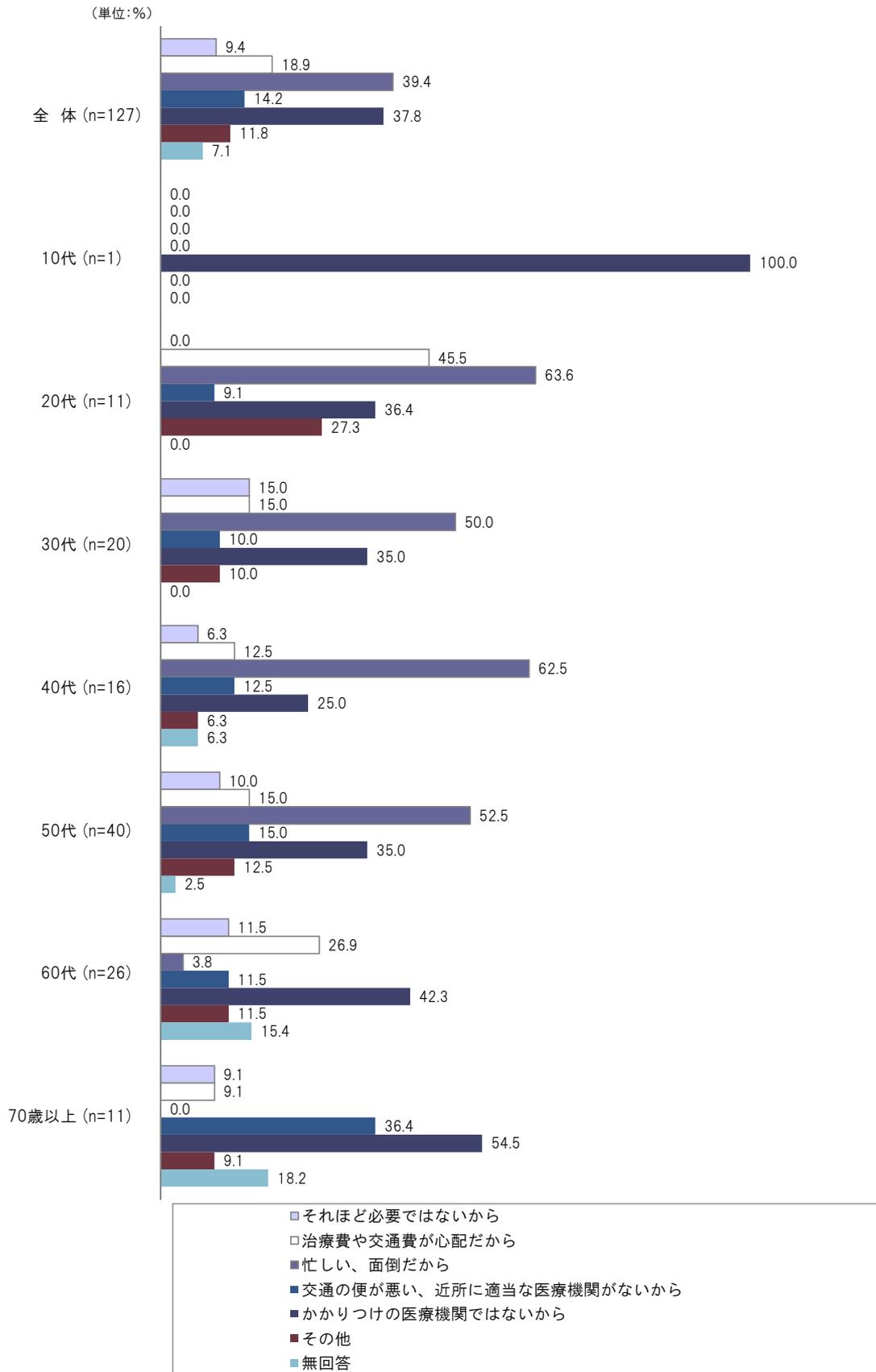
- ・ 必要な治療を受けていない理由としては、「忙しい、面倒」という回答が39.4%と最も多く、次いで「かかりつけ医療機関ではない」(37.8%)と続いている。一方で、「治療費や交通費が心配」という経済的な理由をあげた回答者も18.9%に上った。
- ・ 年齢別に見ると、特に60代、70歳以上で、「かかりつけ医療機関ではない」ことを理由としてあげている割合がやや高い傾向が見られる。

◆ 単純集計結果

(単位:%)



◆ 回答世代別集計結果



◆ 集計表

	全 体	それ ほど 必要 では ない から	治 療 費 や 交 通 費 が 心 配 だ か ら	忙 し い 、 面 倒 だ か ら	交 通 の 便 が 悪 い 、 近 所 に 適 当 な 医 療 機 関 が な い か ら	か か り つ け の 医 療 機 関 で は な い か ら	そ の 他	無 回 答
全 体	127 100.0	12 9.4	24 18.9	50 39.4	18 14.2	48 37.8	15 11.8	9 7.1
10代	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-	-
20代	11 100.0	-	5 45.5	7 63.6	1 9.1	4 36.4	3 27.3	-
30代	20 100.0	3 15.0	3 15.0	10 50.0	2 10.0	7 35.0	2 10.0	-
40代	16 100.0	1 6.3	2 12.5	10 62.5	2 12.5	4 25.0	1 6.3	1 6.3
50代	40 100.0	4 10.0	6 15.0	21 52.5	6 15.0	14 35.0	5 12.5	1 2.5
60代	26 100.0	3 11.5	7 26.9	1 3.8	3 11.5	11 42.3	3 11.5	4 15.4
70歳以上	11 100.0	1 9.1	1 9.1	-	4 36.4	6 54.5	1 9.1	2 18.2

クロス集計【【避難生活が続く中で現在の体調】×【現在の住まい(県内・県外)】】

	全 体	それ ほど 必要 では ない か	治 療 費 や 交 通 費 が 心 配 だ	忙 し い 、 面 倒 だ か ら	交 通 の 便 が 悪 い 、 近 所 に 適 当 な 医 療 機 関 が な い か	か か り つ け の 医 療 機 関 で は な い か	そ の 他	無 回 答
全 体	127 100.0	12 9.4	24 18.9	50 39.4	18 14.2	48 37.8	15 11.8	9 7.1
福島県内居住者	112 100.0	12 10.7	22 19.6	43 38.4	18 16.1	42 37.5	11 9.8	9 8.0
福島県外居住者	13 100.0	-	2 15.4	5 38.5	-	5 38.5	4 30.8	-
不明	2 100.0	-	-	2 100.0	-	1 50.0	-	-

クロス集計【【必要な治療を受けていない理由】×【住居種別(避難先)】】

	全 体	それ ほど 必要 では ない か	治 療 費 や 交 通 費 が 心 配 だ	忙 し い 、 面 倒 だ か ら	交 通 の 便 が 悪 い 、 近 所 に 適 当 な 医 療 機 関 が な い か	か か り つ け の 医 療 機 関 で は な い か	そ の 他	無 回 答
全 体	127 100.0	12 9.4	24 18.9	50 39.4	18 14.2	48 37.8	15 11.8	9 7.1
仮設住宅	28 100.0	3 10.7	6 21.4	5 17.9	3 10.7	10 35.7	6 21.4	3 10.7
公営住宅(村が斡旋したもの)	13 100.0	1 7.7	1 7.7	8 61.5	2 15.4	2 15.4	1 7.7	1 7.7
県借上住宅	67 100.0	8 11.9	11 16.4	28 41.8	12 17.9	27 40.3	6 9.0	5 7.5
子ども・親戚・知人宅	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	-	-
借家(一戸建て・アパート等で家賃を自己負担しているもの)	13 100.0	-	3 23.1	7 53.8	1 7.7	6 46.2	1 7.7	-
老人施設・病院	-	-	-	-	-	-	-	-
社宅・寮	2 100.0	-	1 50.0	-	-	1 50.0	-	-
その他	2 100.0	-	1 50.0	-	-	2 100.0	1 50.0	-

クロス集計(【必要な治療を受けていない理由】×【職業(避難後)】)

	全 体	それ ほど 必要 では ない から	ら 治 療 費 や 交 通 費 が 心 配 だ か	忙 し い 、 面 倒 だ か ら	ら 適 当 な 医 療 機 関 が な い か ら	交 通 の 便 が 悪 い 、 近 所 に 適 当 な 医 療 機 関 が な い か ら	な か り つ け の 医 療 機 関 で は な い か ら	そ の 他	無 回 答
全 体	127 100.0	12 9.4	24 18.9	50 39.4	18 14.2	48 37.8	15 11.8	9 7.1	
被災前と同じ(被災前から無職 だった場合を含む)	64 100.0	6 9.4	13 20.3	24 37.5	16 25.0	26 40.6	3 4.7	2 3.1	
休職中(被災前の勤務先に所 属)	3 100.0	-	2 66.7	2 66.7	-	2 66.7	2 66.7	-	
失業中・休業中でアルバイト	9 100.0	2 22.2	2 22.2	3 33.3	-	2 22.2	1 11.1	-	
失業中・休業中で特に働いて いない	22 100.0	2 9.1	3 13.6	8 36.4	1 4.5	7 31.8	4 18.2	4 18.2	
職業訓練(離職者訓練)を受講 中	-	-	-	-	-	-	-	-	
転職	7 100.0	-	1 14.3	4 57.1	-	2 28.6	2 28.6	-	
その他	15 100.0	2 13.3	2 13.3	7 46.7	1 6.7	6 40.0	2 13.3	1 6.7	

クロス集計(【必要な治療を受けていない理由】×【家族の生活や体調の変化】)

	全 体	か ら そ れ ほ ど 必 要 で は な い か ら	だ 治 療 費 や 交 通 費 が 心 配 だ	忙 し い 、 面 倒 だ か ら	ら 適 当 な 医 療 機 関 が な い か ら	交 通 の 便 が 悪 い 、 近 所 に 適 当 な 医 療 機 関 が な い か ら	で か り つ け の 医 療 機 関 で は な い か ら	そ の 他	無 回 答
全 体	127 100.0	12 9.4	24 18.9	50 39.4	18 14.2	48 37.8	15 11.8	9 7.1	
農作業や園芸など、身体を動か す機会が少なくなった	81 100.0	9 11.1	16 19.8	32 39.5	12 14.8	31 38.3	7 8.6	7 8.6	
することがなく、ぼんやり過ごすよ うになった	47 100.0	4 8.5	10 21.3	14 29.8	10 21.3	19 40.4	5 10.6	5 10.6	
周辺に友人・知人が少なく、話し 相手がない	57 100.0	4 7.0	12 21.1	20 35.1	11 19.3	25 43.9	6 10.5	6 10.5	
隣近所の人との交流がうまくい かない	17 100.0	2 11.8	6 35.3	7 41.2	2 11.8	8 47.1	1 5.9	-	
タバコやアルコールを飲む回数 や飲む量が増えた	44 100.0	5 11.4	11 25.0	16 36.4	4 9.1	18 40.9	7 15.9	1 2.3	
睡眠があまりとれていない	71 100.0	5 7.0	15 21.1	27 38.0	12 16.9	29 40.8	9 12.7	4 5.6	
体重が急に増えた・減った	60 100.0	5 8.3	11 18.3	24 40.0	6 10.0	26 43.3	11 18.3	3 5.0	
血圧の変化や、不整脈などが起 こるようになった	26 100.0	2 7.7	8 30.8	5 19.2	6 23.1	10 38.5	4 15.4	1 3.8	
イライラすることが増えた	66 100.0	6 9.1	14 21.2	26 39.4	11 16.7	24 36.4	9 13.6	4 6.1	
出歩く機会が減り、部屋に引きこ もりがちになった	42 100.0	5 11.9	10 23.8	13 31.0	12 28.6	20 47.6	3 7.1	3 7.1	
その他	12 100.0	-	4 33.3	6 50.0	1 8.3	5 41.7	4 33.3	-	

クロス集計(【必要な治療を受けていない理由】×【家族の健康状態】)

	全 体	か ら そ れ ほ ど 必 要 で は な い か ら	か 治 療 費 や 交 通 費 が 心 配 だ	忙 し い 、 面 倒 だ か ら	ら 適 当 な 医 療 機 関 が な い か ら	交 通 の 便 が 悪 い 、 近 所 に 適 当 な 医 療 機 関 が な い か ら	は か り つ け の 医 療 機 関 で は な い か ら	そ の 他	無 回 答
全 体	127 100.0	12 9.4	24 18.9	50 39.4	18 14.2	48 37.8	15 11.8	9 7.1	
以前と変わらない	15 100.0	3 20.0	-	8 53.3	-	4 26.7	-	3 20.0	
少し健康状態の悪くなった家族 (自分を含む)がいる	88 100.0	7 8.0	15 17.0	37 42.0	16 18.2	33 37.5	11 12.5	6 6.8	
非常に健康状態の悪くなった家 族(自分を含む)がいる	18 100.0	1 5.6	6 33.3	3 16.7	2 11.1	9 50.0	4 22.2	-	
その他	4 100.0	-	3 75.0	1 25.0	-	1 25.0	-	-	

◆ 「その他」における自由記述

【10代の回答者】 (なし)
【20代の回答者】 ・具合を見る人がいる(身内) ・医療機関が分からない ・放射能の影響だったら怖い
【30代の回答者】 ・仕事が休めず行けていない。 ・病院が遠くなったこと、病院の診療時間がかかったため ・南相馬市の病院のため福島市から行くのが大変
【40代の回答者】 ・仕事が不規則・精神的苦痛からなので
【50代の回答者】 ・健康診断(村)で8月に実施で要医療項目あるが、(12月)村の検診待ち ・これから受けるつもり ・自分で自然治癒するものと考えて我慢している ・連れて行こうとしても行きたがらない ・知らない所で病院が良くわからない
【60代の回答者】 ・入院治療の為他町に居る(主人) ・保険書がなく医院行けない ・行きたくないと言って居る
【70代以上の回答者】 ・家内が入院してるから ・クスリのみ受けてのんではいる ・毎月薬をもらいに行く

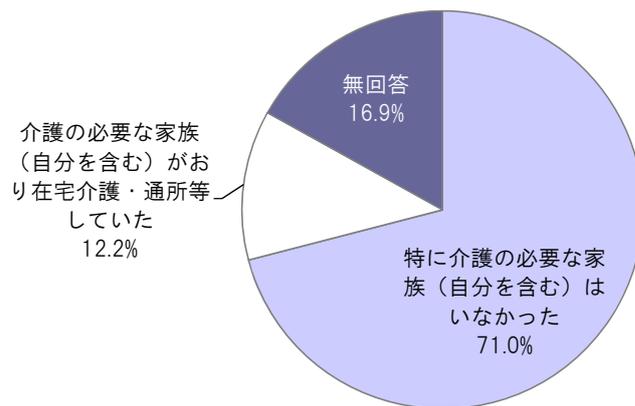
【設問】

Q20.避難前に同居されていたご家族の中に、介護の必要な方はいましたか。

■ 結果の概要

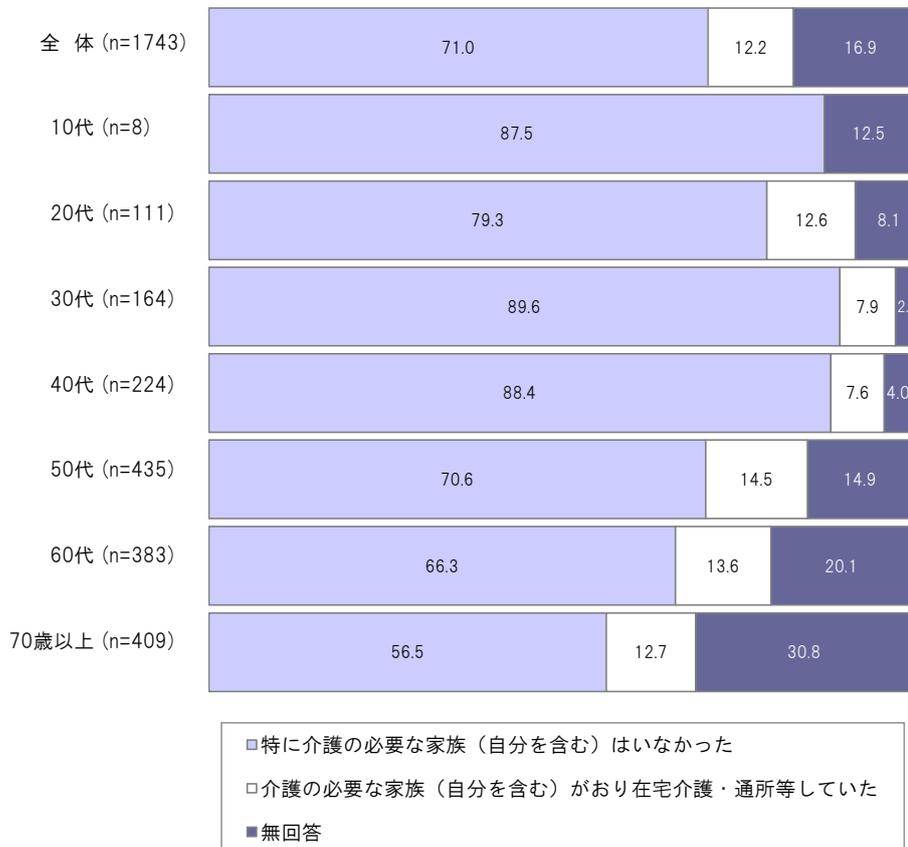
- ・ 避難前の同居家族に要介護者がいた回答者の割合は、全体で12.2%となっている。
- ・ これを年齢別に見ると、要介護者と同居していた割合は、30代、40代で7~8%程度であるのに対し、50代以上が12~14%とやや多くなる傾向が見られる。一方で、20代においては12.6%が要介護者と同居していたと回答しており、比較的若い世代において多世代同居の中で要介護者と同居していたことが伺われる。
- ・ 現在の住まいの種別に見ると、「子ども・親戚・知人宅」へ避難している回答者においては、避難前に要介護者と同居していた場合は割合がやや高く(22.2%)となっている。

◆ 単純集計結果



◆ 回答世代別集計結果

(単位: %)



◆ 集計表

	全 体	を 特 に 介 護 の 必 要 な 方 が い た か （ 自 分 を 含 む ）	し む 介 護 の 必 要 な 方 が い た か （ 自 分 を 含 む ）	無 回 答
全 体	1743 100.0	1237 71.0	212 12.2	294 16.9
10代	8 100.0	7 87.5	- -	1 12.5
20代	111 100.0	88 79.3	14 12.6	9 8.1
30代	164 100.0	147 89.6	13 7.9	4 2.4
40代	224 100.0	198 88.4	17 7.6	9 4.0
50代	435 100.0	307 70.6	63 14.5	65 14.9
60代	383 100.0	254 66.3	52 13.6	77 20.1
70歳以上	409 100.0	231 56.5	52 12.7	126 30.8

クロス集計(【介護の必要な方がいたか(避難前)】×【現在の住まい(県内・県外)】)

	全 体	を 特 に 介 護 の 必 要 な 方 が い た か （ 自 分 を 含 む ）	し む 介 護 の 必 要 な 方 が い た か （ 自 分 を 含 む ）	無 回 答
全 体	1743 100.0	1237 71.0	212 12.2	294 16.9
福島県内居住者	1576 100.0	1130 71.7	190 12.1	256 16.2
福島県外居住者	143 100.0	98 68.5	21 14.7	24 16.8
不明	24 100.0	9 37.5	1 4.2	14 58.3

クロス集計(【介護の必要な方がいたか(避難前)】×【住居種別(避難先)】)

	全 体	を 特 に 介 護 の 必 要 な 方 が い た か （ 自 分 を 含 む ）	し む 介 護 の 必 要 な 方 が い た か （ 自 分 を 含 む ）	無 回 答
全 体	1743 100.0	1237 71.0	212 12.2	294 16.9
仮設住宅	401 100.0	245 61.1	48 12.0	108 26.9
公営住宅(村が斡旋したもの)	128 100.0	80 62.5	23 18.0	25 19.5
県借上住宅	928 100.0	714 76.9	105 11.3	109 11.7
子ども・親戚・知人宅	72 100.0	42 58.3	16 22.2	14 19.4
借家(一戸建て・アパート等で家賃を自己負担しているもの)	124 100.0	102 82.3	9 7.3	13 10.5
老人施設・病院	17 100.0	4 23.5	7 41.2	6 35.3
社宅・寮	31 100.0	26 83.9	1 3.2	4 12.9
その他	30 100.0	20 66.7	1 3.3	9 30.0

クロス集計【介護の必要な方がいたか(避難前)】×【家族の健康状態】

	全 体	特 に 介 護 の 必 要 な 家 族 (自 分 を 含 む)	し む 介 護 の 必 要 な 家 族 (自 分 を 含 む)	無 回 答
全 体	1743 100.0	1237 71.0	212 12.2	294 16.9
以前と変わらない	594 100.0	457 76.9	50 8.4	87 14.6
少し健康状態が悪くなった家族 (自分を含む)がいる	827 100.0	591 71.5	114 13.8	122 14.8
非常に健康状態が悪くなった家 族(自分を含む)がいる	219 100.0	139 63.5	41 18.7	39 17.8
その他	51 100.0	34 66.7	5 9.8	12 23.5

クロス集計【介護の必要な方がいたか(避難前)】×【医療機関へかかっているか】

	全 体	特 に 介 護 の 必 要 な 家 族 (自 分 を 含 む)	し む 介 護 の 必 要 な 家 族 (自 分 を 含 む)	無 回 答
全 体	1743 100.0	1237 71.0	212 12.2	294 16.9
特に治療が必要な家族(自分を 含む)はない	318 100.0	268 84.3	20 6.3	30 9.4
治療が必要だが、かかっていな い家族(自分を含む)がいる	99 100.0	75 75.8	13 13.1	11 11.1
治療を中断している家族(自分 を含む)がいる	31 100.0	19 61.3	3 9.7	9 29.0
通院している家族(自分を含む) がいる	1192 100.0	845 70.9	160 13.4	187 15.7
入院した家族(自分を含む)がい る	177 100.0	103 58.2	51 28.8	23 13.0
その他	49 100.0	22 44.9	7 14.3	20 40.8

【設問】

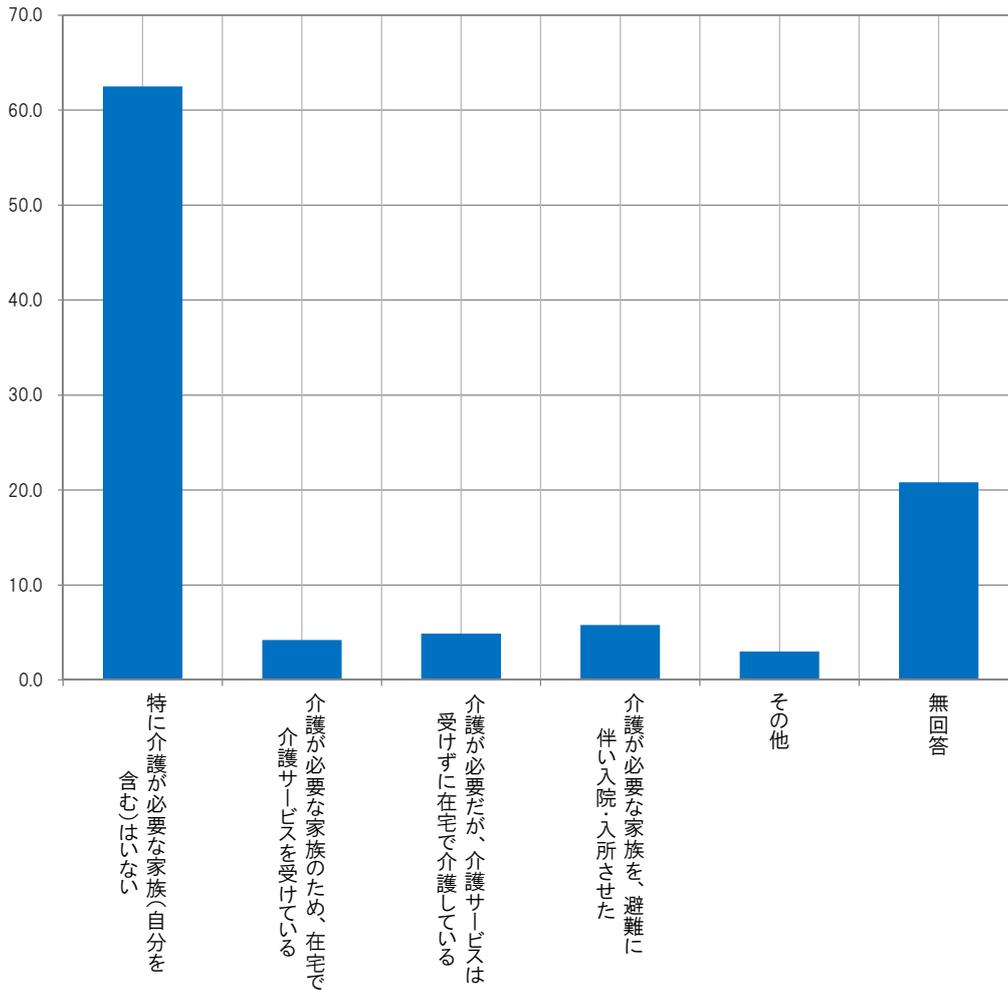
Q21.では現在、避難前に同居されていたご家族で、介護の必要な方はいますか(避難後に新たに介護が必要になった場合を含む)(〇はいくつでも)

■ 結果の概要

- ・「避難に伴い要介護者を入院・入所させた」という回答は、全体で5.8%あった。また、避難中も在宅で介護を続けているとの回答は、介護サービスを受けている場合と受けていない場合を合わせて9.1%となっている。
- ・避難前には同居家族に要介護者がいなかったと回答した回答者においても、現在は「在宅で介護サービスを受けている」(1.5%)、「介護サービスを受けずに在宅介護」(2.4%)、「避難に伴い要介護者を入院・入所させた」(1.5%)という回答があり、合わせて約5%を占めるまでになっている。また、避難前から同居家族に要介護者がいたという回答者においては、約35%が「避難に伴い要介護者を入院・入所させた」と回答した。これらのことから、避難生活によって要介護者が全体として増えていること、避難に伴い要介護者を入院・入所させざるを得ない場合が多いことが伺える。

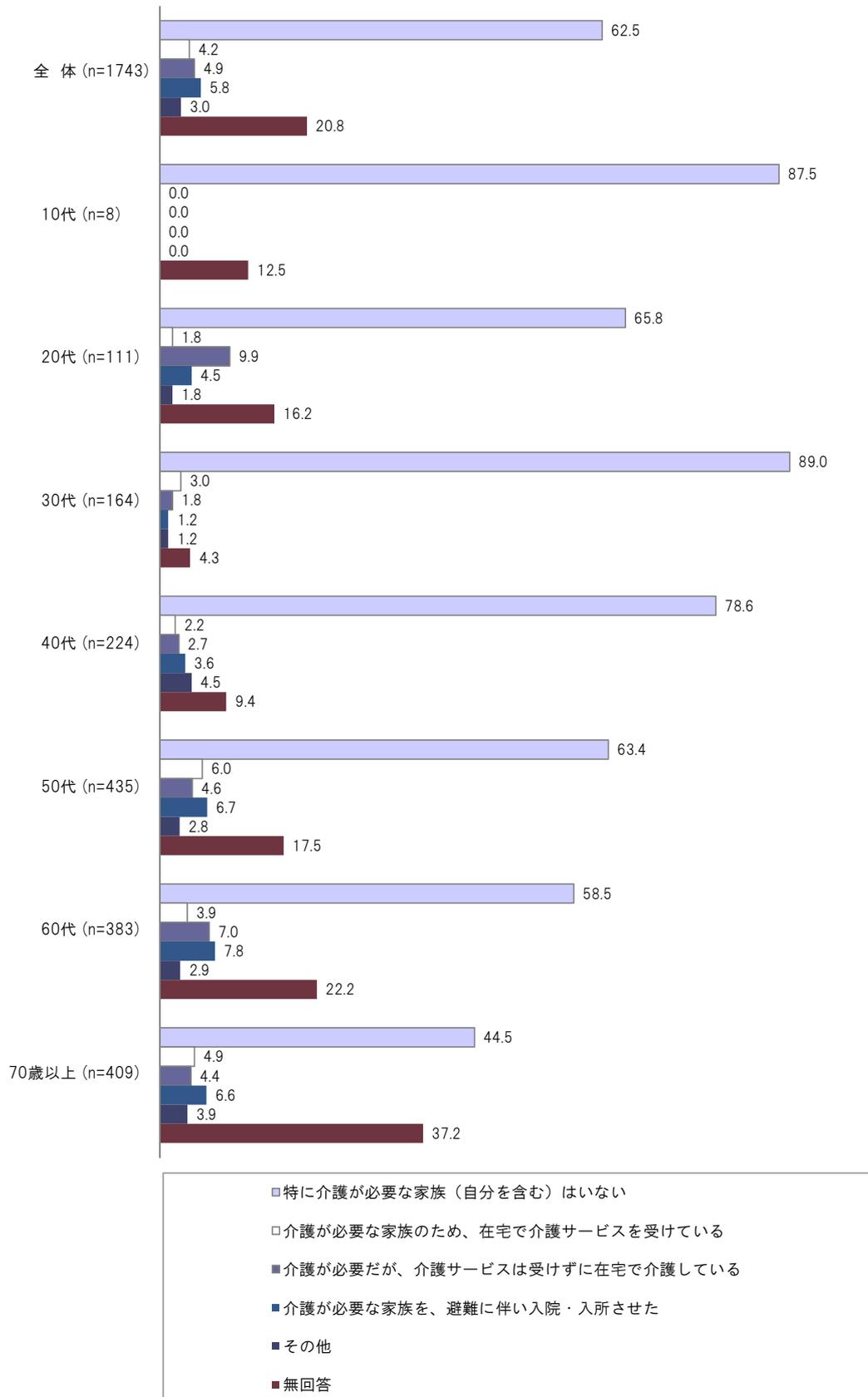
◆ 単純集計結果

(単位:%)



◆ 回答世代別集計結果

(単位:%)



◆ 集計表

	全 体	特 に 介 護 が 必 要 な 家 族 (自 分 を 含 む) は い な い	介 護 が 必 要 な 家 族 の た め 、 在 宅 で 介 護 サ ー ビ ス を 受 け て い る	介 護 が 必 要 だ が 、 介 護 サ ー ビ ス は 受 け ず に 在 宅 で 介 護 サ ー ビ ス を 受 け て い る	介 護 が 必 要 な 家 族 を 、 避 難 に 伴 い 入 院 ・ 入 所 さ せ た	そ の 他	無 回 答
全 体	1743 100.0	1089 62.5	74 4.2	85 4.9	101 5.8	53 3.0	363 20.8
10代	8 100.0	7 87.5	-	-	-	-	1 12.5
20代	111 100.0	73 65.8	2 1.8	11 9.9	5 4.5	2 1.8	18 16.2
30代	164 100.0	146 89.0	5 3.0	3 1.8	2 1.2	2 1.2	7 4.3
40代	224 100.0	176 78.6	5 2.2	6 2.7	8 3.6	10 4.5	21 9.4
50代	435 100.0	276 63.4	26 6.0	20 4.6	29 6.7	12 2.8	76 17.5
60代	383 100.0	224 58.5	15 3.9	27 7.0	30 7.8	11 2.9	85 22.2
70歳以上	409 100.0	182 44.5	20 4.9	18 4.4	27 6.6	16 3.9	152 37.2

クロス集計(【介護が必要な方がいたか(避難後)】×【現在の住まい(県内・県外)】)

	全 体	特 に 介 護 が 必 要 な 家 族 (自 分 を 含 む) は い な い	在 宅 で 介 護 が 必 要 な 家 族 の た め 、 介 護 サ ー ビ ス を 受 け て い る	介 護 が 必 要 だ が 、 介 護 サ ー ビ ス は 受 け ず に 在 宅 で 介 護 サ ー ビ ス を 受 け て い る	介 護 が 必 要 な 家 族 を 、 避 難 に 伴 い 入 院 ・ 入 所 さ せ た	そ の 他	無 回 答
全 体	1743 100.0	1089 62.5	74 4.2	85 4.9	101 5.8	53 3.0	363 20.8
福島県内居住者	1576 100.0	989 62.8	69 4.4	80 5.1	89 5.6	47 3.0	321 20.4
福島県外居住者	143 100.0	89 62.2	4 2.8	5 3.5	11 7.7	6 4.2	30 21.0
不明	24 100.0	11 45.8	1 4.2	-	1 4.2	-	12 50.0

クロス集計(【介護が必要な方がいるか(避難後)】×【住居種別(避難先)】)

	全 体	特 に 介 護 が 必 要 な 家 族 (自 分 を 含 む) は い な い	介 護 が 必 要 な 家 族 の た め 、 在 宅 で 介 護 サ ー ビ ス を 受 け て い る	介 護 が 必 要 だ が 、 介 護 サ ー ビ ス は 受 け ず に 在 宅 で 介 護 サ ー ビ ス を 受 け て い る	避 難 に 伴 い 入 院 ・ 入 所 さ せ た	そ の 他	無 回 答
全 体	1743 100.0	1089 62.5	74 4.2	85 4.9	101 5.8	53 3.0	363 20.8
仮設住宅	401 100.0	205 51.1	26 6.5	15 3.7	25 6.2	10 2.5	125 31.2
公営住宅(村が斡旋したもの)	128 100.0	69 53.9	11 8.6	11 8.6	8 6.3	4 3.1	27 21.1
県借上住宅	928 100.0	634 68.3	29 3.1	47 5.1	49 5.3	26 2.8	151 16.3
子ども・親戚・知人宅	72 100.0	36 50.0	5 6.9	7 9.7	6 8.3	4 5.6	17 23.6
借家(一戸建て・アパート等で家賃を自己負担しているもの)	124 100.0	93 75.0	1 0.8	3 2.4	5 4.0	4 3.2	19 15.3
老人施設・病院	17 100.0	4 23.5	-	-	7 41.2	2 11.8	5 29.4
社宅・寮	31 100.0	25 80.6	-	1 3.2	-	2 6.5	3 9.7
その他	30 100.0	19 63.3	1 3.3	-	-	-	10 33.3

クロス集計(【介護の必要な方がいるか(避難後)】×【介護の必要な方がいたか(避難前)】)

	全 体	特 に 介 護 の 必 要 な 家 族 (自 分 を 含 む) は い な い	宅 介 護 が 必 要 な 家 族 の た め 、 在 宅 介 護 サ ー ビ ス を 受 け て い る	介 護 が 必 要 な が 、 介 護 サ ー ビ ス は 受 け ず に 在 宅 で 介 護 サ ー ビ ス を 受 け て い る	介 護 が 必 要 な 家 族 を 、 避 難 に 伴 い 入 院 ・ 入 所 さ せ た	そ の 他	無 回 答
全 体	1743 <i>100.0</i>	1089 <i>62.5</i>	74 <i>4.2</i>	85 <i>4.9</i>	101 <i>5.8</i>	53 <i>3.0</i>	363 <i>20.8</i>
特に介護の必要な家族(自分を 含む)はいなかった	1237 <i>100.0</i>	1031 <i>83.3</i>	19 <i>1.5</i>	30 <i>2.4</i>	18 <i>1.5</i>	27 <i>2.2</i>	116 <i>9.4</i>
介護の必要な家族(自分を言 む)がおり在宅介護・通所等して いた	212 <i>100.0</i>	27 <i>12.7</i>	48 <i>22.6</i>	45 <i>21.2</i>	75 <i>35.4</i>	22 <i>10.4</i>	10 <i>4.7</i>

◆ 「その他」における自由記述

<p>【10代の回答者】 (なし)</p>
<p>【20代の回答者】 ・現在、検討中(審査中)→デイサービス ・避難後、体調を崩し入院したが退院した</p>
<p>【30代の回答者】 ・脳梗塞で入院加療中 ・連絡を取っていないのでわからない</p>
<p>【40代の回答者】 ・避難前から入院していた(2件) ・介護が必要かどうかわからない ・介護保険申請(10月14日) ・骨折のため、リハビリしたい ・震災前から入院中 ・デイサービスに通所させている ・避難後、発病入院中 ・ホームにあずけている(飯館)</p>
<p>【50代の回答者】 ・介護が必要になりつつある(2件) ・介護サービスについて話を進めている(2件) ・週1回リハビリに通っている ・在宅介護のつもりで一緒に避難していた家族が入院してしまいやむをえず、施設に入所させた ・認知症が進んできた ・離れているのでわからない ・避難前に死亡 ・介護する人が死亡してしまった ・申請中</p>
<p>【60代の回答者】 ・家族がデイサービスを受けている(2件) ・6月9日避難場所で死亡 ・今の所介護はいらないと思うがこの先が心配です ・介護サービスをうけたばかり ・県外にて介護サービスを付けている ・現在夫が人工透析、妻は自分が看護 ・通所している ・避難後、ケガで入院、介護が必要になった ・ボケが始まりつつあったので人との交流出来る所に移住させた</p>
<p>【70代以上の回答者】 ・現在入院中(2件) ・一家高齢にていずれ介護受ける様になると思う ・介護施設を探している。 ・在宅介護家族によるもの ・食事、入浴は個室に入居希望 ・身体障害者でも今の所家族だけで何とか行っている ・デイサービスとショートステイに行っている ・必要時のみ(週2日位、知人に頼る) ・避難前から老人施設入所 ・時々方向がわからなくなる時がある(夫) ・主人が脳出血で入院中これから介護が必要 ・通院している</p>

【設問】

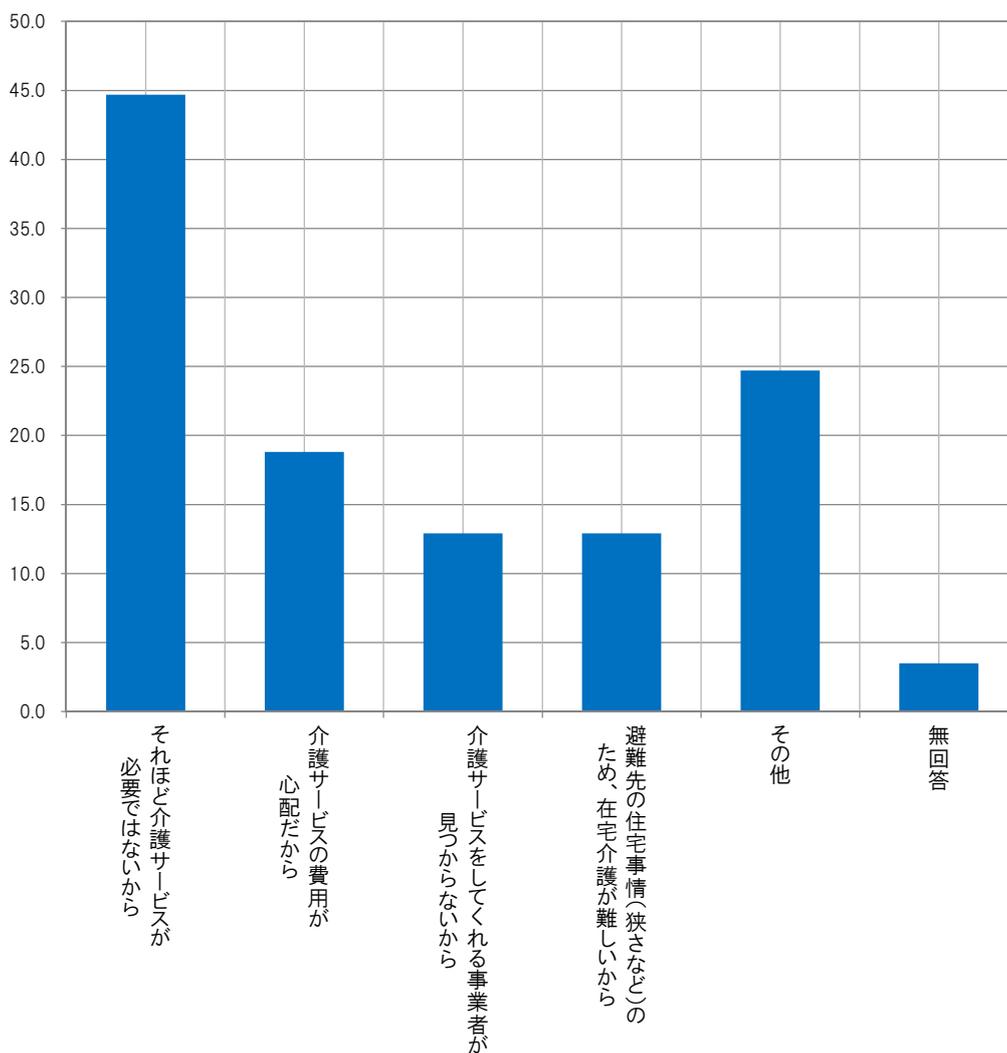
Q21-1. [上記で3に○をつけた方に伺います] 現在、介護サービスを受けて在宅介護をされていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

■ 結果の概要

- ・ 要介護者と同居しているにもかかわらず介護サービスを受けていない理由としては、「それほど必要ではない」が44.7%と最も多かった。一方で、18.8%が「費用が心配だから」と回答している。
- ・ これを現在の収入別に見ると、「収入がほとんどなくなった」「7～8割減った」「5割くらい減った」「2～3割減った」と、程度の差こそあれ収入が減少した回答者においては、「費用が心配だから」という回答が合わせて20.9%となり、収入が「あまり変わらない」とする回答者が「費用が心配だから」と回答する割合(12.1%)より高い傾向が見られた。

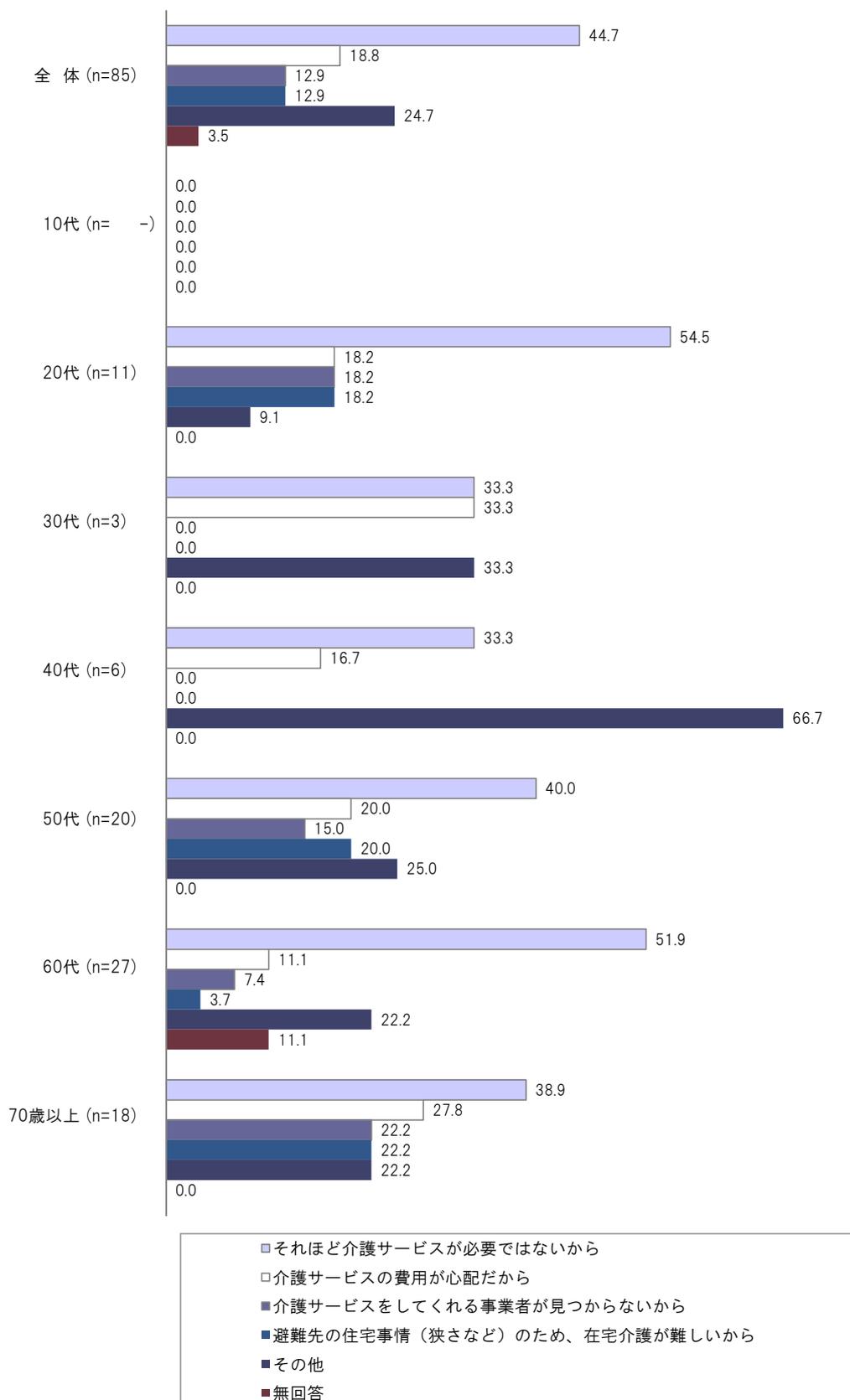
◆ 単純集計結果

(単位:%)



◆ 回答世代別集計結果

(単位:%)



◆ 集計表

	全 体	そ れ ほ ど 介 護 サ ー ビ ス が 必 要 な い か ら	介 護 サ ー ビ ス の 費 用 が 心 配 だ	介 護 サ ー ビ ス を し て く れ る 事 が 見 つ か ら な い か ら	し ど 避 難 先 の 住 宅 事 情 （ 狭 さ な し ） の た め 、 在 宅 介 護 が 難 し い か ら	そ の 他	無 回 答
全 体	85 100.0	38 44.7	16 18.8	11 12.9	11 12.9	21 24.7	3 3.5
10代	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
20代	11 100.0	6 54.5	2 18.2	2 18.2	2 18.2	1 9.1	- -
30代	3 100.0	1 33.3	1 33.3	- -	- -	1 33.3	- -
40代	6 100.0	2 33.3	1 16.7	- -	- -	4 66.7	- -
50代	20 100.0	8 40.0	4 20.0	3 15.0	4 20.0	5 25.0	- -
60代	27 100.0	14 51.9	3 11.1	2 7.4	1 3.7	6 22.2	3 11.1
70歳以上	18 100.0	7 38.9	5 27.8	4 22.2	4 22.2	4 22.2	- -

クロス集計（【在宅介護をされていない理由】×【現在の住まい(県内・県外)】）

	全 体	そ れ ほ ど 介 護 サ ー ビ ス が 必 要 な い か ら	介 護 サ ー ビ ス の 費 用 が 心 配 だ	介 護 サ ー ビ ス を し て く れ る 事 が 見 つ か ら な い か ら	し ど 避 難 先 の 住 宅 事 情 （ 狭 さ な し ） の た め 、 在 宅 介 護 が 難 し い か ら	そ の 他	無 回 答
全 体	85 100.0	38 44.7	16 18.8	11 12.9	11 12.9	21 24.7	3 3.5
福島県内居住者	80 100.0	33 41.3	16 20.0	11 13.8	11 13.8	20 25.0	3 3.8
福島県外居住者	5 100.0	5 100.0	- -	- -	- -	1 20.0	- -
不明	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -

クロス集計（【在宅介護をされていない理由】×【現在の収入】）

	全 体	そ れ ほ ど 介 護 サ ー ビ ス が 必 要 な い か ら	介 護 サ ー ビ ス の 費 用 が 心 配 だ	介 護 サ ー ビ ス を し て く れ る 事 が 見 つ か ら な い か ら	し ど 避 難 先 の 住 宅 事 情 （ 狭 さ な し ） の た め 、 在 宅 介 護 が 難 し い か ら	そ の 他	無 回 答
全 体	85 100.0	38 44.7	16 18.8	11 12.9	11 12.9	21 24.7	3 3.5
収入がほとんどなくなった	16 100.0	4 25.0	7 43.8	2 12.5	1 6.3	7 43.8	- -
月額で7～8割くらい減った	5 100.0	1 20.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	- -
月額で5割くらい減った	10 100.0	7 70.0	- -	1 10.0	- -	1 10.0	1 10.0
月額で2～3割くらい減った	12 100.0	5 41.7	- -	2 16.7	3 25.0	3 25.0	1 8.3
あまり変わらない（年金生活を含む）	33 100.0	17 51.5	4 12.1	5 15.2	6 18.2	7 21.2	1 3.0
収入が増えた	4 100.0	2 50.0	1 25.0	- -	- -	1 25.0	- -
その他	1 100.0	- -	- -	- -	- -	1 100.0	- -
わからない	3 100.0	1 33.3	2 66.7	- -	- -	- -	- -

◆ 「その他」における自由記述

<p>【10代の回答者】 (なし)</p>
<p>【20代の回答者】 ・本人が嫌がるから</p>
<p>【30代の回答者】 (なし)</p>
<p>【40代の回答者】 ・本人が嫌がるから(2件) ・申請中 ・退院したばかりの為</p>
<p>【50代の回答者】 ・足の手術、特定疾患認定を受けた。 ・検討中 ・こちらに来てからデイサービスに通っているから ・本人が嫌がるから ・リハビリ(知らない人がいっぱいから出たがらない) ・介護認定を受けられないから</p>
<p>【60代の回答者】 ・今の所は自分(私)で頑張っている ・介護認定を受けていない ・家族一緒にいたいから(実に大変です) ・申請中 ・入院中により ・本人が嫌がるから ・介護サービスを好まないで、家族で少しでもストレスをためないように出歩くのが好きなので娘が山梨にいますので、そちらにも、泊まりに行ったりして、見守ってます。軽度の認知症で、薬の服用をし、体調管理をしています。今のところ、安定しています。</p>
<p>【70代以上の回答者】 ・家族がしている(2件) ・色々わかりません ・身の廻りのことは、ゆっくりしながら出来るので三食付のホームに入所希望 ・本人の思うようなサービスがないので1回で断る。時々水をかけられたとのこと。聞くところでは、湯と水の出る時の頃合いを確かめることなく行ったのではとの話も他の方より耳にしました。相手はちゃんとしたサービスマンなのだからとのことでした。おたずねします、こんなことで他の方々は、喜んでサービス受けているのでしょうか。ここはそのようなサービスですが、村の本部でも同じですか。受ける身になって手をかけて下さるのが本当のサービス。</p>

【設問】

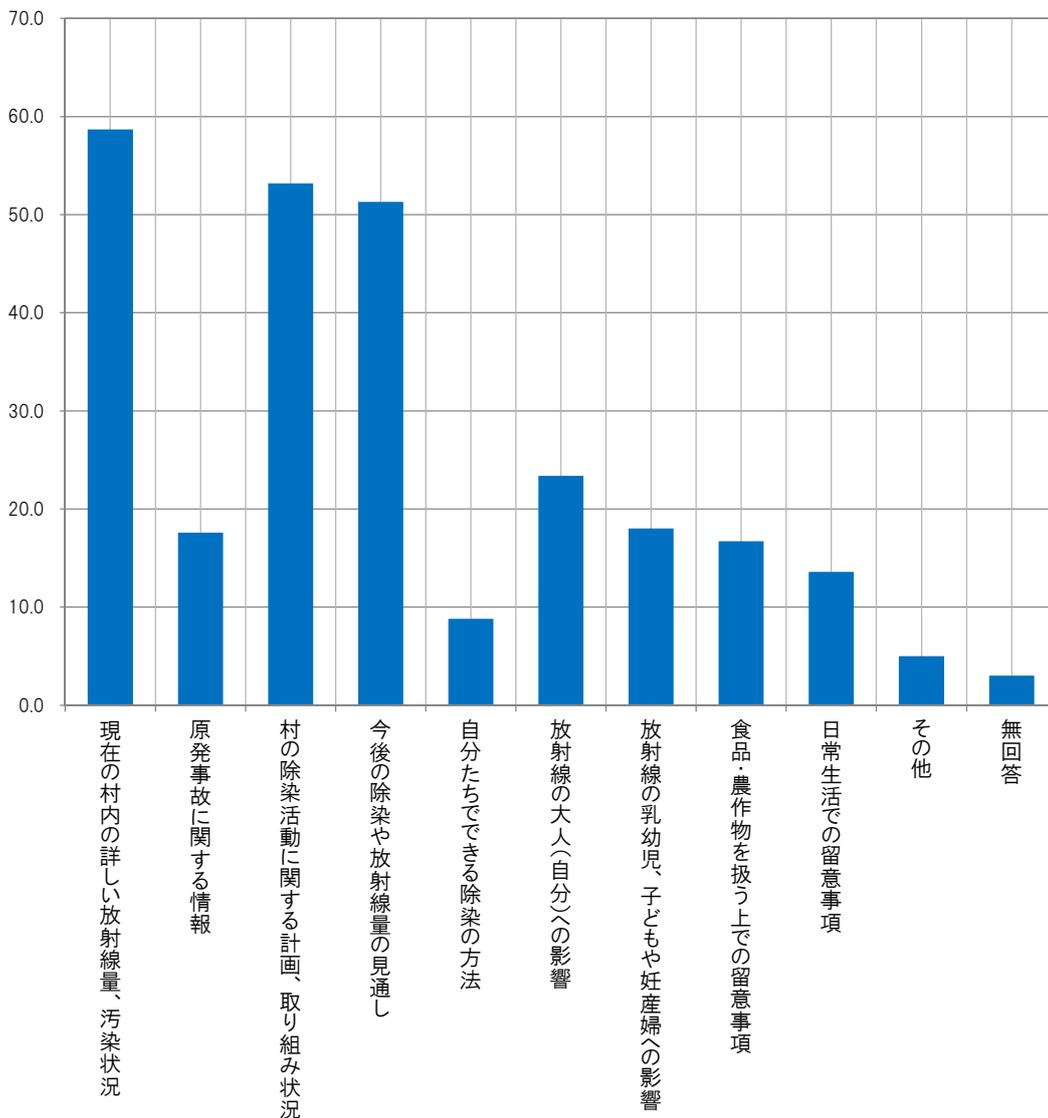
Q22.放射線の健康影響や除染などについて、どのようなことを知りたいですか。最も知りたい情報を3つまでお答えください。(〇は最大3つ)

■ 結果の概要

- ・最も多かった回答は、「村内の詳しい線量、汚染状況」(58.7%)、「村の除染活動」(53.2%)、「今後の除染、線量の見通し」(51.3%)であり、いずれも半数を超えた。
- ・年齢別に見ると、「村内の詳しい線量、汚染状況」を知りたいという回答は、年齢が高くなるにつれて多くなり、50代以上では6割を超えている。一方、20代、30代の若年層においては、「放射線の大人への影響」「乳幼児、子どもや妊産婦への影響」を知りたいという声が他の年代に比べて多い。
- ・避難前の居住地区別に見ても、現在公表されている地区別線量において比較的線量が高いとされている地区の住民のみが特に何らかの情報を求めているという傾向は見られなかった。

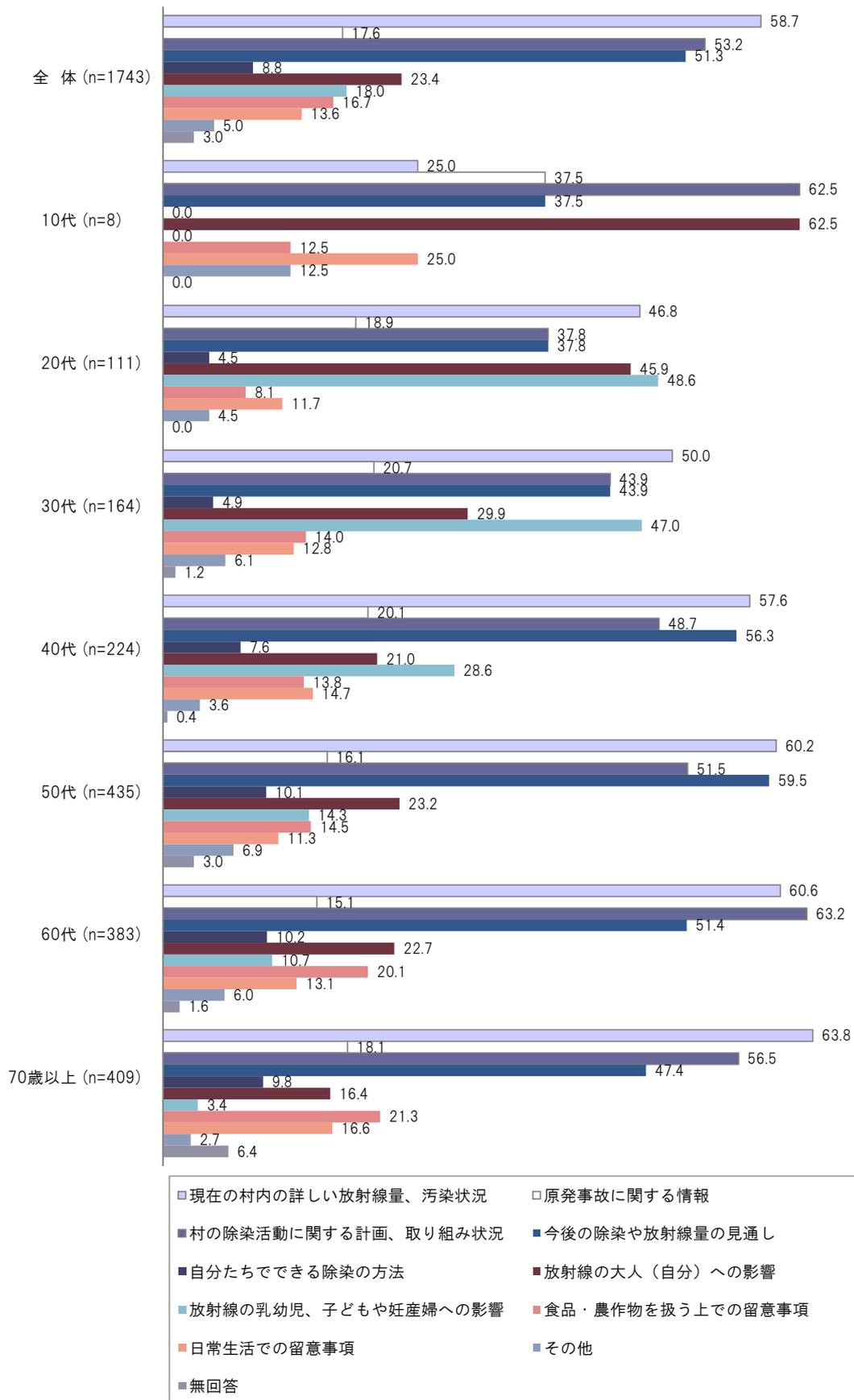
◆ 単純集計結果

(単位:%)



◆ 回答世代別集計結果

(単位:%)



◆ 集計表

	全 体	量現 在の 汚染 状況 の詳 しい 放射 線	原 発事 故に 関す る情 報	取 り 組 み 活 動に 関す る計 画、	今 後 の 除 染 や 放 射 線 量 の 見 通	自 分 た ち で で き る 除 染 の 方 法	放 射 線 の 大 人 （ 自 分 ） へ の 影 響	産 放 射 線 の 乳 幼 児 、 子 ど も や 妊 婦 へ の 影 響	食 品 ・ 農 作 物 を 扱 う 上 で の 留 意 事 項	日 常 生 活 で の 留 意 事 項	そ の 他	無 回 答
全 体	1743 100.0	1024 58.7	307 17.6	927 53.2	895 51.3	154 8.8	408 23.4	313 18.0	291 16.7	237 13.6	88 5.0	52 3.0
10代	8 100.0	2 25.0	3 37.5	5 62.5	3 37.5	-	5 62.5	-	1 12.5	2 25.0	1 12.5	-
20代	111 100.0	52 46.8	21 18.9	42 37.8	42 37.8	5 4.5	51 45.9	54 48.6	9 8.1	13 11.7	5 4.5	-
30代	164 100.0	82 50.0	34 20.7	72 43.9	72 43.9	8 4.9	49 29.9	77 47.0	23 14.0	21 12.8	10 6.1	2 1.2
40代	224 100.0	129 57.6	45 20.1	109 48.7	126 56.3	17 7.6	47 21.0	64 28.6	31 13.8	33 14.7	8 3.6	1 0.4
50代	435 100.0	262 60.2	70 16.1	224 51.5	259 59.5	44 10.1	101 23.2	62 14.3	63 14.5	49 11.3	30 6.9	13 3.0
60代	383 100.0	232 60.6	58 15.1	242 63.2	197 51.4	39 10.2	87 22.7	41 10.7	77 20.1	50 13.1	23 6.0	6 1.6
70歳以上	409 100.0	261 63.8	74 18.1	231 56.5	194 47.4	40 9.8	67 16.4	14 3.4	87 21.3	68 16.6	11 2.7	26 6.4

クロス集計(【在宅介護をされていない理由】×【現在の住まい(県内・県外)】)

	全 体	量現 在の 汚染 状況 の詳 しい 放射 線	原 発事 故に 関す る情 報	取 り 組 み 活 動に 関す る計 画	今 後 の 除 染 や 放 射 線 量 の 見 通	自 分 た ち で で き る 除 染 の 方 法	放 射 線 の 大 人 （ 自 分 ） へ の 影 響	産 放 射 線 の 乳 幼 児 、 子 ど も や 妊 婦 へ の 影 響	食 品 ・ 農 作 物 を 扱 う 上 で の 留 意 事 項	日 常 生 活 で の 留 意 事 項	そ の 他	無 回 答
全 体	1743 100.0	1024 58.7	307 17.6	927 53.2	895 51.3	154 8.8	408 23.4	313 18.0	291 16.7	237 13.6	88 5.0	52 3.0
福島県内居住者	1576 100.0	928 58.9	258 16.4	848 53.8	817 51.8	140 8.9	380 24.1	284 18.0	276 17.5	216 13.7	78 4.9	41 2.6
福島県外居住者	143 100.0	81 56.6	40 28.0	68 47.6	72 50.3	13 9.1	23 16.1	28 19.6	13 9.1	19 13.3	10 7.0	6 4.2
不明	24 100.0	15 62.5	9 37.5	11 45.8	6 25.0	1 4.2	5 20.8	1 4.2	2 8.3	2 8.3	-	5 20.8

◆ 「その他」における自由記述

【10代の回答者】	<ul style="list-style-type: none"> 自分の家のまわりの放射線量など
【20代の回答者】	<ul style="list-style-type: none"> 今から妊娠しても影響はないのか。これからが不安で子供も作れない。 国、県、村、東電の対応の違法性について ダメならダメと言えないのはわかるが、変に期待させるより、早くいろいろ決断できることから、その方がいいのでは？ 水への放射線の影響 県産の食物がこわくて食べれない。大丈夫と言っても信じられない
【30代の回答者】	<ul style="list-style-type: none"> 今、住んで居る仮設住宅の放射線量 仮払い補償金の実施状況 現在、自分自身の位被ばくしているか知りたい 現在の自分の健康状態(放射線の影響) 全内部被ばく量の計算・予測 村に戻る為の完璧な復興計画 飯館村の線量を低くTV等で報道しているのか 数年前の海外の事故より現在その地域に生活していた人の健康はどうなのか、知りたい。 避難先で安心して暮らせる情報(放射線等)
【40代の回答者】	<ul style="list-style-type: none"> 家からの野菜、水の飲食は大丈夫か(2件) 行政に反映するような村民同士の話し合いの場に関する情報 かくし事のない事実。プルニウム対策 この先の状況 除染計画に対する村民への説明や帰村への意向調査があるのか

- ・除染後の効果
- ・放射線を測る物を村民に配布してほしい
- ・除染後の日常生活は心配はないのか。

【50代の回答者】

- ・将来の飯館村で除染して生活できるか否か(6件)
- ・本当に除染して農業ができるのか(3件)
- ・山林、耕地の除染は本当に可能なのか(2件)
- ・2、5、20年と除染計画にタイムラグがあるのに生活する場所として人々を戻していいのか。
- ・回答選択肢の3、4、5は必要なし
- ・移住計画を知りたい。村を最終処分場にした時の計画案(賠償についても含む)
- ・井戸水、水道水の汚染状況(村内)
- ・今後の動きを明確に。いつまでもこの状態にいられない。村に戻ることはばかりで、不安です。
- ・除染した土の仮置場
- ・除染をして若者が戻る見通し
- ・新聞にのっている情報じゃなく、こまかな所まで知りたい
- ・セシウムだけでなく、プルトニウム、ストロンチウムの事も村内には、どれぐらいあるのか、詳しく知りたい
- ・損害賠償の書類が書けないでいる
- ・村長の考え・本音
- ・村内での屋外作業の可・否
- ・プルトニウム・ストロンチウムがどこで検出されたか(場所)もっと村全体で細かく計測してもらいたい
- ・本当に2年で帰れるのか
- ・今さら知ったってどうしようもない。早く買いあげてほしい
- ・除染費用を個々の生活費に回して欲しい(除染してもきりがないので)
- ・原発の現況、うそのない本当の情報
- ・情報をかくしたのはなぜか

【60代の回答者】

- ・帰村の見通し(5件)
- ・いつ自宅に戻って農業が再開できるか(2件)
- ・正しい情報がほしい(2件)
- ・村民が農作物の検査ができるよう体制作りを
- ・全村民に積算線量計の配布を
- ・定期的な沢水、井戸水検査
- ・回答選択肢11に関係するが、毎月知らせて下さっている行政区の情報ではなく、さらに細かい字名での情報が欲しい
- ・各家の放射線量を知りたい⇒個人に通知してほしい。
- ・除染後、村に戻る人数はどれくらい、又、老若の比率は。
- ・除染で前と同じになれるのか(外の仕事も含め)
- ・除染などしても子供達が住めないのでも買い上げてほしい
- ・村内の実際の放射線を報道してほしい。一番低い所ではなく。
- ・たとえ除染しても人間が住めるようになれるのか
- ・プルトニウムの量及び場所
- ・補償金、義援金(村の)
- ・もうどうでもいい。もとははもどれない
- ・蔵平地区セシウム、ストロンチウムによる放射線はどうなっているか
- ・集団移転等の可能性について
- ・知ってどうする。山林はムリなのでムダなこと
- ・原発が収束するのか
- ・今頃になってどうしたの。帰村出来ないのなら土地、家を売ります。除染のお金下さい。第2の人生やります。

【70代以上の回答者】

- ・帰村の見通し(3件)
- ・除染後の土などその後どうするか
- ・すべて、情報は即、渡して欲しい
- ・真の情報
- ・我が村の本当の線量を発表してほしい
- ・早く除染してもらって家に帰りたくて
- ・除染について今の時代もっと化学的な除染はないのか
- ・原発の始末は。子供のいない村になるのか。
- ・川俣町、伊達市のように1軒ごとの周囲の線量を出してもらいたい
- ・放射線見回りの人達を部落で雇ってもらいたい
- ・質問の意味が分からない
- ・家のまわり、家の中どのようになっているか回答選択肢は全部知りたいことばかり。最大3つまでなど選べない。こんなアンケートとる前にちゃんと説明あってしかるべき

【設問】

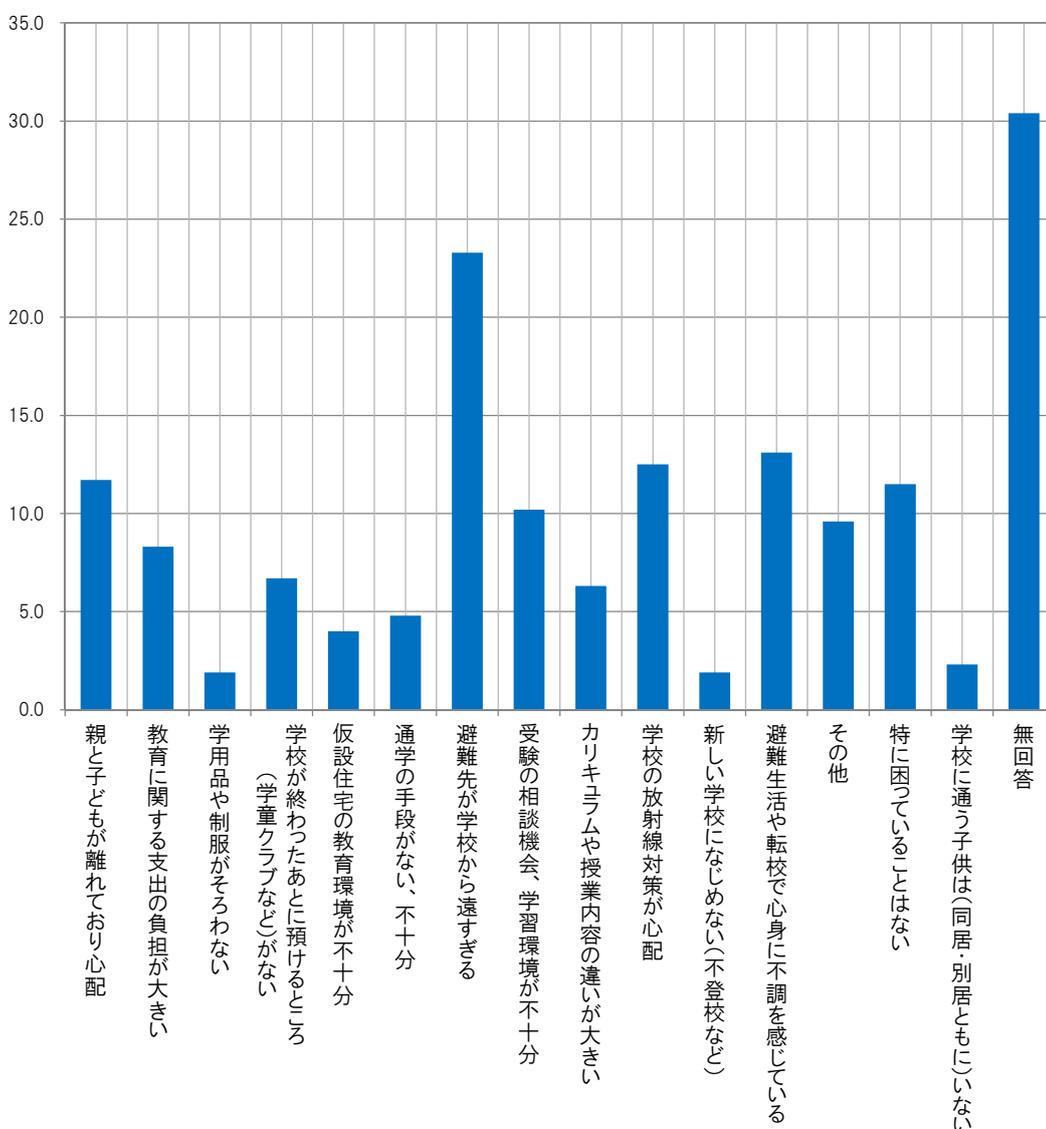
Q23. [学校に通うお子さんをお持ちの方に伺います] お子さんの「教育」についてお困りのことはありますか。(〇はい/×でも)

■ 結果の概要

- ・「学校が遠い」という回答が最も多く(23.3%)、次いで「避難生活・転校による心身の不調」(13.1%)、「学校の放射線対策」(12.5%)、「受験の相談・学習環境」(10.2%)となった。
- ・年齢別に見ると、特に30代、40代、50代の回答者において、教育に関する困りごとを回答する割合が高いが、その内容については年齢による差は見られない。
- ・避難先別(福島県内・県外)に見ると、サンプル数が少ないものの、福島県外に避難している回答者において、「教育に関する支出負担が大きい」と回答する割合が比較的高い(24.3%)点が目立つ。
- ・現在の収入別に見ると、「収入がほとんどなくなった」とする回答者において、「教育に関する支出負担が大きい」という回答が18.9%と特に高くなっている。このことから、収入減の大きかった世帯において、教育費の負担が大きいことが伺える。

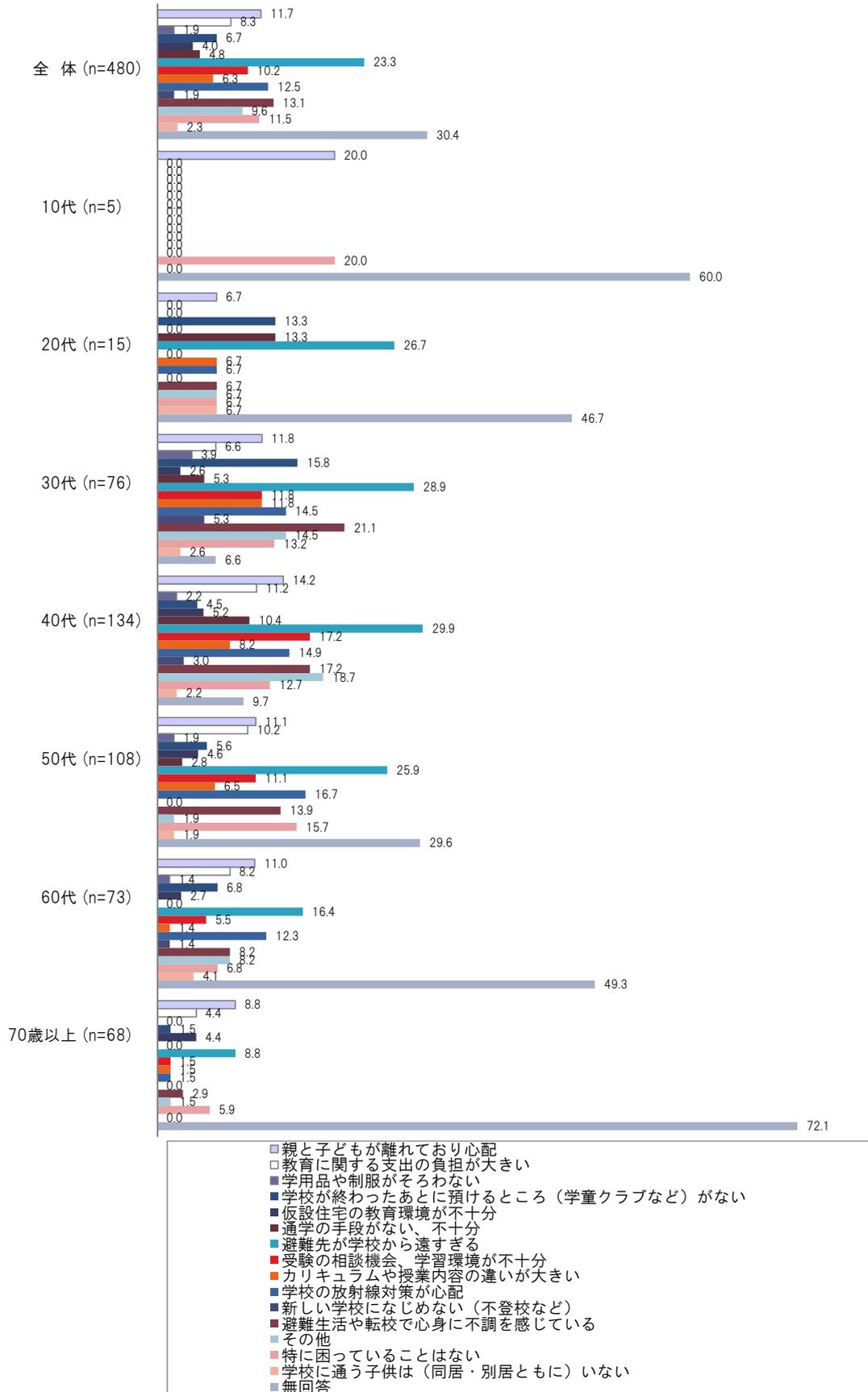
◆ 単純集計結果

(単位:%)



◆ 回答世代別集計結果

(単位:%)



◆ 集計表

	全 体	親 と 子 ど も が 離 れ て お り 心 配	き い 教 育 に 関 す る 支 出 の 負 担 が 大	学 用 品 や 制 服 が そ ろ わ な い	学 校 が 終 わ つ た あ と に 預 け る と こ ろ (学 童 ク ラ ブ な ど) が な い	仮 設 住 宅 の 教 育 環 境 が 不 十 分	通 学 の 手 段 が な い 、 不 十 分	避 難 先 が 学 校 か ら 遠 す ぎ る	受 験 の 相 談 機 会 、 学 習 環 境 が 不 十 分	カ リ キ ュ ラ ム や 授 業 内 容 の 違 い が 大 き い	学 校 の 放 射 線 対 策 が 心 配	新 し い 学 校 に な じ め な い (不 登 校 な ど)
全 体	480 100.0	56 11.7	40 8.3	9 1.9	32 6.7	19 4.0	23 4.8	112 23.3	49 10.2	30 6.3	60 12.5	9 1.9
10代	5 100.0	1 20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20代	15 100.0	1 6.7	-	-	2 13.3	-	2 13.3	4 26.7	-	1 6.7	1 6.7	-
30代	76 100.0	9 11.8	5 6.6	3 3.9	12 15.8	2 2.6	4 5.3	22 28.9	9 11.8	9 11.8	11 14.5	4 5.3
40代	134 100.0	19 14.2	15 11.2	3 2.2	6 4.5	7 5.2	14 10.4	40 29.9	23 17.2	11 8.2	20 14.9	4 3.0
50代	108 100.0	12 11.1	11 10.2	2 1.9	6 5.6	5 4.6	3 2.8	28 25.9	12 11.1	7 6.5	18 16.7	-
60代	73 100.0	8 11.0	6 8.2	1 1.4	5 6.8	2 2.7	-	12 16.4	4 5.5	1 1.4	9 12.3	1 1.4
70歳以上	68 100.0	6 8.8	3 4.4	-	1 1.5	3 4.4	-	6 8.8	1 1.5	1 1.5	1 1.5	-

	感 避 難 生 活 や 転 校 で 心 身 に 不 調 を 感 じ て い る	そ の 他	特 に 困 っ て い る こ と は な い	学 校 に 通 う 子 供 は (同 居 ・ 別 居 と も に) い な い	無 回 答
全 体	63 13.1	46 9.6	55 11.5	11 2.3	146 30.4
10代	-	-	1 20.0	-	3 60.0
20代	1 6.7	1 6.7	1 6.7	1 6.7	7 46.7
30代	16 21.1	11 14.5	10 13.2	2 2.6	5 6.6
40代	23 17.2	25 18.7	17 12.7	3 2.2	13 9.7
50代	15 13.9	2 1.9	17 15.7	2 1.9	32 29.6
60代	6 8.2	6 8.2	5 6.8	3 4.1	36 49.3
70歳以上	2 2.9	1 1.5	4 5.9	-	49 72.1

クロス集計(【教育についてお困りのこと】×【現在の住まい(県内・県外)】)

	全 体	親と子どもが離れており心配	き教育に関する支出の負担が大	学用品や制服がそろわない	学校が終わったあとに預ける ない(学童クラブなど)が	仮設住宅の教育環境が不十分	通学の手段がない、不十分	避難先が学校から遠すぎる	受験の相談機会、学習環境が 不十分	カリキュラムや授業内容の違 いが大きい	学校の放射線対策が心配	新しい学校になじめない(不 登校など)
全 体	480 100.0	56 11.7	40 8.3	9 1.9	32 6.7	19 4.0	23 4.8	112 23.3	49 10.2	30 6.3	60 12.5	9 1.9
福島県内居住者	441 100.0	50 11.3	31 7.0	9 2.0	29 6.6	19 4.3	23 5.2	108 24.5	48 10.9	25 5.7	58 13.2	7 1.6
福島県外居住者	37 100.0	6 16.2	9 24.3	-	3 8.1	-	-	4 10.8	1 2.7	5 13.5	2 5.4	2 5.4
不明	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	避 難 を 感 じ て い る	そ の 他	特 に 困 っ て い る こ と は な い	別 校 に 通 う 子 供 は (同 居 ・)	無 回 答
全 体	63 13.1	46 9.6	55 11.5	11 2.3	146 30.4
福島県内居住者	58 13.2	37 8.4	51 11.6	11 2.5	135 30.6
福島県外居住者	5 13.5	9 24.3	4 10.8	-	9 24.3
不明	-	-	-	-	2 100.0

クロス集計(【教育についてお困りのこと】×【住居種別(避難先)】)

	全 体	配 親 と 子 ど も が 離 れ て お り 心	大 き い 教 育 に 関 す る 支 出 の 負 担 が	学 用 品 や 制 服 が そ ろ わ な い	学 校 が 終 わ つ た あ と に 預 け る と こ ろ (<u>学 童 ク ラ ブ</u> な い)	分 仮 設 住 宅 の 教 育 環 境 が 不 十 分	通 学 の 手 段 が な い 、 不 十 分	避 難 先 が 学 校 か ら 遠 す ぎ る	受 験 の 相 談 機 会 、 学 習 環 境 が 不 十 分	違 い が 大 き い カ リ キ ュ ラ ム や 授 業 内 容 の	学 校 の 放 射 線 対 策 が 心 配	新 し い 学 校 に な じ め な い (<u>不 登 校</u> な ど)
全 体	480 100.0	56 11.7	40 8.3	9 1.9	32 6.7	19 4.0	23 4.8	112 23.3	49 10.2	30 6.3	60 12.5	9 1.9
仮設住宅	78 100.0	12 15.4	1 1.3	1 1.3	-	11 14.1	1 1.3	10 12.8	4 5.1	4 5.1	5 6.4	1 1.3
公営住宅(村が斡旋したもの)	45 100.0	1 2.2	3 6.7	2 4.4	9 20.0	-	2 4.4	20 44.4	3 6.7	3 6.7	12 26.7	-
県借上住宅	297 100.0	35 11.8	26 8.8	5 1.7	21 7.1	8 2.7	17 5.7	74 24.9	38 12.8	17 5.7	37 12.5	5 1.7
子ども・親戚・知人宅	5 100.0	1 20.0	-	-	-	-	-	-	1 20.0	-	-	-
借家(一戸建て・アパート等で家賃を自己負担しているもの)	39 100.0	5 12.8	6 15.4	1 2.6	2 5.1	-	2 5.1	6 15.4	3 7.7	3 7.7	3 7.7	2 5.1
老人施設・病院	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0	-
社宅・寮	9 100.0	2 22.2	3 33.3	-	-	-	-	1 11.1	-	1 11.1	1 11.1	1 11.1
その他	4 100.0	-	1 25.0	-	-	-	1 25.0	1 25.0	-	2 50.0	1 25.0	-

	を 避 難 生 活 や 転 校 で 心 身 に 不 調	そ の 他	特 に 困 っ て い る こ と は な い	学 校 に 通 う 子 供 は (<u>同 居</u> ・ <u>別</u> 居 と も に 通 う 子 供 は い な い)	無 回 答
全 体	63 13.1	46 9.6	55 11.5	11 2.3	146 30.4
仮設住宅	11 14.1	3 3.8	8 10.3	-	38 48.7
公営住宅(村が斡旋したもの)	5 11.1	5 11.1	4 8.9	1 2.2	5 11.1
県借上住宅	40 13.5	33 11.1	37 12.5	8 2.7	85 28.6
子ども・親戚・知人宅	-	1 20.0	-	-	2 40.0
借家(一戸建て・アパート等で家賃を自己負担しているもの)	5 12.8	3 7.7	5 12.8	2 5.1	11 28.2
老人施設・病院	-	-	-	-	1 50.0
社宅・寮	2 22.2	1 11.1	-	-	2 22.2
その他	-	-	1 25.0	-	1 25.0

クロス集計(【教育についてお困りのこと】×【現在の収入】)

	全 体	親 と 子 ど も が 離 れ て お り 心 配	き 教 育 に 関 す る 支 出 の 負 担 が 大	学 用 品 や 制 服 が そ ろ わ な い	学 校 が 終 わ つ た あ と に 預 け る と こ ろ (<u>学 童 ク ラ ブ</u> な ど) が な い	仮 設 住 宅 の 教 育 環 境 が 不 十 分	通 学 の 手 段 が な い 、 不 十 分	避 難 先 が 学 校 か ら 遠 す ぎ る	受 験 の 相 談 機 会 、 学 習 環 境 が 不 十 分	カ リ キ ュ ラ ム や 授 業 内 容 の 違 い が 大 き い	学 校 の 放 射 線 対 策 が 心 配	新 し い 学 校 に な じ め な い (<u>不 登 校</u> な ど)
全 体	480 100.0	56 11.7	40 8.3	9 1.9	32 6.7	19 4.0	23 4.8	112 23.3	49 10.2	30 6.3	60 12.5	9 1.9
収入がほとんどなくなった	74 100.0	11 14.9	14 18.9	2 2.7	5 6.8	4 5.4	1 1.4	17 23.0	4 5.4	4 5.4	9 12.2	2 2.7
月額で7～8割くらい減った	36 100.0	4 11.1	3 8.3	- -	6 16.7	2 5.6	3 8.3	9 25.0	4 11.1	5 13.9	5 13.9	3 8.3
月額で5割くらい減った	62 100.0	9 14.5	6 9.7	3 4.8	1 1.6	3 4.8	5 8.1	19 30.6	3 4.8	1 1.6	10 16.1	- -
月額で2～3割くらい減った	89 100.0	7 7.9	6 6.7	1 1.1	9 10.1	3 3.4	7 7.9	24 27.0	11 12.4	7 7.9	16 18.0	1 1.1
あまり変わらない(年金生活を含む)	177 100.0	20 11.3	11 6.2	2 1.1	10 5.6	7 4.0	6 3.4	38 21.5	25 14.1	13 7.3	19 10.7	3 1.7
収入が増えた	8 100.0	1 12.5	- -	- -	- -	- -	- -	1 12.5	- -	- -	- -	- -
その他	11 100.0	3 27.3	- -	- -	1 9.1	- -	- -	1 9.1	1 9.1	- -	- -	- -
わからない	16 100.0	1 6.3	- -	1 6.3	- -	- -	1 6.3	2 12.5	- -	- -	1 6.3	- -

	を 感 じ て い る 避 難 生 活 や 転 校 で 心 身 に 不 調	そ の 他	特 に 困 っ て い る こ と は な い	学 校 に 通 う 子 供 は (<u>同 居 ・ 別 居</u> と も に) い な い	無 回 答
全 体	63 13.1	46 9.6	55 11.5	11 2.3	146 30.4
収入がほとんどなくなった	11 14.9	8 10.8	7 9.5	1 1.4	24 32.4
月額で7～8割くらい減った	5 13.9	3 8.3	1 2.8	- -	14 38.9
月額で5割くらい減った	10 16.1	5 8.1	11 17.7	4 6.5	14 22.6
月額で2～3割くらい減った	8 9.0	8 9.0	10 11.2	2 2.2	22 24.7
あまり変わらない(年金生活を含む)	27 15.3	20 11.3	23 13.0	3 1.7	49 27.7
収入が増えた	- -	- -	1 12.5	- -	5 62.5
その他	2 18.2	2 18.2	1 9.1	- -	3 27.3
わからない	- -	- -	1 6.3	1 6.3	9 56.3

◆ 「その他」における自由記述

<p>【10代の回答者】 (なし)</p>
<p>【20代の回答者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さい子供でも環境が変わるとストレスや不安を感じていると思う ・寮に入ったが休日寮にいられず不便
<p>【30代の回答者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動量が足りてないのではないのか。 ・環境が変わりすぎて学習意欲をなくしてしまっている ・教育委員会、もっと子供のことについて考えてほしい。集まりも7時に飯野町では行けない ・子供が野菜等を食べなくなった ・スポーツに入部して夜までやるので、1才の子がいると送り迎えが大変。母子家庭なので、誰も援助してもらえないので大変 ・スポーツや小学校などの活動や塾などの学習環境が不十分である ・転校するにも、学区内の学校に入れない ・部屋に閉じこもりゲームばかりやっているので心配 ・勉強した事が身についているか心配 ・まだ籍をいれていない ・子供達の遊ばせる所がない ・子供達を連れ戻した時の転入先など今後どうするか不安 ・来年中生だが、市内か(川俣)か毎日悩んでいる
<p>【40代の回答者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校での屋外活動が不十分(4件) ・運動不足(2件) ・学習意欲がなくなった。(2件) ・飯館の給食の食材に不安 ・学校は松川仮設に建ててほしい ・子供が野菜等を食べなくなった ・子供達(村内)の交流の場がほしい ・今後、サテライト高校集約の為、現住所から通いきれない ・最近福島に帰りたいと言うようになった ・死に対する恐怖をいだいている ・住宅が狭く教育環境が不十分 ・スキー授業の準備3人分 ・他県にいる為、細かい出費と目が届かない ・中学校がこのままでいいのか、先生方にも不安 ・通学時間が長く、会話も少いし、宿題の時間も少なくなった。 ・転校生だといっていじめられる。 ・避難先アパートが借り上げにならない ・まだよくわからない。小学校に行ってからが心配 ・村の取り組みは義務教育該当の子であるので今も、転入、転入学する際も頼るところがなかった ・部活動はいつからできるのか ・自主避難者にもスクールバスにのせてほしい
<p>【50代の回答者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年は通学に困らないが、来年度は学校の移転により不便になる ・就職が無い事
<p>【60代の回答者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今、南相馬原町区から孫を二人預かっているのですが、母親と離れているのが不憫 ・住宅が狭く勉強する環境が悪い ・祖父、祖母、居ると居ないのでは違う ・来年中生に孫が避難先で入学するか、福島に戻れるか悩んでいる ・別口で避難しているのでわからない ・帰りたいが、ほんとうの数値が知りたい ・仮設ばかりに皆さん居る訳ではない！賃貸住宅も一緒です。同様に！
<p>【70代以上の回答者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもいきり身体を動かせないことが心配。体育や休み時間など

【設問】

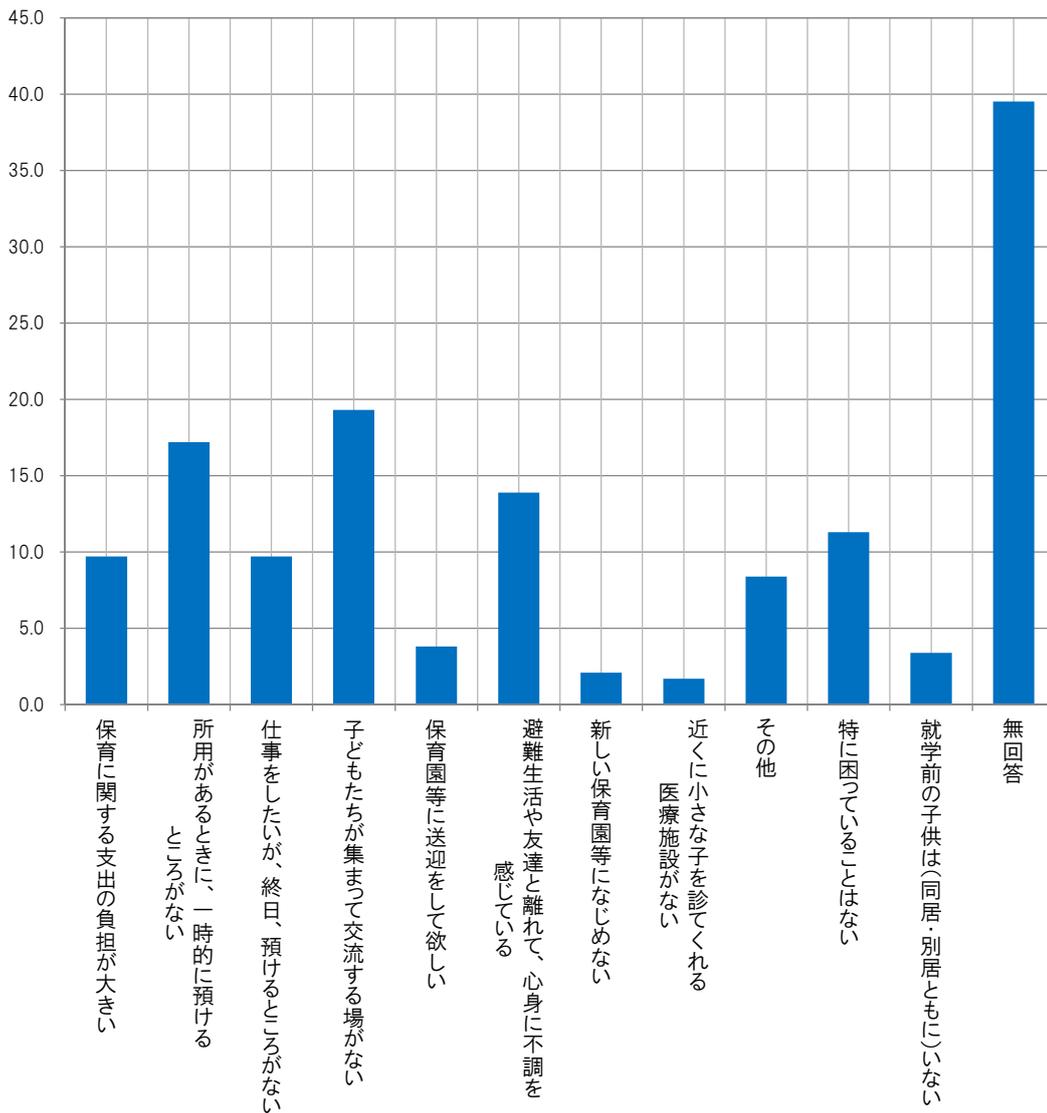
Q24.〔就学前の小さなお子さんをお持ちの方に伺います〕 お子さんの「保育」についてお困りのことはありますか。(〇はいくつでも)

■ 結果の概要

- ・「子どもの交流する場がない」(19.3%)、「一時的な預け先がない」(17.2%)、「避難生活等で心身に不調」(13.9%)の順で回答が多い。
- ・年齢別に見ると、20代、30代、40代において「一時的な預け先がない」という回答がやや高い傾向にある。
- ・現在の収入別に見ると、「収入がほとんどなくなった」「7～8割減った」という回答者において、「仕事をしたいが終日預け先がない」と回答する割合が比較的高い(前者は23.3%、後者は12.5%)という傾向が見受けられる。

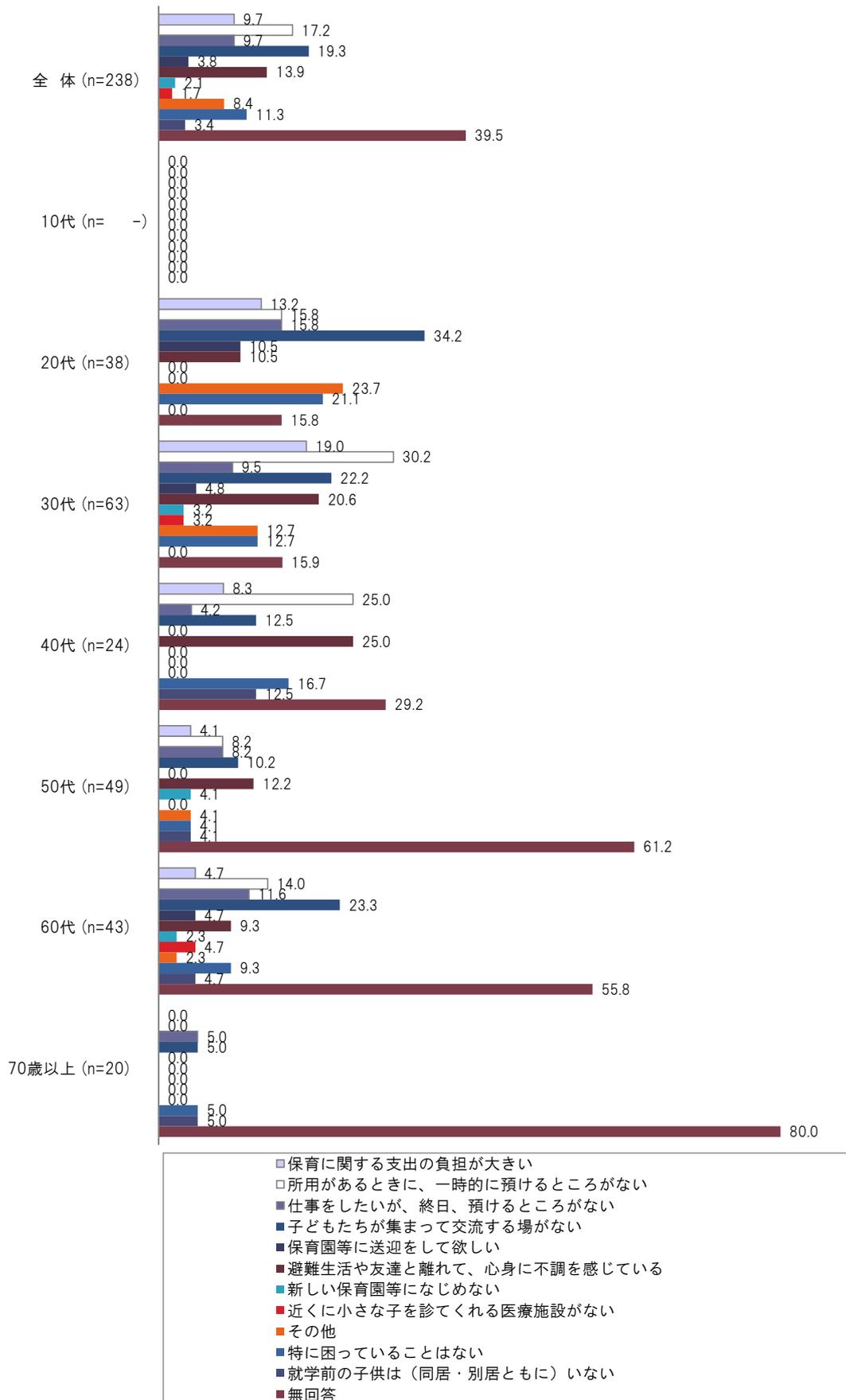
◆ 単純集計結果

(単位:%)



◆ 回答世代別集計結果

(単位:%)



◆ 集計表

	全 体	大きい 保育に 関する 支出の 負担が大	に 所用が あると きに、 一時的 に預け るところ がない	け 仕事 をした いが、 終日、 預け る ところ がない	す 子ども たちが 集ま って交 流す る場 がない	い 保育園 等に 送迎 をし て欲 しい	心 身に 不調 を感 じて いる	い 新し い保 育園 等 にな じめ ない	る 近く に小 さな 子を 診て くれ る医 療施 設が ない	そ 他	特 に困 って いる こと はな い	居 就学 前 の子 供は (同居 ・別 居 とも に)い ない	無 回 答
全 体	238 100.0	23 9.7	41 17.2	23 9.7	46 19.3	9 3.8	33 13.9	5 2.1	4 1.7	20 8.4	27 11.3	8 3.4	94 39.5
10代	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20代	38 100.0	5 13.2	6 15.8	6 15.8	13 34.2	4 10.5	4 10.5	-	-	9 23.7	8 21.1	-	6 15.8
30代	63 100.0	12 19.0	19 30.2	6 9.5	14 22.2	3 4.8	13 20.6	2 3.2	2 3.2	8 12.7	8 12.7	-	10 15.9
40代	24 100.0	2 8.3	6 25.0	1 4.2	3 12.5	-	6 25.0	-	-	-	4 16.7	3 12.5	7 29.2
50代	49 100.0	2 4.1	4 8.2	4 8.2	5 10.2	-	6 12.2	2 4.1	-	2 4.1	2 4.1	2 4.1	30 61.2
60代	43 100.0	2 4.7	6 14.0	5 11.6	10 23.3	2 4.7	4 9.3	1 2.3	2 4.7	1 2.3	4 9.3	2 4.7	24 55.8
70歳以上	20 100.0	-	-	1 5.0	1 5.0	-	-	-	-	-	1 5.0	1 5.0	16 80.0

クロス集計(【保育についてお困りのこと】×【現在の住まい(県内・県外)】)

	全 体	大きい 保育に 関する 支出の 負担が大	に 所用が あると きに、 一時的 に預け るところ がない	け 仕事 をした いが、 終日、 預け る ところ がない	す 子ども たちが 集ま って交 流す る場 がない	い 保育園 等に 送迎 をし て欲 しい	心 身に 不調 を感 じて いる	い 新し い保 育園 等 にな じめ ない	る 近く に小 さな 子を 診て くれ る医 療施 設が ない	そ 他	特 に困 って いる こと はな い	居 就学 前 の子 供は (同居 ・別 居 とも に)い ない	無 回 答
全 体	238 100.0	23 9.7	41 17.2	23 9.7	46 19.3	9 3.8	33 13.9	5 2.1	4 1.7	20 8.4	27 11.3	8 3.4	94 39.5
福島県内居住者	206 100.0	18 8.7	32 15.5	18 8.7	43 20.9	9 4.4	30 14.6	3 1.5	4 1.9	18 8.7	22 10.7	8 3.9	85 41.3
福島県外居住者	30 100.0	5 16.7	9 30.0	5 16.7	3 10.0	-	3 10.0	2 6.7	-	2 6.7	5 16.7	-	7 23.3
不明	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2 100.0

クロス集計(【保育についてお困りのこと】×【住居種別(避難先)】)

	全 体	大きい 保育に 関する 支出の 負担が大	に 所用が あると きに、 一時的 に預け るところ がない	け 仕事 をした いが、 終日、 預け る ところ がない	す 子ども たちが 集ま って交 流す る場 がない	い 保育園 等に 送迎 をし て欲 しい	心 身に 不調 を感 じて いる	い 新し い保 育園 等 にな じめ ない	る 近く に小 さな 子を 診て くれ る医 療施 設が ない	そ 他	特 に困 って いる こと はな い	居 就学 前 の子 供は (同居 ・別 居 とも に)い ない	無 回 答
全 体	238 100.0	23 9.7	41 17.2	23 9.7	46 19.3	9 3.8	33 13.9	5 2.1	4 1.7	20 8.4	27 11.3	8 3.4	94 39.5
仮設住宅	30 100.0	-	2 6.7	1 3.3	5 16.7	2 6.7	2 6.7	-	2 6.7	1 3.3	-	-	22 73.3
公営住宅(村が斡旋したもの)	38 100.0	3 7.9	13 34.2	10 26.3	12 31.6	3 7.9	7 18.4	1 2.6	1 2.6	5 13.2	5 13.2	1 2.6	6 15.8
県借上住宅	131 100.0	14 10.7	19 14.5	9 6.9	26 19.8	4 3.1	19 14.5	3 2.3	-	11 8.4	16 12.2	4 3.1	55 42.0
子ども・親戚・知人宅	6 100.0	-	1 16.7	-	1 16.7	-	-	-	-	-	1 16.7	-	4 66.7
借家(一戸建て・アパート等で家賃を自己負担しているもの)	21 100.0	4 19.0	4 19.0	2 9.5	2 9.5	-	3 14.3	1 4.8	1 4.8	2 9.5	1 4.8	3 14.3	5 23.8
老人施設・病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
社宅・寮	7 100.0	2 28.6	1 14.3	-	-	-	2 28.6	-	-	1 14.3	2 28.6	-	1 14.3
その他	4 100.0	-	1 25.0	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0	-	1 25.0

クロス集計(【保育についてお困りのこと】×【住居種別(避難先)】)

	全 体	大 き い 保 育 に 関 する 支 出 の 負 担 が	に 所 用 が あ る と き に 、 一 時 的	け る と こ ろ が な い が 、 終 日 、 預	す る 場 が な い が 、 終 日 、 預	い 保 育 園 等 に 送 迎 を し て 欲 し	心 避 難 生 活 や 友 達 と 離 れ て 、 心 を 感 じ て い る	い 新 し い 保 育 園 等 に な じ め な	近 く に 小 さ な 子 を 診 て く れ る 医 療 施 設 が な い	そ の 他	特 に 困 っ て い る こ と は な い	就 学 前 の 子 供 は (同 居 ・ 別 居 と も に) い な い	無 回 答
全 体	238	23	41	23	46	9	33	5	4	20	27	8	94
	100.0	9.7	17.2	9.7	19.3	3.8	13.9	2.1	1.7	8.4	11.3	3.4	39.5
収入がほとんどなくなった	43	7	9	10	13	2	9	2	3	4	1	3	16
	100.0	16.3	20.9	23.3	30.2	4.7	20.9	4.7	7.0	9.3	2.3	7.0	37.2
月額で7～8割くらい減った	24	1	7	3	6	-	5	-	-	-	1	-	12
	100.0	4.2	29.2	12.5	25.0	-	20.8	-	-	-	4.2	-	50.0
月額で5割くらい減った	27	3	4	1	4	1	1	-	-	2	5	-	12
	100.0	11.1	14.8	3.7	14.8	3.7	3.7	-	-	7.4	18.5	-	44.4
月額で2～3割くらい減った	51	5	10	4	11	3	5	1	-	3	2	1	25
	100.0	9.8	19.6	7.8	21.6	5.9	9.8	2.0	-	5.9	3.9	2.0	49.0
あまり変わらない(年金生活を 含む)	75	6	7	2	9	2	11	2	-	10	17	4	21
	100.0	8.0	9.3	2.7	12.0	2.7	14.7	2.7	-	13.3	22.7	5.3	28.0
収入が増えた	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	5	1	1	1	-	1	1	-	-	1	-	-	1
	100.0	20.0	20.0	20.0	-	20.0	20.0	-	-	20.0	-	-	20.0
わからない	8	-	3	2	3	-	1	-	1	-	1	-	2
	100.0	-	37.5	25.0	37.5	-	12.5	-	12.5	-	12.5	-	25.0

◆ 「その他」における自由記述

【10代の回答者】 (なし)
【20代の回答者】 ・外でなかなか遊べず、ずっと家なのでストレスがたまっている。(3件) ・保育所が遠い(2件) ・祖父母と離れてのせいかつに不満 ・弁当を作らなければならなくなった。参加行事が多い ・子供と2人きりなので子供がべったりになった。さみしさを感じていると思う ・仕事をしたいが、100%除染して100%安全でないと保育園の砂場など、いつでも内部ひばくするか…と考えると心配で預ける勇気がでない
【30代の回答者】 ・幼稚園が遠い(2件) ・園の行事日程(保育)が就労者向きではない ・親と離れていて心配 ・親の勤務状況により、保育がいきとどかない ・何度も転園等をしてそのたびに環境がかわりなれるまで大変になるのは子供に負担がかかる ・避難時の受け入れ体制→公立は受け入れてくれなかったため、私立に入らざるを得なかった。(現状がつかみきれない)。授業内容の違い、放射線対策、私立により保育料が高いが、避難なのに何の補助もない ・今後何年避難になるかわからない状況で幼稚園等をどこに通わせればよいか悩んでいる
【40代の回答者】 (なし)
【50代の回答者】 ・放射性物質は大丈夫か
【60代の回答者】 (なし)
【70代以上の回答者】 (なし)

【設問】

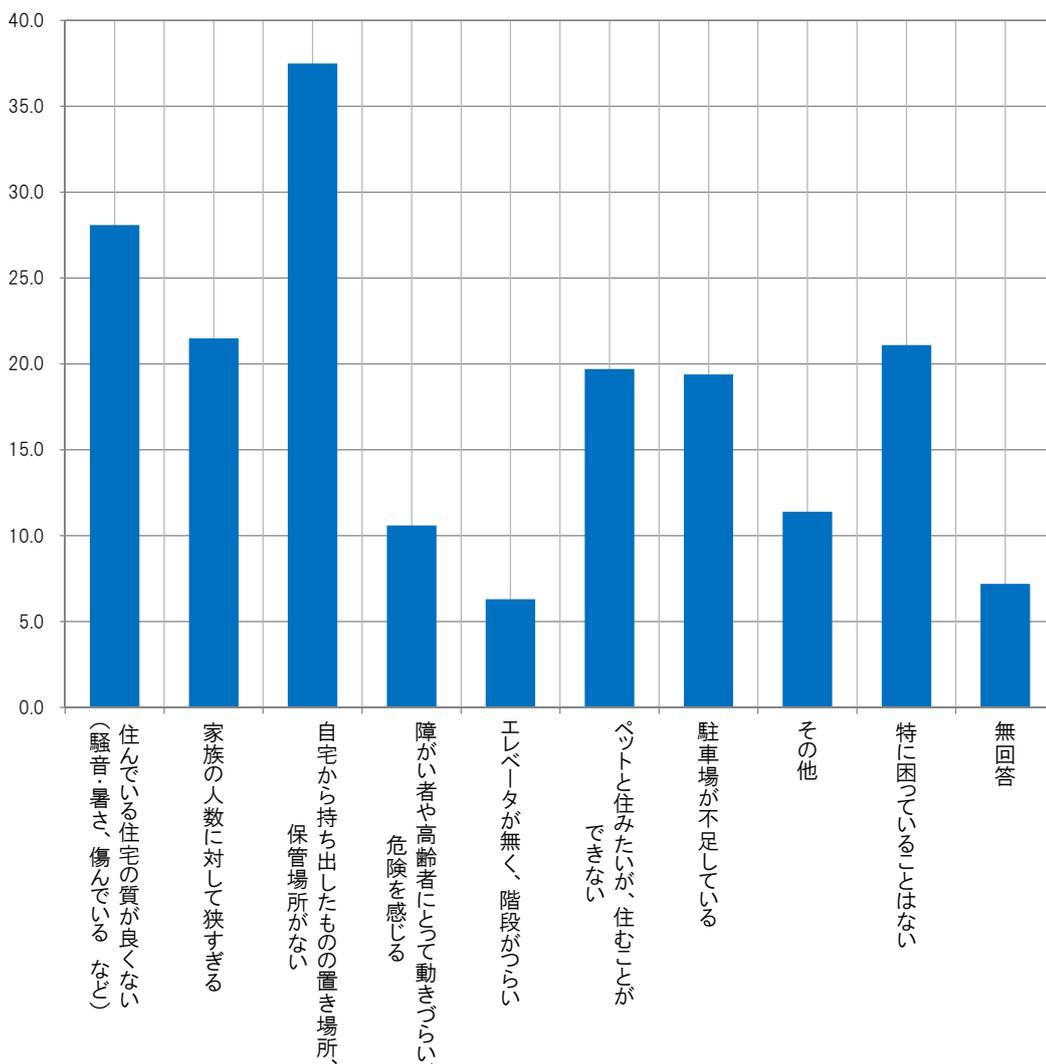
Q25. [すべての方に伺います] 現在の住宅で、お困りのことはありますか。住宅そのものについて、お困りのことをお答えください。(〇はいくつでも)

■ 結果の概要

- ・ 最も多い回答は、「自宅からの持ち出し品置き場がない」(37.5%)であり、次いで「住宅の質」(28.1%)、「狭さ」(21.5%)、「ペットと住めない」(19.7%)、「駐車場不足」(19.4%)となった。
- ・ 現在の住居種別で見ると、「仮設住宅」の居住者において「自宅からの持ち出し品置き場がない」との回答が53.9%と半数を超えていることが目立つ。また、「公営住宅」居住者において、「駐車場不足」との回答が約4割となっている。一方、「仮設住宅」「公営住宅」「県借上住宅」の居住者を比較しても、「住宅の質」と回答する割合には大きな差は見られず、若干ではあるが「県借上住宅」に高い傾向すら見られる。このことから、仮設住宅と公営住宅、借上住宅との間に住宅の質に関する格差は大きくないことが伺える。

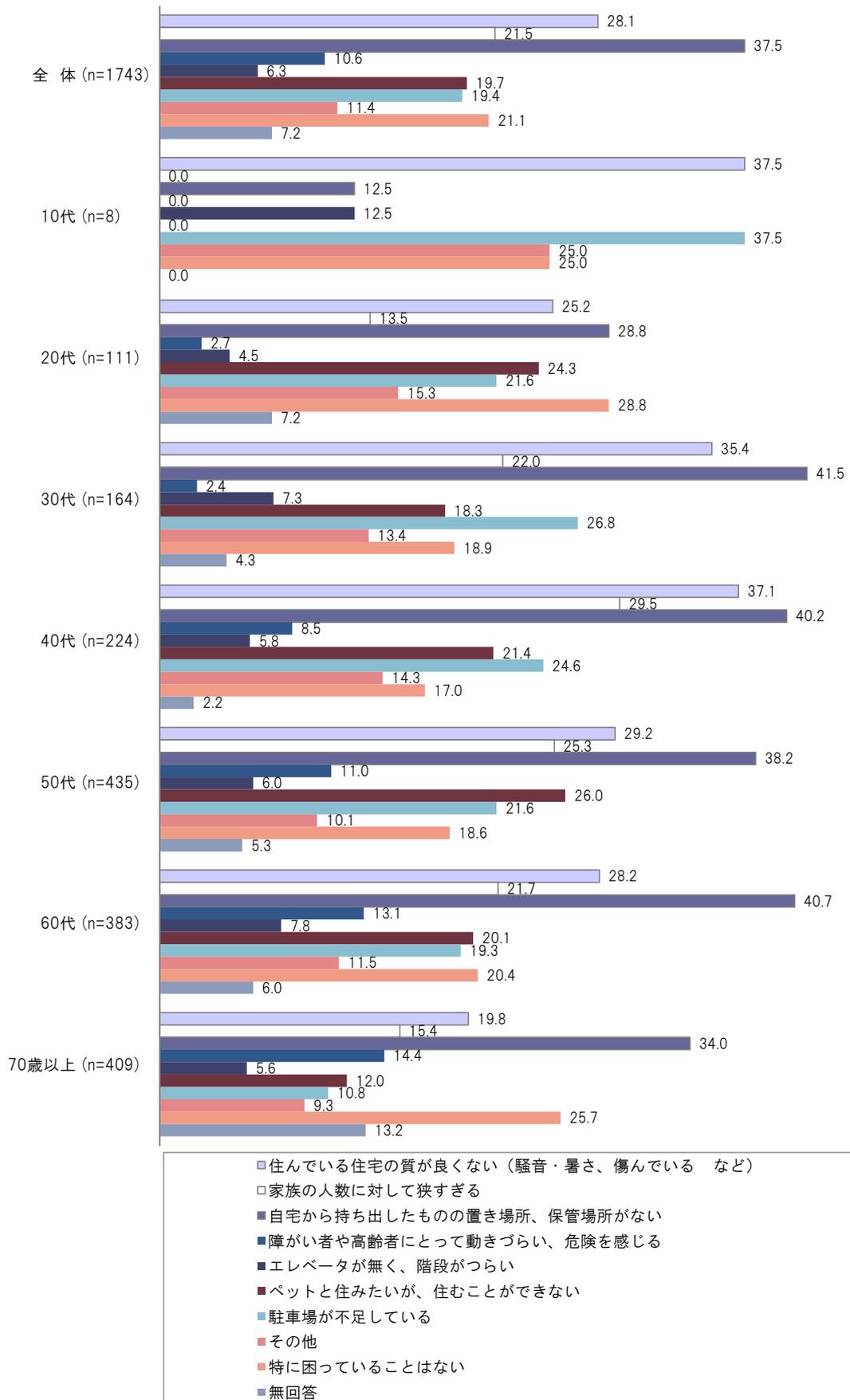
◆ 単純集計結果

(単位:%)



◆ 回答世代別集計結果

(単位:%)



◆ 集計表

	全 体	住んで いる住宅の 質が良く ない(騒音・ 暑さなど)	家族の 人数に 対して 狭すぎる	自宅 から持 ち出し たもの の置き 場所が ない	障がい 者や高 齢者に とって 危険を 感じる	エレベ ーター が無く 、階段 がつか いにくい	ベットの とがで きない 、住む こと が できない	駐車 場が不 足して いる	その他	特に 困って いるこ とはな い	無 回 答
全 体	1743 100.0	489 28.1	374 21.5	654 37.5	184 10.6	110 6.3	344 19.7	338 19.4	199 11.4	367 21.1	126 7.2
10代	8 100.0	3 37.5	-	1 12.5	-	1 12.5	-	3 37.5	2 25.0	2 25.0	-
20代	111 100.0	28 25.2	15 13.5	32 28.8	3 2.7	5 4.5	27 24.3	24 21.6	17 15.3	32 28.8	8 7.2
30代	164 100.0	58 35.4	36 22.0	68 41.5	4 2.4	12 7.3	30 18.3	44 26.8	22 13.4	31 18.9	7 4.3
40代	224 100.0	83 37.1	66 29.5	90 40.2	19 8.5	13 5.8	48 21.4	55 24.6	32 14.3	38 17.0	5 2.2
50代	435 100.0	127 29.2	110 25.3	166 38.2	48 11.0	26 6.0	113 26.0	94 21.6	44 10.1	81 18.6	23 5.3
60代	383 100.0	108 28.2	83 21.7	156 40.7	50 13.1	30 7.8	77 20.1	74 19.3	44 11.5	78 20.4	23 6.0
70歳以上	409 100.0	81 19.8	63 15.4	139 34.0	59 14.4	23 5.6	49 12.0	44 10.8	38 9.3	105 25.7	54 13.2

クロス集計(【保育についてお困りのこと】×【現在の住まい(県内・県外)】)

	全 体	住んで いる住宅の 質が良 くない(騒音・ 暑さなど)	家族の 人数に 対して 狭す ぎる	自宅 から持 ち出し たもの の置き 場所が ない	障がい 者や高 齢者に とって 危険を 感じる	エレベ ーター が無く 、階段 がつか いにくい	ベットの とがで きない 、住む こと が できない	駐車 場が不 足して いる	その他	特に 困って いるこ とはな い	無 回 答
全 体	1743 100.0	489 28.1	374 21.5	654 37.5	184 10.6	110 6.3	344 19.7	338 19.4	199 11.4	367 21.1	126 7.2
福島県内居住者	1576 100.0	448 28.4	348 22.1	623 39.5	173 11.0	99 6.3	326 20.7	319 20.2	175 11.1	316 20.1	110 7.0
福島県外居住者	143 100.0	34 23.8	22 15.4	29 20.3	9 6.3	11 7.7	17 11.9	16 11.2	23 16.1	48 33.6	9 6.3
不明	24 100.0	7 29.2	4 16.7	2 8.3	2 8.3	-	1 4.2	3 12.5	1 4.2	3 12.5	7 29.2

クロス集計(【住宅についてお困りのこと】×【住居種別(避難先)】)

	全 体	住んで いる住宅の 質が良 くない(騒音・ 暑さなど)	家族の 人数に 対して 狭すぎ る	自宅 から持 ち出し たもの の置き 場所が ない	障がい 者や高 齢者に とって 危険を 感じる	エレベ ーター が無く 、階段 がつか いにくい	ベットの とがで きない 、住む こと が できない	駐車 場が不 足して いる	その他	特に 困って いるこ とはな い	無 回 答
全 体	1743 100.0	489 28.1	374 21.5	654 37.5	184 10.6	110 6.3	344 19.7	338 19.4	199 11.4	367 21.1	126 7.2
仮設住宅	401 100.0	110 27.4	118 29.4	216 53.9	78 19.5	1 0.2	86 21.4	21 5.2	49 12.2	44 11.0	41 10.2
公営住宅(村が斡旋したもの)	128 100.0	32 25.0	29 22.7	41 32.0	15 11.7	38 29.7	30 23.4	49 38.3	17 13.3	19 14.8	6 4.7
県借上住宅	928 100.0	293 31.6	188 20.3	339 36.5	80 8.6	59 6.4	196 21.1	236 25.4	101 10.9	192 20.7	48 5.2
子ども・親戚・知人宅	72 100.0	6 8.3	13 18.1	15 20.8	6 8.3	1 1.4	3 4.2	3 4.2	9 12.5	40 55.6	2 2.8
借家(一戸建て・アパート等で家賃を自己負担しているもの)	124 100.0	32 25.8	19 15.3	30 24.2	1 0.8	5 4.0	22 17.7	20 16.1	13 10.5	39 31.5	10 8.1
老人施設・病院	17 100.0	-	-	2 11.8	-	2 11.8	2 11.8	2 11.8	2 11.8	7 41.2	6 35.3
社宅・寮	31 100.0	12 38.7	5 16.1	6 19.4	2 6.5	2 6.5	3 9.7	4 12.9	3 9.7	10 32.3	2 6.5
その他	30 100.0	2 6.7	-	3 10.0	1 3.3	2 6.7	2 6.7	3 10.0	5 16.7	14 46.7	5 16.7

◆ 「その他」における自由記述

<p>【10代の回答者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・借上げ対象にならなく悩んでいる。 ・親戚の家にいるので気を遣う。できれば、別の所へ住みかえたい。
<p>【20代の回答者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引越したのに、引越先も線量が高い。(2件) ・追い焚きができない ・カギが簡易で不安 ・仮設住宅内での村職員との相談会がない ・家族が住んでいる場所から遠い ・借上住宅に村へ帰るまでいれるのか。仮設住宅には入りたくない ・狭い路地(道路)が多く、交通事故の心配がある。 ・通勤など不便 ・土地売りたい、どうせ村にもどれない ・日当たり良くない。下水の臭いがする ・ベビーベッドが置けない ・寮または社宅では借上住宅の様に補償されないので家賃、住居費がかかっている。 ・住民票などをコンビニで発行してほしい。飯館村や飯野はとおい(例 相馬市はコンビニで使えるとか) ・隣辺所の人達がうるさすぎで、子供もうるさい ・間借りをしているのでとても気を遣う ・すべて井戸水なので、水質が心配
<p>【30代の回答者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1Kで2人困っている。(33才の息子と2人) ・今は子供が幼いので良いが、この先部屋が足りない。 ・仮設内にコインランドリー等の施設がほしい ・カビがひどい、大発生 ・借上制度が終了した場合の家賃負担が心配 ・暖房器具が不足(値段が高い) ・駐車場が遠い ・駐車場料金、家賃の一部を負担している ・庭がないので、家にもってしまおう ・バイク等、車のスペースがほしい。 ・一人暮らしのため、満足な整理整頓ができない ・避難したものの線量が高い ・冬の雪道が心配 ・風呂がガスなのでガス代が高い。風呂トイレがせまい ・ベランダがないこと。(ふとんを干したい) ・防寒対策がなく、小さなすきまから風が入ってくる ・周りの放射線量が少し高い ・みんなそろって住むことができない ・下の階が不良のたまり場。帰宅後の子供が心配。深夜2～3時うるさい ・旧松川小の所は、見通しが悪くいつ、事故がおきてもおおかしくない ・隣がうるさく安心して生活が出来ない ・知人がどこにいるかわからない ・古民家でとても寒い
<p>【40代の回答者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お風呂が不便(追い焚きができない・設備が古い・狭い)(4件) ・家族全員で生活したい。(2件) ・駐車場が遠い(2件) ・放射線量が高い(2件) ・田舎暮らしとちがい音に気を使う(2件) ・アパートのすぐとなりにある近所の公園で遊ばせることが不安 ・今の生活人数他なら不便はないが、将来的には手狭になり、老人と同居には不向きになる ・かべに穴をあけれない。棚づくり ・寒さ対策 ・自宅から、持ち出さずそのまま ・浄化槽の臭いがきつい ・せまくて、危険である ・村でのびのび育っていた子供が、大声で遊べない ・騒音は、仕方ないと諦めている ・隣近所が周囲が騒がしい ・高地のため雪道が心配である ・日当たりが悪い ・別に避難している家族との距離が遠いため、月に一、二回しかあえない ・別の場所に移りたいが見つからない ・店が近くにない ・簡易水道がないため水が足りない ・自転車置場がない

・隣人からの嫌がらせ。壁をけられる

【50代の回答者】

- ・家の下に水がたまり、湿気が多すぎる、カビがはえる(5件)
- ・お風呂が不便(追い焚きができない・設備が古い・狭い)(4件)
- ・陽がさしこまない。(3件)
- ・6階なので地震の際怖い
- ・管理人がいなく粗大ゴミが沢山放置されている。下水が臭う。上記は不動産に何回も言っているが、行動なし。
- ・街路灯がなくさみしい
- ・我慢するしかない
- ・車を持ってきていないので移動が不自由
- ・コミュニティーバランスが悪い
- ・アミ戸が無い、汚なくて気持ち悪い
- ・すきまから風が入りこむ
- ・少なくともいいので農地とか土地がほしい
- ・精神的苦痛で自殺したくなる時がある。
- ・相馬市の方はペットを飼う事ができて飯館村の村民はできないのはなぜか知らせてほしい
- ・駐車場がせまく、止めづらい
- ・次の住宅の確保
- ・都会に別生活している子供達が帰って来ても泊まる所がなく、高い料金を払って温泉とかに泊まっている。本当に悲しいです。
- ・二階なので、医者にいけない障害者なので
- ・母(95才)を相馬仮設住宅に1人で置くため心配で私も仮設住宅を申し込んでいるが無いと言われた。これから寒さが強くなるので心配している。
- ・部屋が狭すぎて精神的に毎日イライラする
- ・娘が出産にあたり部屋がせまく、見てあげられない
- ・村自治会以前の自治会とトラブル発生
- ・家賃2万円手出ししてる
- ・友人や親類を呼べるスペースがない
- ・浴室が一旦外に出ないと入れないので冬場が大変
- ・井戸水使用なので心配
- ・近所に変人が住んでいる
- ・通勤に1時間40分かかる
- ・駐車場が遠くて不便
- ・バリアフリーでない、トイレがセマイ

【60代の回答者】

- ・高齢者がいるため、住宅の広さや出入りに不自由(6件)
- ・お風呂が不便(追い焚きができない・設備が古い・狭い)(4件)
- ・駐車場などの費用がかかりすぎる(3件)
- ・家の下に水がたまり、湿気が多すぎる、カビがはえる(3件)
- ・水の出が悪い(3件)
- ・困っている事ばかり(3件)
- ・陽がさしこまない。(2件)
- ・不便はあるががまん出来る(2件)
- ・特に話し声、小さい子供の走り回る足音がひびく(2件)
- ・アコーデオンカーテンでなくドアであれほしい
- ・アパートは狭くてストレスがかなりたまっている
- ・犬を放し飼いでいる。
- ・家族とはなれて、日常生活が不便
- ・草の中に駐車している
- ・玄関の雨もり
- ・孤立していてコミュニケーションがなくなってしまったのが心配(家を借りる時は、そこまで考えていなかった)
- ・知らない場所へ移り混雑している(場所的な面)
- ・狭く、家具を持ってこれない
- ・タヌキが出る
- ・駐車場がせまくすぎる
- ・トイレが水洗じゃない
- ・東電損害賠償で身内宅への避難が認められず、借上げにやむなく転居予定
- ・動物取扱業で飼育している犬と住めない
- ・二階の床音近所の仕事でたたく音
- ・早く自宅に帰りたい
- ・放射線量が高い
- ・前は事務所だった所を住宅にしている
- ・持ち出しにもおく場所がない。そのつどもっていったり、持って来たりで大変です。
- ・もどれないのだから長くめんどろ見してほしい。
- ・仮設の近距離にペット置場確保してもらいたい
- ・自分のいる所がどの位の放射線量なのか知りたい。
- ・来客を泊めることが出来ない。狭いため機織、染色が出来ない。
- ・困って身心とも疲れて何も言う事が無い
- ・まだ一次避難状態。早く最終避難したい

【70代以上の回答者】

- ・高齢者がいるため、住宅の広さや出入りに不自由(6件)
- ・駐車場が遠い(4件)
- ・お風呂が不便(追い焚きができない・設備が古い・狭い)(4件)
- ・部屋が狭い(3件)
- ・家の下に水がたまり、湿気が多すぎる、カビがはえる(3件)
- ・家賃などの費用がかかりすぎる(3件)
- ・入院中(2件)
- ・アパートなのでとなりにきづかう物音をたてられない
- ・井戸水がのめない
- ・仮設の近距離にペット置場確保してもらいたい
- ・買い物場所が遠い
- ・簡易住宅を避難宅に増設したい
- ・子供や知人が来た時に困る
- ・自由に買物や行動ができない
- ・単独では自由に歩けない。知り合いも少ないので話しができない
- ・ひ孫があそびにくるととなりの人に足音、声、テレビうるさいといわれた
- ・部屋中ひび割れ多い、水もれ多い、さび多い
- ・水たまりがあり、管理上、敷地内の除染の意味でも直してもらいたい
- ・高い持家のため、修理費がかさんだ。高齢のため先行き不安である
- ・隣家が非常に汚なく、不衛生な感じがする
- ・体が痛い所ばかりで何時死んでもいいように思う。家にいた時はベツだった。今は畳むのさえ、また動かすのさえやっ

【設問】

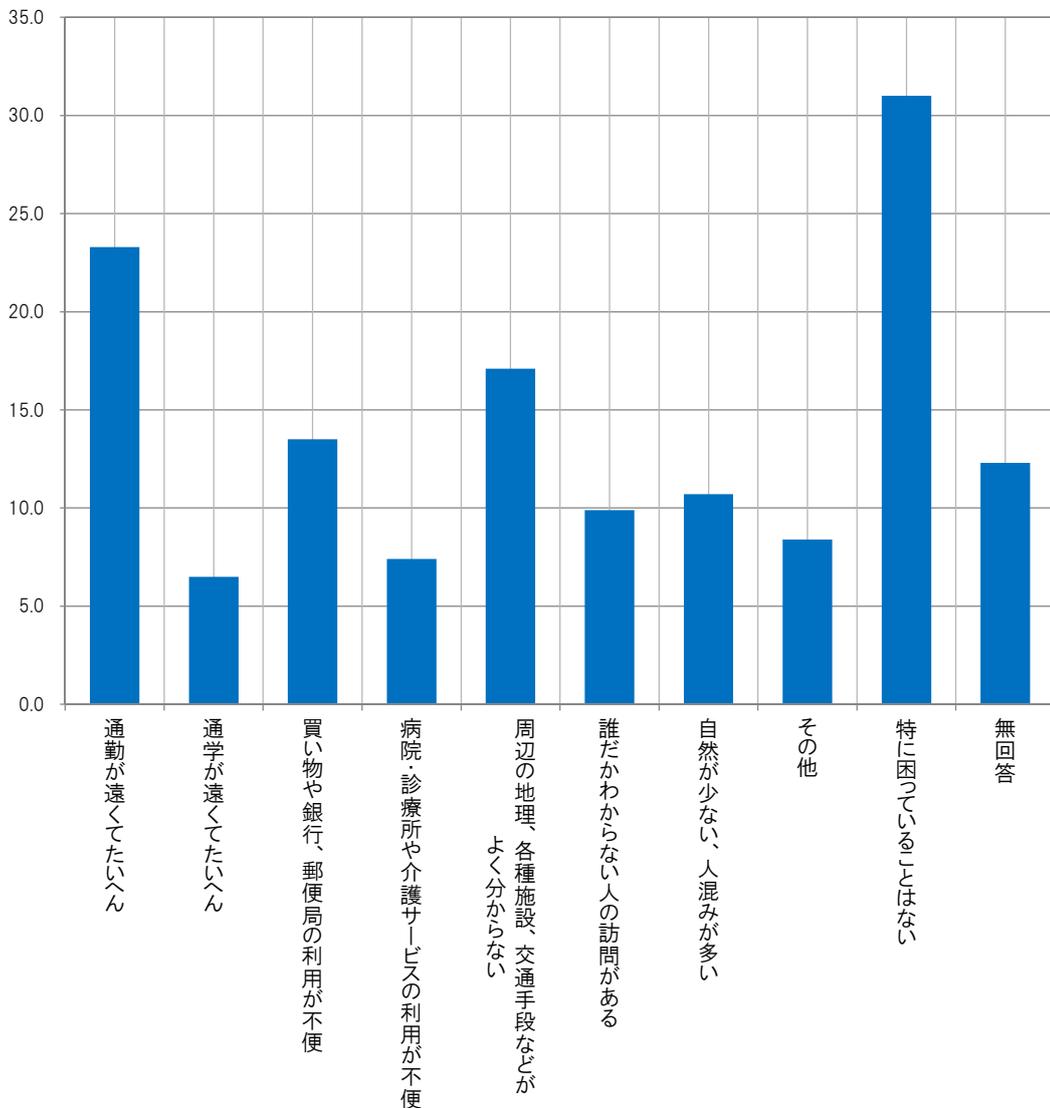
Q26.現在お住まいの場所・周辺環境で、お困りのことはありますか。(〇はい/×でも)

■ 結果の概要

- ・「通勤が遠い」との回答が23.3%と最も多く、次いで「周辺地理等がわからない」(17.1%)、「買い物等が不便」(13.5%)という回答が多い。
- ・年齢別に見ると、「通勤が遠い」という回答は30～50代に比較的多く、それぞれ3割を超えている。一方、「周辺地理等がわからない」という回答者は60代、70歳以上でやや多い傾向にある。
- ・現在の住居別に見ると、「仮設住宅」居住者において、「買い物等が不便」とする回答(25.2%)が他と比べてかなり高いことが目立つほか、「知らない人の訪問」(23.9%)があるという回答も目立つ。
- ・「その他」における自由記述を見ると、「うるさい」、「臭いがひどい」という住宅環境に関する意見が各世代で見られる。

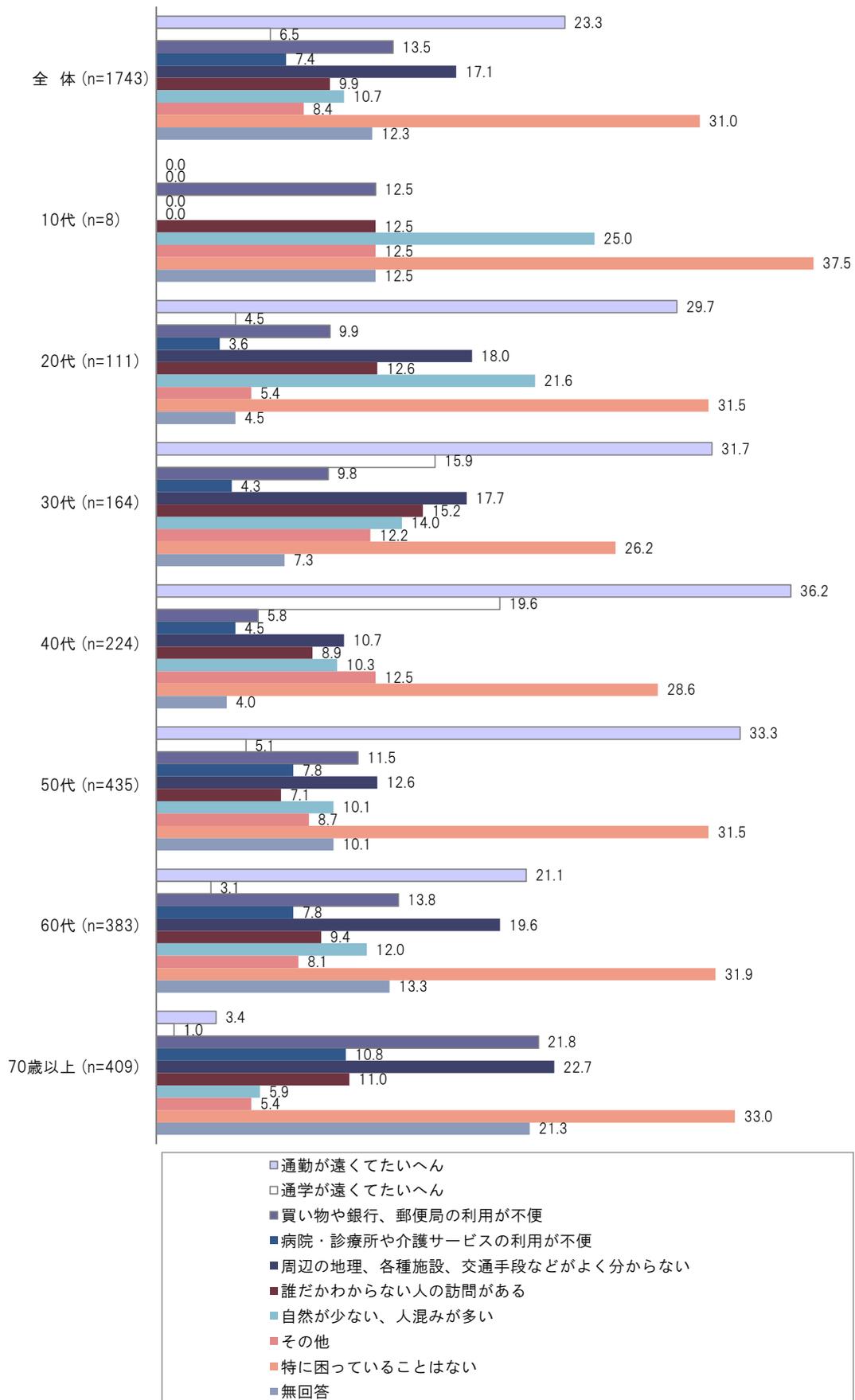
◆ 単純集計結果

(単位:%)



◆ 回答世代別集計結果

(単位:%)



◆ 集計表

	全 体	通 勤 が 遠 く て た い へ ん	通 学 が 遠 く て た い へ ん	買 い 物 や 銀 行 、 郵 便 局 の 利 用 が 不 便	病 院 ・ 診 療 所 や 介 護 サ ー ビ ス の 利 用 が 不 便	周 辺 の 地 理 、 各 種 施 設 、 交 通 手 段 な ど が よ く 分 か ら な い	誰 だ か わ か ら な い 人 の 訪 問 が あ る	自 然 が 少 な い 、 人 混 み が 多 い	そ の 他	特 に 困 っ て い る こ と は な い	無 回 答
全 体	1743 100.0	406 23.3	113 6.5	235 13.5	129 7.4	298 17.1	172 9.9	187 10.7	146 8.4	540 31.0	214 12.3
10代	8 100.0	-	-	1 12.5	-	-	1 12.5	2 25.0	1 12.5	3 37.5	1 12.5
20代	111 100.0	33 29.7	5 4.5	11 9.9	4 3.6	20 18.0	14 12.6	24 21.6	6 5.4	35 31.5	5 4.5
30代	164 100.0	52 31.7	26 15.9	16 9.8	7 4.3	29 17.7	25 15.2	23 14.0	20 12.2	43 26.2	12 7.3
40代	224 100.0	81 36.2	44 19.6	13 5.8	10 4.5	24 10.7	20 8.9	23 10.3	28 12.5	64 28.6	9 4.0
50代	435 100.0	145 33.3	22 5.1	50 11.5	34 7.8	55 12.6	31 7.1	44 10.1	38 8.7	137 31.5	44 10.1
60代	383 100.0	81 21.1	12 3.1	53 13.8	30 7.8	75 19.6	36 9.4	46 12.0	31 8.1	122 31.9	51 13.3
70歳以上	409 100.0	14 3.4	4 1.0	89 21.8	44 10.8	93 22.7	45 11.0	24 5.9	22 5.4	135 33.0	87 21.3

クロス集計(【現在お住まいの場所・周辺環境でお困りのこと】×【現在の住まい(県内・県外)】)

	全 体	通 勤 が 遠 く て た い へ ん	通 学 が 遠 く て た い へ ん	買 い 物 や 銀 行 、 郵 便 局 の 利 用 が 不 便	病 院 ・ 診 療 所 や 介 護 サ ー ビ ス の 利 用 が 不 便	周 辺 の 地 理 、 各 種 施 設 、 交 通 手 段 な ど が よ く 分 か ら な い	誰 だ か わ か ら な い 人 の 訪 問 が あ る	自 然 が 少 な い 、 人 混 み が 多 い	そ の 他	特 に 困 っ て い る こ と は な い	無 回 答
全 体	1743 100.0	406 23.3	113 6.5	235 13.5	129 7.4	298 17.1	172 9.9	187 10.7	146 8.4	540 31.0	214 12.3
福島県内居住者	1576 100.0	394 25.0	109 6.9	219 13.9	118 7.5	265 16.8	162 10.3	168 10.7	128 8.1	476 30.2	190 12.1
福島県外居住者	143 100.0	10 7.0	3 2.1	13 9.1	10 7.0	32 22.4	6 4.2	18 12.6	17 11.9	58 40.6	17 11.9
不明	24 100.0	2 8.3	1 4.2	3 12.5	1 4.2	1 4.2	4 16.7	1 4.2	1 4.2	6 25.0	7 29.2

クロス集計(【現在お住まいの場所・周辺環境でお困りのこと】×【住居種別(避難先)】)

	全 体	通 勤 が 遠 く て た い へ ん	通 学 が 遠 く て た い へ ん	買 い 物 や 銀 行 、 郵 便 局 の 利 用 が 不 便	病 院 ・ 診 療 所 や 介 護 サ ー ビ ス の 利 用 が 不 便	周 辺 の 地 理 、 各 種 施 設 、 交 通 手 段 な ど が よ く 分 か ら な い	誰 だ か わ か ら な い 人 の 訪 問 が あ る	自 然 が 少 な い 、 人 混 み が 多 い	そ の 他	特 に 困 っ て い る こ と は な い	無 回 答
全 体	1743 100.0	406 23.3	113 6.5	235 13.5	129 7.4	298 17.1	172 9.9	187 10.7	146 8.4	540 31.0	214 12.3
仮設住宅	401 100.0	73 18.2	6 1.5	101 25.2	55 13.7	79 19.7	96 23.9	16 4.0	28 7.0	86 21.4	67 16.7
公営住宅(村が斡旋したもの)	128 100.0	39 30.5	24 18.8	13 10.2	10 7.8	24 18.8	17 13.3	7 5.5	9 7.0	39 30.5	10 7.8
県借上住宅	928 100.0	260 28.0	75 8.1	91 9.8	48 5.2	150 16.2	48 5.2	134 14.4	87 9.4	290 31.3	98 10.6
子ども・親戚・知人宅	72 100.0	3 4.2	-	9 12.5	5 6.9	13 18.1	-	3 4.2	5 6.9	44 61.1	4 5.6
借家(一戸建て・アパート等で家賃を自己負担しているもの)	124 100.0	25 20.2	7 5.6	13 10.5	6 4.8	18 14.5	8 6.5	19 15.3	10 8.1	46 37.1	13 10.5
老人施設・病院	17 100.0	-	-	-	-	2 11.8	-	-	2 11.8	7 41.2	6 35.3
社宅・寮	31 100.0	1 3.2	-	4 12.9	2 6.5	9 29.0	2 6.5	8 25.8	3 9.7	10 32.3	4 12.9
その他	30 100.0	4 13.3	1 3.3	3 10.0	2 6.7	3 10.0	1 3.3	-	2 6.7	16 53.3	5 16.7

◆ 「その他」における自由記述

<p>【10代の回答者】 (なし)</p>
<p>【20代の回答者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落ち着かない。車通りが多い ・子供を遊ばせる所がない ・線量が高い ・通帳の記帳ができない ・早くはつきりして、移住するから ・大倉線の通行止の情報がほしい
<p>【30代の回答者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うるさい(3件) ・屋外での活動ができない(2件) ・道路が狭い(2件) ・臭いがひどい(2件) ・放射線量がどのくらいなのか心配(2件) ・ゴミゴミしていて生活しにくい ・通園が少し遠い。 ・通勤が遠いので雪道での事故が心配 ・避難先が遠い為、親との交流が少なくなった。 ・避難先の市町村で受けられる行政サービスの情報が少ない ・家賃が高い ・何を言っても、(飯館)我家が1番!! ・息子がハヤシ製作所に通っている ・病院はあるが、どこへ行っても良いか分からない(評判など知らない)
<p>【40代の回答者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臭いがひどい(4件) ・うるさい(3件) ・交通量が多く排気ガスで体調が悪くなっている(2件) ・畑がほしい(2件) ・役場が遠い(2件) ・雪が降ったら通勤が大変(2件) ・学校の場所が悪い ・交通渋滞が多い事 ・子供をおもいっさあそびせる場所がほしい ・台風などで裏山がくずれないか心配 ・駐車場が少し離れている ・駐車スペースがないので、知人が訪ねてくる事もなかなか出来ない ・使える暖房器具が高額で買えない。 ・日当たりが悪い ・福島のホテルスポットを詳しく知りたい ・雪が多い、夏は暑い ・老人が日中すごせる環境がほしい。外でのランドゴルフ場やゲームの場など ・放射線量が高い ・近所つき合いが大変 ・裏山の木が住宅に覆いかぶってる ・目の前が交通量の多い道路で危険(心配) ・バス酔いをするので、やむを得ず送迎している
<p>【50代の回答者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うるさい(4件) ・臭いがひどい(2件) ・車が無い人は不便(2件) ・道路が狭い(2件) ・家の下に水がたまり、湿気が多すぎる、カビがはえる(2件) ・家に猫を残している、通ってエサをやっている。遠いし、冬行けるかどうか心配。 ・街路灯がなくさみしい ・環境になれず、体がしんどい ・銀行が地元に戻って手続きしなくてはならないので不便 ・空気、水がまずい。作物がつかれない。 ・草など刈らない為歩道が歩きにくい ・現在の避難先の東京都は対応が比べものにならないほど早い ・住民票などの書類を取るのが遠くて大変 ・すぐそばに産廃の仮置き場がある ・生活費が飯館村よりはかかる ・洗濯物を干すスペースがない ・駐車場が少し離れている ・町内会費

- ・となり町まで行かないと鮮度の良いスーパーがない
- ・冬に備えての道路状況がわからない
- ・放射線量がどのくらいなのか心配
- ・近所のネコの糞尿
- ・妻の仕事場まで
- ・孫を遊ばせる所がない。場所が分からない
- ・都会みたいで大変よい
- ・収入がなく車を買えない。飯館村の集り事に出かけるのが大変
- ・近所の人とコミュニティーがない。寂しい

【60代の回答者】

- ・うるさい(3件)
- ・知人・友人が遠い(3件)
- ・家の下に水がたまり、湿気が多すぎる、カビがはえる(2件)
- ・畑がほしい(2件)
- ・放射線量が高い(2件)
- ・雪が多い地方なので心配(2件)
- ・10月からの生活でもう少し住んでいると塵もわかるでしょう
- ・JAが遠隔地にあるため不便
- ・家内の通勤が遠い。生活パターンの乱れ
- ・公道が狭く、交通量が多い為、交通事故等が心配
- ・砂利で年おいた父、母が歩きづらい
- ・水道料などがバカにならない。飯館村の生活では裏山の中服に井戸を掘り(パイプで引水)水道料金はかからなかったが80万円位出費した自家水道設備が無駄になった。
- ・臭いがひどい
- ・他の地に飯館村を作って欲しい。
- ・ネコが多く生の魚のエサ他が家の回りにちらばっている。
- ・人との交流が少ない。
- ・役場が遠い
- ・休みに出かけるにも行く所がわからない(お金のかからない近く)
- ・日々の生活に希望がなく、唯々つまらない生活
- ・物資、精神全く支援がない
- ・居場所がない
- ・公園、運動場が無いので子供達が自由に遊べない
- ・生れて60余年、村で生きて来て今の所に半年ぐらいで馴染む訳が無い

【70代以上の回答者】

- ・うるさい(4件)
- ・運動する場所がない(2件)
- ・役場や行政区長からはなんの連絡もない(2件)
- ・介護サービスを受けたくなった時に住所変更の手続きをしないと受けることができないので、特例措置を設けることはできないか
- ・買い物不便
- ・かかりつけの病院が遠い
- ・外にでると、自転車が多くて、歩くときは気をつけなくてはならない
- ・放射線量が高い
- ・入院中
- ・バスの利用ができない
- ・近く畑あれば仮設の人達できる野菜作りすれば皆々もある面で村に戻った気持ちになるのではないかと思う
- ・家の下に水がたまり、湿気が多すぎる、カビがはえる
- ・臭いがひどい
- ・足、ヒザが悪く外出は出来ない。
- ・特に排水路が周囲にめぐらしているのが害虫が多い。
- ・86才ともなれば困る事ばかり

【設問】

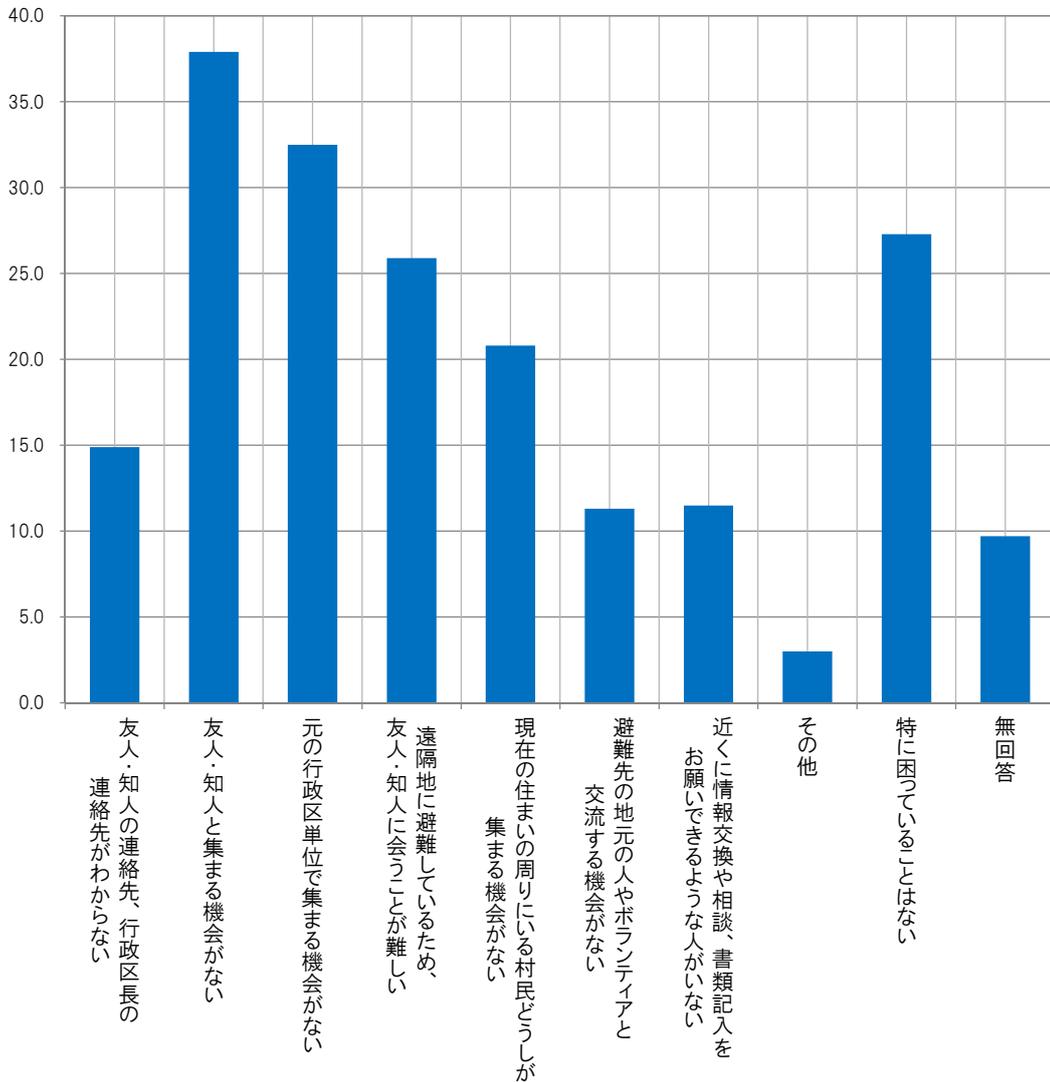
Q27.これまでのご近所づきあいなど、友人・知人とお付き合いや地域コミュニティの面で、お困りのことはありますか。(〇はいくつでも)

■ 結果の概要

- ・「友人・知人と集まる機会がない」(37.9%)という回答が最も多く、次いで「元の行政区で集まる機会がない」(32.5%)、「遠隔地避難のため友人・知人に会えない」(25.9%)という順になっている。
- ・年齢別に見ると、特に「元の行政区で集まる機会がない」という回答が、年齢が高くなるにつれて多くなる傾向にあり、60代では45.7%に上っている。
- ・現在の住居種別を見ると、「子ども・親戚・知人宅」に避難している回答者において、「友人等の連絡先がわからない」(27.8%)、「遠隔地避難のため友人・知人に会えない」(47.2%)と回答する割合が高い。遠隔地の「子ども・親戚・知人宅」にそれぞれ避難していることが、このような状態を生み出しているものと考えられる。

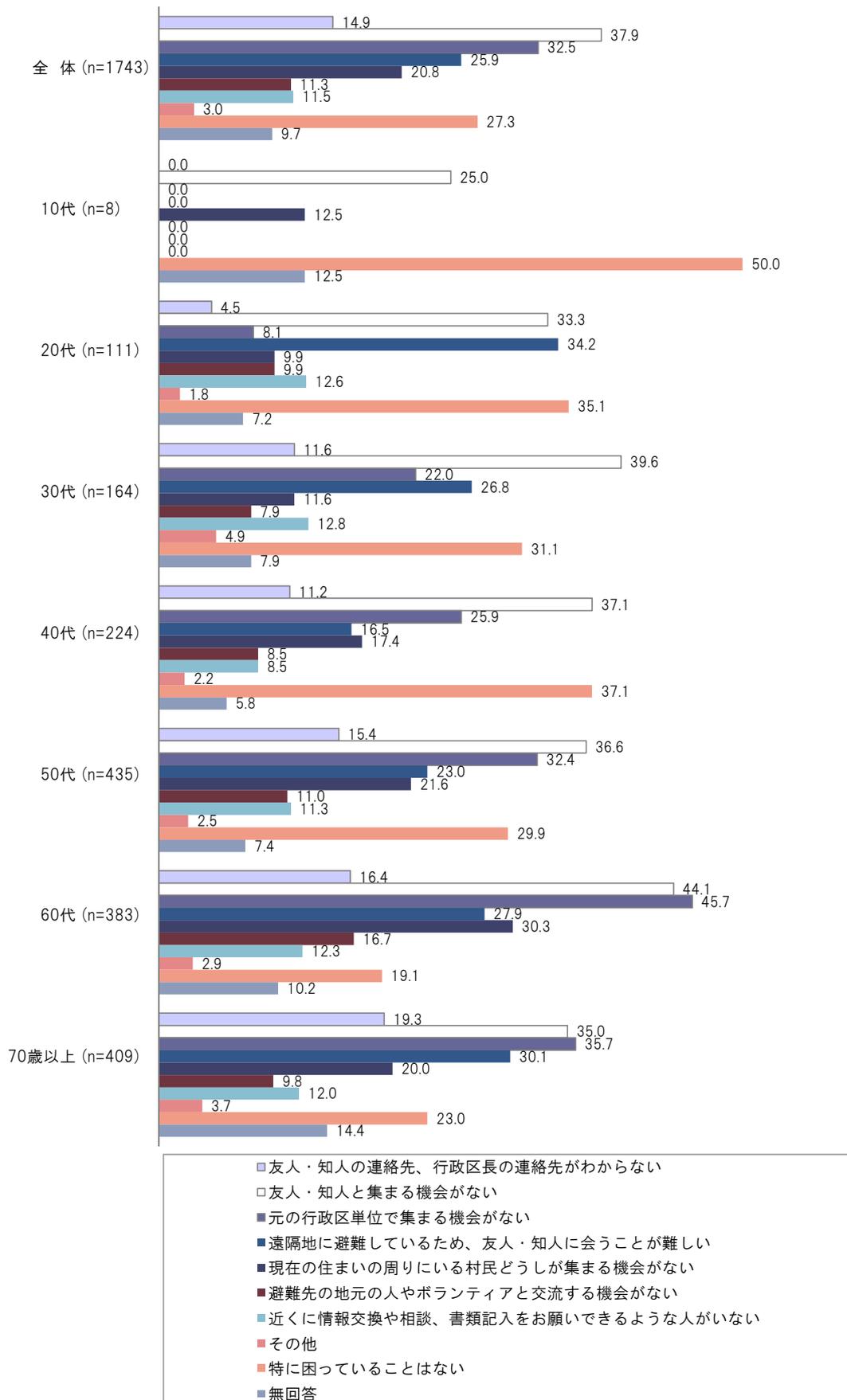
◆ 単純集計結果

(単位:%)



◆ 回答世代別集計結果

(単位:%)



◆ 集計表

	全 体	長 友 人 の 連 絡 先 が わ か ら な い	友 人 ・ 知 人 と 集 ま る 機 会 が な い	元 の 行 政 区 単 位 で 集 ま る 機 会 が な い	遠 隔 地 に 避 難 し て い る た め 、 友 人 ・ 知 人 に 会 う こ と が 難 し い	現 在 の 住 ま い の 周 り に い る 村 民 ど う し が 集 ま る 機 会 が な い	避 難 先 の 地 元 の 人 や ボ ラ ン テ ィ と 交 流 す る 機 会 が な い	近 く に 情 報 交 換 や 相 談 、 書 人 類 が い な い	そ の 他	特 に 困 っ て い る こ と は な い	無 回 答
全 体	1743 100.0	260 14.9	660 37.9	567 32.5	451 25.9	363 20.8	197 11.3	200 11.5	52 3.0	475 27.3	169 9.7
10代	8 100.0	-	2 25.0	-	-	1 12.5	-	-	-	4 50.0	1 12.5
20代	111 100.0	5 4.5	37 33.3	9 8.1	38 34.2	11 9.9	11 9.9	14 12.6	2 1.8	39 35.1	8 7.2
30代	164 100.0	19 11.6	65 39.6	36 22.0	44 26.8	19 11.6	13 7.9	21 12.8	8 4.9	51 31.1	13 7.9
40代	224 100.0	25 11.2	83 37.1	58 25.9	37 16.5	39 17.4	19 8.5	19 8.5	5 2.2	83 37.1	13 5.8
50代	435 100.0	67 15.4	159 36.6	141 32.4	100 23.0	94 21.6	48 11.0	49 11.3	11 2.5	130 29.9	32 7.4
60代	383 100.0	63 16.4	169 44.1	175 45.7	107 27.9	116 30.3	64 16.7	47 12.3	11 2.9	73 19.1	39 10.2
70歳以上	409 100.0	79 19.3	143 35.0	146 35.7	123 30.1	82 20.0	40 9.8	49 12.0	15 3.7	94 23.0	59 14.4

クロス集計(【現在お住まいの場所・周辺環境でお困りのこと】×【現在の住まい(県内・県外)】)

	全 体	長 友 人 の 連 絡 先 が わ か ら な い	友 人 ・ 知 人 と 集 ま る 機 会 が な い	元 の 行 政 区 単 位 で 集 ま る 機 会 が な い	遠 隔 地 に 避 難 し て い る た め 、 友 人 ・ 知 人 に 会 う こ と が 難 し い	現 在 の 住 ま い の 周 り に い る 村 民 ど う し が 集 ま る 機 会 が な い	避 難 先 の 地 元 の 人 や ボ ラ ン テ ィ と 交 流 す る 機 会 が な い	近 く に 情 報 交 換 や 相 談 、 書 人 類 が い な い	そ の 他	特 に 困 っ て い る こ と は な い	無 回 答
全 体	1743 100.0	260 14.9	660 37.9	567 32.5	451 25.9	363 20.8	197 11.3	200 11.5	52 3.0	475 27.3	169 9.7
福島県内居住者	1576 100.0	239 15.2	613 38.9	547 34.7	358 22.7	345 21.9	180 11.4	177 11.2	42 2.7	437 27.7	151 9.6
福島県外居住者	143 100.0	18 12.6	43 30.1	14 9.8	92 64.3	13 9.1	13 9.1	19 13.3	10 7.0	30 21.0	9 6.3
不明	24 100.0	3 12.5	4 16.7	6 25.0	1 4.2	5 20.8	4 16.7	4 16.7	-	8 33.3	9 37.5

クロス集計(【現在お住まいの場所・周辺環境でお困りのこと】×【住居種別(避難先)】)

	全 体	長 友 人 の 連 絡 先 が わ か ら な い	友 人 ・ 知 人 と 集 ま る 機 会 が な い	元 の 行 政 区 単 位 で 集 ま る 機 会 が な い	遠 隔 地 に 避 難 し て い る た め 、 友 人 ・ 知 人 に 会 う こ と が 難 し い	現 在 の 住 ま い の 周 り に い る 村 民 ど う し が 集 ま る 機 会 が な い	避 難 先 の 地 元 の 人 や ボ ラ ン テ ィ と 交 流 す る 機 会 が な い	近 く に 情 報 交 換 や 相 談 、 書 人 類 が い な い	そ の 他	特 に 困 っ て い る こ と は な い	無 回 答
全 体	1743 100.0	260 14.9	660 37.9	567 32.5	451 25.9	363 20.8	197 11.3	200 11.5	52 3.0	475 27.3	169 9.7
仮設住宅	401 100.0	84 20.9	132 32.9	146 36.4	91 22.7	46 11.5	28 7.0	39 9.7	12 3.0	93 23.2	64 16.0
公営住宅(村が斡旋したもの)	128 100.0	18 14.1	48 37.5	47 36.7	40 31.3	22 17.2	11 8.6	18 14.1	4 3.1	36 28.1	9 7.0
県借上住宅	928 100.0	118 12.7	394 42.5	320 34.5	218 23.5	253 27.3	135 14.5	112 12.1	21 2.3	254 27.4	68 7.3
子ども・親戚・知人宅	72 100.0	20 27.8	25 34.7	16 22.2	34 47.2	13 18.1	7 9.7	6 8.3	3 4.2	24 33.3	2 2.8
借家(一戸建て・アパート等で家賃を自己負担しているもの)	124 100.0	16 12.9	38 30.6	26 21.0	37 29.8	19 15.3	8 6.5	17 13.7	6 4.8	38 30.6	11 8.9
老人施設・病院	17 100.0	-	-	-	2 11.8	-	-	-	3 17.6	6 35.3	6 35.3
社宅・寮	31 100.0	3 9.7	13 41.9	8 25.8	18 58.1	8 25.8	5 16.1	4 12.9	2 6.5	7 22.6	1 3.2
その他	30 100.0	1 3.3	9 30.0	3 10.0	8 26.7	-	1 3.3	2 6.7	1 3.3	14 46.7	4 13.3

◆ 「その他」における自由記述

<p>【10代の回答者】 (なし)</p>
<p>【20代の回答者】 <ul style="list-style-type: none"> ・県外に避難したた非難され、友人との仲が悪くなってしまった ・前倒しの調査を。除染できない。 </p>
<p>【30代の回答者】 <ul style="list-style-type: none"> ・後ろの住人が、使用していない駐車所に車を止めただけで騒いでいる。近所のトラブルが多いので自治会をなくした方が良い ・帰宅時間が遅く近所付き合いができない ・県の借り上げだと、何の支援もないのか ・宿舍内に自治会を作っても何の連絡もなく集会や講演会をしているので、何のための自治会なの分からない ・皆バラバラになっているので、このような質問は無意味 ・わからない ・体調悪くて歩けない(母) </p>
<p>【40代の回答者】 <ul style="list-style-type: none"> ・足の悪い人、車のない人が多いから、仮設内に美容院や茶店のような老人のための店があればよい ・現在の仕事が忙しくて集会に参加できない ・避難先の自治会と村の自治会の二重の付き合いは何かと大変。仮設住宅は仕方ないが、他の集合住宅の自治会は必要ない ・役場が遠すぎる ・村の情報が少なすぎる ・今の住んでいる村の方々に厳しいことを言われた。精神的に落ち込んでいるため、あと夫が忙しくしているため、子どもが小さいため、村の行事や集りに参加できず、文句をいわれ、とても悲しくて涙がとまらない。これからは少々大変でも今の村の方と交わるよう努力する必要があると思う。こんなことがあると、本当に今までの飯館村に帰りたいと思ひ悲しくなる。 </p>
<p>【50代の回答者】 <ul style="list-style-type: none"> ・下野市の役所にはとてもお世話になっており、嬉しく思っている ・情報が無い。広報いいたでも遅れて来ると日付が無い。もう村人では無いような気がして来た ・村民と行政の話し合う場所がほしい。村民の意思とかけ離れた行政が行なわれている ・誰も話をする時がない。ここはただ寝ているだけの場所 ・定期的にやっていたスポーツができない ・友人、親類に作物を届けられない ・友人、知人と集まる機会が少なくなった ・青少年会館で定期的に村行政等、除染状況などの報告会や情報伝達を行ってほしい </p>
<p>【60代の回答者】 <ul style="list-style-type: none"> ・住まいの周りに村長がいるかどうかわからない ・誰に相談して良いか分からず不安 ・村民がどこに避難しているかを知りたい ・友人、知人、兄弟と遠くなり会うのも電話してもお金がかかり大変 ・老人クラブ員の連絡先がわからない ・若い人との仮設住民とはコミュニティがうまくいかない。若い人は借上げに住んだ方がよい。仮設には十分考えて入居を決めて欲しい(支援チームに要望) ・仮設住宅の情報が欲しい ・東京の人とは話したくない ・各人ばらばらに避難しているため行政区の活動、各種団体の活動への連絡経費が多額になっている ・付き合いたくない </p>
<p>【70代以上の回答者】 <ul style="list-style-type: none"> ・村民がどこに避難しているかを知りたい(2件) ・2人で住んでいるため、ひ孫が遊びに来る機会が増え、テレビ、足音、声がうるさいと言われ、遊びにもこれない。泊まりにも来れない言われ具合が悪くなり、飯野の仮設には胃が痛くなりとてもじゃないが居れない ・義援物資が仮設住宅のように届かない ・行政区の連絡などやりにくい ・障害者の施設なのであまり自由はきかない。 ・隣近所が集まってお茶のみしている ・入院中 ・ひどいアパートで物資もなし、勉強になるものは役場からのちらし情報のみ、寂しい。 ・もともとほとんどつきあいがなかった ・役場からや、ボランティアは一度も来たことがない ・自分で切り開くこと。 ・今住んでいる部落の集会は沢山あるでしょうが、よそからきた私はどこへも出かけられないし、出る気にもならない </p>

【設問】

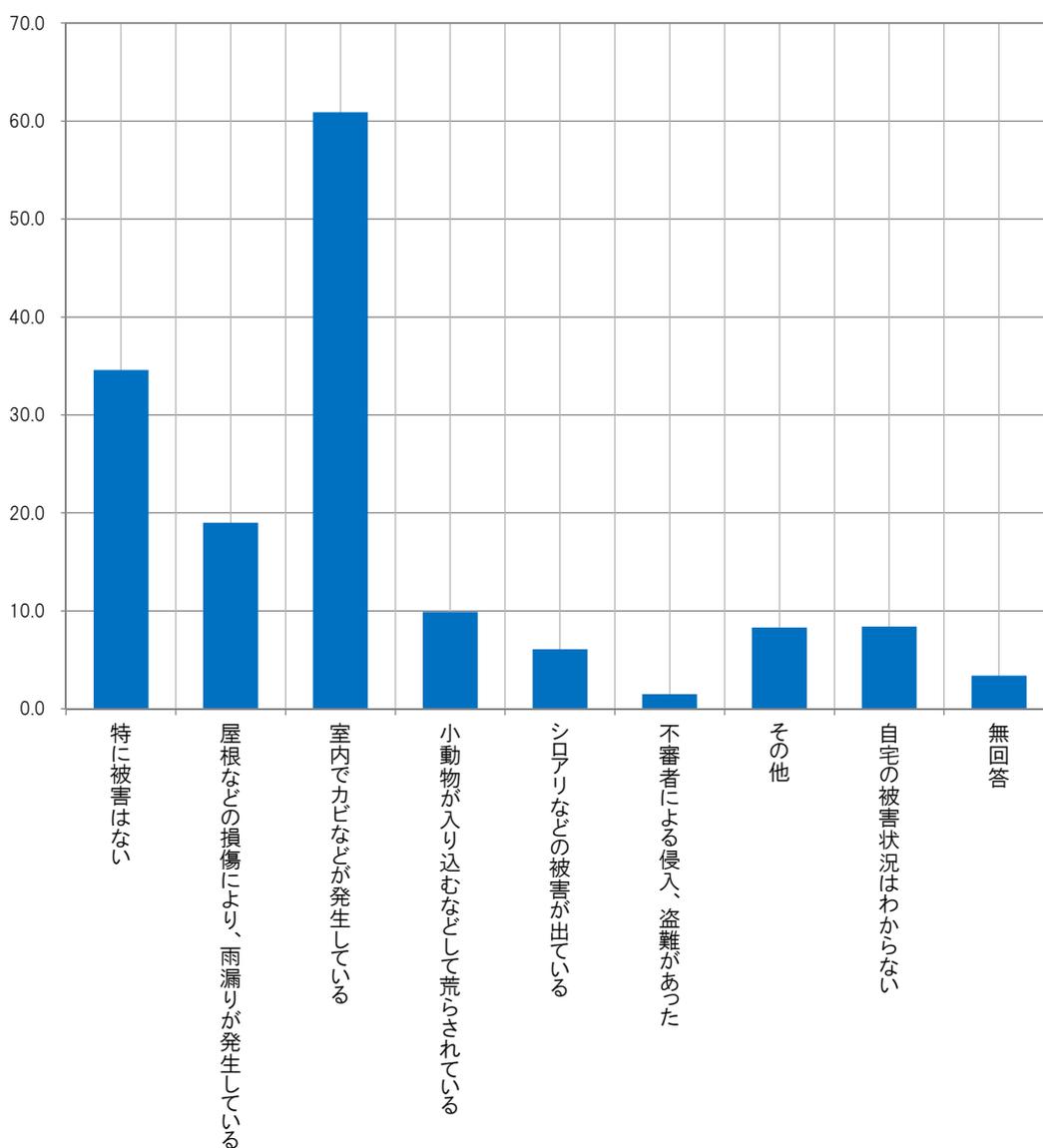
Q28.避難で留守にしている間に、ご自宅の被害はありますか。一時帰宅などを通じておわりの範囲でお答えください。(〇はいくつでも)

■ 結果の概要

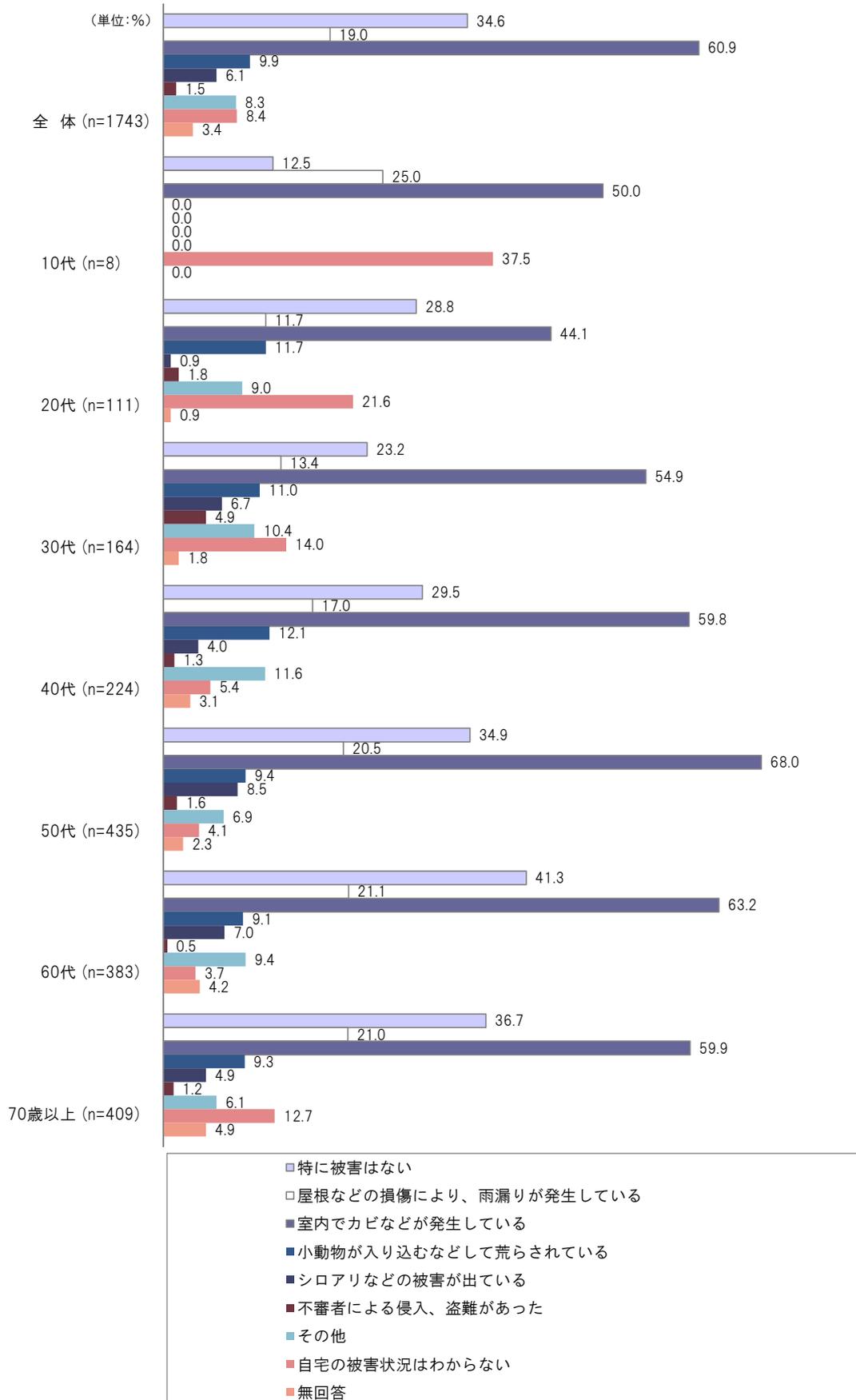
- ・「カビの発生」という回答が60.9%と非常に多く、「雨漏り」(19.0%)、「小動物の侵入」(9.9%)と続いている。また、「不審者侵入・盗難」とする回答も27件(1.5%)あり、「特に被害はない」とする回答は34.6%に過ぎない。
- ・現在の住まい(福島県内・県外)別に見ると、「自宅の被害はわからない」という回答は、福島県外に避難している回答者の割合が高い(29.4%)。
- ・「その他」における自由記述を見ると、「建物にハチの巣がある」、「クモの巣が増えた」、「動物が入り込んでいる」という被害が各世代の回答から挙げられている。

◆ 単純集計結果

(単位:%)



◆ 回答世代別集計結果



◆ 集計表

	全 体	特 に 被 害 は な い	り 屋 根 な ど の 損 傷 に よ り 、 雨 漏	る 室 内 で カ ビ な ど が 発 生 し て い	ら 小 動 物 が 入 り 込 む な ど し て 荒	る シ ロ ア リ な ど の 被 害 が 出 て い	あ 不 審 者 に よ る 侵 入 、 盗 難 が	そ の 他	自 宅 の 被 害 状 況 は わ か ら な い	無 回 答
全 体	1743 100.0	603 34.6	331 19.0	1062 60.9	173 9.9	106 6.1	27 1.5	144 8.3	147 8.4	59 3.4
10代	8 100.0	1 12.5	2 25.0	4 50.0	- -	- -	- -	- -	3 37.5	- -
20代	111 100.0	32 28.8	13 11.7	49 44.1	13 11.7	1 0.9	2 1.8	10 9.0	24 21.6	1 0.9
30代	164 100.0	38 23.2	22 13.4	90 54.9	18 11.0	11 6.7	8 4.9	17 10.4	23 14.0	3 1.8
40代	224 100.0	66 29.5	38 17.0	134 59.8	27 12.1	9 4.0	3 1.3	26 11.6	12 5.4	7 3.1
50代	435 100.0	152 34.9	89 20.5	296 68.0	41 9.4	37 8.5	7 1.6	30 6.9	18 4.1	10 2.3
60代	383 100.0	158 41.3	81 21.1	242 63.2	35 9.1	27 7.0	2 0.5	36 9.4	14 3.7	16 4.2
70歳以上	409 100.0	150 36.7	86 21.0	245 59.9	38 9.3	20 4.9	5 1.2	25 6.1	52 12.7	20 4.9

クロス集計【【自宅の被害について】×【現在の住まい(県内・県外)】】

	全 体	特 に 被 害 は な い	り 屋 根 な ど の 損 傷 に よ り 、 雨 漏	る 室 内 で カ ビ な ど が 発 生 し て い	ら 小 動 物 が 入 り 込 む な ど し て 荒	る シ ロ ア リ な ど の 被 害 が 出 て い	あ 不 審 者 に よ る 侵 入 、 盗 難 が	そ の 他	自 宅 の 被 害 状 況 は わ か ら な い	無 回 答
全 体	1743 100.0	603 34.6	331 19.0	1062 60.9	173 9.9	106 6.1	27 1.5	144 8.3	147 8.4	59 3.4
福島県内居住者	1576 100.0	564 35.8	308 19.5	974 61.8	154 9.8	97 6.2	24 1.5	129 8.2	104 6.6	50 3.2
福島県外居住者	143 100.0	30 21.0	21 14.7	75 52.4	18 12.6	8 5.6	3 2.1	15 10.5	42 29.4	4 2.8
不明	24 100.0	9 37.5	2 8.3	13 54.2	1 4.2	1 4.2	- -	- -	1 4.2	5 20.8

◆ 「その他」における自由記述

【10代の回答者】 (なし)
【20代の回答者】 ・建物の劣化(3件) ・動物が入りこんでいる(2件) ・家の屋根に大型車がぶつかりひどく損傷している。だれが当てたのかわからない。どうにかしてほしい ・玄関にハチの巣 ・ペットが何匹も永眠してしまった ・草が多い
【30代の回答者】 ・動物が入りこんでいる(5件) ・建物の劣化(3件) ・アパートを引きはらった ・衣服や家具などもう全て使えない ・今は目立つ被害はないが、財物価値の減少及び住んでいない住宅ローンの支払いなど不条理を感じる ・クモの巣が増えた ・地震により家屋にひびが入っている ・地震によりストープ故障 ・車庫の柱に車をぶつけた様子がありへこんでいる ・ジャリが台風で流される ・水道水が赤サビが出ている ・水道のポンプ、ソーラーが壊れた

- ・草が多い
- ・土砂くずれがあった
- ・臭いがひどい
- ・湿気がすごい
- ・リフォームしないと住めない家になった

【40代の回答者】

- ・建物の劣化(5件)
- ・湿気がすごい(2件)
- ・動物が入りこんでいる(2件)
- ・冷蔵庫、ボイラーの故障(2件)
- ・臭いがひどい
- ・家のまわりが動物のふん、外の灯油タンクの破損
- ・以前から屋根の修理をしたかったができなくなった
- ・落電により電気、電話がこわれた
- ・カビ クモの巣
- ・自宅前に大きな石やライターが置いてあった
- ・草が多い
- ・電化製品の調子が悪くなっている。
- ・道路側の物置の壁がこわれる
- ・残っている物など押し入れにあるためダメになってしまう。
- ・家のまわり空カンやゴミがすてられている
- ・湿気で畳、家電、家具、服などダメになった
- ・水がにごって使用できない
- ・井戸水が出なくなっている

【50代の回答者】

- ・建物の劣化(10件)
- ・湿気がすごい(6件)
- ・かわらの損傷がひどいから早く修理して欲しい(2件)
- ・臭いがひどい(2件)
- ・相続が進まず精神的につらい
- ・雨樋近くの放射線量が300マイクロシーベルト位ある
- ・荒地になってしまって帰る気がしなくなってしまった
- ・家の回りの石が柱に落ち折れてる
- ・いつになっても屋根の修理がまだ終わってない為、これから先の損傷が心配
- ・お墓がひどい状況だが、修理ができず困っている
- ・体がプロボヨしてきた
- ・他の人と比較していないので不明であるが自宅の放射線量が高いように思う(村から借用した放射線量計で測定)(室内で最大1.9mSv/h)
- ・道路(城口)が雨で流されて掘りができていた。
- ・動物が入りこんでいる
- ・水回り(ふろ)の所がこわれるようになった
- ・冬家を留守にした場合、水道管、ジャグジーなどが凍る心配。言っても仕方ないのか、あきらめが肝心か
- ・夏場はハエが大量に出た

【60代の回答者】

- ・建物の劣化(5件)
- ・動物が入りこんでいる(4件)
- ・草が多い(3件)
- ・臭いがひどい(3件)
- ・ハチの巣を作られた(3件)
- ・住める状態ではない(3件)
- ・湿気がすごい(2件)
- ・住居周辺の管理が不十分(2件)
- ・井戸水の濁りがおさまらない(2件)
- ・屋根瓦の修理を村の方をお願いしているが年内にやってほしい
- ・家の後が雨で崩れている
- ・カギが壊れていた
- ・放射線量が高い
- ・そろそろ落ちついて生活出来る場所の模索の時季では
- ・タンスの中、押入、すべてクリーニングが必要(もどる場合)
- ・電気の調子よくない
- ・庭に他の猫の糞がいっぱいあった
- ・引き水なので水も細くエコキュートが心配
- ・ペットが何匹も永眠してしまった
- ・見てないのでわからない
- ・地震で家がゆがんでいるので、長期間になると住めなくなる
- ・生活して居ない家など無いと同じ

【70代以上の回答者】

- ・建物の劣化(9件)
- ・草が多い(3件)
- ・動物が入りこんでいる(3件)
- ・状況がわからない(2件)
- ・電気製品等の故障部分が直せない(2件)
- ・自宅近辺へのゴミ類の投棄が多い(2件)
- ・農器具部品を損失した(2件)
- ・秋は枯草の季節、火災が一番心配だ
- ・井戸水が出なくなった
- ・地下水の水が茶色
- ・かけ崩れの調査ということで2人連れて2回来た。合同会社からと言っていたが本当か、写真も撮っていた
- ・地震により隣の土地が崩れた
- ・室内の線量が高い
- ・ハチの巣を作られた
- ・屋根の修理(村での業者さんより)の連絡が今だない

【設問】

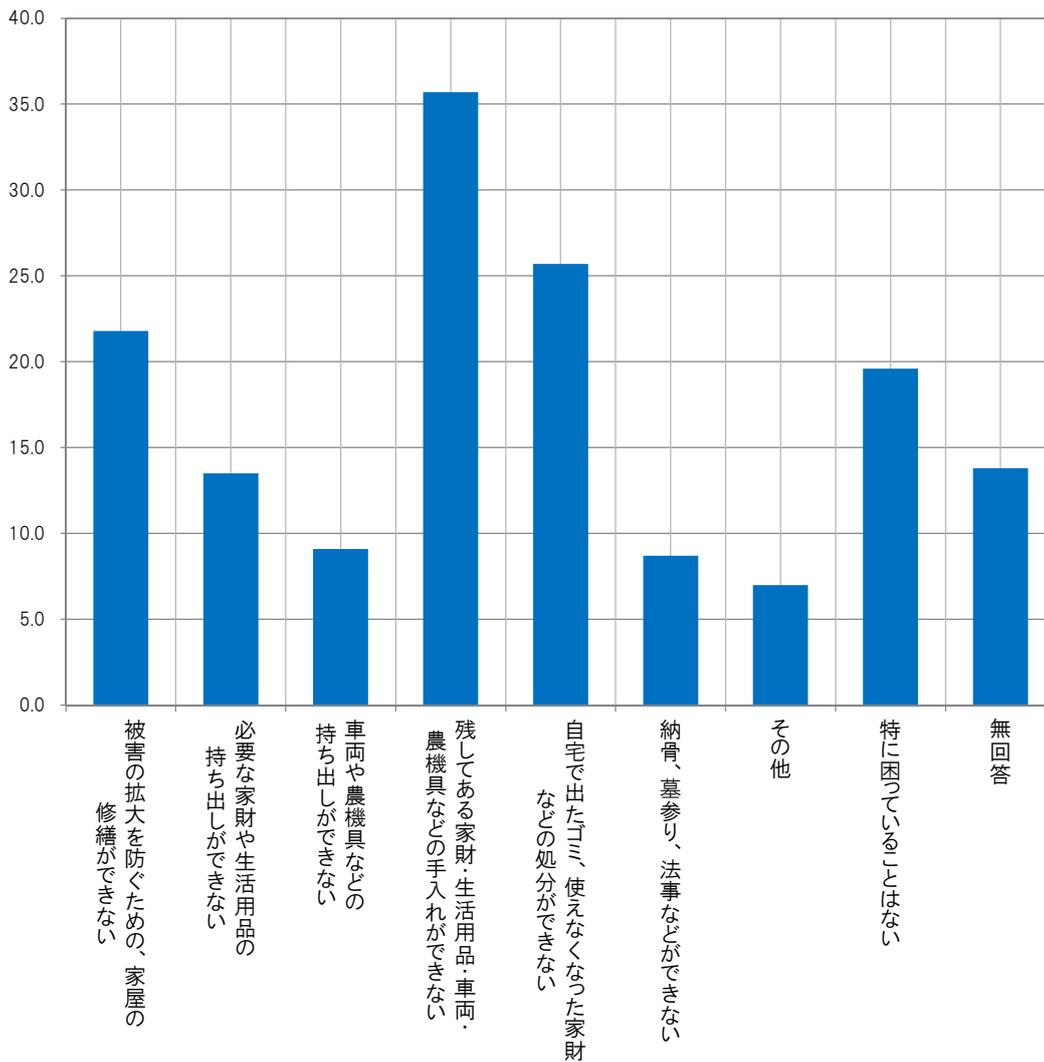
Q29. 村内のご自宅に関連して、お困りのことはありますか。(〇はいくつでも)

■ 結果の概要

- ・「残してある家財等の手入れができない」(35.7%)とする回答が最も多く、次いで、「ゴミ・家財等の処分ができない」(25.7%)、「被害拡大を防ぐ修繕ができない」(21.8%)と続いている。また、「必要な家財等の持ち出しができない」(13.5%)、「車両・農機具等の持ち出しができない」(9.1%)とする回答もそれぞれ1割前後となっており、準備期間を設けての避難ではあったものの、必要な物品を十分に持ち出せていない世帯のあることがわかる。

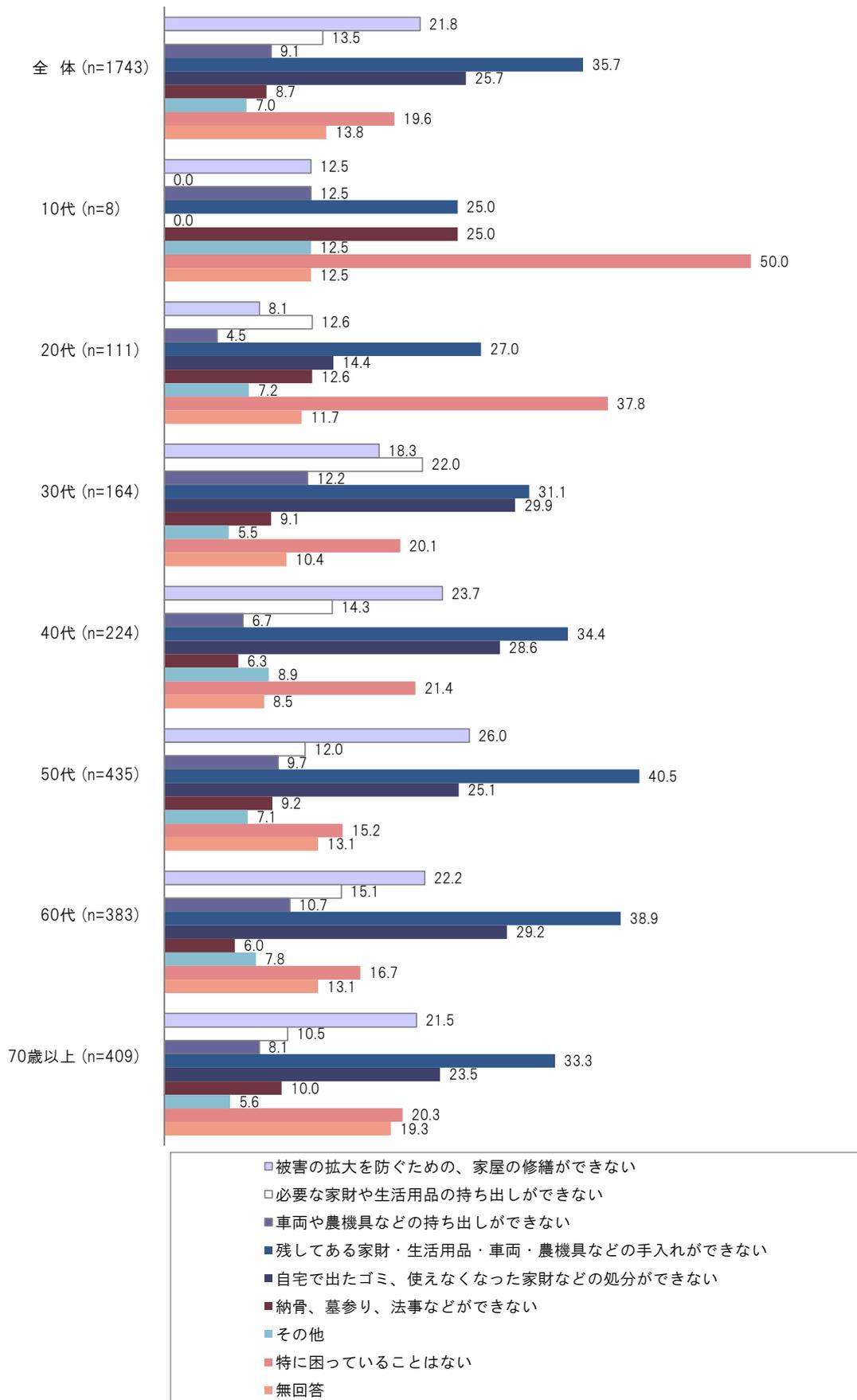
◆ 単純集計結果

(単位: %)



◆ 回答世代別集計結果

(単位:%)



◆ 集計表

	全 体	屋 被 害 の 修 繕 が で き な い 、 家	出 し が で き な い 必 要 な 家 財 や 生 活 用 品 の 持 ち	車 両 や 農 機 具 な ど の 持 ち 出 し が で き な い	残 し て あ る 家 財 ・ 生 活 用 品 が ・ 車 両 ・ 農 機 具 な ど の 手 入 れ 品 が ・ で き な い	自 宅 で 出 た ゴ ミ 、 使 え な く な っ た 家 財 な ど の 処 分 が で き な い	納 骨 、 墓 参 り 、 法 事 な ど が で き な い	そ の 他	特 に 困 っ て い る こ と は な い	無 回 答
全 体	1743 100.0	380 21.8	236 13.5	158 9.1	622 35.7	448 25.7	151 8.7	122 7.0	341 19.6	240 13.8
10代	8 100.0	1 12.5	-	1 12.5	2 25.0	-	2 25.0	1 12.5	4 50.0	1 12.5
20代	111 100.0	9 8.1	14 12.6	5 4.5	30 27.0	16 14.4	14 12.6	8 7.2	42 37.8	13 11.7
30代	164 100.0	30 18.3	36 22.0	20 12.2	51 31.1	49 29.9	15 9.1	9 5.5	33 20.1	17 10.4
40代	224 100.0	53 23.7	32 14.3	15 6.7	77 34.4	64 28.6	14 6.3	20 8.9	48 21.4	19 8.5
50代	435 100.0	113 26.0	52 12.0	42 9.7	176 40.5	109 25.1	40 9.2	31 7.1	66 15.2	57 13.1
60代	383 100.0	85 22.2	58 15.1	41 10.7	149 38.9	112 29.2	23 6.0	30 7.8	64 16.7	50 13.1
70歳以上	409 100.0	88 21.5	43 10.5	33 8.1	136 33.3	96 23.5	41 10.0	23 5.6	83 20.3	79 19.3

クロス集計(【自宅に関連してお困りのこと】×【現在の住まい(県内・県外)】)

	全 体	家 被 害 の 修 繕 が で き な い 、 家	出 し が で き な い 必 要 な 家 財 や 生 活 用 品 の 持	車 両 や 農 機 具 な ど の 持 ち 出 し が で き な い	残 し て あ る 家 財 ・ 生 活 用 品 が ・ 車 両 ・ 農 機 具 な ど の 手 入 れ 品 が ・ で き な い	自 宅 で 出 た ゴ ミ 、 使 え な く な っ た 家 財 な ど の 処 分 が で き な い	納 骨 、 墓 参 り 、 法 事 な ど が で き な い	そ の 他	特 に 困 っ て い る こ と は な い	無 回 答
全 体	1743 100.0	380 21.8	236 13.5	158 9.1	622 35.7	448 25.7	151 8.7	122 7.0	341 19.6	240 13.8
福島県内居住者	1576 100.0	353 22.4	212 13.5	142 9.0	559 35.5	411 26.1	131 8.3	100 6.3	314 19.9	210 13.3
福島県外居住者	143 100.0	27 18.9	24 16.8	15 10.5	55 38.5	33 23.1	20 14.0	22 15.4	23 16.1	22 15.4
不明	24 100.0	-	-	1 4.2	8 33.3	4 16.7	-	-	4 16.7	8 33.3

◆ 「その他」における自由記述

【10代の回答者】 (なし)
【20代の回答者】 ・動物が入りこんでいることが心配(2件) ・いつ侵入、盗難にあうか心配 ・建物の劣化が心配 ・ペットが心配 ・放射能があるので帰りたくない ・避難生活が長くなり、村内で死亡している人が多い。放射線が高い村へ納骨ができない場合どのようにしたら良いのか教えてほしい ・避難解除後の自宅での生活が不安
【30代の回答者】 ・自宅周辺の放射線量が知りたい(2件) ・除草ができない(2件) ・家の中も放射線が高い ・除染廃棄物の捨て場がない ・放射性物質が付着してしまっているため必要な家財等が持ち出せない ・放射線量高いので行きたくない ・震災以降降んでいない家の家賃を毎月払っている。(大家が家に荷物があるうちは払えと言っている。県外に居て、子供達も学校へ行っているのに戻れないし現在の住宅には荷物が入らない。)
【40代の回答者】 ・建物の劣化が心配(5件) ・家の入口の木材がいつ崩れるか心配 ・空気の入替え

- ・家の中も放射線が高い
- ・水道の凍結が心配
- ・生活用品は避難した所にもってきたいが場所が足りない
- ・先きゆきがよく見えないので困る
- ・田、畑、家の回りのあれほうだいになって村、県、国でどうしてくれるのか。買いとってほしい。
- ・灯油タンクを修理したいが業者に頼めないのか
- ・時々立ち入りで管理しているが雪が降ったら管理が難しくなるのではないか
- ・ペットの避難期限が12月以降であり心配
- ・避難先が遠いのでなかなか行けない
- ・ペットを残してきているので毎日様子を見に行かなければならないのに東電からの補償は月に1回分のみ。各々の事情を見ていない。
- ・井戸水は飲んででも安全なのか。
- ・家全体がカビ臭い

【50代の回答者】

- ・建物の劣化が心配(7件)
- ・ペットが心配(4件)
- ・除草ができない(4件)
- ・住宅ローンの支払い(2件)
- ・除草した草を燃やしたい(2件)
- ・冬季間のボイラーの凍結(2件)
- ・いつ侵入、盗難にあうか心配
- ・動物による被害が多い
- ・自宅の管理は出さない
- ・自宅より遠くはなれてしまったので何もできない
- ・道路が通行止めで行きにくい
- ・とにかく冬人が住んでいないので、凍結の心配だけ。
- ・入院中
- ・何年か先に今の住宅を直す費用は誰が出してくれるのか
- ・葬式が出来ない
- ・放射線が高い村へ納骨ができない場合どのようにしたら良いのか教えてほしい
- ・家の中の放射線が気になる
- ・地震で風呂の排気が壊れており、直したいが今やってよいのか。補助は出るのか。

【60代の回答者】

- ・除草ができない(9件)
- ・建物の劣化が心配(4件)
- ・換気ができない(2件)
- ・大雨により、進入路等が荒れている
- ・介護の父を家に連れていくことが大変
- ・観用植物(熱帯性)冬期間管理が出来ず枯らしてしまうだろう
- ・これから冬になるのでペットのえさあげが心配
- ・商品がカビなどで販売不能
- ・自身で崩れたブロックを直さないとおこななければならないこと
- ・生活用品の持ち出しをしたいが狭くて置く場所がない
- ・できないのではなく現時点ではしない方がよいと思うから
- ・冬季に向け凍結が心配
- ・村に商店が戻るまでの間、指定袋ではなく、マーケットの袋や市販の45Lビニール袋などでゴミを出せるようにして欲しい
- ・屋根にはちの巣があり、近づけない
- ・井戸水に濁りがあり、放射能が心配
- ・若者もどらない村は終わり
- ・電化器具の管理が大変
- ・東電で買ってくれないなら村で全財産を買って欲しい

【70代以上の回答者】

- ・水道の凍結が心配(3件)
- ・除草ができない(2件)
- ・人に頼まなければどこにも行けない(2件)
- ・自宅に帰っていないのでわからない(2件)
- ・ペットが心配(2件)
- ・車の移動費用(2件)
- ・建物の劣化が心配(2件)
- ・除草した草を燃やしたい
- ・井戸を直したい
- ・お墓が壊れてしまい困っている
- ・枯草の時期になるため火災が心配
- ・ハチの巣が心配
- ・雪が降ったら除雪はしてくれるのか
- ・室内の除染ができない場合、どうしてくれるのか
- ・食費が心配
- ・周りに知り合いがおらず、情報を知ることが遅れている

- ・山や農機具はどうしてくれるのか
- ・何も仕事がないので体が弱った
- ・家の周囲の放射線量がどれくらいあるのか知りたい
- ・家全体がカビ臭い
- ・村独自の見廻り隊本当にありがたく安心出来る。感謝申し上げる

【設問】

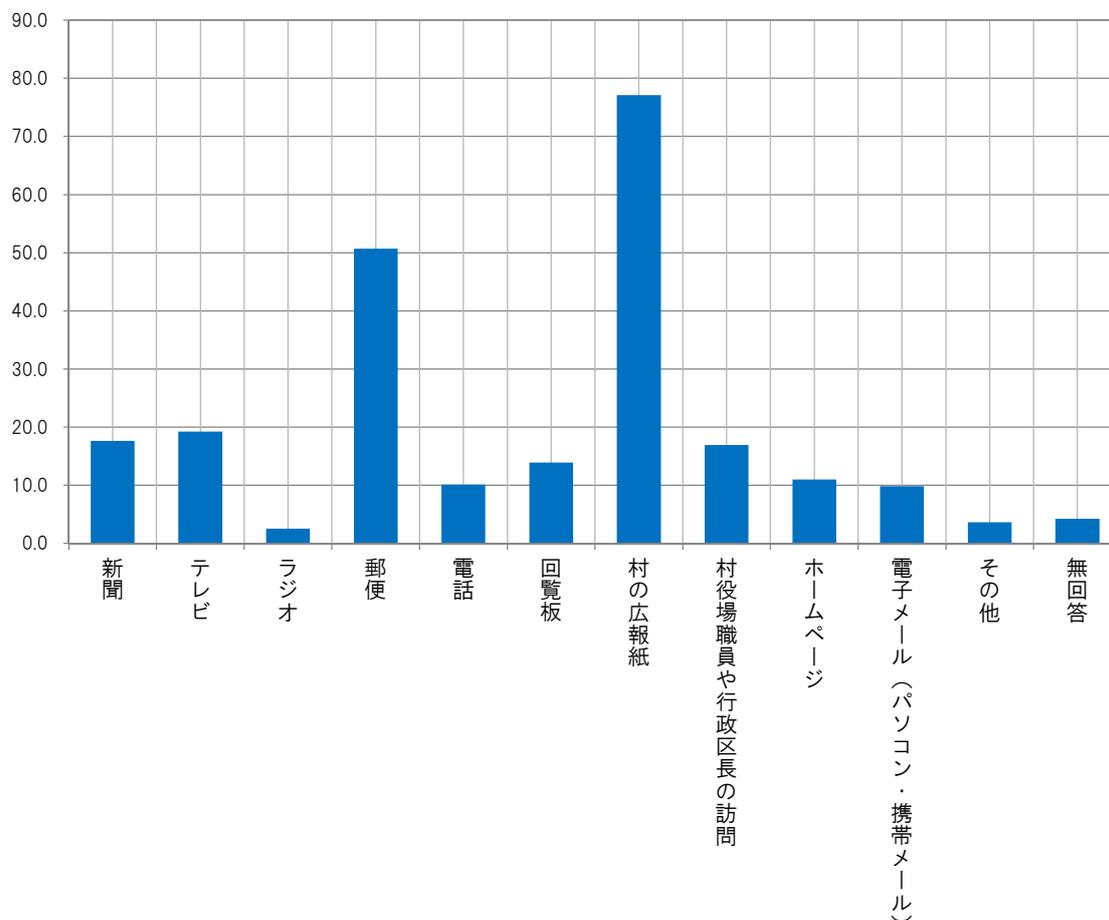
Q30.被災者に対する支援や村の状況など、村からお知らせする情報について、どのような手段で知らせて欲しいですか。(〇はいくつでも)

■ 結果の概要

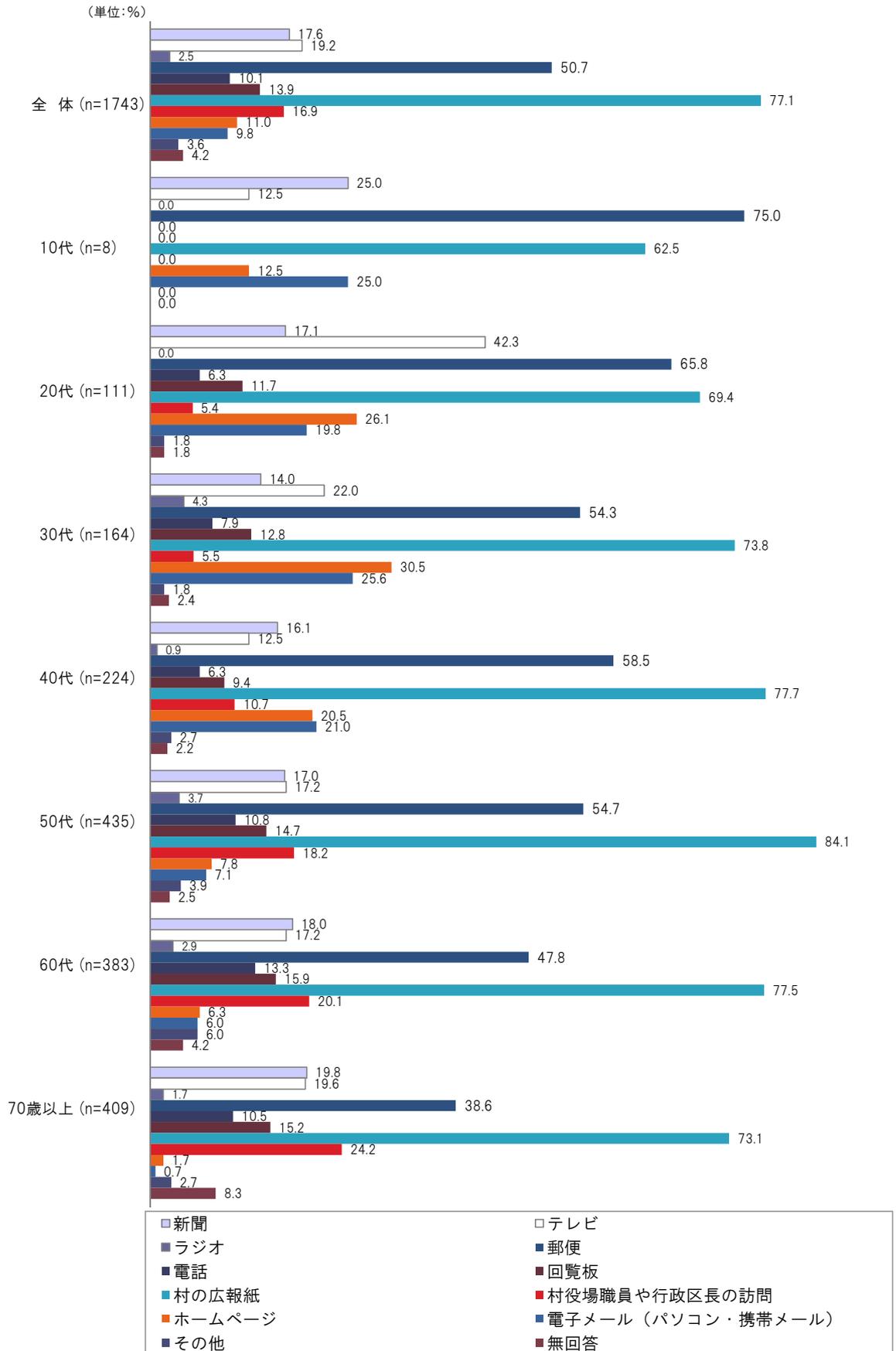
- ・「村の広報紙」という回答が77.1%と最も多く、次いで「郵便」とする回答が50.7%と半数を超えている。また、「役場職員・行政区長の訪問」とする回答も16.9%あり、訪問による対面しての情報提供を求める声も少なくない。
- ・年齢別に見ると、20～40代の比較的若い世代においては、「ホームページ」「電子メール」という回答が2～3割あり、インターネット等を活用した情報提供が望まれていることがわかる。一方、60代以上においては、そうした回答は少なく、むしろ「役場職員・行政区長の訪問」を希望する声が増えるという結果となっている。
- ・現在の住居種別で見ると、特に「仮設住宅」居住者において、「回覧板」という回答が34.7%と高くなっていることが目立つ。飯館村民が集まって暮らす仮設住宅においては、住民間での回覧板が機能するものと考えられていることがわかる。

◆ 単純集計結果

(単位:%)



◆ 回答世代別集計結果



◆ 集計表

	全 体	新 聞	テ レ ビ	ラ ジ オ	郵 便	電 話	回 覧 板	村 の 広 報 紙	訪 問 村 役 場 職 員 や 行 政 区 長 の	ホ ー ム ペ ー ジ	携 帯 メ ー ル （ パ ソ コ ン ・	そ の 他	無 回 答
全 体	1743 100.0	307 17.6	335 19.2	44 2.5	883 50.7	176 10.1	242 13.9	1344 77.1	294 16.9	192 11.0	170 9.8	62 3.6	74 4.2
10代	8 100.0	2 25.0	1 12.5	-	6 75.0	-	-	5 62.5	-	1 12.5	2 25.0	-	-
20代	111 100.0	19 17.1	47 42.3	-	73 65.8	7 6.3	13 11.7	77 69.4	6 5.4	29 26.1	22 19.8	2 1.8	2 1.8
30代	164 100.0	23 14.0	36 22.0	7 4.3	89 54.3	13 7.9	21 12.8	121 73.8	9 5.5	50 30.5	42 25.6	3 1.8	4 2.4
40代	224 100.0	36 16.1	28 12.5	2 0.9	131 58.5	14 6.3	21 9.4	174 77.7	24 10.7	46 20.5	47 21.0	6 2.7	5 2.2
50代	435 100.0	74 17.0	75 17.2	16 3.7	238 54.7	47 10.8	64 14.7	366 84.1	79 18.2	34 7.8	31 7.1	17 3.9	11 2.5
60代	383 100.0	69 18.0	66 17.2	11 2.9	183 47.8	51 13.3	61 15.9	297 77.5	77 20.1	24 6.3	23 6.0	23 6.0	16 4.2
70歳以上	409 100.0	81 19.8	80 19.6	7 1.7	158 38.6	43 10.5	62 15.2	299 73.1	99 24.2	7 1.7	3 0.7	11 2.7	34 8.3

クロス集計(【村からの情報提供手段について】×【現在の住まい(県内・県外)】)

	全 体	新 聞	テ レ ビ	ラ ジ オ	郵 便	電 話	回 覧 板	村 の 広 報 紙	訪 問 村 役 場 職 員 や 行 政 区 長 の	ホ ー ム ペ ー ジ	携 帯 メ ー ル （ パ ソ コ ン ・	そ の 他	無 回 答
全 体	1743 100.0	307 17.6	335 19.2	44 2.5	883 50.7	176 10.1	242 13.9	1344 77.1	294 16.9	192 11.0	170 9.8	62 3.6	74 4.2
福島県内居住者	1576 100.0	273 17.3	302 19.2	39 2.5	793 50.3	163 10.3	236 15.0	1234 78.3	291 18.5	155 9.8	137 8.7	54 3.4	61 3.9
福島県外居住者	143 100.0	28 19.6	29 20.3	5 3.5	82 57.3	11 7.7	4 2.8	101 70.6	3 2.1	35 24.5	31 21.7	8 5.6	4 2.8
不明	24 100.0	6 25.0	4 16.7	-	8 33.3	2 8.3	2 8.3	9 37.5	-	2 8.3	2 8.3	-	9 37.5

クロス集計(【村からの情報提供手段について】×【住居種別(避難先)】)

	全 体	新 聞	テ レ ビ	ラ ジ オ	郵 便	電 話	回 覧 板	村 の 広 報 紙	訪 問 村 役 場 職 員 や 行 政 区 長 の	ホ ー ム ペ ー ジ	携 帯 メ ー ル （ パ ソ コ ン ・	そ の 他	無 回 答
全 体	1743 100.0	307 17.6	335 19.2	44 2.5	883 50.7	176 10.1	242 13.9	1344 77.1	294 16.9	192 11.0	170 9.8	62 3.6	74 4.2
仮設住宅	401 100.0	63 15.7	80 20.0	6 1.5	135 33.7	33 8.2	139 34.7	301 75.1	119 29.7	9 2.2	14 3.5	7 1.7	28 7.0
公営住宅(村が斡旋したもの)	128 100.0	12 9.4	18 14.1	3 2.3	68 53.1	22 17.2	30 23.4	100 78.1	22 17.2	19 14.8	16 12.5	6 4.7	4 3.1
県借上住宅	928 100.0	179 19.3	168 18.1	27 2.9	535 57.7	97 10.5	54 5.8	749 80.7	126 13.6	124 13.4	108 11.6	38 4.1	24 2.6
子ども・親戚・知人宅	72 100.0	16 22.2	18 25.0	1 1.4	32 44.4	7 9.7	5 6.9	58 80.6	6 8.3	8 11.1	5 6.9	3 4.2	5 6.9
借家(一戸建て・アパート等)	124 100.0	23 18.5	28 22.6	3 2.4	67 54.0	11 8.9	9 7.3	85 68.5	14 11.3	14 11.3	15 12.1	2 1.6	4 3.2
老人施設・病院	17 100.0	1 5.9	2 11.8	-	10 58.8	2 11.8	2 11.8	5 29.4	2 11.8	1 5.9	-	1 5.9	3 17.6
社宅・寮	31 100.0	5 16.1	14 45.2	3 9.7	19 61.3	3 9.7	3 9.7	21 67.7	3 9.7	11 35.5	6 19.4	2 6.5	-
その他	30 100.0	5 16.7	5 16.7	1 3.3	13 43.3	1 3.3	-	16 53.3	2 6.7	6 20.0	6 20.0	3 10.0	4 13.3

◆ 「その他」における自由記述

<p>【10代の回答者】 (なし)</p>
<p>【20代の回答者】 ・住民票を移したので必要ない</p>
<p>【30代の回答者】 ・iPadなどで情報提供して欲しい ・村の広報誌が来てないので何とかできない ・月1回程度にしてほしい ・村で何ができるのか</p>
<p>【40代の回答者】 ・今のやり方で満足している ・県外に避難しているので、情報は時間が過ぎている時が多く、携帯メールはありがたいと思う ・報道よりも早めの情報 ・耳が少し悪いので文面でお願ひしたい ・仮設、斡旋住宅と同じように借上住宅も同じ扱いをしてほしい</p>
<p>【50代の回答者】 ・県外の避難なので郵送してほしい ・広報紙の他に村の動きを専門に記した今回の事故関係の専門連絡票的なものを発行願ひたい ・村会議員の訪問を多くしてほしい ・これまで、県外に避難している村民については、確実・早急に情報が伝わる方法を考えしてほしい。また、伝えしてほしい。(今までほとんど情報が伝わったことがなく、自から情報が有るが、無いか電話する状態である。)避難先と電話番号を幾度も伝えているのに生かされていない ・内容を充実(濃く)してほしい ・パソコンがない ・放射線量や除染、補償等、専門の広報をしてほしい ・村の事をあまり新聞に出してほしくない ・村の職員は最低でも月1回担当制により訪問すべきだ ・今まで通りでよい ・世帯の住所録 ・村との懇談会を持つといい ・本当なら村長が1件1件まわるのが「まてい」なのでは？ ・村長の話がテレビ・新聞などで聞けず、私達は村議員の万一人一人の考え方も聞きたい。村民が前にも進めず、振り返っても何の足跡も残せていない今、村長の話で納得がいけない。議会を行っているのであれば議会の内容を私達に知らせる義務があると思う。議員達が目まぐるしい ・定期的に青少年会館で集会を開催して欲しい</p>
<p>【60代の回答者】 ・必要ない ・行政区ごと2ヶ月に1回の集まり場を希望する ・ケーブルテレビみたいなものがあればよい ・月に1、2回位ならどこへでも行く。村中も中央に集められた ・ホームページ・電子メールは使えない ・ホームページの更新をすばやくしてほしい ・村広報紙でより詳細な情報がほしい ・村の除染についての住民に対する説明がない(説明会)。勝手に決めているがなぜ住民の声を聞かないのか ・郵便でよいがもっとスピーディに連絡してもらいたい ・私らと違うことをやってるので知ってもしようがない ・仮設に行ってみて、掲示されているものが、借り上げ住宅では情報なく、福島市の情報は地区の回覧板で村の情報より入ってくる ・情報量少なすぎる。何をやっているか判らない ・震災直後から一定期間は情報はある程度確保していたが、最近では村からの情報があまりない。月に一回とか、半月に一回とか、定期的に情報があれば、特に情報量が多くなるとも安心感があると思う ・村会議員に来てほしい ・避難者が必要な情報を得るための情報総合窓口の設置。役場に訪れても職員は多忙で要件以外は話せる状況にない→気軽に話せて、情報を提供できる体制・スペース・システムが必要だ。もっともっと内容を充実すべき ・村では、東電や国のウソをそのまま伝えないで本当の事をより早く知らせるべき ・1～10まですべての手段で</p>
<p>【70代以上の回答者】 ・雑誌でほしい ・目が不自由の為、口答で伝えてもらわないとわからない ・親類に身を寄せて、世話になっているものにも是非支援物資を受けさせてほしい ・県議選があることはテレビで見ているが新聞を取っていないので、飯館村の選挙区はどうなっているのか ・借上住宅には、1度も誰もこない。支援物資もなし借上は別人扱い ・仙台市に住んでいてもテレビ、新聞等により情報が(飯館村に関する件)結構多いので助かっている</p>

【設問】

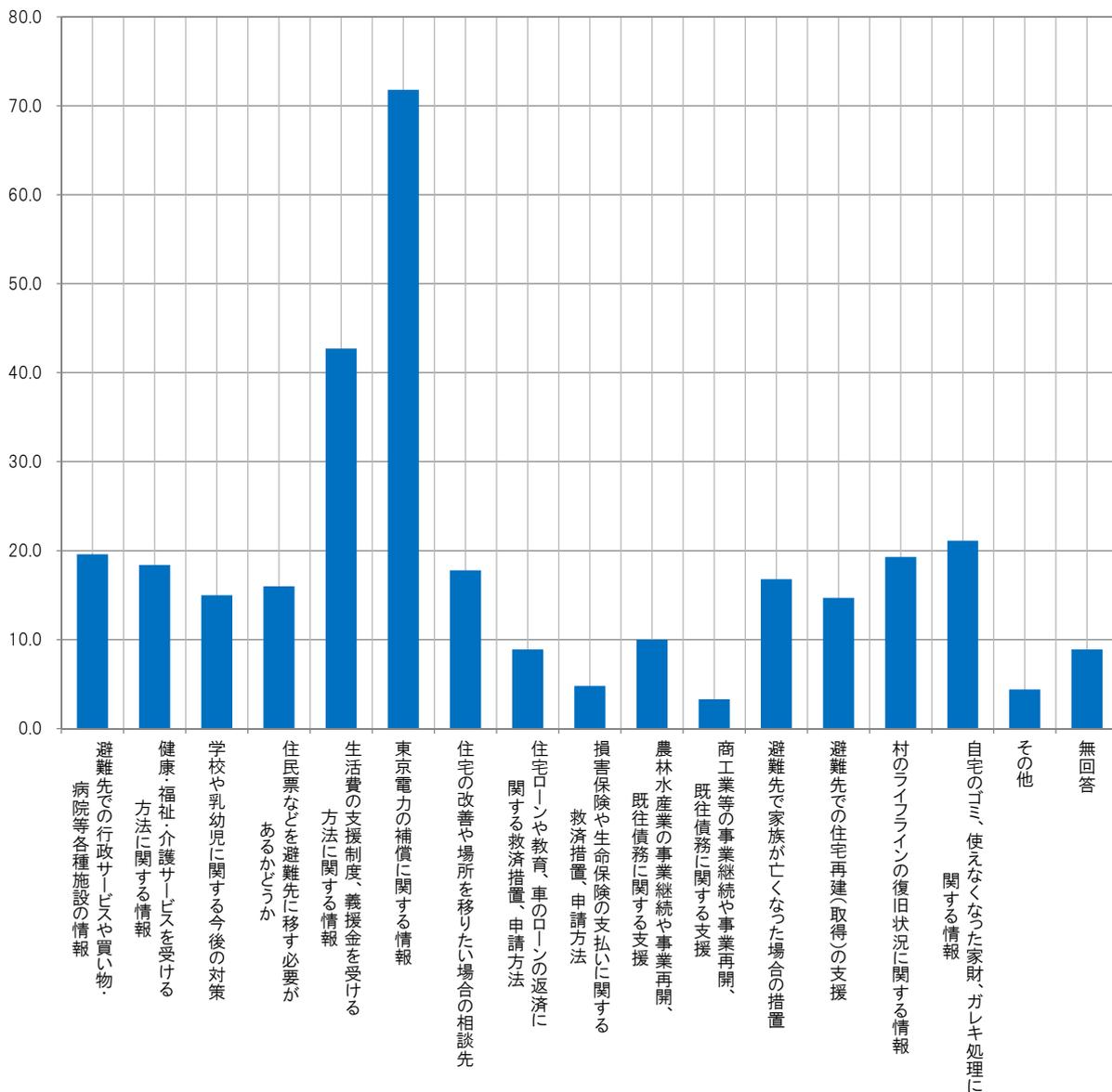
Q31.今後の暮らしについて、どのような情報を知りたいですか。(〇はいくつでも)

■ 結果の概要

- ・「東電の補償関係」(71.8%)という回答が最も多く、次いで「生活費支援制度・義援金」(42.7%)となっている。また、「自宅のゴミ・家財等の処理」(21.1%)、「避難先での行政サービス、買い物・病院等」(19.6%)、「村のライフライン復旧状況」(19.3%)という回答も約2割あり、さまざまな情報を求めていることがわかる。
- ・年齢別に見ると、特に40代を中心とする比較的若い世代において、「ローン返済関連」の情報を知りたいとする回答がやや多くなっている。
- ・現在の収入別に見ると、「収入がほとんどなくなった」「7~8割減った」「5割くらい減った」「2~3割減った」という回答者が「東電の補償関係」及び「生活費支援制度・義援金」についての情報を求める声が高くなり、また収入減の割合が高いほど、これらの情報を必要とする割合が高い。

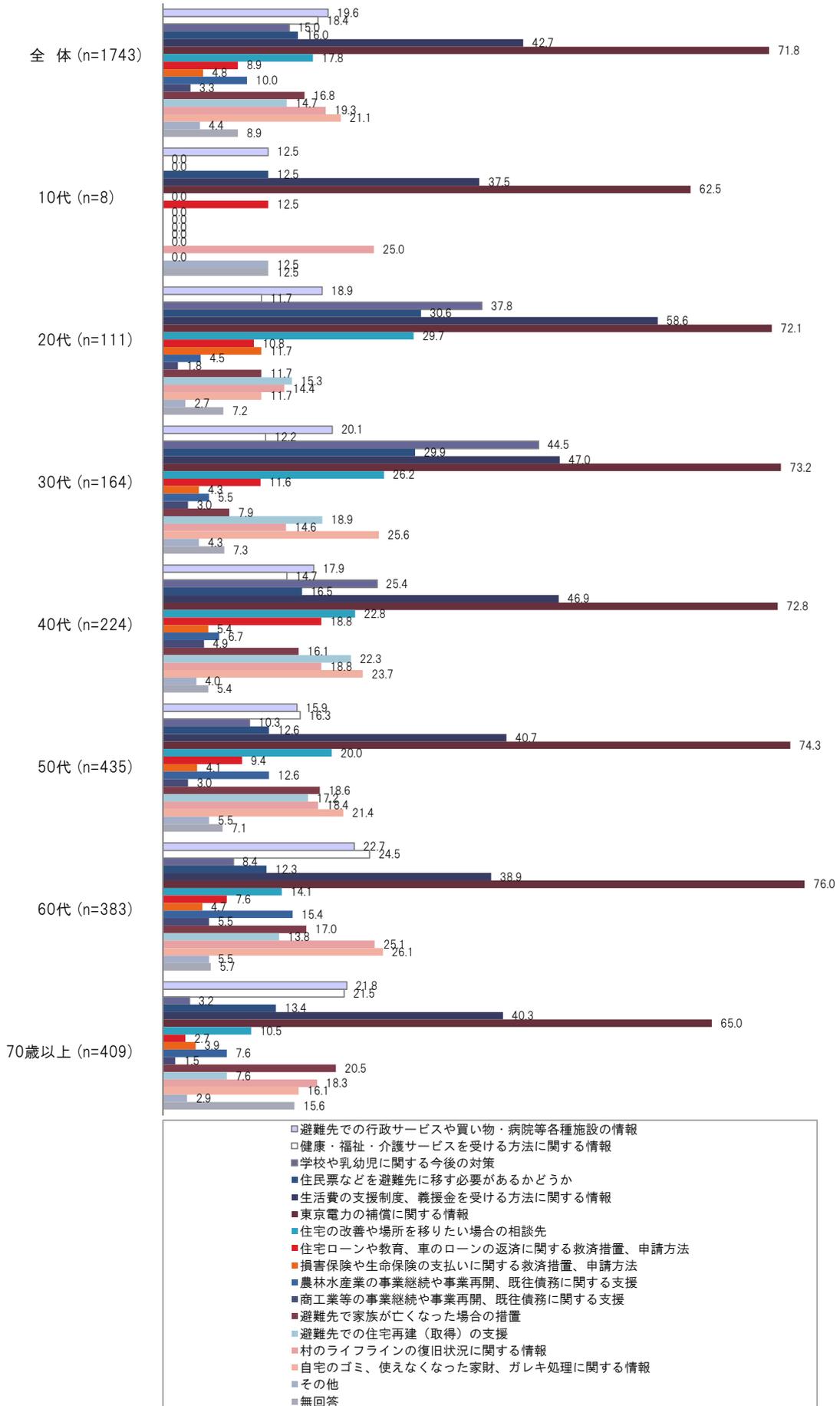
◆ 単純集計結果

(単位:%)



◆ 回答世代別集計結果

(単位:%)



◆ 集計表

	全 体	避難先での行政サービスや買 い物・病院等各種施設の情報	健康・福祉・介護サービスを 受ける方法に関する情報	学校や乳幼児に関する今後の 対策	住民票などを避難先に移す必 要があるかどうか	生活費の支援制度、義援金を 受ける方法に関する情報	東京電力の補償に関する情報	住宅の改善や場所を移りたい 場合の相談先	住宅ローンや教育、車のロー ーンの返済に関する救済措置、 申請方法	損害保険や生命保険の支払い に関する救済措置、申請方法	農林水産業の事業継続や事業 再開、既往債務に関する支援	商工業等の事業継続や事業再 開、既往債務に関する支援
全 体	1743 100.0	341 19.6	320 18.4	262 15.0	279 16.0	744 42.7	1251 71.8	311 17.8	155 8.9	84 4.8	174 10.0	58 3.3
10代	8 100.0	1 12.5	-	-	1 12.5	3 37.5	5 62.5	-	1 12.5	-	-	-
20代	111 100.0	21 18.9	13 11.7	42 37.8	34 30.6	65 58.6	80 72.1	33 29.7	12 10.8	13 11.7	5 4.5	2 1.8
30代	164 100.0	33 20.1	20 12.2	73 44.5	49 29.9	77 47.0	120 73.2	43 26.2	19 11.6	7 4.3	9 5.5	5 3.0
40代	224 100.0	40 17.9	33 14.7	57 25.4	37 16.5	105 46.9	163 72.8	51 22.8	42 18.8	12 5.4	15 6.7	11 4.9
50代	435 100.0	69 15.9	71 16.3	45 10.3	55 12.6	177 40.7	323 74.3	87 20.0	41 9.4	18 4.1	55 12.6	13 3.0
60代	383 100.0	87 22.7	94 24.5	32 8.4	47 12.3	149 38.9	291 76.0	54 14.1	29 7.6	18 4.7	59 15.4	21 5.5
70歳以上	409 100.0	89 21.8	88 21.5	13 3.2	55 13.4	165 40.3	266 65.0	43 10.5	11 2.7	16 3.9	31 7.6	6 1.5

	の避難先で家族が亡くなった場合	避難先での住宅再建（取得）の 支援	村のライフラインの復旧状況に 関する情報	自宅のゴミ、ガレキ処理に関する情報	その他	無 回 答
全 体	292 16.8	257 14.7	336 19.3	368 21.1	77 4.4	155 8.9
10代	-	-	2 25.0	-	1 12.5	1
20代	13 11.7	17 15.3	16 14.4	13 11.7	3 2.7	8 7.2
30代	13 7.9	31 18.9	24 14.6	42 25.6	7 4.3	12 7.3
40代	36 16.1	50 22.3	42 18.8	53 23.7	9 4.0	12 5.4
50代	81 18.6	75 17.2	80 18.4	93 21.4	24 5.5	31 7.1
60代	65 17.0	53 13.8	96 25.1	100 26.1	21 5.5	22 5.7
70歳以上	84 20.5	31 7.6	75 18.3	66 16.1	12 2.9	64 15.6

クロス集計(【村からの情報提供手段について】×【現在の住まい(県内・県外)】)

	全 体	避難先での行政サービスや買い物・病院等各種施設の情報	健康・福祉・介護サービスを受ける方法に関する情報	学校や乳幼児に関する今後の対策	住民票などを避難先に移す必要があるかどうか	生活費の支援制度、義援金を受ける方法に関する情報	東京電力の補償に関する情報	住宅の改善や場所を移りたい場合の相談先	住宅ローンや教育、車のローンの返済に関する救済措置、申請方法	損害保険や生命保険の支払いに関する救済措置、申請方法	農林水産業の事業継続や事業再開、既往債務に関する支援	商工業等の事業継続や事業再開、既往債務に関する支援
全 体	1743 100.0	341 19.6	320 18.4	262 15.0	279 16.0	744 42.7	1251 71.8	311 17.8	155 8.9	84 4.8	174 10.0	58 3.3
福島県内居住者	1576 100.0	311 19.7	291 18.5	238 15.1	232 14.7	685 43.5	1140 72.3	285 18.1	144 9.1	80 5.1	155 9.8	52 3.3
福島県外居住者	143 100.0	25 17.5	28 19.6	23 16.1	42 29.4	52 36.4	95 66.4	22 15.4	11 7.7	4 2.8	18 12.6	6 4.2
不明	24 100.0	5 20.8	1 4.2	1 4.2	5 20.8	7 29.2	16 66.7	4 16.7	-	-	1 4.2	-

	避難先で家族が亡くなった場合の措置	避難先での住宅再建(取得)の支援	村のライフラインの復旧状況に関する情報	自宅のゴミ、ガレキ処理に関する情報	その他	無回答
全 体	292 16.8	257 14.7	336 19.3	368 21.1	77 4.4	155 8.9
福島県内居住者	261 16.6	235 14.9	303 19.2	340 21.6	64 4.1	133 8.4
福島県外居住者	30 21.0	21 14.7	31 21.7	27 18.9	13 9.1	17 11.9
不明	1 4.2	1 4.2	2 8.3	1 4.2	-	5 20.8

クロス集計(【村からの情報提供手段について】×【住居種別(避難先)】)

	全 体	物 ・ 病 院 等 各 種 施 設 の 情 報	健 康 ・ 福 祉 ・ 介 護 サ ー ビ ス を 受 ける 方 法 に 関 する 情 報	学 校 や 乳 幼 児 に 関 する 今 後 の 対 策	住 民 票 な ど を 避 難 先 に 移 す 必 要 が あ る か ど う か	生 活 費 の 支 援 制 度 、 義 援 金 を 受 ける 方 法 に 関 する 情 報	東 京 電 力 の 補 償 に 関 する 情 報	住 宅 の 改 善 や 場 所 を 移 り た い 場 合 の 相 談 先	住 宅 ロ ー ン や 教 育 、 車 の ロ ー ン の 返 済 に 関 する 救 済 措 置 、 申 請 方 法	損 害 保 険 や 生 命 保 険 の 支 払 い に 関 する 救 済 措 置 、 申 請 方 法	農 林 水 産 業 の 事 業 継 続 や 事 業 再 開 、 既 往 債 務 に 関 する 支 援	商 工 業 等 の 事 業 継 続 や 事 業 再 開 、 既 往 債 務 に 関 する 支 援
全 体	1743 100.0	341 19.6	320 18.4	262 15.0	279 16.0	744 42.7	1251 71.8	311 17.8	155 8.9	84 4.8	174 10.0	58 3.3
仮設住宅	401 100.0	96 23.9	87 21.7	40 10.0	47 11.7	151 37.7	275 68.6	49 12.2	26 6.5	22 5.5	37 9.2	8 2.0
公営住宅(村が斡旋したもの)	128 100.0	22 17.2	34 26.6	29 22.7	18 14.1	54 42.2	94 73.4	23 18.0	10 7.8	7 5.5	14 10.9	7 5.5
県借上住宅	928 100.0	177 19.1	153 16.5	154 16.6	146 15.7	424 45.7	699 75.3	199 21.4	96 10.3	49 5.3	99 10.7	36 3.9
子ども・親戚・知人宅	72 100.0	11 15.3	17 23.6	4 5.6	13 18.1	26 36.1	42 58.3	8 11.1	5 6.9	-	8 11.1	3 4.2
借家(一戸建て・アパート等で家賃を自己負担しているもの)	124 100.0	21 16.9	14 11.3	19 15.3	33 26.6	59 47.6	90 72.6	21 16.9	12 9.7	5 4.0	8 6.5	3 2.4
老人施設・病院	17 100.0	2 11.8	5 29.4	1 5.9	1 5.9	5 29.4	5 29.4	1 5.9	1 5.9	1 5.9	-	-
社宅・寮	31 100.0	7 22.6	5 16.1	8 25.8	10 32.3	15 48.4	23 74.2	6 19.4	5 16.1	-	3 9.7	-
その他	30 100.0	3 10.0	2 6.7	5 16.7	10 33.3	7 23.3	17 56.7	2 6.7	-	-	4 13.3	-

	避 難 先 で 家 族 が 亡 く な っ た 場 合 の 措 置	援 避 難 先 で の 住 宅 再 建 (取 得) の 支	村 の ラ イ フ ラ イ ン の 復 旧 状 況 に 関 する 情 報	財 ・ 自 宅 の ゴ ミ 、 ガ レ キ 、 使 え な く な っ た 家 具 等 の 処 理 に 関 する 情 報	そ の 他	無 回 答
全 体	292 16.8	257 14.7	336 19.3	368 21.1	77 4.4	155 8.9
仮設住宅	84 20.9	46 11.5	71 17.7	74 18.5	16 4.0	50 12.5
公営住宅(村が斡旋したもの)	22 17.2	22 17.2	25 19.5	33 25.8	4 3.1	11 8.6
県借上住宅	148 15.9	158 17.0	185 19.9	214 23.1	39 4.2	58 6.3
子ども・親戚・知人宅	18 25.0	9 12.5	19 26.4	10 13.9	2 2.8	8 11.1
借家(一戸建て・アパート等で家賃を自己負担しているもの)	9 7.3	15 12.1	22 17.7	24 19.4	5 4.0	11 8.9
老人施設・病院	3 17.6	-	1 5.9	-	1 5.9	6 35.3
社宅・寮	4 12.9	6 19.4	5 16.1	5 16.1	3 9.7	5 16.1
その他	2 6.7	-	5 16.7	7 23.3	6 20.0	5 16.7

◆ 「その他」における自由記述

<p>【10代の回答者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・借上げになる情報
<p>【20代の回答者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県の対策本部の情報
<p>【30代の回答者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各家庭や田畑の除染とその詳しい内容(3件) ・いつまで家賃補助が続くのか、見通しが知りたい ・県内外に避難している子供対象の行事、イベントの情報 ・子供が村に戻るのか、戻れないのか、10年先の見通し ・税金等の優遇措置があるかどうか等 ・予防接種などのスケジュール ・検診などは村で行ってほしい。避難先で、なんて嫌です。知っている人に対応してほしい ・生活費をキチンと支給してほしい
<p>【40代の回答者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報はなんでも良いし、多い方が良い(2件) ・今の状態がいつまで続くのかの具体的な情報 ・仕事先斡旋情報 ・乳幼児、18才未満の子もだけでなく一般の大人の被ばく量測定、積算量計を持つこと等、放射線に関わる健康対策 ・村の方向性
<p>【50代の回答者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後の帰村の見通し(6件) ・井戸水の汚染状況(3件) ・道路の修復情報(2件) ・除染の見通し(2件) ・村民の避難先の住所 ・税に関する情報 ・本当に村にもどる人数が何人いるのかアンケートをとってほしい ・自宅の水道、水洗トイレ、ボイラー等の凍結防止措置方法 ・村のお金をちゃんと正しい方法で使ってくれているのか ・村内の情報 ・仮設住宅が飯野に移ったことと、仮設住宅(相馬)からはさらに遠くなり、手続の度に不便になった。相馬にも支所を作つてほしい ・避難先の行事に参加していいのかわからない ・粗大ゴミなど小宮クリアセンターは使えないのか
<p>【60代の回答者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村の復興計画・スケジュール(3件) ・いつ土地を国に売るとか(2件) ・介護関係のサービスが非常に悪いので、これらに関する村の対応状況(2件) ・帰村しない・できない場合の保障について ・廃棄物の処理方法 ・正確な放射線量と安全との線引き ・屋根瓦の始末 ・来年度農業を再開するための代替地や支援の情報 ・社内道路の除雪の計画 ・知りたくない ・みなウソの情報やうわべだけの情報など知りたくない ・すべての情報 ・災害復興に取り組んでいる村の経過、結果等村では情報を出しているというが借上住宅に居る避難者には全くない(TV、新聞のみ)
<p>【70代以上の回答者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村の復興計画・スケジュール(3件) ・山林等を含む除染の状況(2件) ・1人なのでこれからの補償金では生活が苦しい ・家のまわりの除染をするための方法や依頼できる業者等に関する情報 ・帰宅できない場合の家屋・土地の買取・移転地の確保 ・避難先での行政サービスをどの程度求めてよいのか ・原発事故の収束時期、人体の放射線量、核種別の被ばくの限量 ・住民票を仙台に移せば、両方共老人なので市内バス等(宮城交通、仙台市営バス等)の無料バスが支給されるので異動も考えたが、移したくない

【設問】

最後に、現在の避難生活についてご自由にお書きください。（自由記述）

◆主な自由記述

(1) 避難生活への各種支援について（意見数：194）**○仮設住宅以外の被災者にも公平な支援を（80件）**

- ・借り上げ住宅に対する支援物資が少ない
- ・仮設住宅には連絡が早い、借り上げ住宅には連絡が遅い
- ・飯館村内に住んでいる村民への支援がない
- ・借り上げ住宅へ物資提供の情報があれば取りに行く
- ・廻りに知り合いがいないので、物資提供の情報が入ってこない
- ・村では避難先の確保ができないから自力で避難したのに、勝手に避難したと思われるので物資が提供されない。
- ・借り上げ住宅へはイベントの情報がこない
- ・個人で避難した人には支援物資が来ない
- ・義援金を平等に村民に配布してもらいたい。

○村や行政からの情報不足、遅れについて（25件）

- ・原発事故関係の村の情報が少ない
- ・県外に避難した人や転校した人にも連絡してほしい
- ・村からの各種情報については、現に居住する住所に確実に送ってほしい
- ・村発行の広報誌がなかなか届かない
- ・広報の中身は、もっと村民を重視した中味のあるものに工夫してほしい
- ・包み隠さずリアルタイムの情報をお願いしたい
- ・説明会などの案内は世帯主だけでなく、全員に
- ・すべての人がパソコンを以っていないので、細かい情報を広報誌に載せてほしい
- ・広報誌が避難前と同じで単なるお知らせ、結果報告になっていることが不満

○仕事・生計への要望支援（66件）

- ・仕事を失ったため、お金がない
- ・仕事先が休業になった場合収入がなくなるのか心配
- ・村以外の就職情報も教えてほしい
- ・避難に伴い、子ども園の保育料の負担が多くなり、支援してもらいたい
- ・高齢者にも働ける場所を提供してもらいたい
- ・避難先で事業を始めたいが、無償で貸してくれる土地等の情報がほしい
- ・借り上げ住宅による家賃補助がなくなったときのことを考えると不安
- ・村内に安心して住めるようになるまで、借り上げ住宅による家賃補助を継続してもらいたい。
- ・家族が離ればなれになったため、支出が増大
- ・水道代が高く、風呂にもろくに入れない
- ・若い者の無気力な姿が気になる。就労の場の確保を
- ・避難先での農業再建のための代替地を提供してほしい
- ・仕事で家族と離れて暮らしているための家賃代を補助してもらいたい
- ・住宅ローンや農機具のローンがあり、経済的に苦しい
- ・定期的な集まりや報告会、情報交換会の折に支援物資を配ってほしい
- ・自営業だったため、すぐに以前と同じ施設をつくって営業する資金がなく困っている。借金もあまりしたくない

○要援護者、病弱者のいる世帯への支援（23件）

- ・高齢者の状況を訪問チェックしてほしい
- ・借り上げ住宅にも医療バスを手配してほしい
- ・避難先で足腰がさらに弱くなっている
- ・介護施設入居者にも必要な物資がほしい
- ・介護のためには広い部屋と介護用品の支援してほしい
- ・バリアフリー対応の住宅に介護者が入っていない
- ・浴槽が狭く、自力で風呂に入れない
- ・福島市民でないため、要介護者が配食サービスを受けることができない。福島市民と同じサービスを受けたい。

(2) 生活環境への各種支援について（意見数：227）**○住宅の確保（22件）**

- ・遠くから村に通勤しているため、近くの借り上げ住宅を探したい
- ・家族がバラバラなので、一緒に住める場所を探したい
- ・部屋が狭く、広いところに移りたい
- ・借上住宅の申請期間を延長してもらいたい
- ・放射線量の低い借り上げ住宅に引越したい
- ・集合住宅ではなく、一軒家に住みたい
- ・健康状態等に応じて、居住先の住みかえを緩和してほしい

○仮設住宅・借り上げ住宅の改善要望（43件）

- ・駐車場が遠い。足らない
- ・ペットと同居したい
- ・仮設住宅に棚や押し入れがなく不便。部屋の中が荷物であふれている
- ・洗濯干し場が小さい
- ・風呂が小さく、子どもや女性、高齢者には入りづらい
- ・風呂に追い焚き機能をつけてほしい

- ・仮設住宅のすき間から雨や風が入ってくる
- ・床下から虫が入ってくる
- ・これからの冬に向けて、床のたたみや二重サッシを入れてほしい
- ・暖房器具を入れたいが、置く場所がない
- ・通路や床下の排水が悪く、水がたまっている
- ・野菜が作れる小さな畑がほしい
- ・隣の騒音がうるさい
- ・仮設住宅の台所や浄化槽の臭いがすごい
- ・仮設住宅に子どもたちのための集合部屋があるとよい
- ・サッシ戸が開かなかったり、築40年近く住宅様式が大変古い。このような住宅を借上住宅になっていることがおかしい

○村民ふれあいの機会確保（22件）

- ・村民同士が対話できる集会を定期的に行ってほしい
- ・老人同士の集いがほしい
- ・住宅周辺に避難している人との交流がほしい
- ・村と村民が双方向で意見交換できる仕組みがほしい
- ・仮設住宅でのイベント情報を仮設住宅以外の人にも教えてほしい
- ・全村民の避難先の名簿がほしい
- ・意見はなかなか言いづらいので、意見を書いて入れる「意見箱」みたいなものがあるとよい
- ・仮設住宅以外でも各避難先でコミュニケーションを図る仕組みがほしい

○その他避難生活での困り事（141件）

- ・以前は野菜づくりをしていたのに、今は日々やることがない
- ・動かないので太ってしまい、困っている
- ・日々の生活がつまらない、人生の楽しみがない
- ・生活は何とかやっているが、心のケアが必要
- ・通勤に時間がかかり、疲れている
- ・精神的につらく、何もかもが嫌になり、腹が立って仕方がない
- ・家族と一緒に生活することが難しく大変で、精神的なストレスになっている
- ・これからの冬に向けて防寒対策が不安。ストーブなどがほしい
- ・これから冬に向けて、村への通勤が心配。除雪は行われるのか
- ・慣れない土地での避難生活に精神的ストレスが多くなってきている。ストレス解消が当面の課題
- ・正月をどう過ごしたらよいのか。集まる場所がない
- ・将来が見えずに家庭崩壊にある
- ・避難しているのに、なぜ草刈りが2～3回あるのか。
- ・ベットと一緒にいられないのが寂しく苦痛
- ・ベットの餌やりに日々自宅に戻っているが、これから冬になって自宅に通うのが不安。ペットの体調も心配
- ・隣の騒音が気になって寝た気がしない
- ・避難先の生活に慣れずに自宅に戻る回数が増えてきている
- ・医者や買い物に通うためのガソリン代がかかる
- ・精神的に不安定になっており、体調も崩しやすくなっている
- ・このままほおってしまうのではないかと心配
- ・避難生活に馴れていくのが怖い
- ・避難生活の長期化に伴い、家族の精神的なメンタル面をケアしていただけるサービスをお願いしたい
- ・他人との接点がないので、精神的に疲れる
- ・精神的に参ってしまい、通院している
- ・妊娠していたが、精神的ストレスでダメになってしまった
- ・新しいことを習いたいが、何をやったらよいかわからない
- ・福島ナンバーの車両での遠出が不安。飯館から避難していることに負い目を感じる
- ・家族が仕事の通勤が遠くなったために体に疲労がみられる。いつまでも飯館村に通勤するかと思うと放射能などの心配がとてもある。通勤にも高いお金がかかるし、もっと近いところに会社を移転するなどの処置をとってほしい。これからもこの生活が続くかと思うと、精神的にもまいってしまう
- ・住民票が村においてあるので、県外で就職できるか不安

(3) 計画的避難区域解除や帰村への懸念について（意見数：172）

○義援金や補償について（57件）

- ・補償に関する村民の要望をもっと国や東京電力に伝えてほしい
- ・村民への補償は村長が代表となって交渉してほしい
- ・東京電力の補償内容についての村の見解は、村民との話し合いの場を設けてほしい
- ・補償の内容について詳しく教えてほしい
- ・東電の補償金の支給状況が世帯主だけに行っており、離れて暮らす家族には伝わってこない。
- ・義援金や補償は個人別にしてほしい
- ・この先も義援金の配布があるのか
- ・住宅ローンにも補償を
- ・除染後の農地で農作物を作り、売れない場合の補償はどうなるのか
- ・補償のための申請書をなぜ村民が書かなければならないのか。領収書がないとその分差し引くことはおかしい
- ・家族と会うための移動のガソリン代を補償してもらえないか
- ・帰村したあとのリフォームはどうなるのか
- ・東京電力の補償は今後何年間続くのか
- ・今後避難地を村の近隣に移した場合の旅費も補償してほしい
- ・義援金の高額寄付された個人・団体を知らせてほしい

○除染の実施に関する意見や懸念（52件）

- ・除染を1日でも早く実施してほしい

- ・除染することで本当に住めるようになるのか、早く結果をだしてほしい。
- ・除染を確実にできるのか疑問。計画や基準を明確にすべき
- ・除染して子どもたちが本当に戻ることができるのか不安
- ・除染が不可能な場合の対策はあるのか
- ・2年で帰村する除染計画は、中ば強制的に村に戻され自分たちも除染作業をしなければならないことが疑問
- ・2年で帰村する除染計画は無理があるのではないか
- ・除染の順序は山林、田畑、宅地の順で。山林からやらなければすぐに元に戻ってしまう
- ・避難先での除染方法を教えてほしい
- ・除染計画に関する村民の意見を聞いてほしい
- ・除染に莫大なお金をかけても一回で消える訳でもないのに、無駄使いせず村ごと移転する費用にお金を向けてほしい

○健康や医療（11件）

- ・ホールボディカウンターを全村民対象にしてもらいたい
- ・除染活動の計画、取り組み、実施を行う前に村民の健康調査や村民全員の内部被ばく検査を行ってほしい
- ・村民全員の健康保証（被爆者認定証）の1年以内の発行
- ・飯館村にはまだ企業が残って遠くの避難者が通っているが、働いている人の健康をもっと考えてほしい。
- ・環境の変化で湿疹ができて皮膚科にかかっていたので、東電に診断書を出すので書いてほしいと言ったら、めんどろな事にかわりたくないと言われ病院を追い出された
- ・水素爆発時に物資の配布を行ったが当時顔に刺さるようなちくちくしたのは何だったのか、喉に異常があったように思い、それが心配。甲状腺検査を私も受けさせていただきたい
- ・病院などはあるが評判など分からないのでどこへ行ったらよいか分からない
- ・村の健康診断や子どもの放射線検査をしたいが、県外の場合どうしたら良いか分からない

○村内の住宅やインフラへの懸念（18件）

- ・大倉地区の道路の通行止めを解除してほしい
- ・冬の村内道路や自宅の除雪が心配
- ・草が伸び放題でゴミが散乱している
- ・自宅の設備（給湯設備やボイラーなど）が使えるか心配
- ・自宅がカビだらけになっている
- ・自宅の井戸水の検査をやってほしい
- ・地震で損壊した自宅の修復を早くやってほしい
- ・冬の水道凍結が心配

○戻らない場合の支援を（34件）

- ・自宅と土地・家屋を国・東電で買い上げてほしい
- ・除染の膨大な経費を住宅移転の費用にまわしてほしい
- ・家族で新しい土地に住む場合の支援をしてほしい

(4) 放射線とモニタリングについて（意見数：19）

○放射線の影響などに関する正しい知識の必要性など（3件）

- ・誰の話が本当なのか分からない
- ・情報があまりすぎてわからない

○詳細な線量測定と公表を（16件）

- ・線量測定器を一家に一台配付してほしい
- ・子どもに線量計を持たせてほしい
- ・自宅の井戸水の検査をしてほしい
- ・地区単位でなく、字・世帯単位での線量を知りたい
- ・避難先での線量を知りたい
- ・国や県から公表されている線量測定値と自分で測った測定値が異なる。どういうことか。

(5) 子ども・女性への対応（意見数：38）

○小学校、子ども園への対応（16件）

- ・もっと近くに子どもと触れ合うことのできる場所を確保してほしい
- ・学校の開校にあたっては、保護者にアンケートをとってから決めてもらいたい
- ・中学生にも小学生と同じ物資支援をしてほしい
- ・避難前の同級生で集まる機会や連絡先を教えてください
- ・小学校が川俣町にあり、通学が遠い
- ・学校が遠いため、疲れて宿題や運動に興味が薄れてきている
- ・県外に避難することになった小学生や中学生にも村内の子どもと同じ情報や物資の提供を
- ・自分で避難先を探した村民の家族もスクールバスを使えるようにしてほしい
- ・子どもたちに被ばく手帳に今までの影響などを書いて渡してほしい

○子ども・女性へ将来的影響や差別・偏見への懸念（22件）

- ・子どもの放射線からの影響が心配
- ・子どもの健康に関する一生の保証をもらいたい
- ・2年後に帰村して、子どもたちが安心して暮らせるのか
- ・子どもたちが離ればなれになり、ストレスを抱えている。
- ・学校から帰宅してきた子どもたちが遊べる場所がほしい
- ・将来どこの学校に進学させるべきか分からない
- ・妊娠、出産、子育て期間中の行政サービスがどうなるのか知りたい
- ・子どもが飯館村出身ということで結婚できないのではないかと不安
- ・今学生だが、これから結婚できるのか、結婚して子どもが産めるのか

(6) 帰村の意思、帰村に関する意見・コメント（意見数：212）

○早く帰りたい（45件）

- ・一日でも早く帰りたい
- ・今の生活に明るさ、夢、希望が持てない
- ・一日でも早く元の生活に戻りたい
- ・早く帰りたいが、高齢で自分の身も気がかり。準特老でも作って入れるようにしてもらいたい。
- ・もうつかれた
- ・早く帰れるように個人でできることがあったら教えてほしい。国が行うのを待ってられない

○先が見えない（93件）

- ・この先本当に2年で帰れるのか、見通しが分からない
- ・帰村までのロードマップが示されていないので、生活設計が立てられない
- ・2年経って帰れるようになって、1人暮らしのため、病院、買い物、バスなどが完全に運営するようにならないと帰れない
- ・村の方向性や考え方がわからない
- ・この先避難生活にどれだけ耐えられるか自信がない
- ・数年先の避難生活を見据えた対策が必要なのかかわからない
- ・2年経って帰れるようになったときに、放射線量も下がっているのか
- ・子どもと一緒に暮らせるのはいつなのか
- ・妊娠しているため、徹底的な除染をしない限り帰れない
- ・一旦汚染された農地で農作物を栽培できるのか不安
- ・風評被害が続く中で戻って生活できるのか不安
- ・先の見通しがつかないので、仕事に就けない
- ・若い人が村に住めるのか
- ・もどった時の家の状態は住めるのか。その後の雇用確保出来ているのか

○美しかった飯館村に戻りたい（17件）

- ・避難前のように家族と一緒に暮らしたい
- ・自然に恵まれた村に戻りたい
- ・飯館村から約400kmも離れた神奈川に来て、何も不自由な事はないが、益々飯館村が恋しくてたまらない
- ・村に帰れることを思いながら生活している
- ・飯館村で育ち、故郷は飯館村しかない。その故郷がなくなるような事だけはあってほしくない
- ・もう一度田舎の地に帰りたい
- ・今まで普通にしていたことが本当に大切なことだったと実感している。飯館村に生まれ育ち、飯館に嫁いで山の中で不便な所だけどすごくいい所。ホッとする。

○安全になったら戻る（6件）

- ・子どもたちが成人したら戻る
- ・除染を100%行わないと帰らない
- ・原発事故以前の状態に戻らなければ村に戻るつもりはない
- ・完全に安全となり、孫と一緒に暮らせるようになったら戻る

○帰りたくない、戻らない（27件）

- ・避難先の方が便利で住みやすいので帰りたくない
- ・子どもたちを住ませたくないで戻らない
- ・田や畑が使えないから戻らない
- ・避難先で仕事が見つかったので戻らない
- ・プルトニウムが検出されたという話を聞いたので、子どもを連れて戻るとりはない
- ・避難先は職場から近く、冬季の雪による交通障害がないので帰りたくない
- ・若者や子どものいない村に戻りたくない
- ・家族一緒に暮らせない村には戻らない

○今後の村のあり方に関するアイデア・提案（24件）

- ・役場周辺地域（センター地区）を中心に徹底的に除染を進め、住宅や商業施設、学校も統合させることで一部地域に生活拠点を絞り、村民帰還を考えた方がよいのではないかと
- ・村内南部の3地区は線量が高く、2年での帰村は困難ではないか。これらの地区は線量の低い村内西側を開発し、そこに集団移転してもよいのではないかと
- ・農作業でない新しい産業を考えるべき。太陽光エネルギーを利用して、新産業を
- ・除染される範囲は限られると思う。集中した地域を除染し、計画的に生活圏をつくってはどうか
- ・放射能廃棄物は、地下に埋め込んでどうか
- ・村としてどこかに集団移転して、そこで住宅再建の支援をしてほしい
- ・原発に頼らない工夫をして帰りたい
- ・徹底した安全管理を前提に、放射能の研究機関、放射性ガレキの集積など誘致するものも選択の一つではないかと

(7) その他、アンケートや町の取組状況等（意見数：114）

○アンケートについて（20件）

- ・帰村に関する意向調査を行ってほしい
- ・村からの正確な情報を発信したうえで、村民の帰村意思を確認してもらいたい
- ・自由記述で要望したことに関する回答がほしい
- ・このアンケート結果を公表してもらいたい
- ・村民の意見を聴取するアンケートを頻繁に行ってほしい
- ・このアンケートの趣旨が分からない
- ・全世帯主にアンケートを行ってほしい

○村長、村議への要望、不満など（４９件）

- ・ 村民へ丁寧な説明をしてほしい
- ・ 村民の考えを聞いたうえで、除染などの計画を検討してもらいたい
- ・ 村長、議員は村民のために何をやっているのか見えてこない
- ・ 避難が遅れたことを謝罪してほしい
- ・ 「帰る」という気持ちを持ち続けられるようなサポートをしてもらいたい
- ・ 高齢者だけを２年後に戻すという意図を詳しく説明してほしい
- ・ この調査は職員の仕事を作るためにやっているのか。
- ・ 本を書いたり、村に来る学者や悪意な人とばかり付き合わず、村民ともっと対話してほしい

○村機能や職員対応などへの要望（１５件）

- ・ 村職員も仮設住宅などに出てきて村民の意見を聞いてほしい
- ・ 対応が悪い
- ・ 待たされることで電話代がかかるので、問い合わせ電話回線をフリーダイヤルにしてもらいたい
- ・ 役場に村民が来たら、明るく一声かけてほしい
- ・ 役場が遠く不便
- ・ 要返送の書類を送ってくるときに、返信用封筒も入れてほしい
- ・ 避難先に役場から住所を聞いて訪問者が来た。個人情報保護があるのに、なぜ情報を出したか
- ・ 役場に行って相談したいが、平日は行けずに困っている
- ・ 「基本は国と東電によって除染を行う」という方針を見失って、村民を便利使いし危険な目に遭わすことのないよう役場にはっきりして欲しい。
- ・ 村内で草刈りをしているようだが、除染の一環であればマスクを配付してもらえないか

○村や村職員への慰労、謝意（２０件）

○その他（１０件）